

# 土 木 構 造 物 標 準 図 集

令和6年10月

福岡市道路下水道局



目 次 (3)				
分類	名 称	記 号		頁
側溝および暗渠類	街渠樹			
	街渠樹(車道用)	MC (G1, G2) - (B × L × H)		43
	街渠樹(歩道用)	MD (G2) - (B × L × H)		44
	集水樹			
	集水樹	ME-500 × 500 × 650		45
	管渠工			
	遠心力鉄筋コンクリート管90° 基礎	HPP90° - (D)		46
	プレストコンクリート管90° 基礎	HPPC90° - (D)		47
	遠心力鉄筋コンクリート管180° 基礎	HPP180° - (D)		48
	プレストコンクリート管180° 基礎	HPPC180° - (D)		49
	遠心力鉄筋コンクリート管360° 基礎 (1)	HPP360° - (D)		50
	遠心力鉄筋コンクリート管360° 基礎 (2)	HPP360° - (D)		51
	管渠工基礎形式選定図 (1)	参 考		52
	管渠工基礎形式選定図 (2)	参 考		53
	管渠工基礎形式選定図 (3)	参 考		54
	管渠工基礎形式選定図 (4)	参 考		55
	プレキャストボックスカバー			
	R C 型	RCBox- (B × H)		56
	P C 型	PCBox- (B × H)		57
	横断暗渠			
	横断暗渠	OA- (Φ)		58

目 次 (4)				
分類	名 称	記 号		頁
側溝および暗渠類	取付管			
	取付管標準構造図	TA-1, TA-2		59
	取付管掘削標準図及び埋設図	—		60
	支管規格図	TB-1, TB-2		61
舗装止および擁壁類				
	舗装止			
	H A 型	HA		62
	H B 型	HB-200, 250		63
	H C 型	HC- (H)		64
	歩車道境界ブロック			
	標準部	KB (A) - (H)		65
	切下げ部	KB (B) - (H)		66
	乗入部	KB (C)		67
	重力式擁壁			
	車道用	GWA- (H)		68
	歩道用	GWB- (H)		69
	ブロック積擁壁 (練積)			
	控え 35cm 裏コンなし	CBA (3), (4), (5) - (H)		70
	控え 35cm 裏コンあり	CBB (3), (4), (5) - (H)		71
	プレキャスト L 型擁壁			
	一般用	PLA- (H)		72
	天端調整用	PLB- (H)		73

目次 (5)				
分類	名 称	記 号		頁
舗装類	車道舗装			
	舗装構成	——		74
	歩道舗装			
	舗装構成	——		75
法面類	法面工			
	マルチ吹付工	MTS-(t)		76
	コンクリート吹付工	COS-(t)		77
防護柵類	防護柵			
	ガードレール B種, C種	Gr-B-4E, Gr-C-4E		78
	〃	Gr-B-2B, Gr-C-2B		
	特殊ガードレール(ハーフ付) B種, C種	Gr-B-4E(P), Gr-C-4E(P)		79
	〃	Gr-B-2B(P), Gr-C-2B(P)		
	コンクリート基礎工(参考図)	GK		80
	転落防止機能付車両対応柵 B種・C種	——		81
	移動式ガードレール	KE		82
	歩道用横断防止柵	PH-A, PH-B, PHK		83
	転落防止柵(土中建込タイプ)	PTE-A, PTE-B		84
	転落防止柵(コンクリート基礎タイプ)	PTC-A, PTC-B, PTK		85
	転落防止柵(擁壁天端設置タイプ)	PTW-A, PTW-B		86
	立入防止柵			
	丸太柵工	KF		87
	ネットフェンス工	NF, NK1		88
	ネットフェンス工(門扉)	NF(G), NK2		89

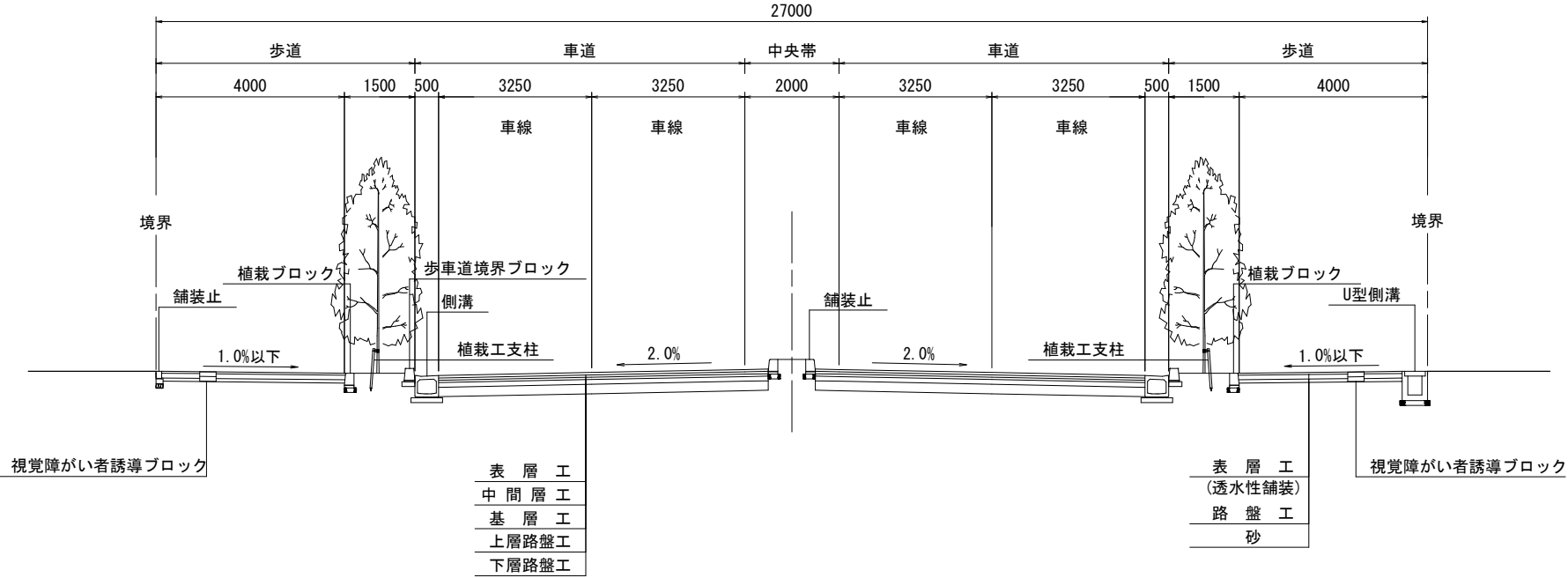
目次 (6)				
分類	名 称	記 号		頁
	車止め			
	門型(参考図), 単柱型, 単柱型(フェン付)(参考図)	CSG, CSS, CSC, CK		90
安全施設類	標識工			
	一枚取付(円柱基礎)	KH1-( $\phi \times H$ )		91
	一枚取付(角柱基礎)	KH1-( $C \times C \times H$ )		92
	二枚取付(円柱基礎)	KH2-( $\phi \times H$ )		93
	二枚取付(角柱基礎)	KH2-( $C \times C \times H$ )		94
	標識板詳細図	——		95
	自転車放置禁止標識	KHB-( $\phi \times H$ )		96
	〃	KHB-( $C \times C \times H$ )		
	道路反射鏡			
	一面反射鏡標準構造図(円柱基礎)	KM1-( $\phi \times H$ )		97
	一面反射鏡標準構造図(角柱基礎)	KM1-( $C \times C \times H$ )		98
	二面反射鏡標準構造図(円柱基礎)	KM2-( $\phi \times H$ )		99
	二面反射鏡標準構造図(角柱基礎)	KM2-( $C \times C \times H$ )		100
	視線誘導標			
	単 独 柱	DC, DK		101
	防護柵取付	DCT		102
	大型視線誘導標	DBC, DBK		103



目 次 (7)				
分類	名 称	記 号		頁
安 全 施 設 類	視覚障害者誘導ブロック			
	視覚障がい者誘導用ブロック（MMA樹脂製点字タイル）	—		104
	敷設標準断面図	GB		105
	敷設例(1) 視覚障害者誘導用ブロック設置	参考図		106
	敷設例(2) 横断歩道口敷設図(1/2)	参考図		107
	敷設例(3) 横断歩道口敷設図(2/2)	参考図		108
	敷設例(4) 歩道巻込部敷設図	参考図		109
	敷設例(5) 施設等入口部及び中央分離帯敷設図	参考図		110
	敷設例(6) 地下横断歩道等の昇降口敷設図	参考図		111
	敷設例(7) 横断歩道橋の昇降口敷設図	参考図		112
	敷設例(8) バス停部敷設図	参考図		113
	敷設例(9) 屈折・屈曲部敷設図	参考図		114
	照明工			
	照明工 アルミ柱 1 灯式直線型（ハーフプレート式）	参考図		115
	照明工 アルミ柱 1 灯式アーム型（ハーフプレート式）	参考図		116
	照明工 アルミ柱 2 灯式（ハーフプレート式）	参考図		117
	照明工 アルミ柱 基礎詳細図	参考図		118
	照明工 歩道照明 埋込式（地中引込）	参考図		119
	照明工 共架アーム式照明灯（幹線道路）	参考図		120
	照明工 共架式	参考図		121
	照明工 生活道路用アルミ柱	参考図		122
	照明工 銘板詳細図	—		123
	ハントホル(1)	HH-(B×H)		124
	ハントホル(2)	HH-(B×H)		125
	ハントホル鉄蓋	HHC-(D)		126
	ケーブル埋設図及び構造図	FEP-(φ)		127
床 版 類	床版工			
	床版工	SA-(W), SB-(W)		128

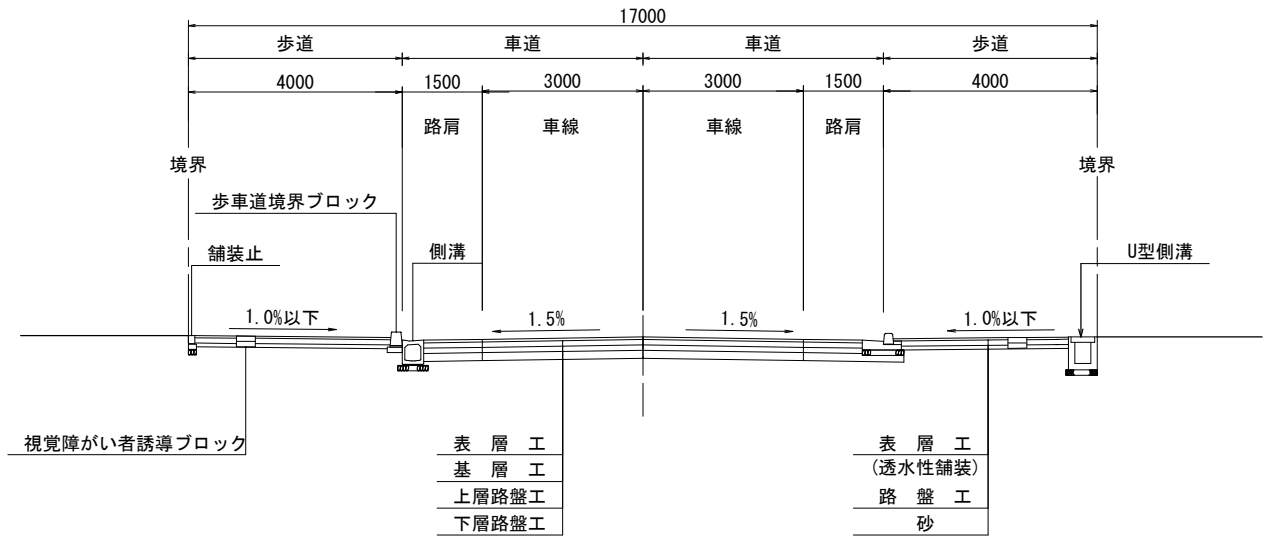
目 次 (8)				
分類	名 称	記 号		頁
植 栽 類	植栽工			
	根鉢・植穴寸法及び支柱選定表	—		129
	植樹樹用縁石	SMF-(A×B)		130
	二脚鳥居支柱(添木無)	TS-1		131
	二脚鳥居支柱(添木付)	TS-2		132
	三脚鳥居支柱	TS-3		133
	十字鳥居支柱	TS-4		134
	二脚鳥居組合わせ支柱	TSS		135
	ハツ掛支柱(1 型)	YS-1		136
	ハツ掛支柱(2 型)	YS-2		137
	ハツ掛支柱(3 型)	YS-3		138
	添え柱支柱	SS		139
	布掛支柱	NS		140
	生垣支柱	IS		141
仮 設 類	路面覆工			
	路面覆工	LC		142
	土留工			
	埋設矢板（側溝布設用）	KSP-(H)		143

標準横断図(1)



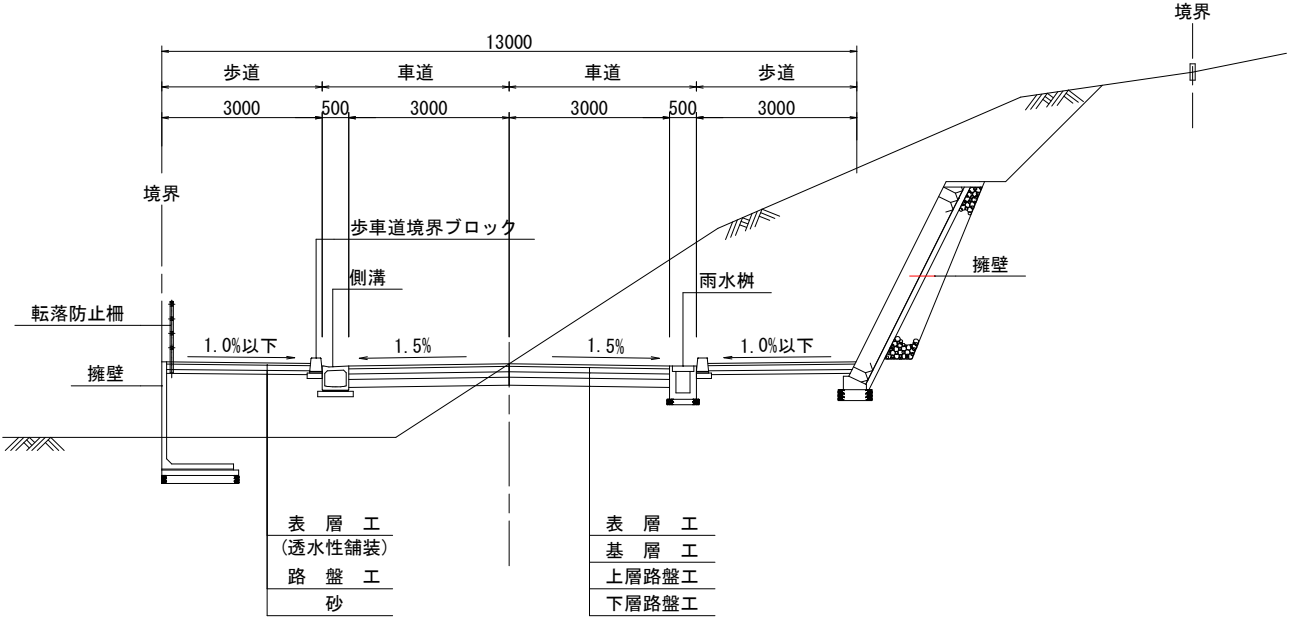
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>歩道の舗装は透水性舗装を標準とする。</li><li>横断勾配は歩道舗装を透水性舗装で整備する場合については、1%以下とするが、地形その他特別の理由によりやむを得ない場合においては、2%以下とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/100	名 称	標準横断図(1)
				作 成	H30. 3	記 号	—

標準横断図(2)



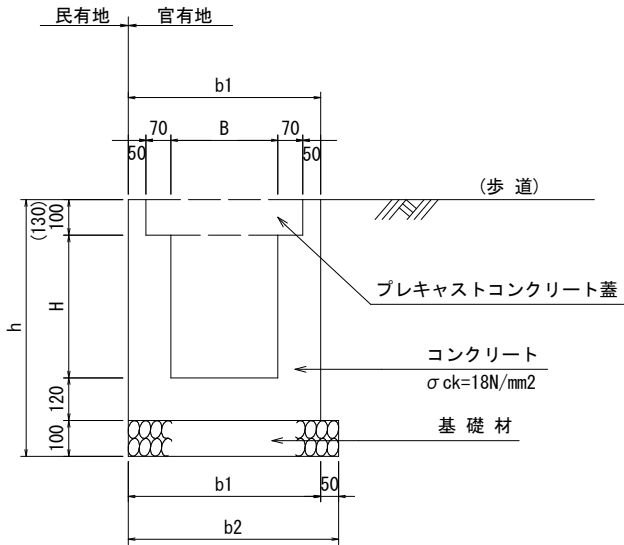
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>歩道の舗装は透水性舗装を標準とする。</li><li>横断勾配は歩道舗装を透水性舗装で整備する場合については、1%以下とするが、地形その他特別の理由によりやむを得ない場合においては、2%以下とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／100	名 称	標準横断図(2)
				作 成	H30. 3	記 号	――

標準横断図(3)

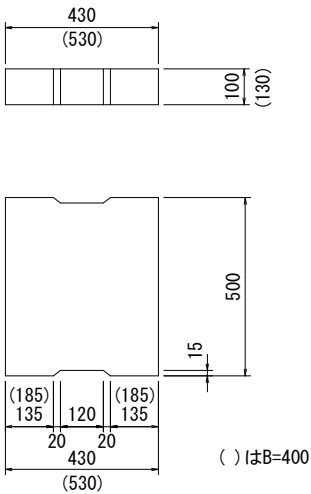


特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>歩道の舗装は透水性舗装を標準とする。</li><li>横断勾配は歩道舗装を透水性舗装で整備する場合については、1%以下とするが、地形その他特別の理由によりやむを得ない場合においては、2%以下とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1／100	名 称	標準横断図(3)
				作 成	H30. 3	記 号	—

UA型側溝



プレキャストコンクリート蓋 (FA)



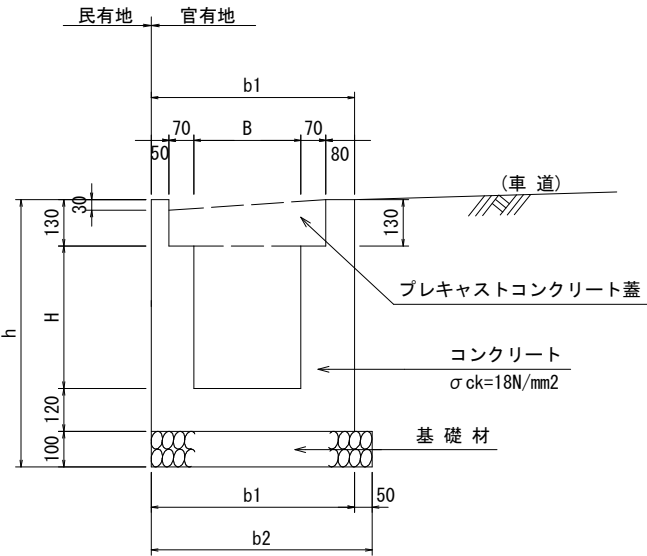
10m当り

種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表 (本 体)			材 料 表 (蓋)		摘 要
	b 1	b 2	h	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	側 溝 蓋		
							(枚)	(kg/枚)	
UA-300×250	540	590	570	1.35	18.80(14.10)	0.59	20	53	( )は 裏型枠なし
UA-300×300			620	1.47	20.80(15.60)				
UA-300×350			670	1.59	22.80(17.10)				
UA-300×400			720	1.71	24.80(18.60)				
UA-300×450			770	1.83	26.80(20.10)				
UA-300×500			820	1.95	28.80(21.60)				
UA-400×400	640	690	750	1.86	26.00(19.50)	0.69	20	85	
UA-400×500			850	2.10	30.00(22.50)				

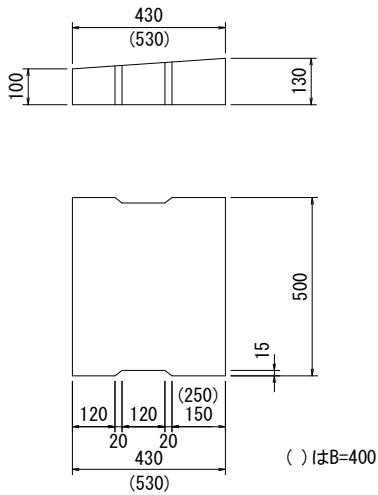
10m当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 民地と歩道境界に使用。</li><li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>・ 伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li><li>・ 吊上げ金具付のコンクリート蓋を10mに1箇所設ける。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/15	名 称	場所打ちU型側溝 UA型側溝
				作 成	H30. 3	記 号	UA-(B×H) FA-(B)

UB型側溝



プレキャストコンクリート蓋 (FB1)

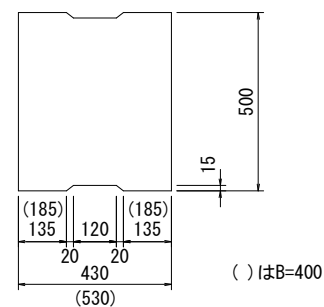
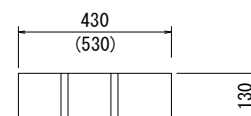


10m当り

種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表					摘 要
	b 1	b 2	h	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	側 溝 蓋		
							(枚)	(kg/枚)	
UB-300×250	570	620	600	1.53	20.00(15.00)	0.62	20	60	( )は 裏型枠なし
UB-300×300			650	1.66	22.00(16.50)				
UB-300×350			700	1.80	24.00(18.00)				
UB-300×400			750	1.93	26.00(19.50)				
UB-300×450			800	2.07	28.00(21.00)				
UB-300×500			850	2.20	30.00(22.50)				
UB-400×400	670	720	750	2.05	26.00(19.50)	0.72	20	75	
UB-400×500			850	2.32	30.00(22.50)				

10m当り

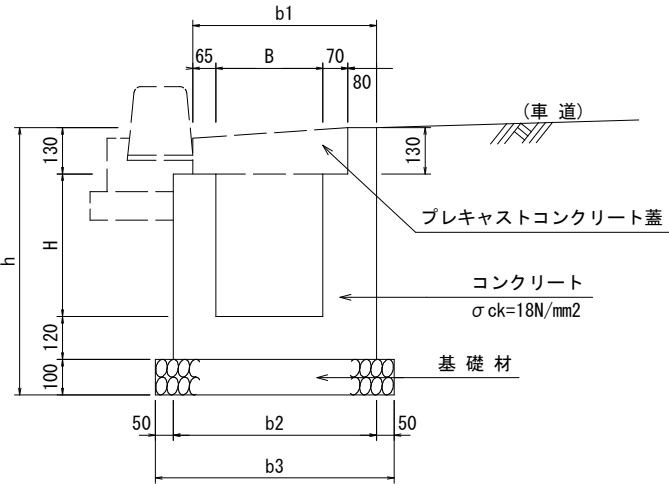
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 民地と車道境界に使用。</li><li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>・ 伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li><li>・ 吊上げ金具付のコンクリート蓋を10mに1箇所設ける。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/15	名 称	場所打ちU型側溝 UB型側溝
				作 成	H30. 3	記 号	UB- (B×H) FB1- (B)



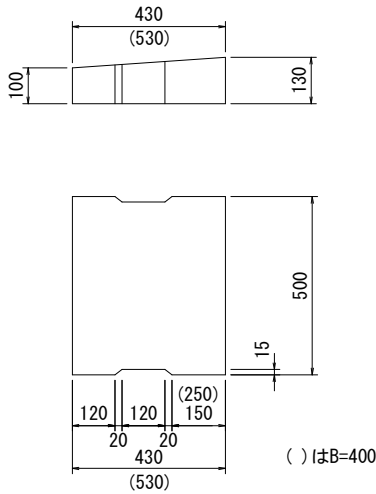
10m当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民地と車道境界に使用。</li> <li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> <li>・ 伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li> <li>・ 吊上げ金具付のコンクリート蓋を10mに1箇所設ける。</li> </ul>	備    考	縮 尺	1／15	名 称	場所打ちU型側溝 UC型側溝
			作 成	H30. 3	記 号	UC- (B×H) FB2- (B)

UD型側溝



プレキャストコンクリート蓋（FB1）



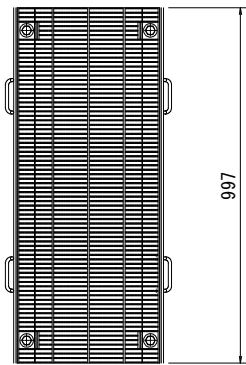
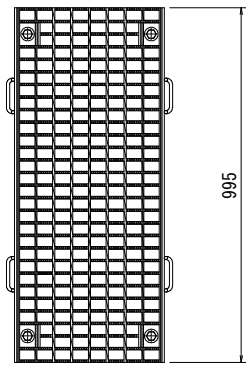
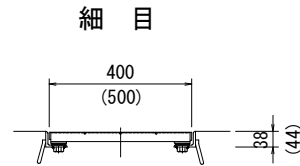
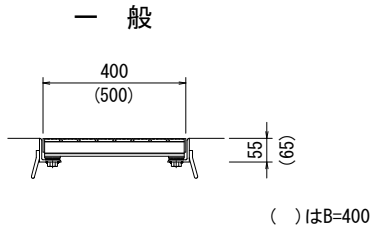
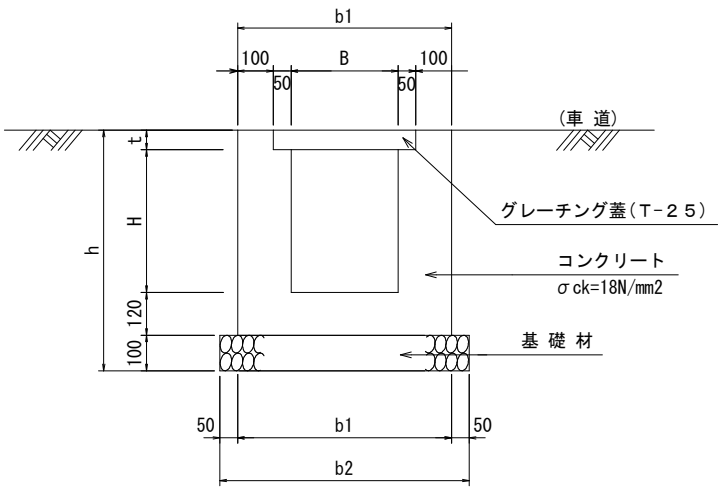
10m当り

種 別 (B×H)	寸 法 表				材 料 表					摘 要
	b 1	b 2	b 3	h	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	側 溝 蓋		
								(枚)	(kg/個)	
UD-300×250	515	570	670	600	1.46	17.40	0.67	20	60	
UD-300×300				650	1.60	19.40				
UD-300×350				700	1.73	21.40				
UD-300×400				750	1.87	23.40				
UD-300×450				800	2.00	25.40				
UD-300×500				850	2.14	27.40				
UD-400×400	615	670	770	750	1.99	23.40	0.77	20	75	
UD-400×500				850	2.26	27.40				

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>歩道と車道境界に使用。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>伸縮目地（エラストイト）を20m程度に1箇所設ける。</li><li>吊上げ金具付のコンクリート蓋を10mに1箇所設ける。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／15	名 称	場所打ちU型側溝 UD型側溝
				作 成	H30. 3	記 号	UD- (B×H) FB1- (B)



## UE型側溝

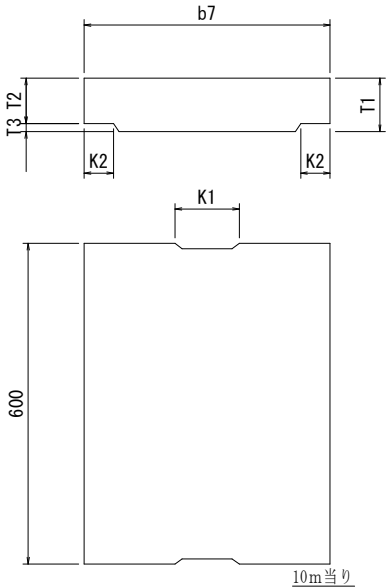
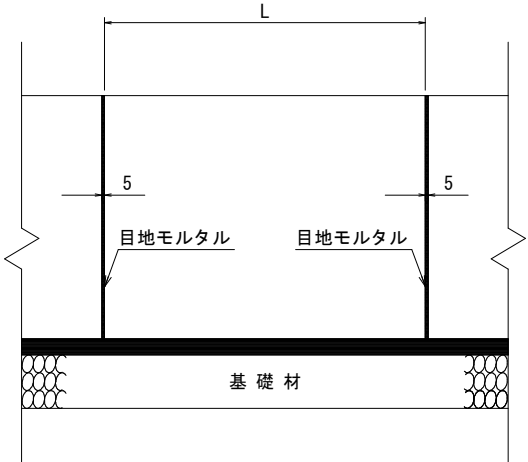
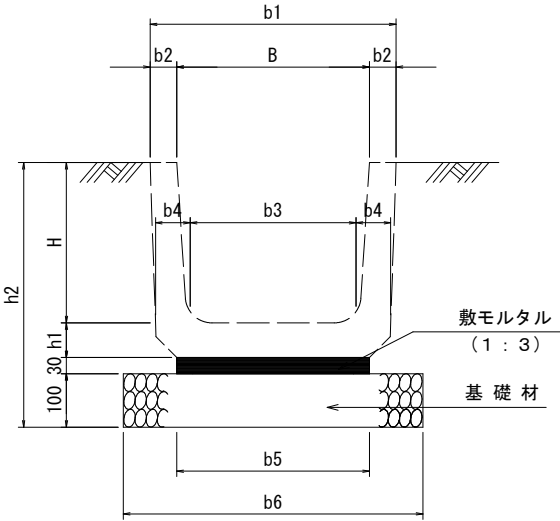


種 別 (B×H)	寸 法 表				材 料 表				摘 要	
	b 1	b 2	h	t	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	側 溝 蓋		
								(枚)		(kg/枚)
UE-300×250	600	700	525(508)	55 (38)	1.55(1.52)	15.58(15.20)	0.70	10 (10)	47 (60)	( )は細目
UE-300×300			575(558)		1.70(1.67)	17.58(17.20)				
UE-300×350			625(608)		1.85(1.82)	19.58(19.20)				
UE-300×400			675(658)		2.00(1.97)	21.58(21.20)				
UE-300×450			725(708)		2.15(2.12)	23.58(23.20)				
UE-300×500			775(758)		2.30(2.27)	25.58(25.20)				
UE-400×400	700	800	685(664)	65	2.14(2.10)	21.78(21.34)	0.80	10	60	
UE-400×500			785(764)	(44)	2.44(2.40)	25.78(25.34)		(10)	(80)	

特記仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グレーチング蓋はボルト固定式を原則とし、スベリ止め加工したものを使用する。</li> <li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> <li>・ 伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li> </ul>	備考		縮尺	1/15	名称	現場打ちU型側溝 UE型側溝
				作成	H30.3	記号	UE-(B×H) GA-(B)

P1型側溝

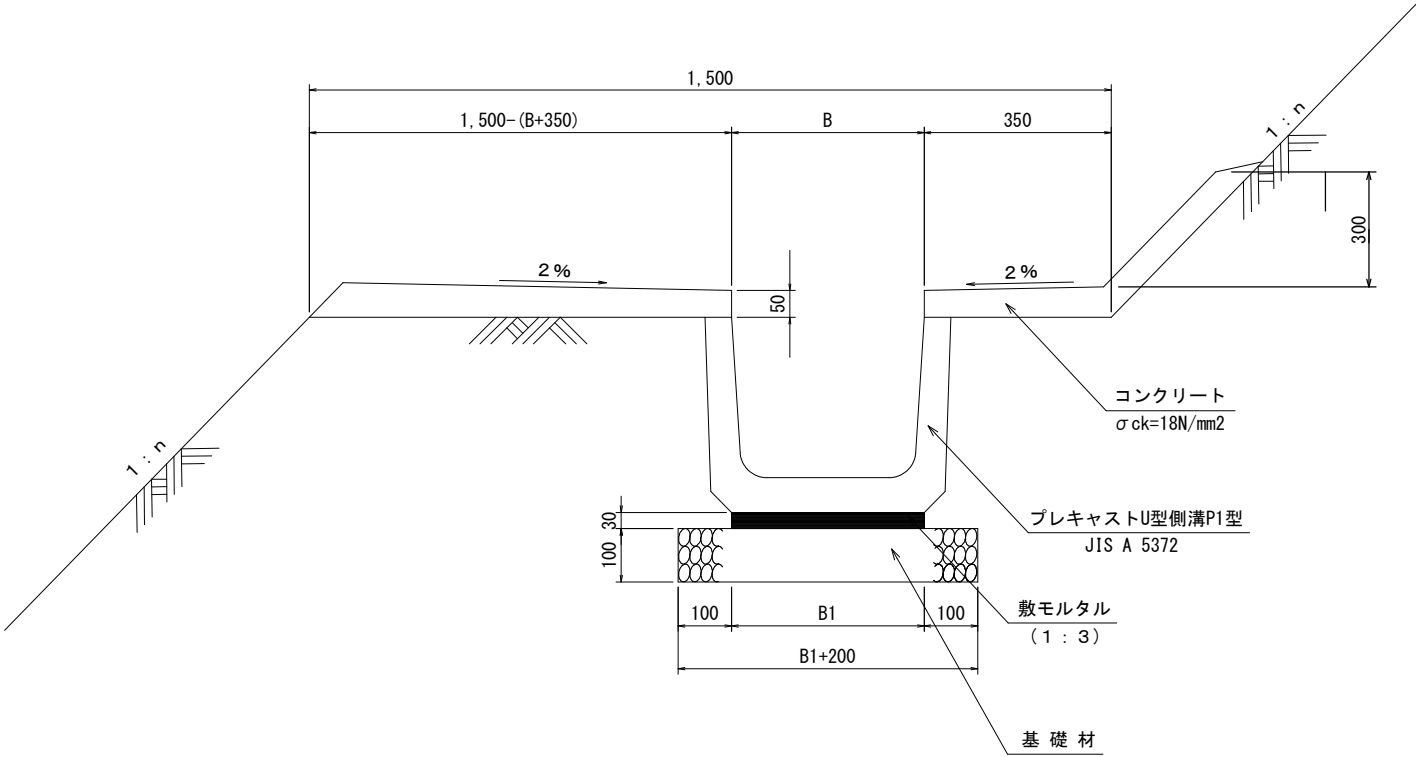
プレキャストコンクリート蓋 (PF2)



種 別 (B×H)	寸 法 表															材 料 表							摘 要
	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5	b 6	h 1	h 2	L	b 7	k 1	k 2	T 1	T 2	T 3	側 溝		モ ル タ ル (m3)		基 礎 材 (m3)	側 溝 蓋		
																(個)	(kg/個)	敷モルタル	目地モルタル		(枚)	(kg/枚)	
PU1-240×240	330	45	220	50	240	440	50	420	600	330	90	50	100	85	15	16.5	53	0.072	0.003	0.44	47	JIS A 5372 (側溝・2種蓋)	
PU1-300×240	400	50	260	60	300	500	60	430	600	400	100	55	100	85	15		69	0.090	0.004	0.50	57		
PU1-300×300	400	50	260	60	300	500	60	490	600								79	0.090	0.005	0.50			
PU1-300×360	400	50	260	60	300	500	65	555	600	460	120	55	100	85	15		92	0.090	0.005	0.50	65		
PU1-360×300	460	50	310	65	360	560	65	495	600								90	0.108	0.005	0.56			
PU1-360×360	460	50	310	65	360	560	65	555	600								100	0.108	0.006	0.56			
PU1-450×450	560	55	400	70	430	630	70	650	600	560	120	60	120	100	20		189	0.129	0.008	0.63	96		
PU1-600×600	740	70	540	80	600	800	80	810	600	740	150	75	150	130	20		211	0.180	0.012	0.80	160		

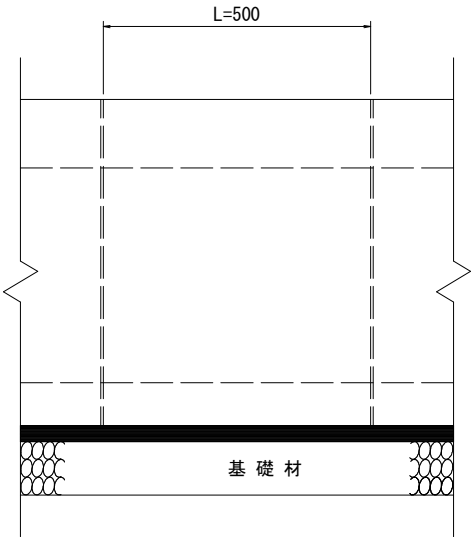
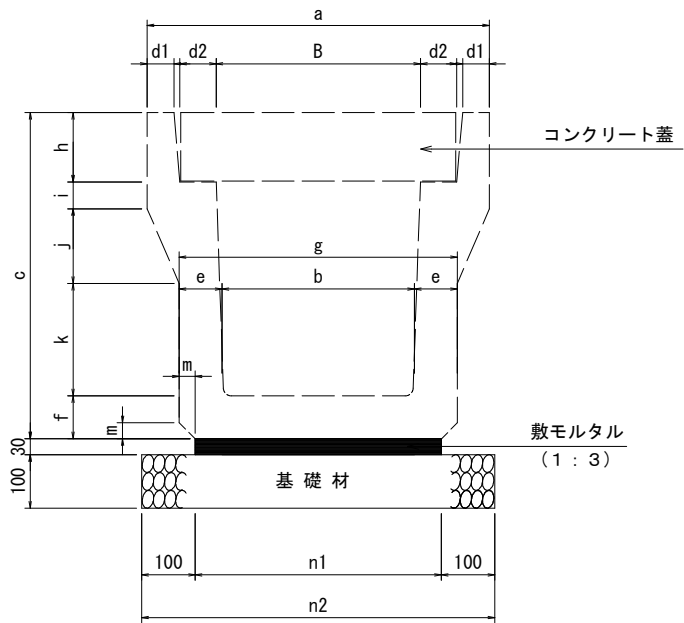
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 輪荷重の影響を受けない箇所に使用する。</li><li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/10	名 称	プレキャストU型側溝 P1型側溝
				作 成	H22. 3	記 号	PU1-(B×H) PF2-(B)

小段排水溝

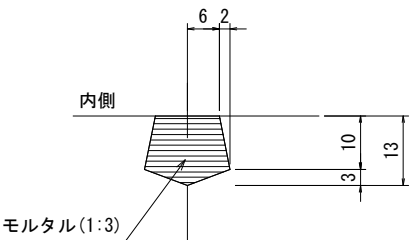


特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地盤が岩等の場合は、基礎材を省略できる。</li><li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/10	名 称	小段排水溝
				作 成	H22. 3	記 号	参考図

FU型側溝



目地詳細図

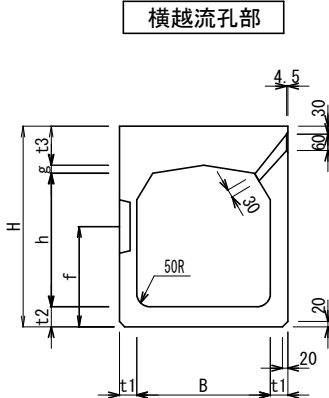
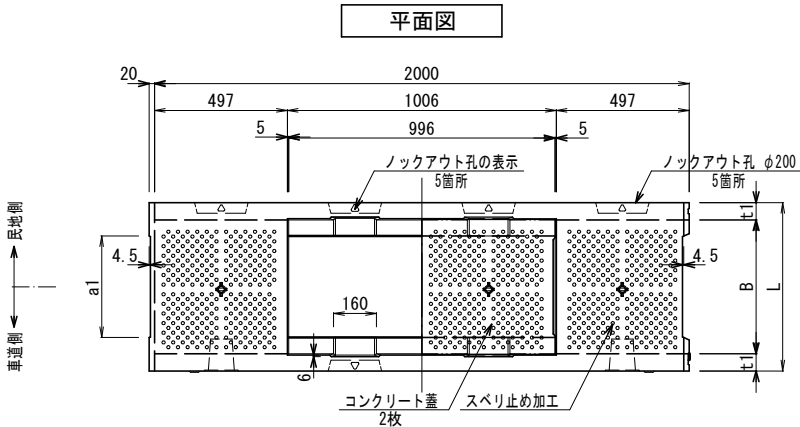
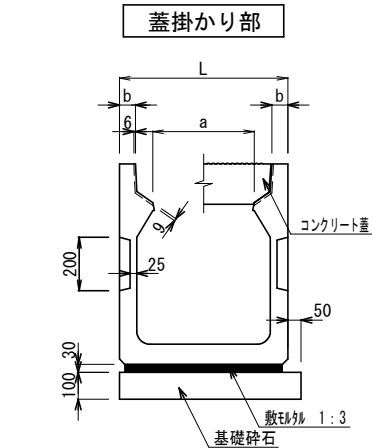


10m当り																					
種 別 (B×H)	寸 法 表																材 料 表				摘 要
	a	b	c	d1	d2	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n1	n2	側 溝		敷き砂層 (m3)	基礎材 (m3)	
																	(個)	(kg/個)			
FU-240×240	440	220	405	50	48	65	65	350	100	30	90	120	45	25	300	500	20	83	0.090	0.50	
FU-300×300	540	260	500	50	68	70	70	400	130	40	100	160	70	30	340	540		108	0.102	0.54	
FU-400×400	640	360	610	50	68	80	80	520	130	50	140	210	60	30	460	660		152	0.138	0.66	
FU-450×450	690	400	665	50	68	85	85	570	130	60	140	250	60	35	500	700		173	0.150	0.70	
FU-500×500	760	440	745	60	68	95	95	630	150	70	130	300	65	40	550	750		213	0.165	0.75	
FU-600×600	860	540	860	60	68	110	110	760	150	80	170	350	50	45	670	870		282	0.201	0.87	

10m当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>吊上げ金具付のコンクリート蓋を10mに1箇所設ける。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/10	名 称	プレキャストU型側溝 FU型側溝
				作 成	H22. 3	記 号	FU- (B×H)

## FS型側溝



種 別 (B×h)	寸 法 表 (mm)										材 料 表 (10m当り)				摘 要
											側溝本体		敷砂り外 (m³)	基礎材 (m³)	
	(個)										参考重量 (kg/個)				
	L	H	t1	t2	t3	a	a1	b	f	g	(個)	(kg/個)	(m³)	(m³)	
FS- 300×300	410	500	55	65	115	180	180	55	200	20	5	481	0.111	0.46	
FS- 300×400	420	605	60	70				60	270			571	0.114	0.47	
FS- 300×500	430	710	65	75				65	375			671	0.117	0.48	
FS- 300×600	440	820	70	85				70	485			791	0.120	0.49	
FS- 400×400	510	615	55	70	125	280	280	55	270	20		621	0.141	0.56	
FS- 400×500	520	715	60	70				60	370			706	0.144	0.57	
FS- 400×600	540	825	70	80				70	480			865	0.150	0.59	
FS- 500×500	630	750	65	75				145	380			380	60	375	

- ・基礎材は、特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。
- ・FS側溝蓋は、10m(5本)当り10枚(L=500mm/枚)を別途計上するものとする。

備考

縮尺

---

作成

1/20

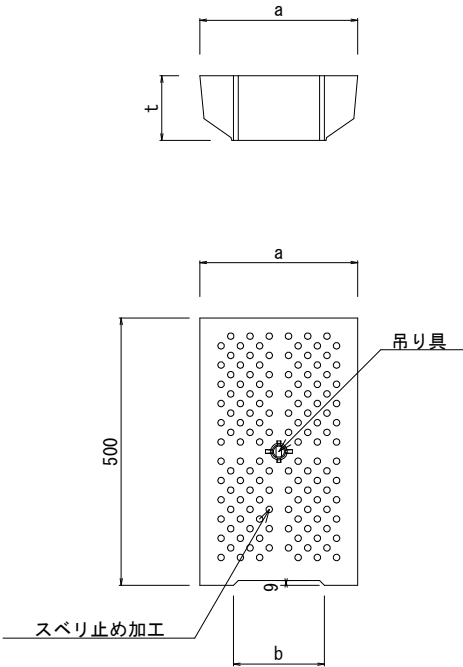
記号

プレキャストU型側溝  
FS型側溝

FSF- (B × H)

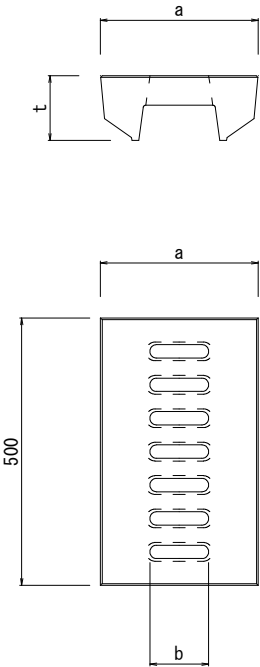
FS型側溝用蓋

コンクリート蓋



10m当り						
種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要
	a	b	t	側 溝 蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	295	170	121	20	38	
B-400	395	270	131		57	
B-500	505	370	151		86	

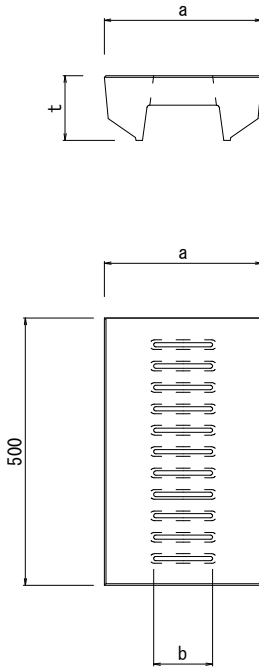
レジン蓋（普通目）



10m当り

種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要
	a	b	t	側 溝 蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	295	110	121	20	25	
B-400	395	212	131		33	
B-500	505	311	151		45	

レジン蓋（細目）

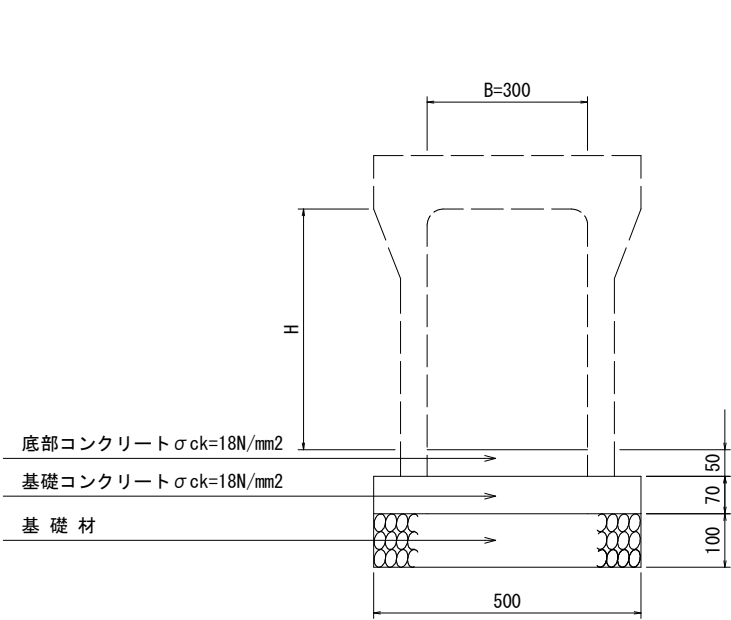


10m当り

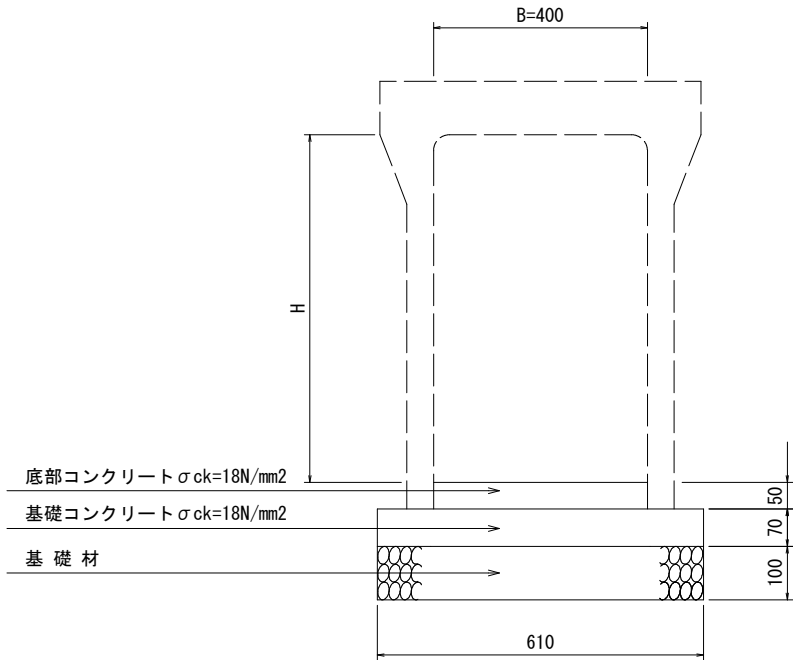
種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要
	a	b	t	側 溝 蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
B-300	295	110	121	20	26	
B-400	395	212	131		40	
B-500	505	311	151		49	

特 記 仕 様	・ レジン蓋は、歩道部には細目タイプを使用する。	備  考		縮 尺	1／10	名 称	プレキャストU型側溝 FS型側溝用蓋
				作 成	R6.8	記 号	FF1- (B) , FG1- (B) , FG2- (B)

自由勾配側溝



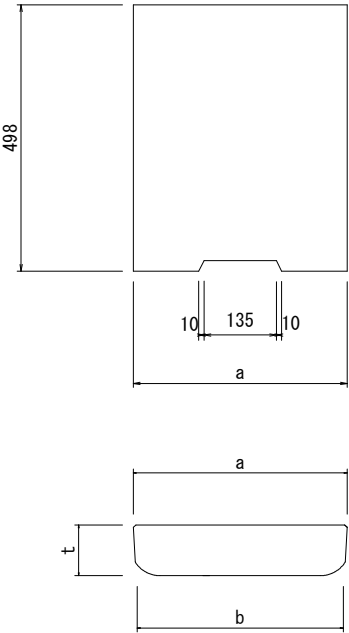
種 別 (呼び名) (B×H)	材 料 表					摘 要
	側 溝 (個)	底部コンクリート (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
300×300	5	0.15	0.35	1.40	0.50	
300×400						
300×500						
300×600						
300×700						
300×800						
300×900						
300×1000						



種 別 (呼び名) (B×H)	材 料 表					摘 要
	側 溝 (個)	底部コンクリート (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
400×400	5	0.20	0.43	1.40	0.61	
400×500						
400×600						
400×700						
400×800						
400×900						
400×1000						

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>製品形状は代表的な形状を示すもので、採用にあたっては、監督員と協議のうえ決定する。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/10	名 称	プレキャストU型側溝 自由勾配側溝
				作 成	H22. 3	記 号	VS-(B×H)

自由勾配側溝用コンクリート蓋



10m当り						
種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要
	a	b	t	側 溝 蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
				20	43	
B-300	400	385	95		43	
B-400	500	485	110		63	

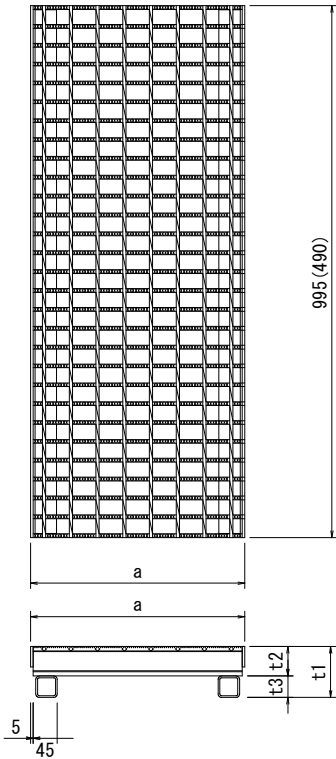
10m当り

特 記 仕 様	・ 製品形状は代表的な形状を示すもので、採用あたっては監督員と協議のうえ決定する。	備 考		縮 尺	1／10	名 称	プレキャストU型側溝 自由勾配側溝用コンクリート蓋
				作 成	R6.8	記 号	FH-(B)



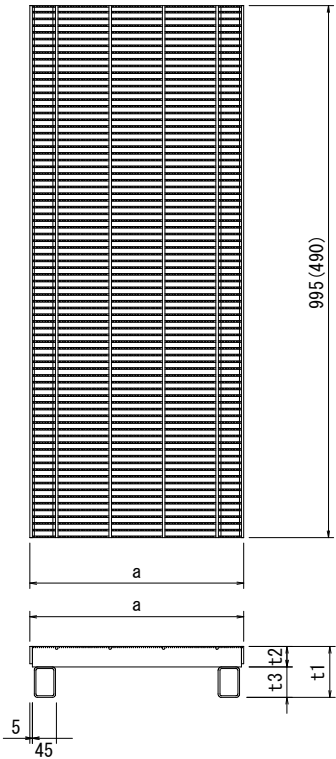
自由勾配側溝用グレーチング蓋

一般



種 別		寸 法 表				材 料 表	摘 要
		a	t 1	t 2	t 3	側 溝 蓋	
						(枚)	
T-25	B-300	400	95	55	40	10	( )は0.5m用
	B-400	500	110	75	35	(20)	
T- 6	B-300	400	95	38	57	10	
	B-400	500	110	44	66	(20)	

細 目

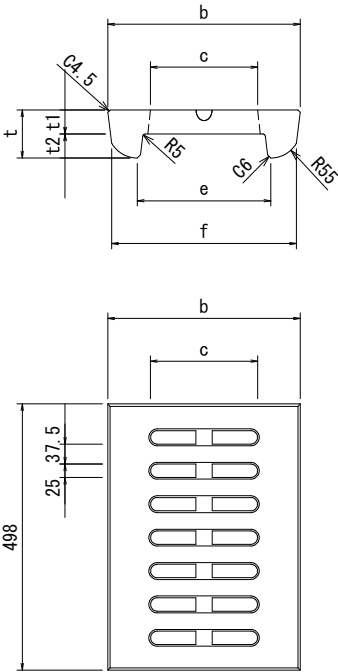


種 別		寸 法 表				材 料 表	摘 要
		a	t 1	t 2	t 3	側 溝 蓋	
						(枚)	
T-25	B-300	400	95	38	57	10	( )は0.5m用
	B-400	500	110	50	60	(20)	
T- 6	B-300	400	95	32	63	10	
	B-400	500	110	38	72	(20)	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>G1型は一般用グレーチング蓋、G2型は細目グレーチング蓋とし、スベリ止め加工したものを使用する。</li><li>車両が通行する箇所に設置する場合、ボルト固定式を原則とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／10	名 称	プレキャストU型側溝 自由勾配側溝用グレーチング蓋
				作 成	R6. 3	記 号	GB- (B)

自由勾配側溝用集水蓋

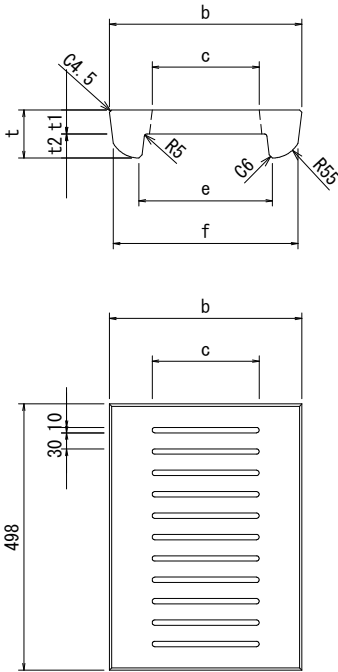
形状図



製品種別	呼び名	寸法							
		b	c	e	f	d	t	t1	t2
側溝	300用	400	260	300	385	20	95	50	45
	400用	500	360	400	485	20	110	55	55

※集水穴の形状はサイズにより異なります。

形状図

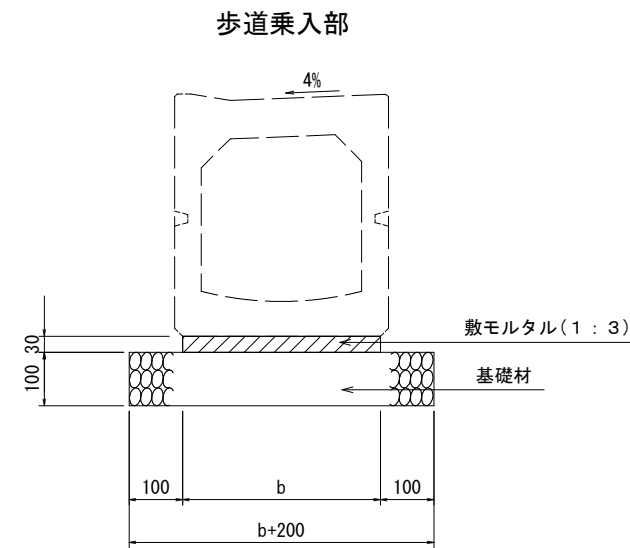
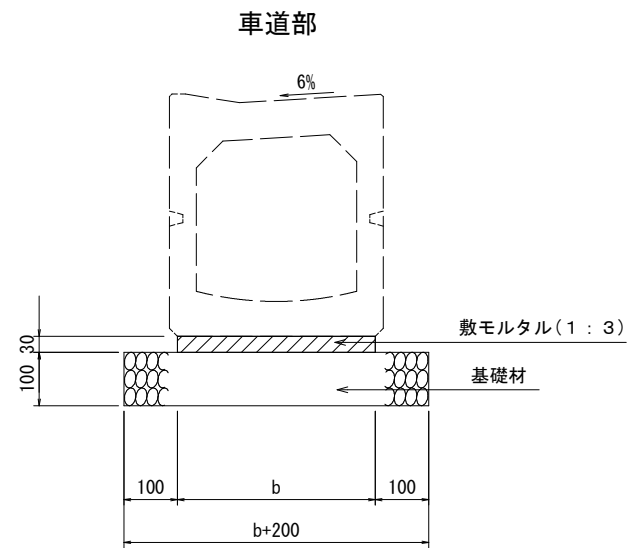


製品種別	呼び名	寸法							
		b	c	e	f	d	t	t1	t2
側溝	300用	400	260	300	385	15	95	50	45
	400用	500	360	400	485	20	110	55	55

※集水穴の形状はサイズにより異なります。

特記仕様	・ 使用に当たっては、グレーチング蓋同等の機能を確保すること。	備考		縮尺	1/10	名称	プレキャストU型側溝 自由勾配側溝用集水蓋
				作成	H22. 3	記号	(300, 400)

管渠型側溝



10m当り

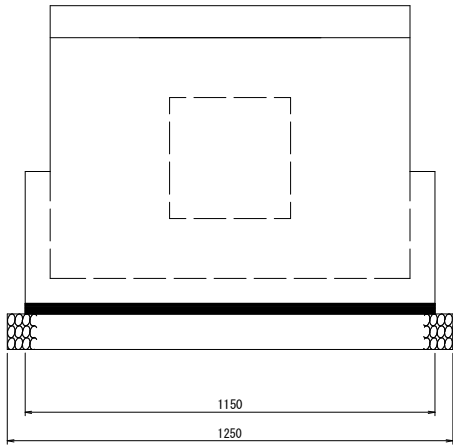
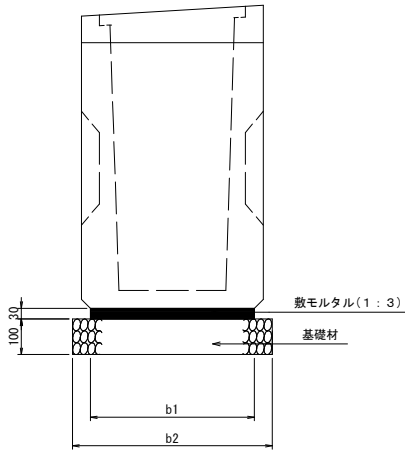
種 別 (呼び名)	材 料 表			摘 要
	側 溝 (個)	敷モルタル (m <sup>3</sup> )	基 礎 材 (m <sup>3</sup> )	
250	5	0.105	0.55	b=350の場合
300		0.120	0.60	b=400の場合
360		0.138	0.66	b=460の場合
400		0.150	0.70	b=500の場合
500		0.186	0.82	b=620の場合

10m当り

種 別 (呼び名)	材 料 表			摘 要
	側 溝 (個)	敷モルタル (m <sup>3</sup> )	基 礎 材 (m <sup>3</sup> )	
250	5	0.105	0.55	b=350の場合
300		0.120	0.60	b=400の場合
360		0.138	0.66	b=460の場合
400		0.150	0.70	b=500の場合
500		0.186	0.82	b=620の場合

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>製品形状は代表的な形状を示すもので、採用にあたっては、監督員と協議のうえ決定する。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/10	名 称	プレキャストU型側溝 管渠型側溝
				作 成	H22.3	記 号	KS-(Φ)

管渠型側溝用分水柵(蓋付)



10箇所当り

種 別 (呼び名)	寸 法 表		材 料 表						摘 要
	b 1	b 2	軀 体		敷モルタル (mm)	基 礎 材 (mm)	蓋(参考)		
			(個)	(kg/個)			(枚)	(kg/枚)	
300	400	500	10	325	0.138	0.63	20	26	
400	460	560		385	0.159	0.70		32	
500	600	700		455	0.207	0.88		51	

特記仕様

- ・基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。
- ・蓋はグレーチング蓋またはレジン蓋とする。
- ・車両が通行する箇所にグレーチング蓋を設置する場合、ボルト固定式を原則とする。

備考

縮尺	作成
----	----

1/15

R6. 3

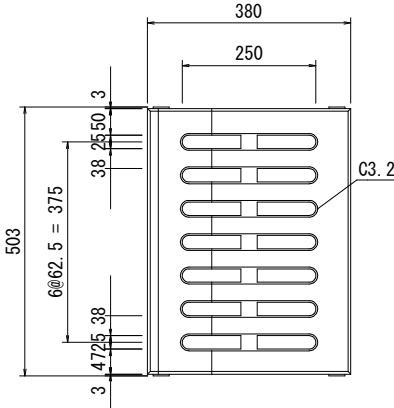
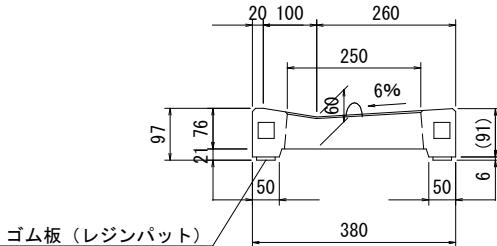
名称  
記号

プレキャストU型側溝  
管渠型側溝用分水樹(蓋付)

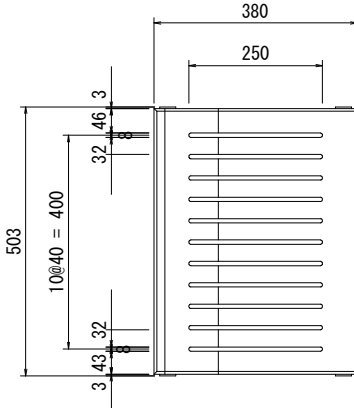
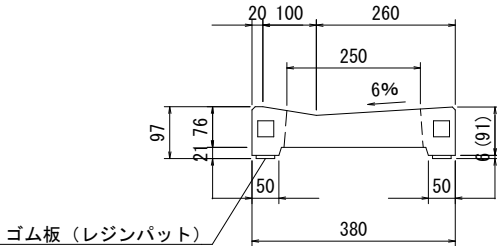
KSM- (B)

## 管渠型側溝用集水柵蓋

## 形状図

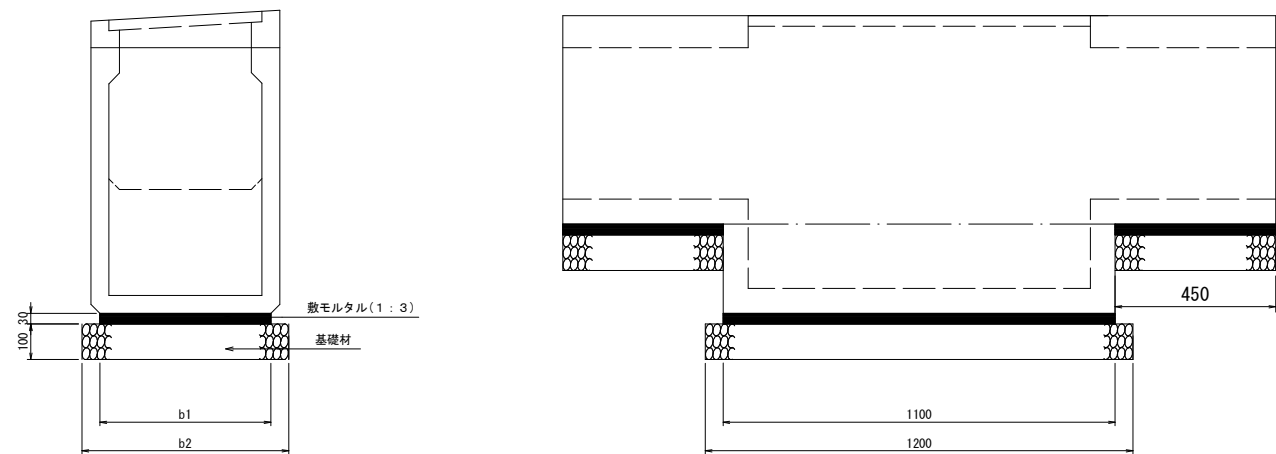


### 形状図



特 記 仕 様	備  考	縮尺	1／10	名 称	プレキャストU型側溝 管渠型側溝用集水樹蓋
		作成	H22. 3	記 号	形状図（参考図）

管渠型側溝用溜桝(蓋付)



10箇所当り

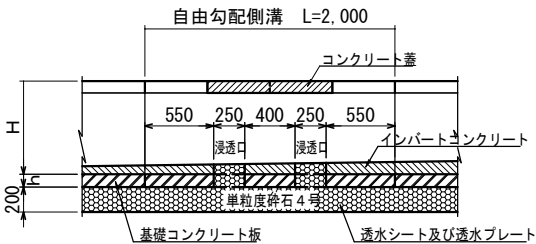
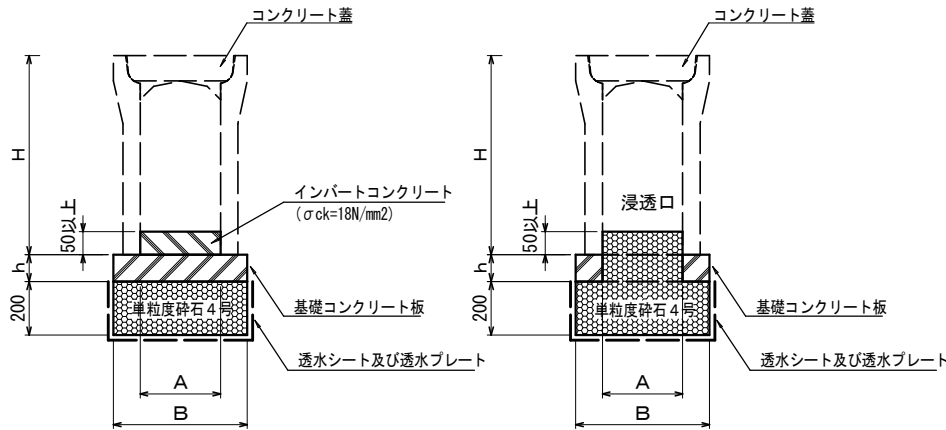
種 別 (呼び名)	寸 法 表		材 料 表						摘 要
	b 1	b 2	軀 体		敷モルタル (m3)	基 礎 材 (m3)	蓋(参考)		
			(個)	(kg/個)			(枚)	(kg/枚)	
300	440	540	10	450	0.264	1.13	20	26	
400	480	580		530	0.288	1.22		32	
500	620	720		801	0.372	1.51		51	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>蓋はグレーチング蓋またはレジン蓋とする。</li><li>車両が通行する箇所にグレーチング蓋を設置する場合、ボルト固定式を原則とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／15	名 称	プレキャストU型側溝 管渠型側溝用溜桝(蓋付)
				作 成	R6.3	記 号	KTM-(B)

浸透側溝（自由勾配型）

断面図

側面図  
(参考図)

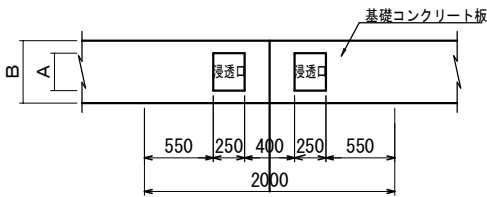
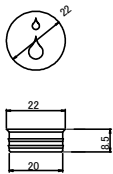


表示キャップ  
(参考図)

コンクリート基礎板構造図  
(参考図)

10m当り

呼び名	寸法表			摘要
	A (mm)	B (mm)	h (mm)	
300	300	550	70	
400	400	660	85	
500	500	790	100	



部品名	部品サイズ	材質
表示キャップ	φ22 H=8.5	SUS304

特  
記  
仕  
様

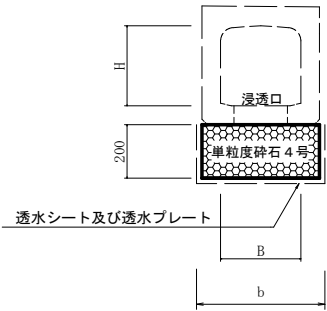
- 側溝延長2mごとに50cmの浸透部を設置することを標準とする。
- 浸透部は側溝蓋の真下に設置することを原則とする。
- 透水シートの透水係数は、 $1.0 \times 10^{-2}$  (m/s) 以上とする。
- シートの幅5cm当たりの引っ張り強さは294 (N) 以上とする。
- 透水シート、透水プレートの継ぎ目は50mm以上被らせること。
- 表示キャップは側溝延長2mごとに1箇所、かつ起終点の端部に設置すること。

備  
考

縮尺	1/20	名称	プレキャストU型側溝 浸透側溝（自由勾配型）
作成	R6.3	記号	

浸透側溝（管渠型）

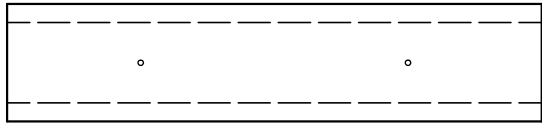
断面図



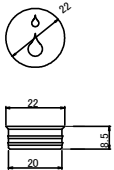
側面図



平面図（頂版）

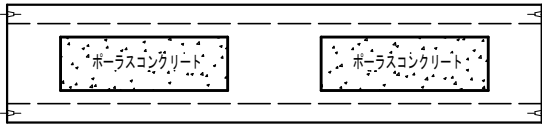


表示キャップ  
（参考図）



部品名	部品サイズ	材質
表示キャップ	φ22 H=8.5	SUS304

底面図（底版）



(10m当り)

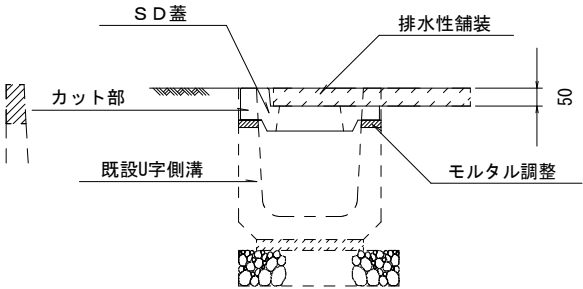
種 別 (呼び名) (B × H)	材 料 表			摘 要
	側溝 (個)	単粒度碎石 (m3)	透水シート (m2)	
300×300	5.00	0.80	8.00	b=400の場合
300×400		0.80	8.00	b=400の場合
300×500		0.80	8.00	b=400の場合
400×400		1.00	9.00	b=500の場合
500×500		1.24	10.20	b=620の場合

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>側溝延長2mごとに50cmの浸透部を設置することを標準とする。</li><li>浸透部は側溝蓋の真下に設置することを原則とする。</li><li>透水シートの透水係数は、<math>1.0 \times 10^{-2}</math> (m/s) 以上とする。</li><li>シートの幅5cm当たりの引っ張り強さは294 (N) 以上とする。</li><li>透水シート、透水プレートの継ぎ目は50mm以上被らせること。</li><li>表示キャップは側溝延長2mごとに1箇所、かつ起終点の端部に設置すること。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/20	名 称	プレキャストU型側溝 浸透側溝（管渠型）
				作 成	H29.6	記 号	

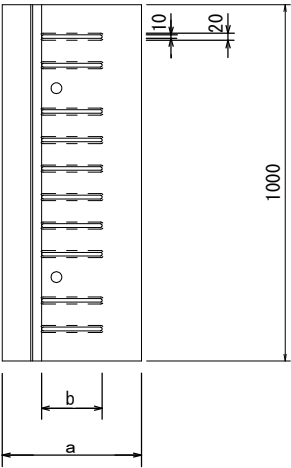


SD型側溝蓋 (Bタイプ)

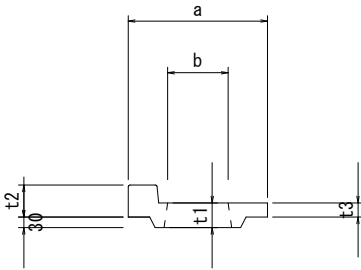
構造図



平面図 (SD蓋)



断面図 (SD蓋)



10m当り

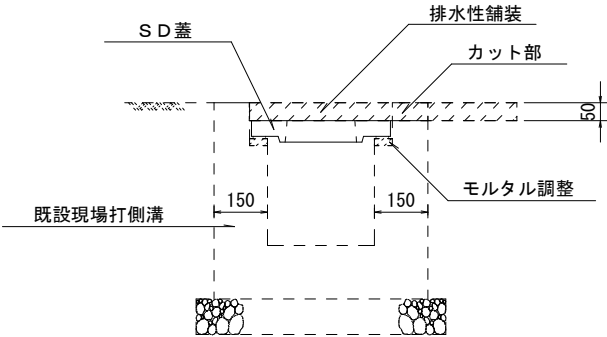
種 別	寸 法 表					材 料 表		摘 要
	a	b	t1	t2	t3	側溝蓋 (枚)		
							(kg/枚)	
300用	390	170	70	90	40	10.0	64	

10m当り

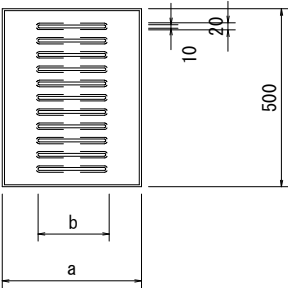
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>T-10(縦断用)</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備          考		縮 尺	1/15	名 称	プレキャストU型側溝 SD型側溝蓋 (Bタイプ)
				作 成	R6.3	記 号	SDB-(300)

SD型側溝蓋 (Cタイプ)

構造図



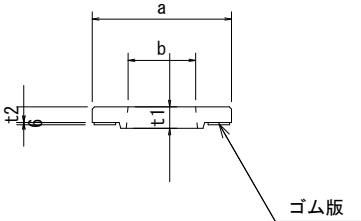
平面図 (SD蓋)



10m当り

種 別	寸 法 表				材 料 表		摘 要
	a	b	t1	t2	側 溝 蓋 (枚)	(kg/枚)	
300用	390	190	60	44	20.0	21	
	430	230	60	44		23	
400用	530	330	70	54		33	

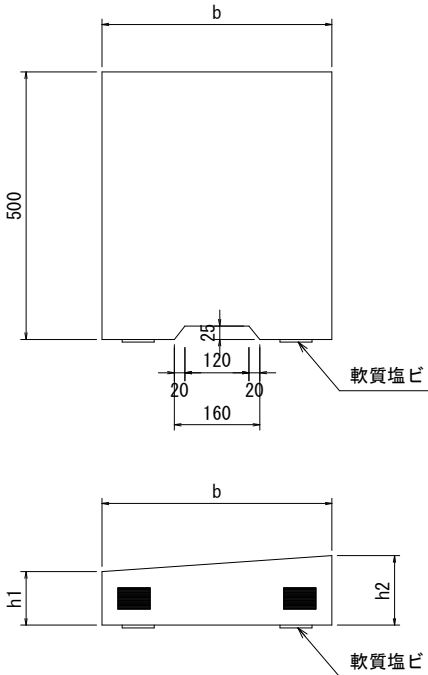
断面図 (SD蓋)



特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ T-25(縦断用)</li><li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/15	名 称	プレキャストU型側溝 SD型側溝蓋 (Cタイプ)
				作 成	R6.3	記 号	SDC-(300, 400)

騒音防止コンクリート蓋

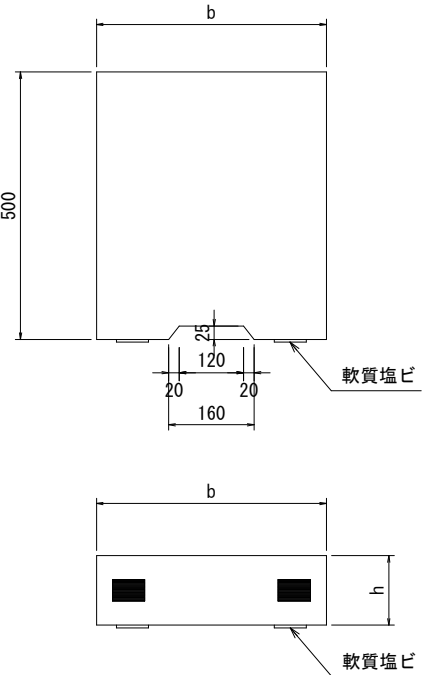
2 型



10m当り

種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要	
	b	h 1	h 2	側 溝 蓋			
				(枚)	(kg/枚)		
B-300	430	100	130	20	60		
B-400	530				75		
B-450	580				82		
B-500	630	120	150		104		
B-600	730				121		

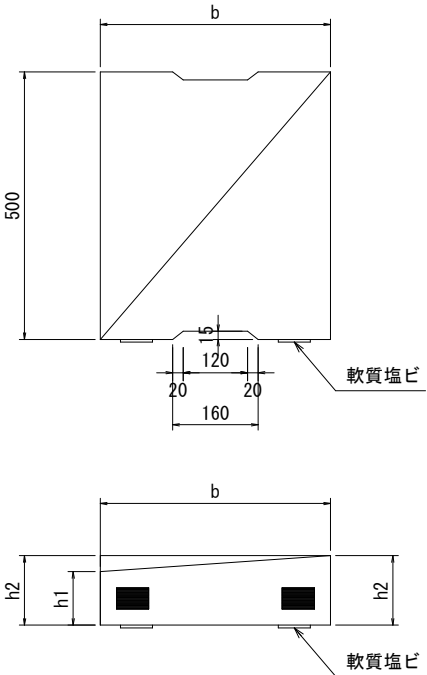
1 型



10m当り

種 別	寸 法 表		材 料 表		摘 要	
	b	h	側 溝 蓋			
			(枚)	(kg/枚)		
B-300	430	130	20	68		
B-400	530			84		
B-450	580			92		
B-500	630	150		116		
B-600	730			131		

調 整 用



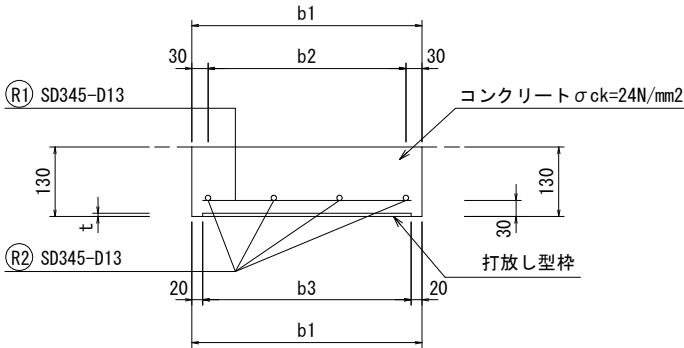
10m当り

種 別	寸 法 表			材 料 表		摘 要	
	b	h 1	h 2	側 溝 蓋			
				(枚)	(kg/枚)		
B-300	430	100	130	20	65		
B-400	530				80		
B-450	580				88		
B-500	630	120	150		110		
B-600	730				128		

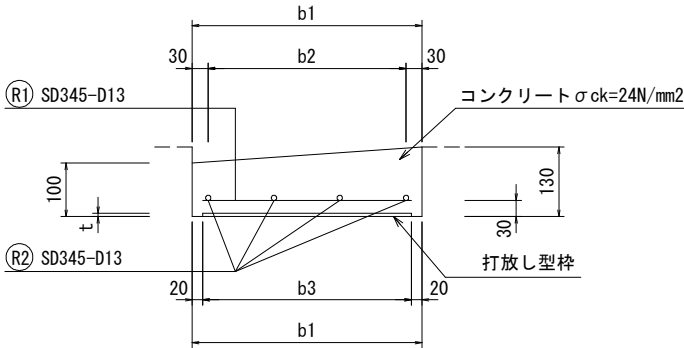
特 記 仕 様	・ 端尺部を切断しての使用は極力避けることとし、特に斜め切断は行わないこと。	備 考		縮 尺	1／10	名 称	側 溝 蓋 騒音防止コンクリート蓋
				作 成	H22. 3	記 号	FD1- (B) , FD2- (B) , FD調整用- (B)

U型側溝用場所打ち蓋（連続用）

1 型



2 型

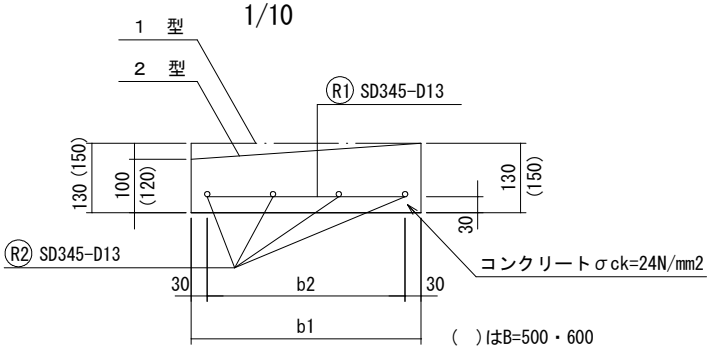
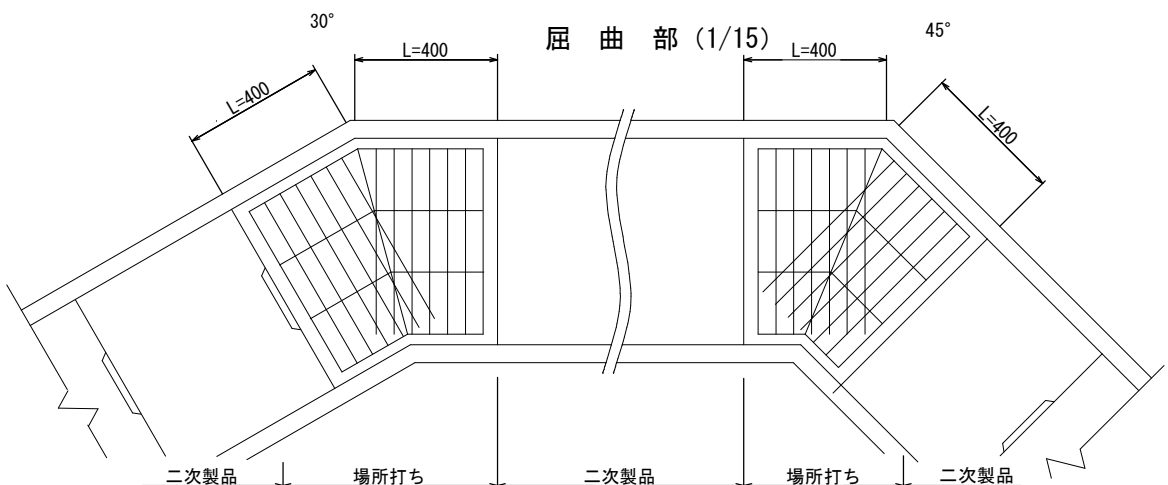
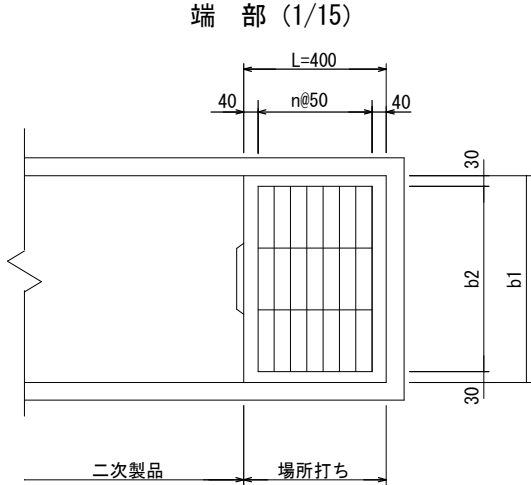


種 別		寸 法 表				材 料 表								摘 要			
		b1	b2	b3	t	コンクリート (m3)	打放し型枠 (㎡)	鉄 筋									
								単位重量 (kg/m)	Ⓐ SD345-D13			Ⓑ SD345-D13			計		
									(本)	(l)	(kg)	(本)	(l)		(kg)	(kg)	
1 型	B300	430	370	390	6	0.54	3.9	0.995	200	370	73.63	4	9920	39.48	113.11		
	B400	530	470	490	8	0.65	4.9			470	93.53	5		49.35	142.88		
2 型	B300	430	370	390	6	0.47	3.9	0.995	200	370	73.63	4	9920	39.48	113.11		
	B400	530	470	490	8	0.58	4.9			470	93.53	5		49.35	142.88		

10m当り

特 記 仕 様	・ 必要に応じて、グレーチング蓋を設けること。 ・ 車両横断箇所を使用する場合は別途検討すること。	備  考		縮 尺	1/10	名 称	側 溝 蓋 U型側溝用場所打ち蓋（連続用）
				作 成	H22. 3	記 号	F1- (B) , F2- (B) （連続用）

U型側溝用場所打ち蓋(調整用)



種 別		寸法表		材 料 表										摘 要
		b1	b2	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	鉄 筋								
						単位重量 (kg/m)	Ⓐ SD345-D13		Ⓑ SD345-D13		計			
							(本)	(l)	(kg)	(本)	(l)	(kg)	(kg)	
端 部	B-300	430	370	0.56 (0.49)	9.70 ( 9.07)	0.995	200	370	73.63	100	320	31.84	105.47	( ) は 2 型
	B-400	530	470	0.69 (0.61)	11.35(10.65)			470	93.53			39.80	133.33	
	B-450	580	520	0.75 (0.67)	12.17(11.44)			520	103.48			39.80	143.28	
	B-500	630	570	0.95 (0.85)	14.03(13.25)			570	113.43			39.80	153.23	
	B-600	730	670	1.10 (0.99)	15.78(14.93)			670	133.33			39.80	173.13	
屈曲部 (30度)	B-300	430	370	0.96 (0.85)	14.60(13.85)	0.995	375	*	138.38	100	*	60.20	198.58	( ) は 2 型
	B-400	530	470	1.13 (1.01)	16.42(15.64)			175.79	71.88			247.67		
	B-450	580	520	1.22 (1.09)	17.29(16.49)			194.47	70.21			264.68		
	B-500	630	570	1.49 (1.36)	19.36(18.54)			213.18	68.56			281.74		
	B-600	730	670	1.65 (1.51)	21.01(20.15)			250.59	65.21			315.80		
屈曲部 (45度)	B-300	430	370	0.87 (0.78)	13.51(12.86)	0.995	375	*	138.80	100	*	53.93	192.73	( ) は 2 型
	B-400	530	470	1.00 (0.90)	14.92(14.25)			176.37	62.24			238.61		
	B-450	580	520	1.06 (0.95)	15.54(14.86)			195.09	59.65			254.74		
	B-500	630	570	1.27 (1.17)	17.27(16.59)			212.32	57.09			269.41		
	B-600	730	670	1.36 (1.25)	18.29(17.59)			239.27	51.94			291.21		

特 記 仕 様

- ・ 場所打ちU型側溝及びFU型側溝の端部調整及び屈曲部に使用する。
- ・ 材料表の数量はL=400の場合であり、Lが異なる場合は別途算出すること。
- ・ 鉄筋(\*)については図集手引きを参照のこと。
- ・ 車両横断箇所や大型車両が頻繁に乗る箇所に使用する場合は別途検討すること。

備 考

縮 尺 1/15  
1/10

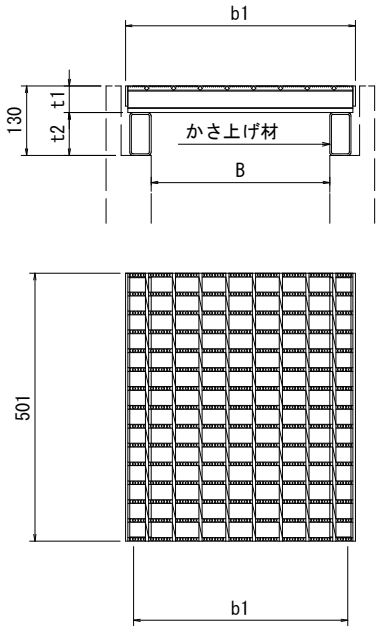
作 成 H30. 3

名 称 側 溝 蓋  
U型側溝用場所打ち蓋(調整用)

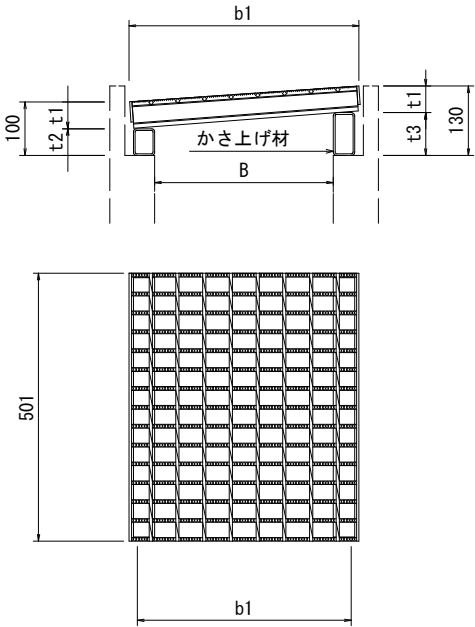
記 号 F1-(B), F2-(B) (調整用)

グレーチング蓋

1 型



2 型



10m当り

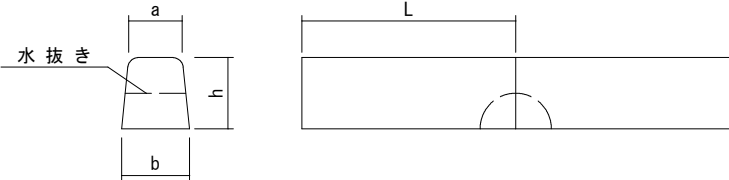
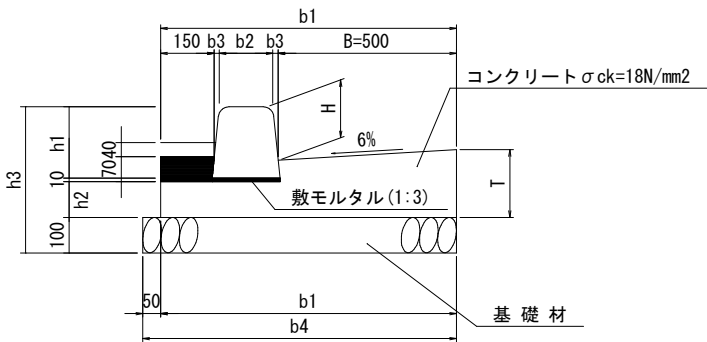
種 別	寸 法 表			材 料 表				摘 要
	b 1	t 1	t 2	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋		かさ上げ材 (m)		
				(枚)	(kg/枚)	□80×40×3.2	□70×40×3.2	
B-300	430	50	80	20	19.9	10	—	T=25t
B-400	530	60	70	20	26.2	—	10	

10m当り											
種 別	寸 法 表					材 料 表					摘 要
	b 1	b 2	t 1	t 2	t 3	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 蓋		かさ上げ材 (m)			
						(枚)	(kg/枚)	PL120(90)×4.5-2	PL110(80)×4.5-2		
B-300	430	431	50	50	80	20	19.9	10	—	T=25t	
B-400	530	531	60	40	70	20	26.2	—	10		

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>スベリ止め加工したものを使用する。</li><li>車両が通行する箇所に設置する場合、ボルト固定式を原則とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/10	名 称	側 溝 蓋 グレーチング蓋
				作 成	R6.3	記 号	GC1-(B), GC2-(B)

標準部 (B500)

標準部



種 別	寸 法 表				摘 要
	a	b	h	L	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ A	150	190	200	600	JIS A 5371
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ B	180	230	250	600	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ B(L)				2000	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ C	180	240	300	600	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ C(L)				2000	

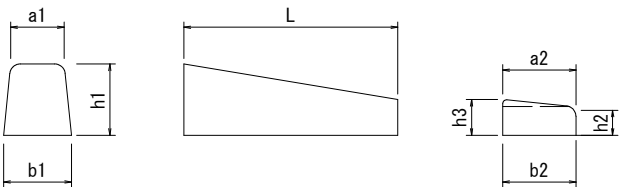
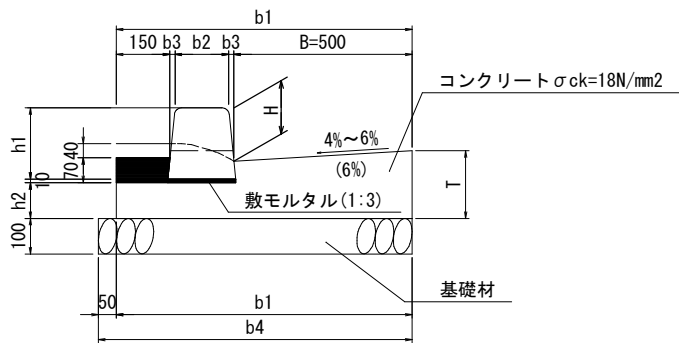
10m当り

種 別	寸 法 表									材 料 表					摘 要
	H	T	b 1	b 2	b 3	b 4	h 1	h 2	h 3	境界ﾌﾞﾛｯｸ (個)	敷モルタル (m3)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m3)	型 枠 (m2)	基 礎 材 (m3)	
H150-T190	150	190	830	150	15	880	200	100	410	16.5	0.02	1.31(1.21)	3.60(2.90)	0.88	( )は ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装用
H150-T200		200						110	420			1.39(1.29)	3.80(3.10)		
H150-T250		250						160	470			1.81(1.70)	4.80(4.10)		
H200-T190	200	190	870	180	20	920	250	100	460	16.5 または 5	0.02	1.35(1.25)	3.60(2.90)	0.92	
H200-T200		200						110	470			1.44(1.33)	3.80(3.10)		
H200-T250		250						160	520			1.87(1.77)	4.80(4.10)		
H250-T190	250	190	880		25	930	300	100	510		0.02	1.36(1.26)	3.60(2.90)	0.93	
H250-T200		200						110	520			1.45(1.34)	3.80(3.10)		
H250-T250		250						160	570			1.89(1.78)	4.80(4.10)		

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>歩道部の舗装がインターロッキング舗装の場合、<span style="background-color: black; color: black;">      </span>部のコンクリートは施工しない。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li><li>排水用の水抜き加工した緑石を5m~10m程度に1箇所設ける。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/15	名 称	L 型 側 溝 標準部 (B500)
				作 成	H22. 3	記 号	L (A) 500- (H-T)

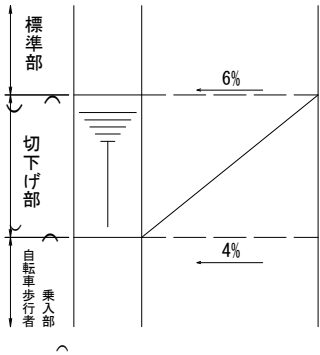
切下げ部 (B500)

切下げ部



種 別	寸 法 表								摘 要
	a 1	b 1	h 1	a 2	b 2	h 2	h 3	L	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ AS	150	190	200	205 (200)	205	80 (70)	80 (100)	600	( )は 車両乗入用
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ BS	180	230	250					600	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ CS		240	300					600	

(自転車歩行者用)



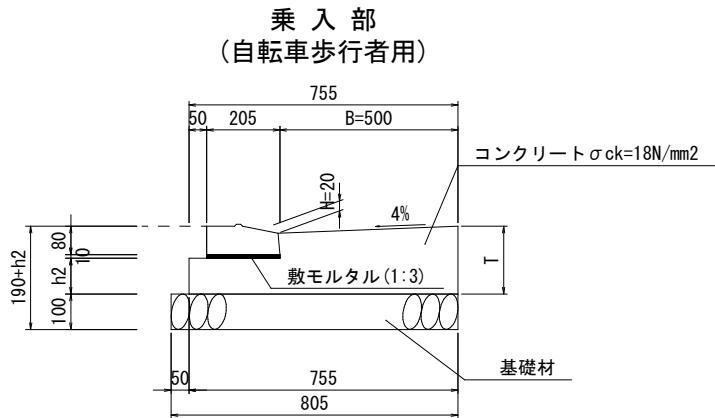
種 別	寸 法 表									材 料 表					摘 要	
	H	T	b1	b2	b3	b4	h1	h2	h3	境界ﾌﾞﾛｯｸ (個)	敷モルタル (m3)	コンクリート		型 枠 (㎡)		基 礎 材 (m3)
												自歩乗入部 (m3)	車両乗入部 (m3)			
H150-T190	20～150	190	830	150	15	880	200	100	410	10	0.011	0.79(0.73)	0.79(0.72)	2.16(1.74)	0.53	( )は インターロッキング舗装時
H150-T200		200						110	420			0.84(0.78)	0.84(0.77)	2.28(1.86)		
H150-T250		250						160	470			1.09(1.03)	1.08(1.02)	2.88(2.46)		
H200-T190	20～200	190	870	180	20	920	250	100	460	10	0.013	0.82(0.75)	0.81(0.75)	2.16(1.74)	0.55	
H200-T200		200						110	470			0.87(0.81)	0.86(0.80)	2.28(1.86)		
H200-T250		250						160	520			1.13(1.07)	1.12(1.06)	2.88(2.46)		
H250-T190	20～250	190	880	180	25	930	300	100	510	10	0.014	0.83(0.77)	0.82(0.75)	2.16(1.74)	0.56	
H250-T200		200						110	520			0.88(0.82)	0.87(0.81)	2.28(1.86)		
H250-T250		250						160	570			1.15(1.08)	1.13(1.07)	2.88(2.46)		

10箇所(6m)当り

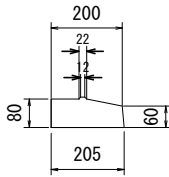
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>歩道部の舗装がインターロッキング舗装の場合、<span style="background-color: black; color: black;">      </span>部のコンクリートは施工しない。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>自転車歩行者用の乗入部に切下げる場合は、エプロン勾配が4%のため切下げ部ですりつけを行う。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/15	名 称	L 型 側 溝 切下げ部 (B500)
				作 成	H22. 3	記 号	L (B) 500- (H-T)



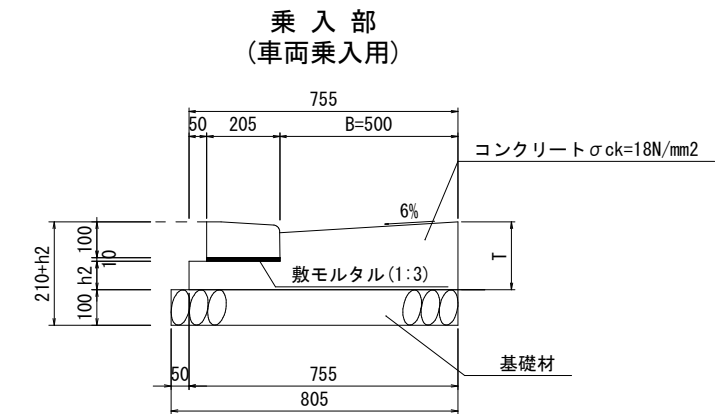
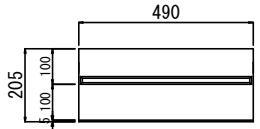
乗入部 (B500)



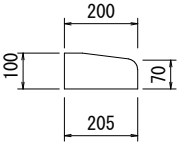
断面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



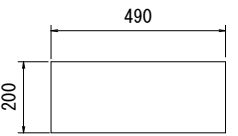
平面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



断面図  
(車両乗入用)



平面図  
(車両乗入用)



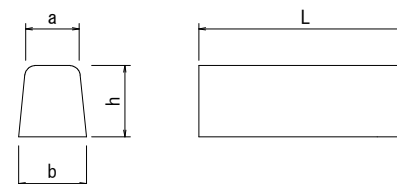
種 別	寸 法 表		材 料 表				摘 要
	T	h 2	境界アール (個)	敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	
H20-T190	190	100	20.2	0.021	1.16	2.9	0.81
H20-T200	200	110			1.23	3.1	
H20-T250	250	160			1.61	4.1	
H20-T190	190	100	20.2	0.021	1.13	2.9	0.81
H20-T200	200	110			1.21	3.1	
H20-T250	250	160			1.58	4.1	

10m当り

特 記 仕 様	・ 基礎材は指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1/15	名 称	L 型 側 溝 乗入部 (B500)
				作 成	R6.3	記 号	L (C) 500- (H-T)

## 標準部 (B400)

## 標準部



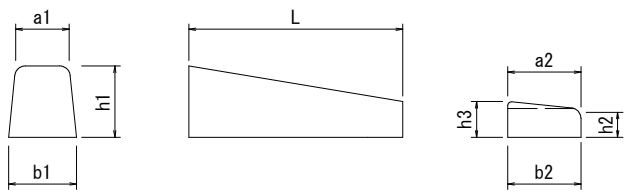
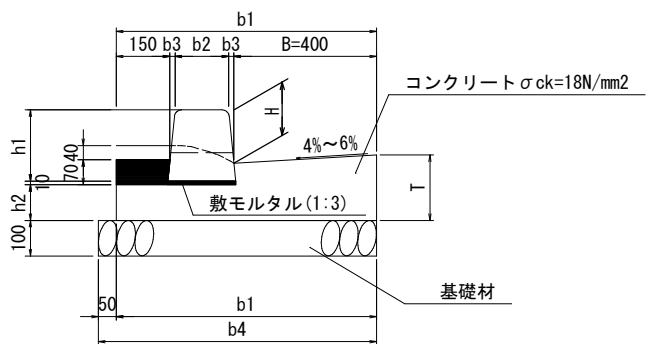
種 別	寸 法 表				摘 要
	a	b	h	L	
歩車道境界 $\gamma^{\circ} \gamma \gamma$ A	150	190	200	600	JIS A 5371
歩車道境界 $\gamma^{\circ} \gamma \gamma$ B	180	230	250	600	
歩車道境界 $\gamma^{\circ} \gamma \gamma$ B (L)				2000	
歩車道境界 $\gamma^{\circ} \gamma \gamma$ C	180	240	300	600	
歩車道境界 $\gamma^{\circ} \gamma \gamma$ C (L)				2000	

10m当り																						
種 別	寸 法 表									材 料 表					摘 要							
	H	T	b 1	b 2	b 3	b 4	h 1	h 2	h 3	境界フロック (個)	敷モルタル (㎡)	コンクリート (㎡)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (㎡)								
H150-T184	150	184	730	150	15	780	200	100	410	16.5	0.019	1.12(1.02)	3.54(2.84)	0.78	( )は インターロッキング <sup>®</sup> 舗装用							
H150-T200		200						116	426			1.24(1.13)	3.86(3.16)									
H150-T250		250						166	476			1.60(1.50)	4.86(4.16)									
H200-T184	200	184	770	20	820	250	100	460	16.5 または 5	0.023	1.16(1.06)	3.54(2.84)	0.82									
H200-T200		200					116	476			1.29(1.18)	3.86(3.16)										
H200-T250		250					166	526			1.67(1.57)	4.86(4.16)										
H250-T184		250					184	780			25	830		300		100	510	16.5 または 5	0.024	1.17(1.07)	3.54(2.84)	0.83
H250-T200							200									116	526			1.30(1.19)	3.86(3.16)	
H250-T250	250		166	576	1.69(1.58)	4.86(4.16)																

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道部の舗装がインターロッキング舗装の場合、<span style="background-color: black; color: black;">      </span>部のコンクリートは施工しない。</li> <li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> <li>・ 伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li> <li>・ 排水用の水抜き加工した縁石を5m～10m程度に1箇所設ける。</li> </ul>	備  考	縮 尺	1／15	名 称	L 型 側 溝 標準部 (B400)
			作 成	H22. 3	記 号	L (A) 400- (H-T)

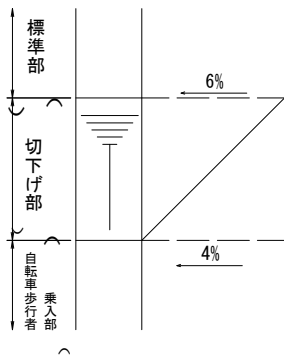
切下げ部 (B400)

切下げ部



種 別	寸 法 表								摘 要
	a 1	b 1	h 1	a 2	b 2	h 2	h 3	L	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ AS	150	190	200	205 (200)	205	80 (70)	80 (100)	600	( )は 車両乗入用
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ BS	180	230	250					600	
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ CS		240	300					600	

(自転車歩行者用)



種 別	寸 法 表									材 料 表						摘 要
	H	T	b1	b2	b3	b4	h1	h2	h3	境界ﾌﾟﾛｯｸ (個)	敷モルタル (m3)	ｺﾝｸﾘｰﾄ		型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
												自歩乗入部 (m3)	車両乗入部 (m3)			
H150-T184	20～ 150	184	730	150	15	780	200	100	410	10	0.011	0.68(0.62)	0.67(0.61)	2.12(1.70)	0.47	( )はインターロッキ ﾝｸﾞ 舗装時
H150-T200		200						116	426			0.75(0.69)	0.74(0.68)	2.32(1.90)		
H150-T250		250						166	476			0.97(0.90)	0.96(0.90)	2.92(2.50)		
H200-T184	20～ 200	184	770	180	20	820	250	100	460	10	0.014	0.70(0.64)	0.70(0.63)	2.12(1.70)	0.49	
H200-T200		200						116	476			0.78(0.71)	0.77(0.71)	2.32(1.90)		
H200-T250		250						166	526			1.01(0.94)	1.00(0.94)	2.92(2.50)		
H250-T184	20～ 250	184	780	180	25	830	300	100	510	10	0.014	0.71(0.65)	0.70(0.64)	2.12(1.70)	0.50	
H250-T200		200						116	526			0.78(0.72)	0.78(0.72)	2.32(1.90)		
H250-T250		250						166	576			1.02(0.95)	1.01(0.95)	2.92(2.50)		

10箇所(6m)当り

特  
記  
仕  
様

- 歩道部の舗装がインターロッキング舗装の場合、■部のコンクリートは施工しない。
- 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。
- 自転車歩行者用の乗入部に切下げの場合は、エプロン勾配が4%のため切下げ部ですりつけを行う。

備  
考

縮  
尺  
  
作  
成

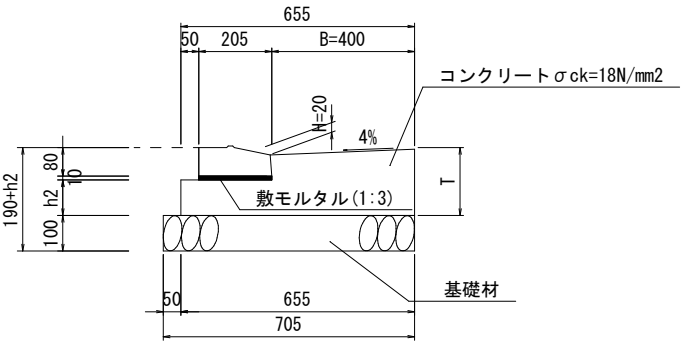
1/15  
  
H22.3

名  
称  
  
記  
号

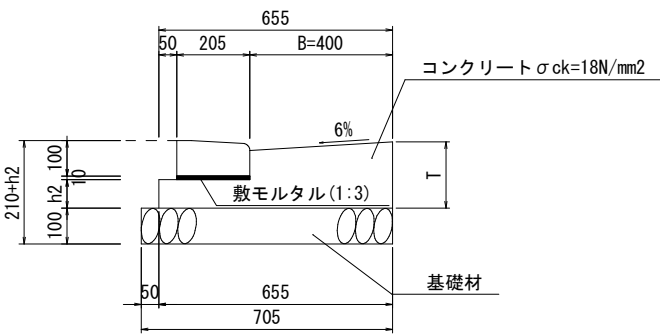
L 型 側 溝  
切下げ部 (B400)  
  
L (B) 400- (H-T)

乗入部 (B400)

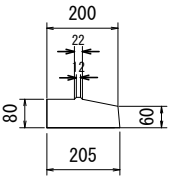
乗入部  
(自転車歩行者用)



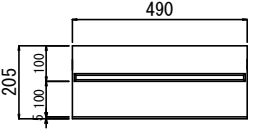
乗入部  
(車両乗入用)



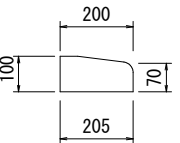
断面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



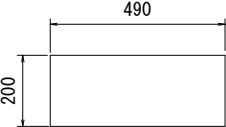
平面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



断面図  
(車両乗入用)



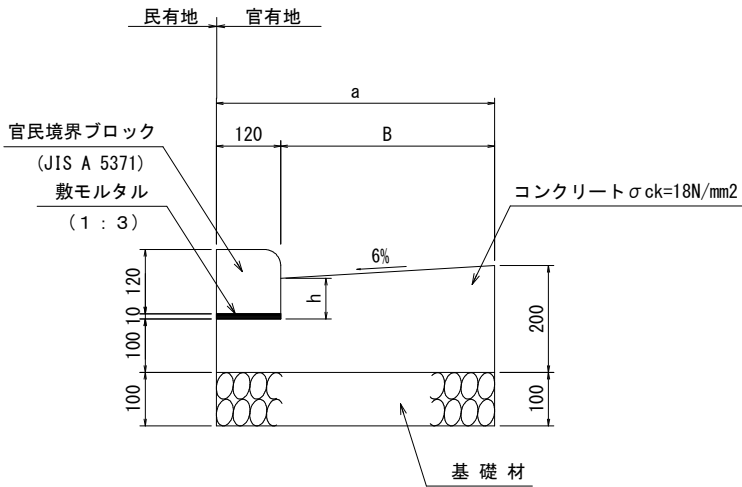
平面図  
(車両乗入用)



種 別	寸 法 表		材 料 表					摘 要
	T	h 2	境界ブロック (個)	敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
H20-T186	186	100	20.2	0.021	0.97	2.86	0.71	自転車歩行者用
H20-T200	200	114			1.06	3.14		
H20-T250	250	164			1.39	4.14		
H20-T184	184	100	20.2	0.021	0.94	2.84	0.71	車 両 乗 入 用
H20-T200	200	116			1.05	3.16		
H20-T250	250	166			1.38	4.16		

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備 考		縮 尺	1/15	名 称	L 型 側 溝 乗入部 (B400)
				作 成	R6.3	記 号	L (C) 400- (H-T)

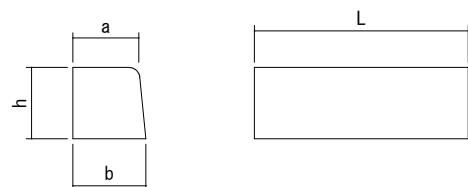
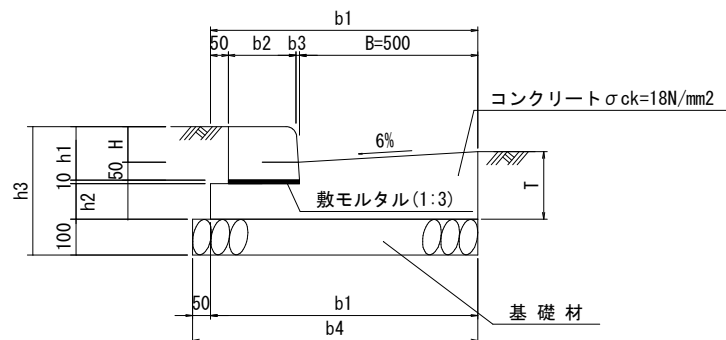
官民境界部



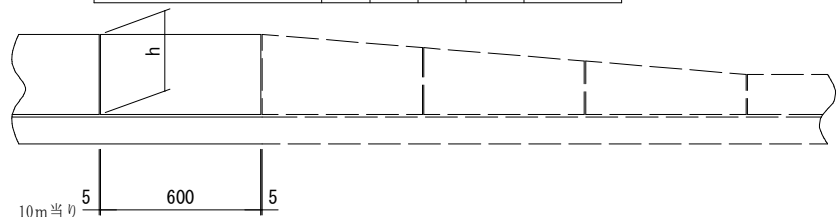
種 別	寸 法 表		材 料 表					摘 要
	a	h	官民境界ブロック (個)	敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
B-400	520	76	16.5	0.012	0.87	3.00(2.00)	0.52	( )は
B-500	620	70	16.5	0.012	1.05	3.00(2.00)	0.62	真型枠なし

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>伸縮目地(エラストイト)を、20m程度に1箇所設ける。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／10	名 称	L 型 側 溝 官民境界部
				作 成	H22. 3	記 号	LB-(B)

## 標準部



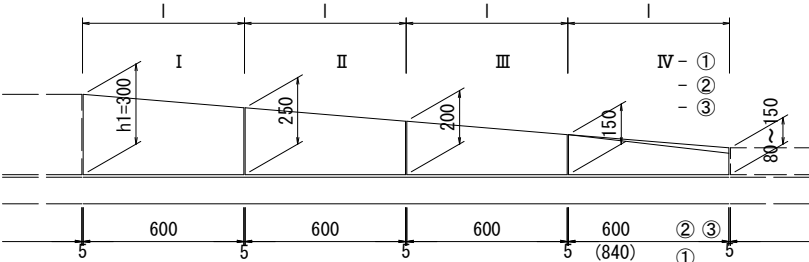
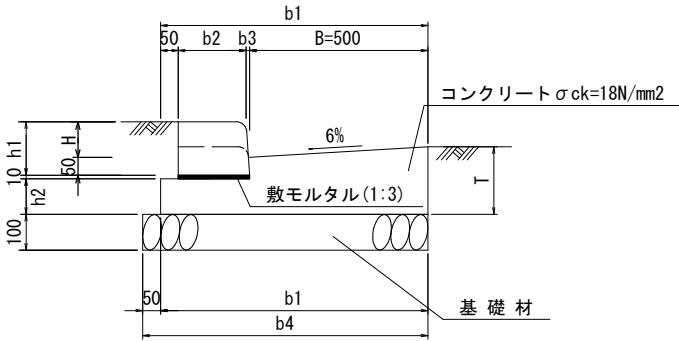
種 別	寸 法 表				摘 要
	a	b	h	L	
歩車道境界 $\Gamma^{\circ}\square\gamma\lambda$ A'	190	205	150	600	JIS A 5371
歩車道境界 $\Gamma^{\circ}\square\gamma\lambda$ A	185	205	200	600	
歩車道境界 $\Gamma^{\circ}\square\gamma\lambda$ B	180	205	250	600	
歩車道境界 $\Gamma^{\circ}\square\gamma\lambda$ B(L)				2000	
歩車道境界 $\Gamma^{\circ}\square\gamma\lambda$ C	180	210	300	600	
歩車道境界 $\Gamma^{\circ}\square\gamma\lambda$ C(L)				2000	



種 別	寸 法 表									材 料 表					摘 要
	H	T	b 1	b 2	b 3	b 4	h 1	h 2	h 3	境界ﾌﾞﾛｯｸ (個)	敷ﾓﾙﾀﾙ (㎡)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (㎡)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (㎡)	
H100-T190	100	190	750	190	10	800	150	100	360	16.5	0.021	1.13	2.90	0.8	
H100-T200		200						110	370			1.20	3.10		
H100-T250		250						160	420			1.58	4.10		
H150-T190	150	190	750	185	15	800	200	100	410	16.5	0.021	1.13	2.90	0.8	
H150-T200		200						110	420			1.20	3.10		
H150-T250		250						160	470			1.58	4.10		
H200-T190	200	190	750	180	20	800	250	100	460	16.5	0.021	1.13	2.90	0.8	
H200-T200		200						110	470			1.20	3.10		
H200-T250		250						160	520			1.58	4.10		
H250-T190	250	190	755	180	25	805	300	100	510	16.5	0.021	1.13	2.90	0.81	
H250-T200		200						110	520			1.21	3.10		
H250-T250		250						160	570			1.58	4.10		

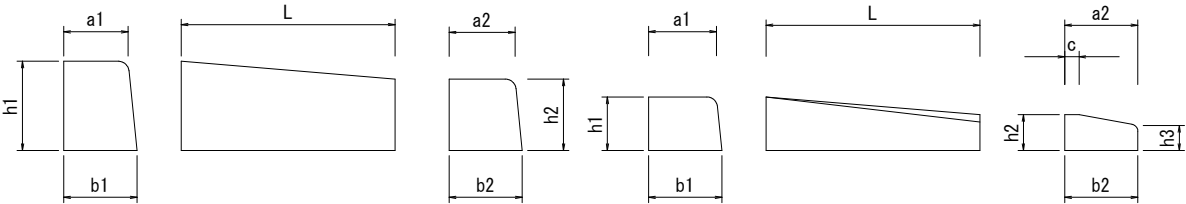
特 記  仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> <li>・ 伸縮目地(エラストイト)を20m程度に1箇所設ける。</li> </ul>	備        考		縮尺	1／15 1／20	名称	標準部（マウントアップ）
				作成	H22. 3	記号	参考図

切下げ部(マウントアップ)1/2



I ~ III

IV-①~IV-③



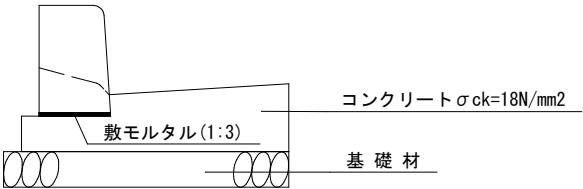
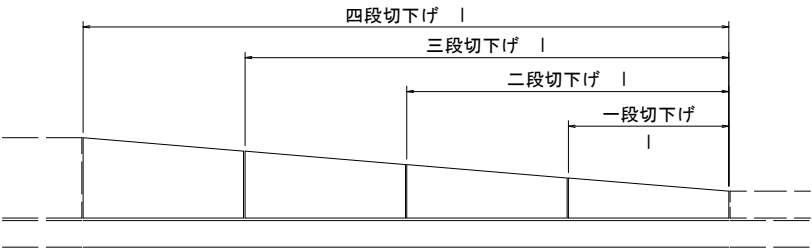
種 別	寸 法 表									摘 要
	a 1	b 1	h 1	a 2	c	b 2	h 2	h 3	L	
歩車道境界 <sup>ア</sup> Ⅰ	180	210	300	180	—	205	250	—	600	
歩車道境界 <sup>イ</sup> Ⅱ		205	250	185			200			
歩車道境界 <sup>ウ</sup> Ⅲ	185		200	190			150			
歩車道境界 <sup>エ</sup> Ⅳ-①	190	205	150	205			80		840	
歩車道境界 <sup>オ</sup> Ⅳ-②				100	70	600				
歩車道境界 <sup>カ</sup> Ⅳ-③				250			20	255	150	

種 別 (縁石)	寸 法 表									摘 要	
	H	T	b 1	b 2	b 3	b 4	h 1	h 2	l		
Ⅳ－①	100	190	750	205	0～10	800	80	100	845		
		200	～755					110			
		250	160								
Ⅳ－②		190	750	205	0～10	800	70	100	605		
		200						110			
		250						160			
Ⅳ－③		190	750	205	0～10	800	70	100	605		
		200	～800	～255				110			
		250	160								
Ⅲ		150	190	750	205	0～10	800	150	100		605
			200						110		
			250						160		
Ⅱ	200	190	750	205	0～10	800	200	100	605		
		200						110			
		250						160			
Ⅰ	250	190	750	205	0～10	800	250	100	605		
		200	～755	～210				110			
		250	160								

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1/15 1/20	名 称	切下げ部(マウントアップ)1/2
				作 成	H22. 3	記 号	参考図

切下げ部(マウントアップ)2/2

10箇所当り



10箇所当り						
種 別		材 料 表				摘 要
		敷モタル (m3)	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
縁石Ⅲ	T-190	0.012	0.68	1.75	0.48	l=605
	T-200	0.012	0.73	1.88	0.48	
	T-250	0.012	0.96	2.48	0.48	
縁石Ⅱ	T-190	0.012	0.68	1.75	0.48	
	T-200	0.012	0.73	1.88	0.48	
	T-250	0.012	0.96	2.48	0.48	
縁石Ⅰ	T-190	0.013	0.68	1.75	0.49	
	T-200	0.013	0.73	1.88	0.49	
	T-250	0.013	0.96	2.48	0.49	

10箇所当り

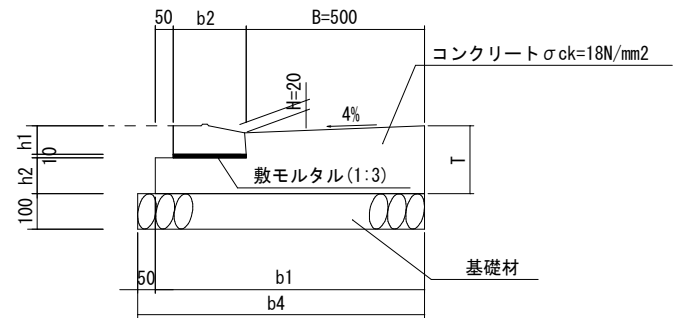
種 別		材 料 表							摘 要 (1箇所 1)			
		緑			石			敷モタル (㎡)		コンクリート (㎡)	型 枠 (㎡)	基礎材 (㎡)
		I	II	III	IV－①	IV－②	IV－③					
一段切下げ	H100-T190				1			0.017	0.95	2.45	0.68	1＝ 845
						1		0.012	0.68		0.48	1＝ 605
							1	0.014	0.70	1.75	0.50	1＝ 605
	H100-T200				1			0.017	1.02		2.62	0.68
						1		0.012	0.73	1.88		0.48
							1	0.014	0.75		0.50	1＝ 605
	H100-T250				1			0.017	1.34	3.46	0.68	1＝ 845
						1		0.012	0.96		0.48	1＝ 605
							1	0.014	0.98	2.48	0.50	1＝ 605
二段切下げ	H150-T190			1	1			0.030	1.64		4.21	1.16
				1		1		0.025	1.37	3.51		0.97
				1			1	0.026	1.38		0.98	1＝1210
	H150-T200			1	1			0.030	1.75	4.50	1.16	1＝1450
				1		1		0.025	1.46		3.75	0.97
				1			1	0.026	1.48	0.98		1＝1210
	H150-T250			1	1			0.030	2.30	5.95	1.16	1＝1450
				1		1		0.025	1.92		4.96	0.97
				1			1	0.026	1.94	0.98		1＝1210
三段切下げ	H200-T190		1	1	1			0.042	2.32	5.96	1.65	1＝2055
			1	1		1		0.037	2.05		5.26	1.45
			1	1			1	0.039	2.07	1.47		1＝1815
	H200-T200		1	1	1			0.042	2.48	6.37	1.65	1＝2055
			1	1		1		0.037	2.19		5.63	1.45
			1	1			1	0.039	2.20	1.47		1＝1815
	H200-T250		1	1	1			0.042	3.25	8.43	1.65	1＝2055
			1	1		1		0.037	2.87		7.44	1.45
			1	1			1	0.039	2.90	1.47		1＝1815
四段切下げ	H250-T190	1	1	1	1			0.055	3.01	7.71	2.13	1＝2660
		1	1	1		1		0.050	2.73		7.02	1.94
		1	1	1			1	0.051	2.75	1.95		1＝2420
	H250-T200	1	1	1	1			0.055	3.21	8.25	2.13	1＝2660
		1	1	1		1		0.050	2.92		7.50	1.94
		1	1	1			1	0.051	2.93	1.95		1＝2420
	H250-T250	1	1	1	1			0.055	4.21	10.91	2.13	1＝2660
		1	1	1		1		0.050	3.83		9.92	1.94
		1	1	1			1	0.051	3.86	1.95		1＝2420

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1／15	名 称	切下げ部(マウントアップ)2/2
				作 成	H22. 3	記 号	参考図

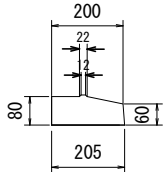


乗入部(マウントアップ)

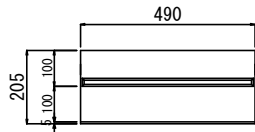
乗入部  
(自転車歩行者用)



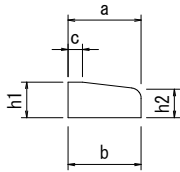
断面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



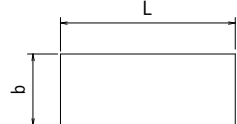
平面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



断面図  
(車両乗入用)

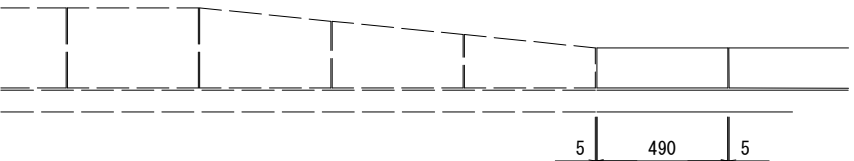
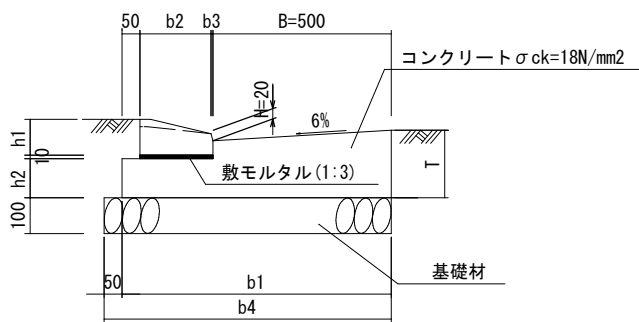


平面図  
(車両乗入用)



種 別	寸 法 表						摘 要
	a	b	h 1	h 2	L	C	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ E	200	205	100	70	490	40	
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ F	250	255	150			20	

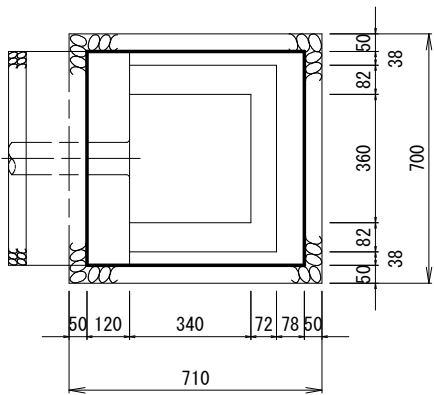
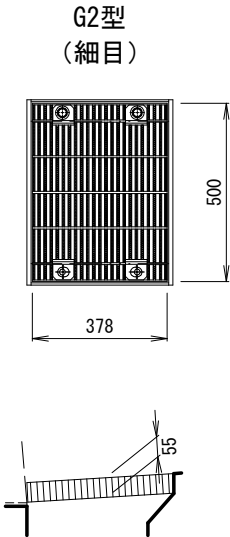
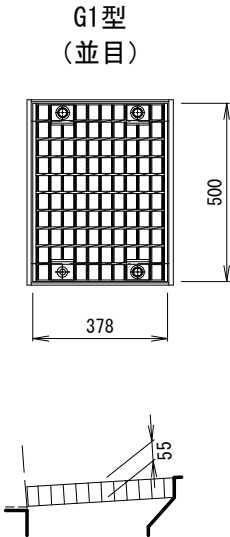
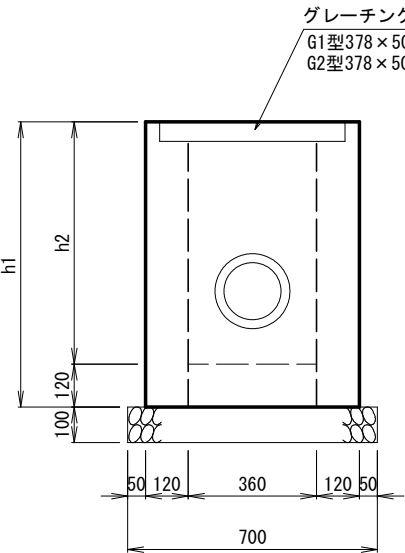
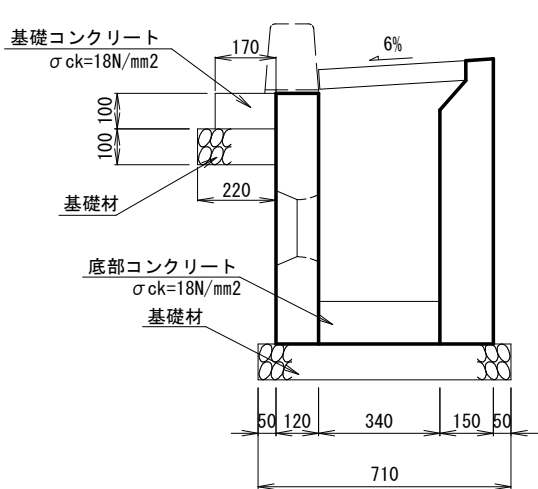
乗入部  
(車両乗入用)



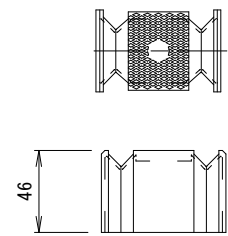
種 別	寸 法 表								材 料 表					摘 要
	H	T	b 1	b 2	b 3	b 4	h 1	h 2	境界ﾌﾞﾛｯｸ (個)	敷モルタル (m3)	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
H20-T190	20	190	755	205	—	805	80	100	20.2	0.021	1.16	2.90	0.81	境界ﾌﾞﾛｯｸD
H20-T200		200						110			1.23	3.10		
H20-T250		250						160			1.61	4.10		
H20-T190	20	190	755	200	5	805	100	100	20.2	0.021	1.13	2.90	0.81	境界ﾌﾞﾛｯｸE
H20-T200		200						110			1.21	3.10		
H20-T250		250						160			1.58	4.10		
H20-T190	20	190	805	250	5	855	150	100	20.2	0.026	1.18	2.90	0.86	境界ﾌﾞﾛｯｸF
H20-T200		200						110			1.26	3.10		
H20-T250		250						160			1.66	4.10		

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備 考		縮 尺	1／15	名 称	乗入部(マウントアップ)
				作 成	R6.3	記 号	参考図

MA1・2型(G1)・(G2)雨水樹



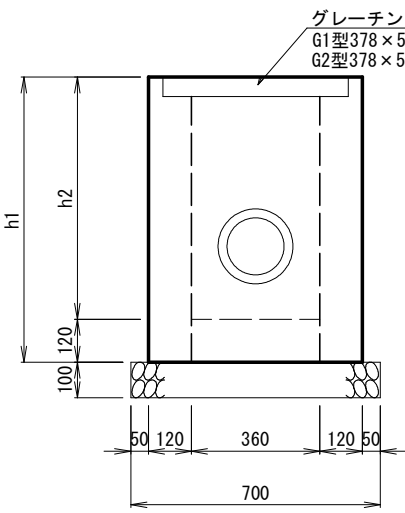
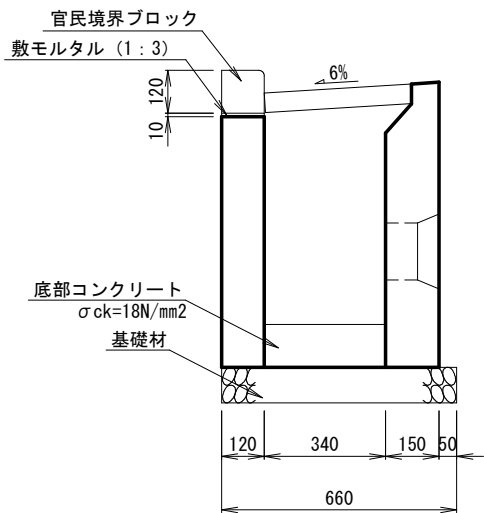
保護キャップ  $s = 1 : 3$



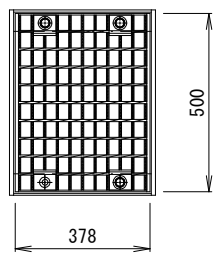
10箇所当り									
種 別	寸法表		材 料 表						摘 要
	h 1	h 2	軀 体		底部コンクリート	基礎コンクリート	基礎型枠	基礎材	
			(個)	(kg/個)	(m3)	(m3)	(m2)	(m3)	
MA1 (G1)	600	480	10	273	0.15	0.1	0.6	0.63	
MA1 (G2)									
MA2 (G1)	800	680	10	390	0.15	0.1	0.6	0.63	
MA2 (G2)									

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>グレーチング蓋はスベリ止め加工したものを使用する。</li><li>グレーチング・受枠の仕上は溶融亜鉛メッキとする。</li><li>G2 (細目) は保護キャップを設けること</li></ul>	備 考		縮 尺	1/15	名 称	L型用雨水樹 MA1・2型(G1)・(G2)雨水樹
				作 成	R6.3	記 号	MA1, 2 (G1, G2)

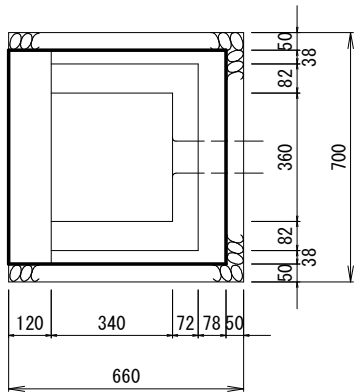
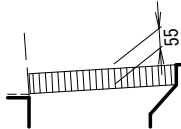
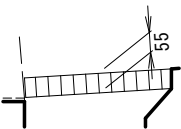
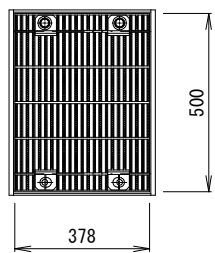
MB1・2型(G1)・(G2)雨水樹



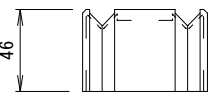
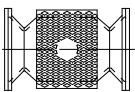
G1型  
(並目)



G2型  
(細目)



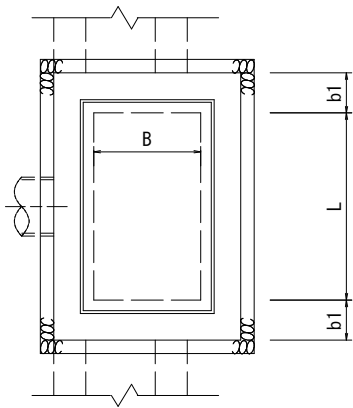
保護キャップ s = 1 : 3



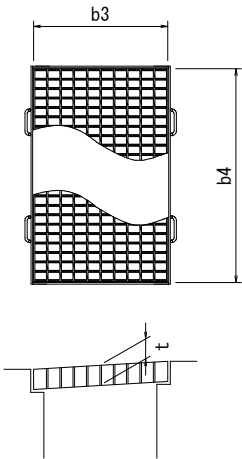
									10箇所当り
種 別	寸法表		材 料 表						摘 要
	h 1	h 2	軀 体		縁 石	敷モルタル	底部コンクリート	基礎材	
			(個)	(kg/個)	(個)	(m3)	(m3)	(m3)	
MB1 (G1)	600	480	10	273	10	0.0	0.15	0.46	縁石 JIS5307
MB1 (G2)									
MB2 (G1)	800	680	10	390	10	0.0	0.15	0.46	
MB2 (G2)									

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>グレーチング蓋はスベリ止め加工したものを使用する。</li><li>グレーチング・受枠の仕上は溶融亜鉛メッキとする。</li><li>G2(細目)は保護キャップを設けること</li></ul>	備 考		縮 尺	1/15	名 称	L型用雨水樹 MB1・2型(G1)・(G2)雨水樹
				作 成	R6.3	記 号	MB1, 2 (G1, G2)

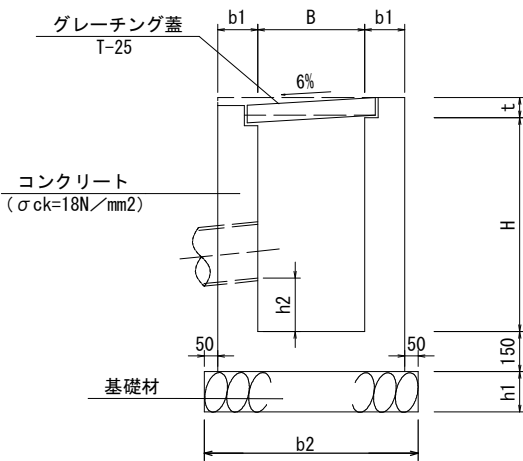
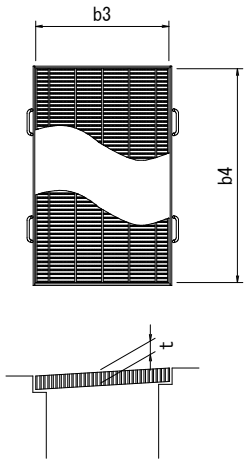
街 渠 柵 (車道用)



G 1 型  
(一 般)



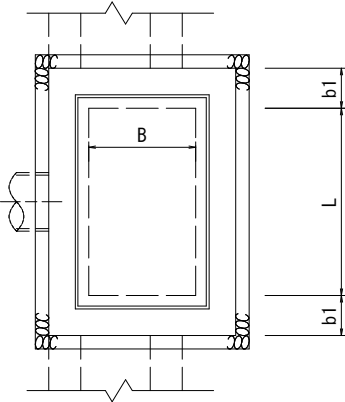
G 2 型  
(細 目)



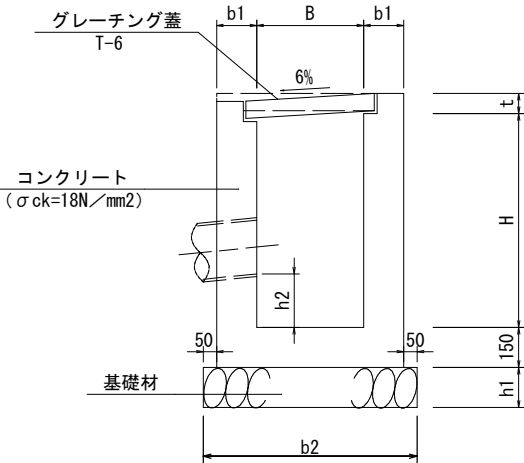
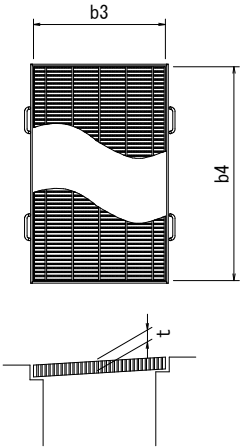
10箇所当り														
種 別 (B×L×H)	寸 法 表					材 料 表								摘 要
	b1	b2	h1	h2	クレーチンク <sup>※</sup> b3×b4×t	コンクリート(m3)		型 枠(m <sup>2</sup> )		基礎材(m3)		クレーチンク <sup>※</sup> 蓋		
						G1型	G2型	G1型	G2型	一般部	境界部	(枚)	(kg/枚)	
300×700× 700	150	700 (650)	150	200	G1型 395×800×75	3.77	3.69	45.83 (36.83)	45.01 (36.27)	1.16	1.07	10	G1型 47.9	( )は 裏型枠なし
300×700× 900					G2型 407×800×50	4.55	4.47	56.23 (45.23)	55.41 (44.67)				G2型 59.9	
400×700× 800		800 (750)			G1型 501×800×75	4.54	4.47	54.74 (44.80)	53.89 (44.20)	1.32	1.24	10	G1型 57.2	
400×700×1000					G2型 498×800×50	5.38	5.31	65.94 (54.00)	65.09 (53.40)				G2型 70.7	
500×700× 900		900 (850)			G1型 607×800×75 G2型 304×800×50×2	5.37	5.29	64.42 (53.55)	63.51 (52.90)	1.49	1.40	10	G1型 66.5	
500×700×1100		200				1000 (950)	200	200	8.75				8.63	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>盗難防止用金具及び騒音抑止金具を設置すること。</li><li>コンクリート・型枠数量は、流入・流出のための側溝類、パイプ類による減少量は考慮していない。</li><li>グレーチング蓋はボルト固定式を原則とし、スベリ止め加工したものを使用する。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／20	名 称	街 渠 柵 (車道用)
				作 成	H30. 3	記 号	MC (G1, G2) – (B×L×H)

街 渠 柵 (歩道用)



G 2 型  
(細 目)



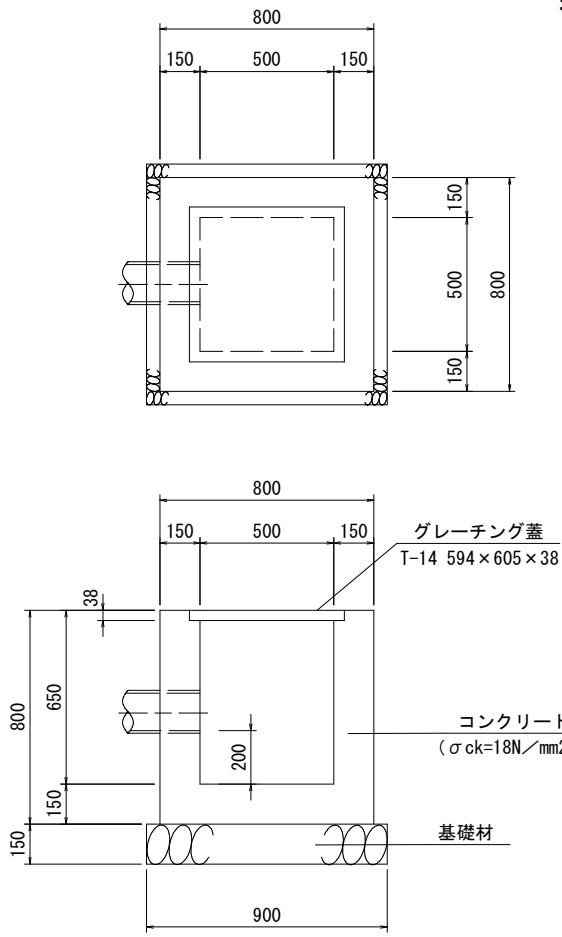
10箇所当り												
種 別 (B×L×H)	寸 法 表				材 料 表						摘 要	
	b1	b2	h1	h2	グレーチング <sup>※</sup> b3×b4×t	コンクリート(㎡3)	型 枠(㎡)	基礎材(㎡3)		グレーチング <sup>※</sup> 蓋		
					G2型	G2型	一般部	境界部	(枚)	(kg/枚)		
300×700× 700	150	700	150	200	G2型	3.67	44.84(36.15)	1.16	1.07	10	54.1	( )は 裏型枠なし
300×700× 900		(650)			393×800×44	4.45	55.24(44.55)					
400×700× 800		800			G2型	4.46	53.69(44.06)	1.32	1.24	10	65.5	
400×700×1000		(750)			494×800×44	5.30	64.89(53.26)					
500×700× 900		900 (850)			594×800×44	5.29	63.33(52.76)	1.49	1.40	10	76.8	
500×700×1100	200	1000 (950)	200	200		8.61	80.43(66.60)	2.40	2.28			

10箇所当り

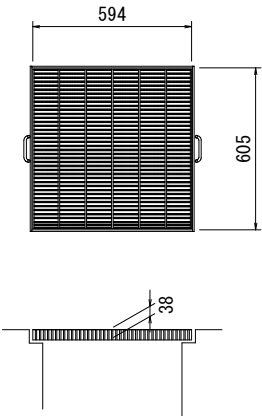
( )は  
裏型枠なし

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>コンクリート・型枠数量は、流入・流出のための側溝類、パイプ類による減少量は考慮していない。</li><li>盗難防止用金具及び騒音抑止金具を設置すること。</li><li>グレーチング蓋はスベリ止め加工したものを使用する。</li><li>車両が通行する箇所に設置する場合、ボルト固定式を原則とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/20	名 称	街 渠 柵 (歩道用)
				作 成	R6.3	記 号	MD (G2) - (B×L×H)

集水枳



グレーチング蓋  
(細目)

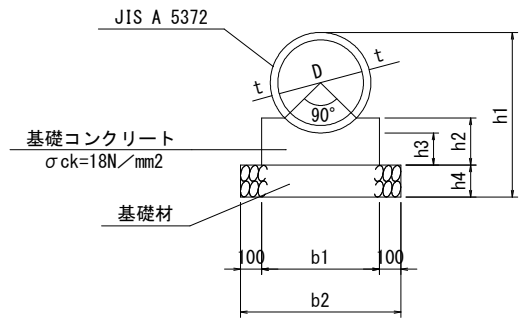


種 別 (B×L×H)	材 料 表					摘 要
	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	グ レー チ ン グ 蓋		
				(枚)	(kg/枚)	
500×500×650	3.43	40.72	1.22	10	52.7	

10箇所当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>盗難防止用具及び騒音抑止金具を設置すること。</li><li>グレーチング蓋はスベリ止め加工したものを使用する。</li><li>車両が通行する箇所に設置する場合、ボルト固定式を原則とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／20	名 称	集 水 枳
				作 成	R6.3	記 号	ME-500×500×650

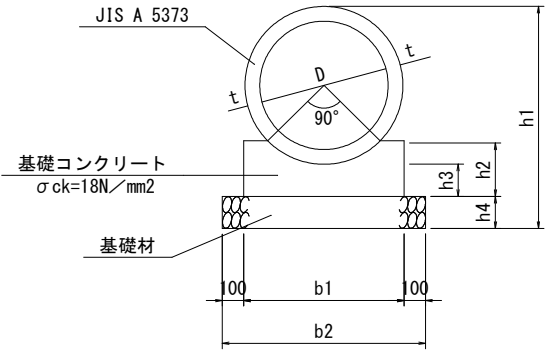
ヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管） 90° 基礎



種 別	寸 法 表								材 料 表				摘 要
	D	t	b 1	b 2	h 1	h 2	h 3	h 4	管 本 数 (本)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
P1 (RC) φ 200	200	27	400	600	504	140	100	150	5.0	0.51	2.80	0.90	JIS A 5372 遠心力鉄筋 コンクリート管使用
P1 (RC) φ 250	250	28	450	650	556	150	100	150	5.0	0.61	3.00	0.98	
P1 (RC) φ 300	300	30	500	700	610	160	100	150	5.0	0.71	3.20	1.05	
P1 (RC) φ 350	350	32	550	750	664	170	100	150	5.0	0.81	3.40	1.13	
P1 (RC) φ 400	400	35	550	750	770	220	150	150	4.1	1.05	4.40	1.13	
P1 (RC) φ 450	450	38	600	800	826	230	150	150	4.1	1.18	4.60	1.20	
P1 (RC) φ 500	500	42	650	850	884	240	150	150	4.1	1.32	4.80	1.28	
P1 (RC) φ 600	600	50	750	950	1000	260	150	150	4.1	1.60	5.20	1.43	
P1 (RC) φ 700	700	58	850	1050	1166	320	200	150	4.1	2.25	6.40	1.58	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 使用管種はJIS A5372遠心力鉄筋コンクリート管外圧管第1種を標準とする。</li><li>・ 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200～350の場合を2000mm、D400～1800の場合を2430mmとしている。</li><li>・ 継手形式は、別途考慮すること。</li><li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／25	名 称	管渠工 遠心力鉄筋コンクリート管90° 基礎
				作 成	H30. 3	記 号	HPP90° – (D)

プレストレストコンクリート管90° 基礎

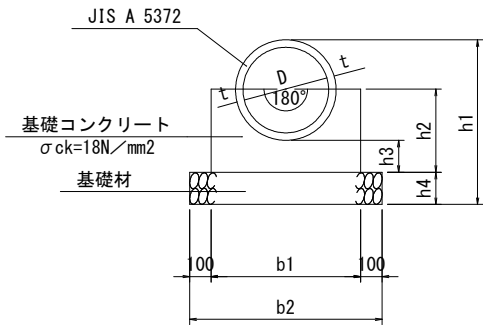


種 別	寸 法 表								材 料 表				摘 要
	D	t	b 1	b 2	h 1	h 2	h 3	h 4	管 本 数 (本)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
P1(PC) φ 500	500	65	650	850	930	250	150	150	2.5	1.34	5.00	1.28	JIS A 5373
P1(PC) φ 600	600	69	750	950	1038	260	150	150	2.5	1.56	5.20	1.43	
P1(PC) φ 700	700	71	850	1050	1192	330	200	150	2.5	2.30	6.60	1.58	

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1／25	名 称	管渠工 プレストレストコンクリート管90° 基礎
				作 成	H22. 3	記 号	HPPC90° - (D)



ヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管） 180° 基礎



種 別	寸 法 表								材 料 表				摘 要
	D	t	b 1	b 2	h 1	h 2	h 3	h 4	管 本 数 (本)	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基 礎 材 (m <sup>3</sup> )	
P2(RC) φ200	200	27	500	700	504	230	100	150	5.0	0.90	4.60	1.05	JIS A 5372 遠心力鉄筋 コンクリート管使用
P2(RC) φ250	250	28	550	750	556	260	100	150	5.0	1.06	5.20	1.13	
P2(RC) φ300	300	30	600	800	610	280	100	150	5.0	1.17	5.60	1.20	
P2(RC) φ350	350	32	650	850	664	310	100	150	5.0	1.34	6.20	1.28	
P2(RC) φ400	400	35	700	900	770	390	150	150	4.1	1.86	7.80	1.35	
P2(RC) φ450	450	38	750	950	826	420	150	150	4.1	2.06	8.40	1.43	
P2(RC) φ500	500	42	800	1000	884	450	150	150	4.1	2.26	9.00	1.50	
P2(RC) φ600	600	50	900	1100	1000	500	150	150	4.1	2.58	10.00	1.65	
P2(RC) φ700	700	58	1050	1250	1166	610	200	150	4.1	3.79	12.20	1.88	

特記仕様

- ・ 使用管種はJIS A5372:遠心力鉄筋コンクリート管外圧管第1種を標準とする。
- ・ 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200～350の場合を2000mm、D400～1800の場合を2430mmとしている。
- ・ 継手形式は、別途考慮すること。
- ・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。

備考

縮尺	作成
----	----

1/25

名称	記号
...	...

管渠工  
遠心力鉄筋コンクリート管180°基礎

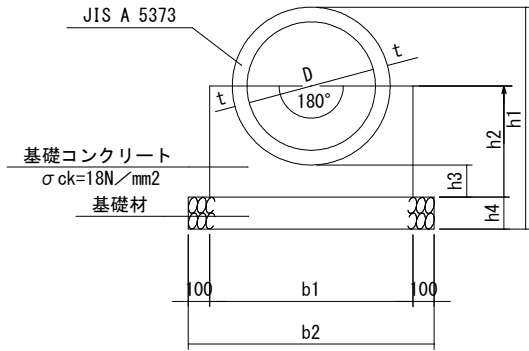
作成

H30. 3
--------

記号

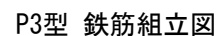
HPP180° – (D)

プレストレストコンクリート管180° 基礎



種 別	寸 法 表								材 料 表				摘 要
	D	t	b 1	b 2	h 1	h 2	h 3	h 4	管 本 数 (本)	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基 礎 材 (m <sup>3</sup> )	
P2 (PC) φ 500	500	65	850	1050	930	470	150	150	2.5	2.44	9.40	1.58	JIS A 5373
P2 (PC) φ 600	600	69	950	1150	1038	520	150	150	2.5	2.80	10.40	1.73	
P2 (PC) φ 700	700	71	1050	1250	1192	630	200	150	2.5	3.83	12.60	1.88	

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1／25	名 称	管渠工 プレストレストコンクリート管180° 基礎
				作 成	H22. 3	記 号	HPPC180° - (D)

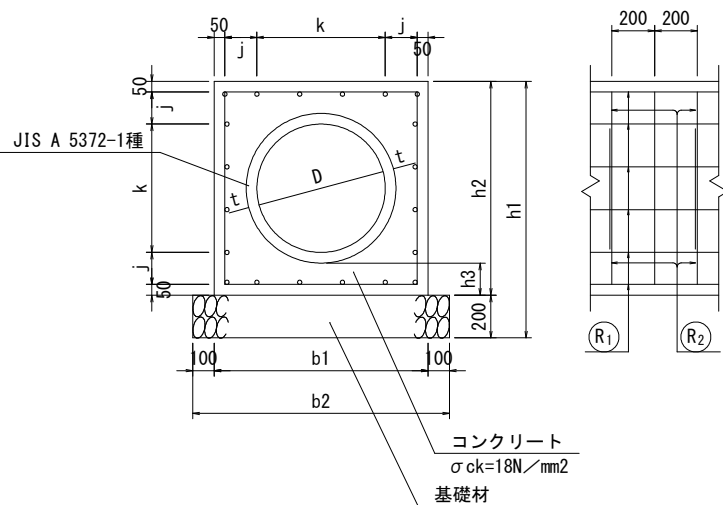
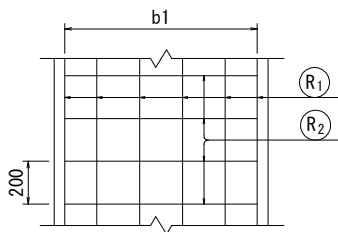


10m当り														
種 別	寸 法 表									材 料 表				摘 要
	D	t	b 1	b 2	h 1	h 2	h 3	j	K	管 本 数 (本)	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎 材 (m <sup>3</sup> )	
P3(RC) φ 200	200	27	460	660	610	460	100	—	360(=2×180)	5.0	1.61	9.20	0.99	JIS A 5372
P3(RC) φ 250	250	28	520	720	670	520	100	—	420(=2×210)	5.0	1.97	10.40	1.08	遠心力鉄筋コン
P3(RC) φ 300	300	30	560	760	710	560	100	—	460(=2×230)	5.0	2.12	11.20	1.14	クリート管(1種)
P3(RC) φ 350	350	32	620	820	770	620	100	160	200	5.0	2.50	12.40	1.23	を使用
P3(RC) φ 400	400	35	780	980	930	780	150	140	400(=2×200)	4.1	4.35	15.60	1.47	
P3(RC) φ 450	450	38	840	1040	990	840	150	170	400(=2×200)	4.1	4.88	16.80	1.56	
P3(RC) φ 500	500	42	900	1100	1050	900	150	—	800(=4×200)	4.1	5.42	18.00	1.65	

種 別	鉄筋表															
	縦方向鉄筋 ㊟ (1m当り)SD345				横方向鉄筋 ㊟ (1m当り)SD345					横方向鉄筋 ㊟ (1m当り)SD345					鉄筋総重量 (kg)	
	鉄筋径	本数	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋径	本数	1本当り 長さ(mm)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋径	本数	1本当り 長さ(mm)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)		形 状
P3(RC) ϕ 200	D13	6	0.995	5.97	D13	5	360	0.995	1.79	D13	5	1,240	0.995	6.17		13.93
P3(RC) ϕ 250	D13	6	0.995	5.97	D13	5	420	0.995	2.09	D13	5	1,360	0.995	6.77		14.83
P3(RC) ϕ 300	D13	6	0.995	5.97	D13	5	460	0.995	2.29	D13	5	1,440	0.995	7.16		15.42
P3(RC) ϕ 350	D13	8	0.995	7.96	D13	5	520	0.995	2.59	D13	5	1,560	0.995	7.76		18.31
P3(RC) ϕ 400	D13	10	0.995	9.95	D13	5	680	0.995	3.38	D13	5	1,880	0.995	9.35		22.68
P3(RC) ϕ 450	D13	10	0.995	9.95	D13	5	740	0.995	3.68	D13	5	2,000	0.995	9.95		23.58
P3(RC) ϕ 500	D16	10	1.560	15.60	D13	5	800	0.995	3.98	D13	5	2,120	0.995	10.55		30.13

特 記 仕 様	・ 使用管種はJIS A5372遠心力鉄筋コンクリート管外圧管第1種を標準とする。	備  考	縮尺	1／25	名 称	管渠工 遠心力鉄筋コンクリート管360°基礎(1)
	・ 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200～350の場合を2000mm、 D400～1800の場合を2430mmとしている。		作成	H30.3	記 号	HPP360°-(D)
	・ 継手形式は、別途考慮すること。					
	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。					

ヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管）360°基礎(2)

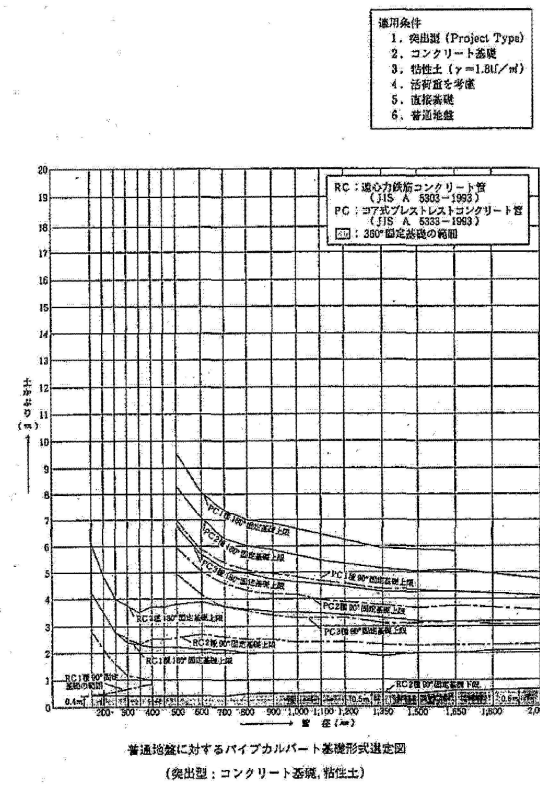
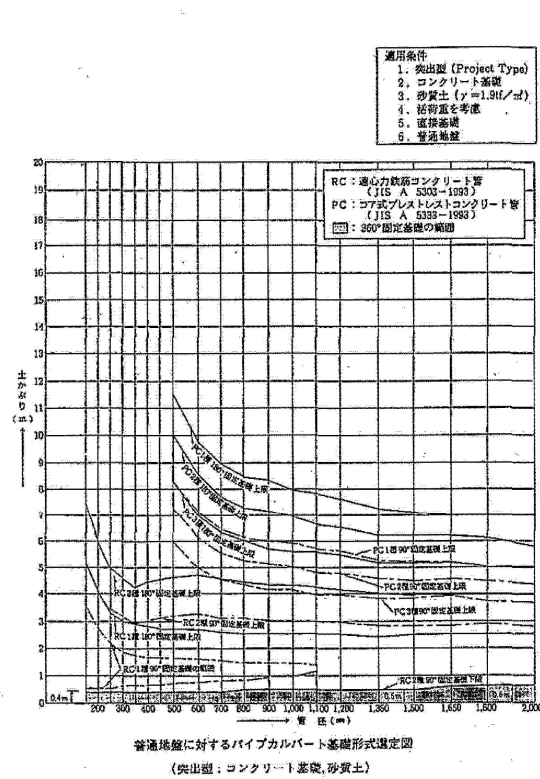


10m当り														
種 別	寸 法 表									材 料 表				摘 要
	D	t	b 1	b 2	h 1	h 2	h 3	j	k	管 本 数 (本)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
P4(RC) φ 600	600	50	1000	1200	1200	1000	150	150	600(=3×200)	4.1	6.15	20.00	2.40	
P4(RC) φ 700	700	58	1220	1420	1420	1220	200	160	800(=4×200)	4.1	9.66	24.40	2.84	

種 別	鉄筋表										摘 要	
	縦方向鉄筋 ① (1m当り)SD345				横方向鉄筋 ② (1m当り)SD345					鉄筋総重量 (kg)		
	鉄筋径	本 数	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	鉄筋径	本 数	1本当り 長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)			形 状
P4(RC) φ 600	D13	20	0.995	19.90	D13	10	2,320	0.995	23.08		42.98	
P4(RC) φ 700	D13	24	0.995	23.88	D13	10	2,760	0.995	27.46		51.34	

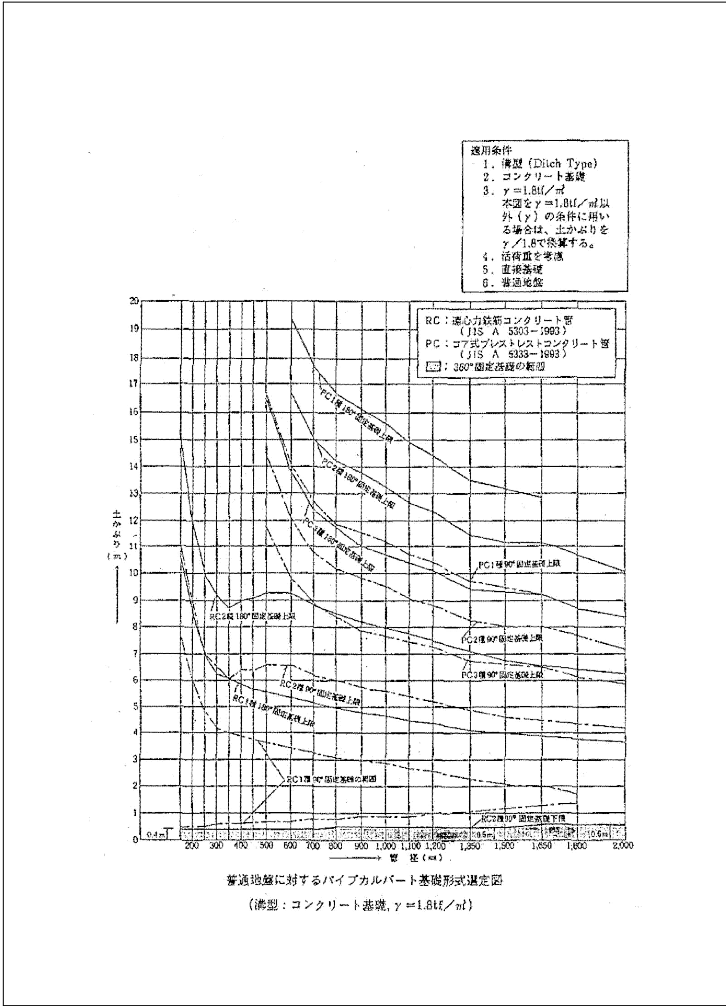
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用管種はJIS A5372遠心力鉄筋コンクリート管外圧管第1種を標準とする。</li> <li>・ 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200～350の場合を2000mm、 D400～1800の場合を2430mmとしている。</li> <li>・ 継手形式は、別途考慮すること。</li> <li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> </ul>	備     考	縮尺	1／25	名称	管渠工 遠心力鉄筋コンクリート管360° 基礎(2)
			作成	H30. 3	記号	HPP360° - (D)

管渠工基礎形式選定図(1) 参考



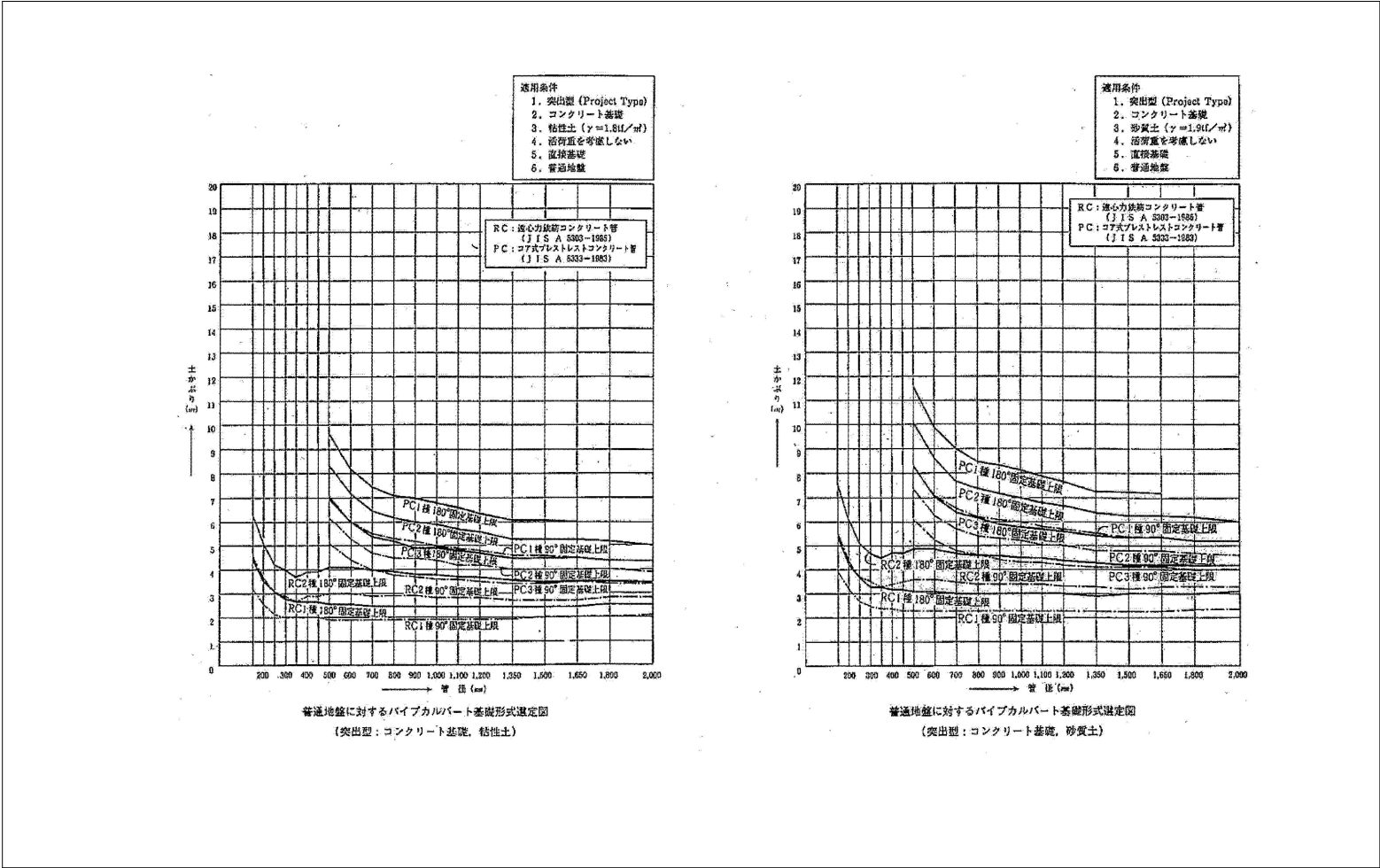
特 記 仕 様		備 考	縮 尺	—	名 称	管渠工 管渠工基礎形式選定図(1)
			作 成	H22. 3	記 号	参 考

管渠工基礎形式選定図(2) 参考



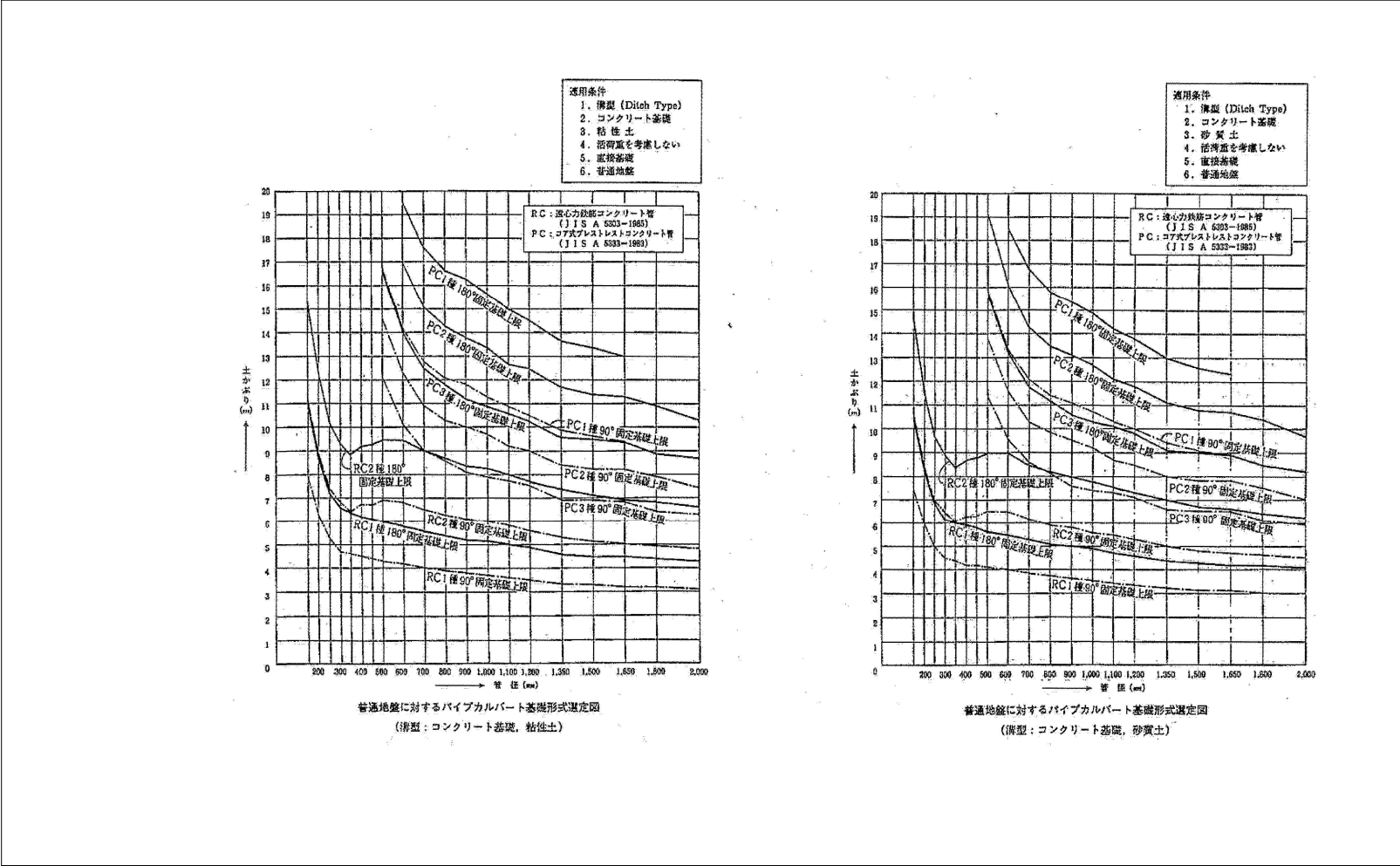
特 記 仕 様		備 考		縮 尺	—	名 称	管渠工 管渠工基礎形式選定図(2)
				作 成	H22. 3	記 号	参 考

管渠工基礎形式選定図(3) 参考



特 記 仕 様		備  考		縮 尺	—	名 称	管渠工 管渠工基礎形式選定図(3)
				作 成	H22.3	記 号	参 考

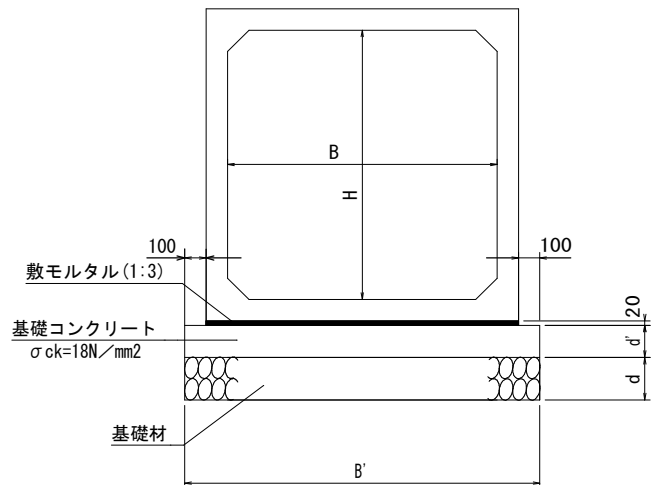
管渠工基礎形式選定図(4) 参考



特 記 仕 様		備 考	縮 尺	—	名 称	管渠工 管渠工基礎形式選定図(4)
			作 成	H22.3	記 号	参 考



## R C 型

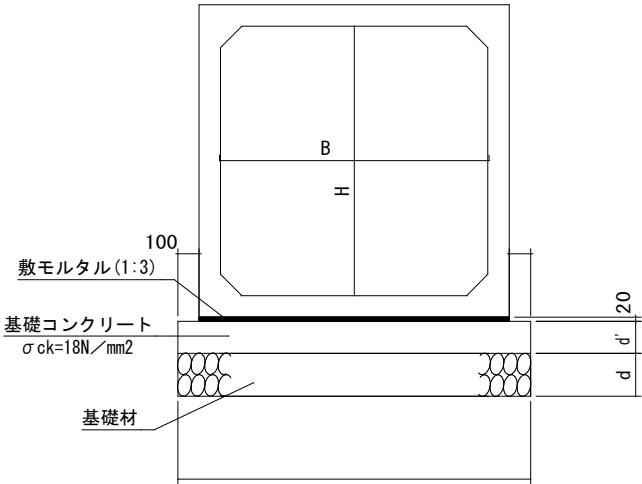


10m当り								
種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表				摘 要
	B'	d	d'	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m2)	基 礎 材 (m3)	
600×600	1060	150	100	0.172	1.06	2.00	1.59	
700×700	1160			0.192	1.16	2.00	1.74	
800×800	1260			0.212	1.26	2.00	1.89	
900×600	1360			0.232	1.36	2.00	2.04	
900×900	1360			0.232	1.36	2.00	2.04	
1000×800	1460			0.252	1.46	2.00	2.19	
1000×1000	1460			0.252	1.46	2.00	2.19	
1000×1500	1460			0.252	1.46	2.00	2.19	

種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表				摘 要
	B'	d	d'	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m2)	基 礎 材 (m3)	
1100×1100	1560	200	150	0.272	2.34	3.00	3.12	
1200×800	1660			0.292	2.49	3.00	3.32	
1200×1000	1660			0.292	2.49	3.00	3.32	
1200×1200	1660			0.292	2.49	3.00	3.32	
1200×1500	1660			0.292	2.49	3.00	3.32	
1300×1300	1760			0.312	2.64	3.00	3.52	
1400×1400	1860			0.332	2.79	3.00	3.72	
1500×1000	1980			0.356	2.97	3.00	3.96	
1500×1200	1980			0.356	2.97	3.00	3.96	
1500×1500	1980			0.356	2.97	3.00	3.96	
1800×1500	2300			0.420	3.45	3.00	4.60	
1800×1800	2300			0.420	3.45	3.00	4.60	
2000×1500	2520			0.464	3.78	3.00	5.04	
2000×1800	2520			0.464	3.78	3.00	5.04	
2000×2000	2520			0.464	3.78	3.00	5.04	
2200×1800	2760			0.512	5.52	4.00	6.90	
2200×2200	2760			0.512	5.52	4.00	6.90	
2300×2000	2860			0.532	5.72	4.00	7.15	
2300×2300	2860	0.532	5.72	4.00	7.15			
2400×2000	2980	0.556	5.96	4.00	7.45			
2400×2400	2980	0.556	5.96	4.00	7.45			
2500×1500	3100	0.580	6.20	4.00	7.75			
2500×1800	3100	0.580	6.20	4.00	7.75			
2500×2000	3100	0.580	6.20	4.00	7.75			
2500×2500	3100	0.580	6.20	4.00	7.75			
2800×2000	3440	0.648	6.88	4.00	8.60			
2800×2500	3440	0.648	6.88	4.00	8.60			
3000×1500	3680	0.696	7.36	4.00	9.20			
3000×2000	3680	0.696	7.36	4.00	9.20			
3000×2500	3680	0.696	7.36	4.00	9.20			
3000×3000	3680	0.696	7.36	4.00	9.20			
3500×2000	4200	0.800	8.40	4.00	10.50			
3500×2500	4200	0.800	8.40	4.00	10.50			

特 記 仕 様	・基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備       考		縮尺	1／25	名称	プレキャストボックスカルバート RC型
	・製品の詳細寸法は鉄筋コンクリート製プレキャストボックスカルバート道路埋設指針を参考とする。			作成	H22. 3	記号	RBox- (B×H)
	・製品はT-25対応とする。						
	・最大土被りは3mとする。						

P C 型

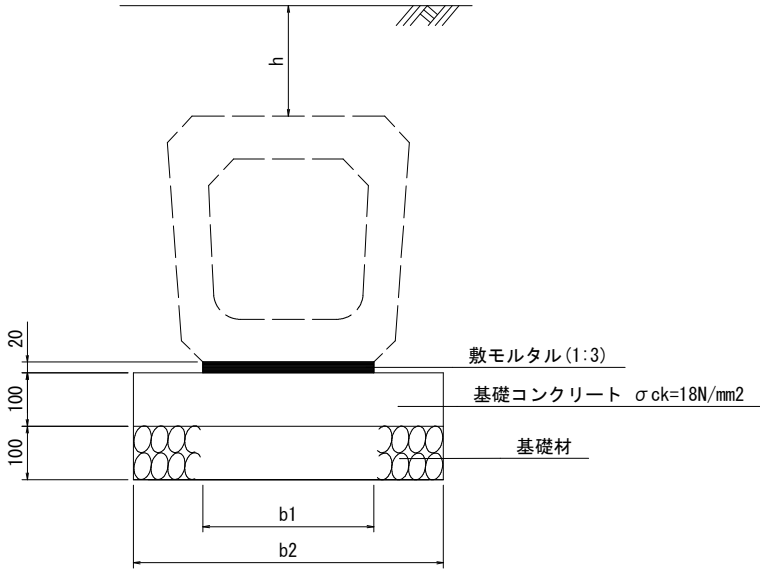


種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表				摘 要
	B'	d	d'	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m2)	基 礎 材 (m3)	
600×600	1050	150	100	0.170	1.05	2.00	1.58	
700×700	1150			0.190	1.15	2.00	1.73	
800×800	1250			0.210	1.25	2.00	1.88	
900×600	1350			0.230	1.35	2.00	2.03	
900×900	1350			0.230	1.35	2.00	2.03	
1000×800	1450			0.250	1.45	2.00	2.18	
1000×1000	1450	200	150	0.250	1.45	2.00	2.18	
1100×1100	1550			0.270	2.33	3.00	3.10	
1200×800	1650			0.290	2.48	3.00	3.30	
1200×1000	1650			0.290	2.48	3.00	3.30	
1200×1200	1650			0.290	2.48	3.00	3.30	
1300×1300	1750			0.310	2.63	3.00	3.50	
1400×1400	1900			0.340	2.85	3.00	3.80	
1500×1000	1960			0.352	2.94	3.00	3.92	
1500×1200	1960			0.352	2.94	3.00	3.92	
1500×1500	1980			0.356	2.97	3.00	3.96	

種 別 (B×H)	寸 法 表			材 料 表				摘 要
	B'	d	d'	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m2)	基 礎 材 (m3)	
1800×1200	2300	200	150	0.420	3.45	3.00	4.60	
1800×1500	2300			0.420	3.45	3.00	4.60	
1800×1800	2300			0.420	3.45	3.00	4.60	
2000×1500	2500			0.460	3.75	3.00	5.00	
2000×1800	2500			0.460	3.75	3.00	5.00	
2000×2000	2500			0.460	3.75	3.00	5.00	
2200×1800	2760	250	200	0.512	5.52	4.00	6.90	
2200×2200	2760			0.512	5.52	4.00	6.90	
2300×1500	2860			0.532	5.72	4.00	7.15	
2300×1800	2860			0.532	5.72	4.00	7.15	
2300×2000	2860			0.532	5.72	4.00	7.15	
2300×2300	2860			0.532	5.72	4.00	7.15	
2400×2000	2960			0.552	5.92	4.00	7.40	
2400×2400	2960			0.552	5.92	4.00	7.40	
2500×1500	3060			0.572	6.12	4.00	7.65	
2500×1800	3060			0.572	6.12	4.00	7.65	
2500×2000	3060			0.572	6.12	4.00	7.65	
2500×2500	3100			0.580	6.20	4.00	7.75	
2800×1500	3400			0.640	6.80	4.00	8.50	
2800×2000	3400			0.640	6.80	4.00	8.50	
2800×2500	3400			0.640	6.80	4.00	8.50	
2800×2800	3400			0.640	6.80	4.00	8.50	
3000×1500	3600			0.680	7.20	4.00	9.00	
3000×2000	3600			0.680	7.20	4.00	9.00	
3000×2500	3600			0.680	7.20	4.00	9.00	
3000×3000	3700			0.700	7.40	4.00	9.25	
3500×2000	4200			0.800	8.40	4.00	10.50	
3500×2500	4200			0.800	8.40	4.00	10.50	
4000×2000	4700			0.900	9.40	4.00	11.75	
4000×2500	4700			0.900	9.40	4.00	11.75	
4500×2000	5300			1.020	10.60	4.00	13.25	
4500×2500	5300			1.020	10.60	4.00	13.25	
5000×2000	5860			1.132	11.72	4.00	14.65	
5000×2500	5860			1.132	11.72	4.00	14.65	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>製品の詳細寸法はP Cボックスカルバート道路埋設指針を参考とする。</li><li>製品はT-25対応とする。</li><li>最大土被りは3mとする。</li></ul>	備          考		縮 尺	1/25	名 称	プレキャストボックスカルバート PC型
				作 成	H22.3	記 号	PCBox-(B×H)

横断暗渠



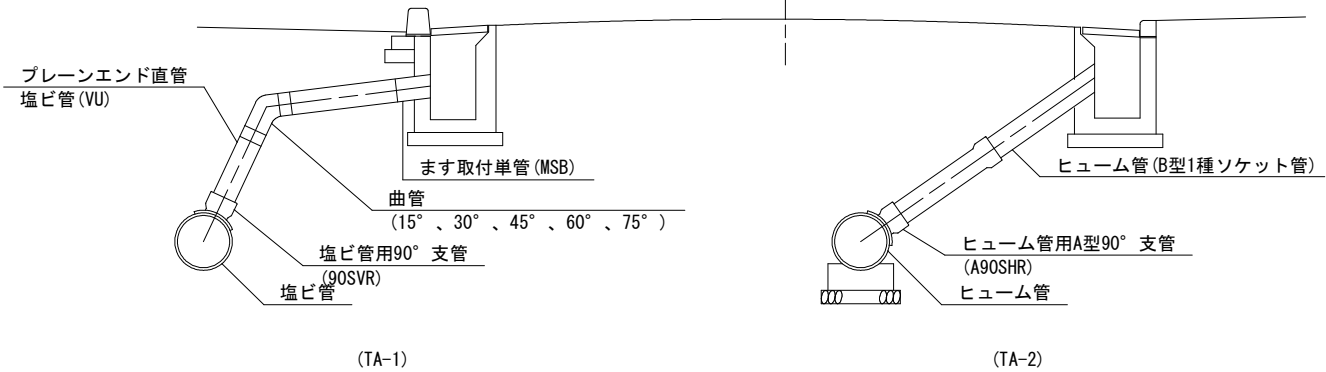
種 別 (呼び径)	寸 法 表			材 料 表				摘 要
	b 1	b 2	h	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
300	300	460	5 m以下	0.06	0.46	2.00	0.46	
400	300	560	5 m以下	0.06	0.56		0.56	
500	400	670	4 m以下	0.08	0.67		0.67	
600	450	770	2.5m以下	0.09	0.77		0.77	

10m当り

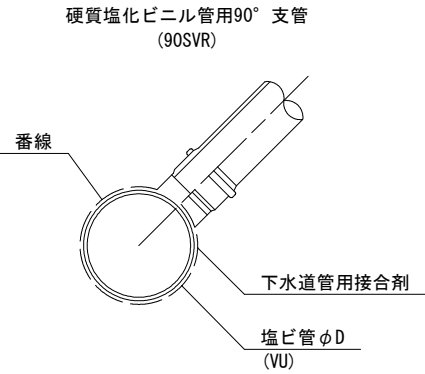
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>製品はT-25対応とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／10	名 称	横断暗渠
				作 成	H22. 3	記 号	0A-(Φ)

取付管標準構造図

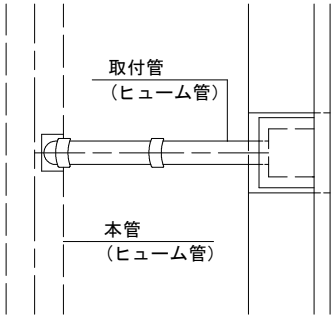
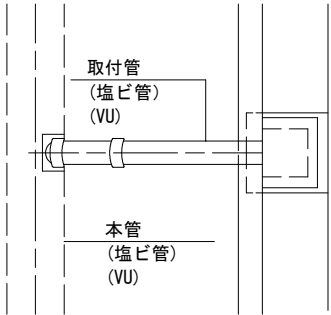
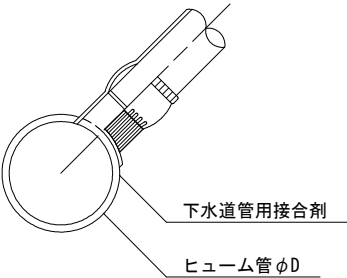
取付管布設標準図



支管取付部詳細図



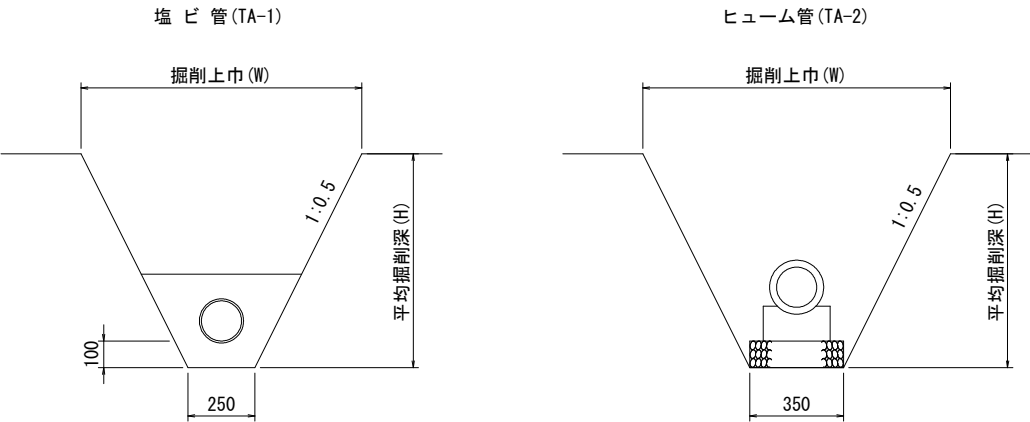
ヒューム管用90° 支管  
(A90SHR)



特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>塩ビ管(本管)に取付ける支管は、接合材の他に離脱防止のために番線による締め付けを行うこと。</li><li>塩ビ管(取付管)の曲管は極力使用を避ける。 使用する場合は1箇所のみとすること。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／40 1／15	名 称	取付管 取付管標準構造図
				作 成	H22. 3	記 号	TA-1, TA-2

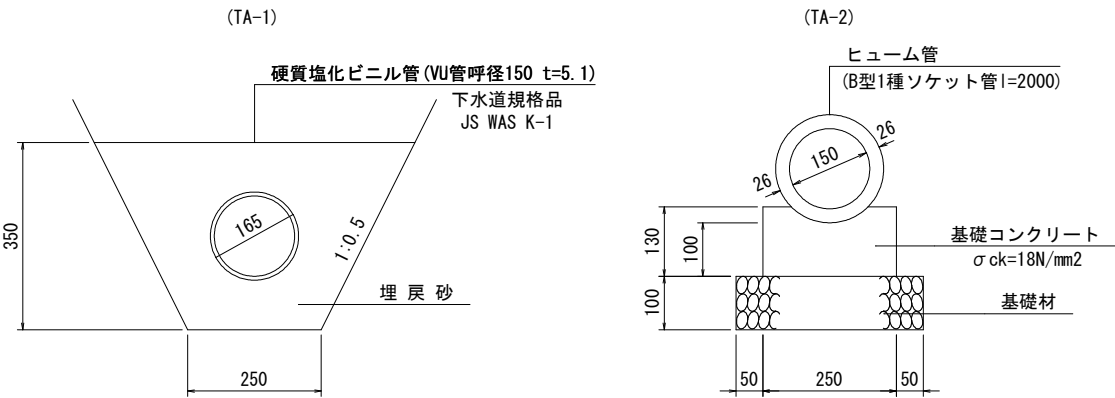
取付管掘削標準図及び埋設図

取付管掘削標準図



種 別 平均掘削深 (H)	寸 法 表		摘 要
	掘削下巾	掘削上巾 (W)	
700	250 (350)	950 (1050)	( )はヒューム管
800		1050 (1150)	
900		1150 (1250)	
1000		1250 (1350)	
1100		1350 (1450)	
1200		1450 (1550)	
1300		1550 (1650)	
1400		1650 (1750)	

取付管埋設図

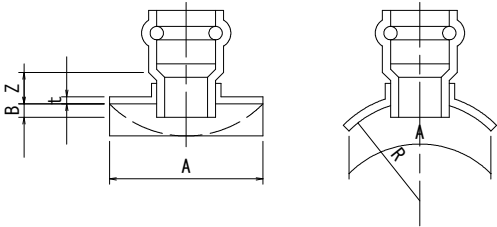


種 別	材 料 表				摘 要
	砂 (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
塩ビ管	1.27	—	—	—	10m当り
ヒューム管	—	0.30	2.60	0.35	

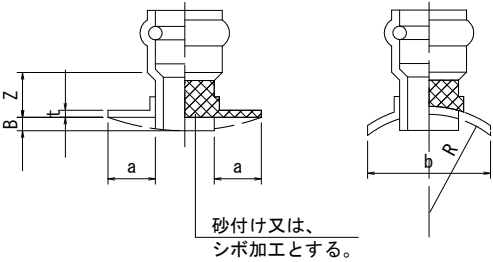
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>掘削標準図は平均掘削深H=1400までに適用し、現地状況により、これに寄りがたい場合は監督員と協議のうえ決定すること。</li><li>掘削底面までの深さH=1.0m以内は直堀でも可。但し、転圧管理を十分に行うこと。</li></ul>	備 考	縮 尺	1／20	名 称	取付管
				1／10		取付管掘削標準図及び埋設図
			作 成	H22. 3	記 号	—

支管規格図

TB-1  
硬質塩化ビニル管用90° 支管  
(90SVR)



TB-2  
ヒューム管用90° 支管  
(A90SHR)

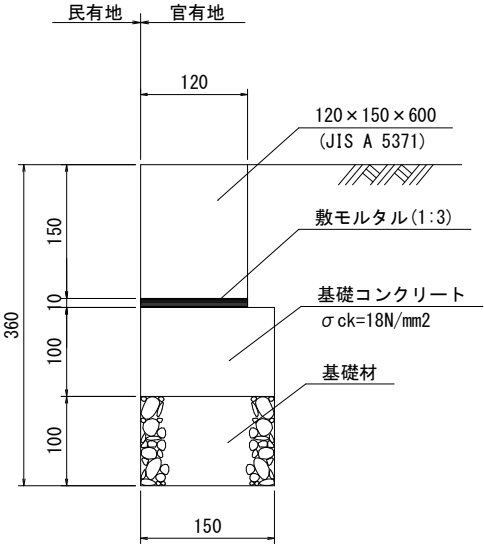


種 別 (呼び径)	寸 法 表					摘 要
	Z	t	A	B	R	
300-150	50±15	4	300	9.2	159.0	
350-150				10.5	185.0	
400-150				11.8	210.0	
450-150				13.2	235.0	
500-150				14.6	260.0	
600-150				17.8	315.0	
700-150				21.0	366.0	
800-150				23.9	417.5	

種 別	寸 法 表					摘 要
	Z	t	a	b	B	
150	50+15	4	35	100	25	

特 記 仕 様		備 考		縮 尺	—	名 称	取付管 支管規格図
				作 成	H22. 3	記 号	TB-1, TB-2

HA型

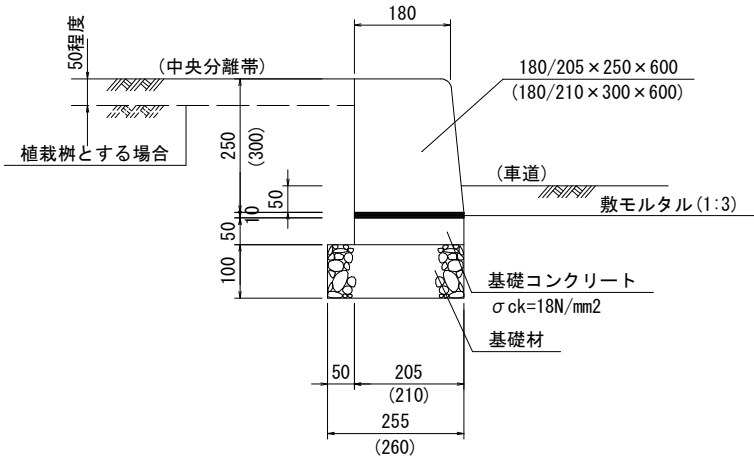


種 別	材 料 表					摘 要
	境界ブロック (個)	敷モルタル (m <sup>3</sup> )	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	
HA	16.5	0.012	0.15	2.00(1.00)	0.15	( )は裏型枠なし

10m当り

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1/6	名 称	舗 装 止 HA 型
				作 成	H22. 3	記 号	HA

## H B 型

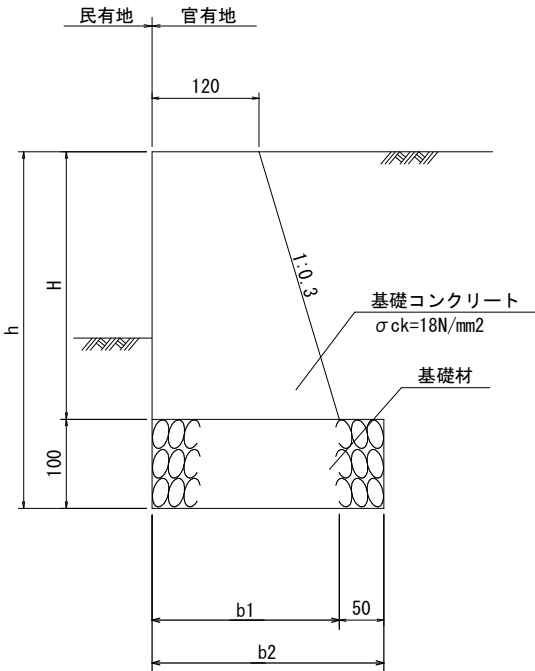


材 料 表						10m当り
種 別	境界ブロッケ (個)	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	摘 要
HB-200	16.5	0.021	0.10	1.00	0.26	JIS A 5371
HB-250						

特記仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> <li>植栽を行う場合は、地盤線を5cm程度下げること。</li> </ul>	備考	縮尺	1/10	名称	舗装止 HB型
			作成	H22.3	記号	HB-200, 250



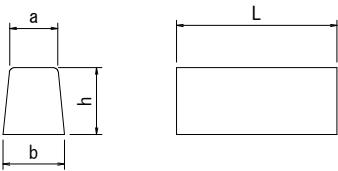
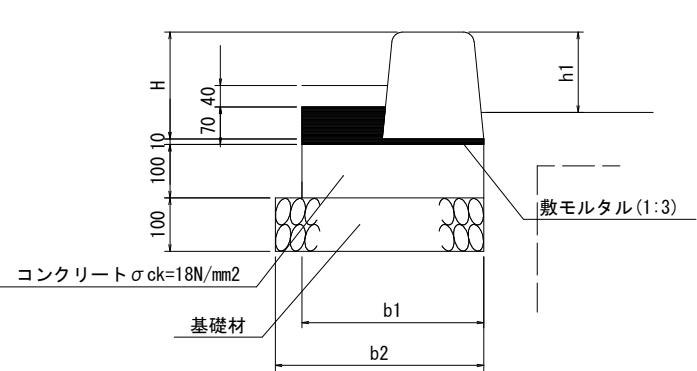
HC型



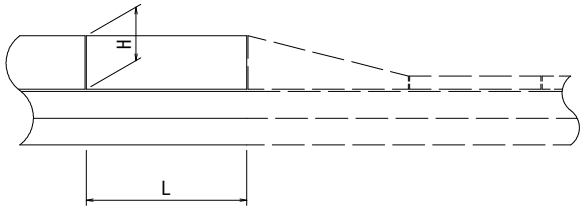
種 別	寸 法 表				材 料 表			摘 要
	H	h	b 1	b 2	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
HC-300	300	400	210	260	0.50	6.13(5.13)	0.26	( )は 裏型枠なし
HC-400	400	500	240	290	0.72	8.18(6.84)	0.29	
HC-500	500	600	270	320	0.98	10.22(8.55)	0.32	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>伸縮目地(エラストイト)を10m程度に1箇所設ける。</li><li>根入れはH/3を標準とし、これによりがたい場合は別途検討する。</li></ul>	備   考		縮 尺	1/6	名 称	舗 装 止 HC 型
				作 成	H22. 3	記 号	HC-(H)


標準部



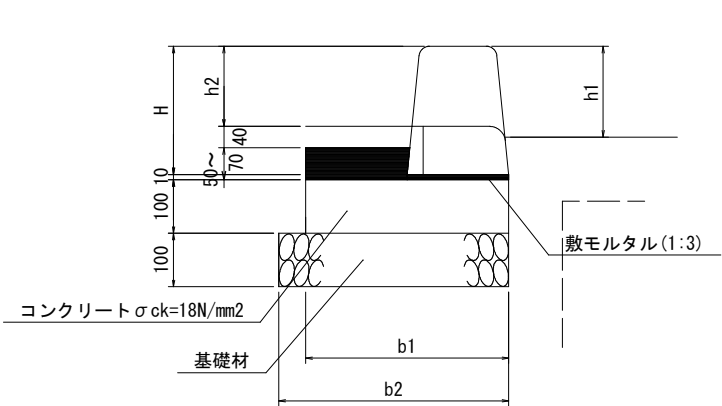
種 別	寸 法 表				摘 要
	a	b	h	L	
歩車道境界ブロック A	150	190	200	600	JIS A 5371
歩車道境界ブロック B				600	
歩車道境界ブロック B(L)	180	230	250	2000	
歩車道境界ブロック C				600	
歩車道境界ブロック C(L)	180	240	300	2000	



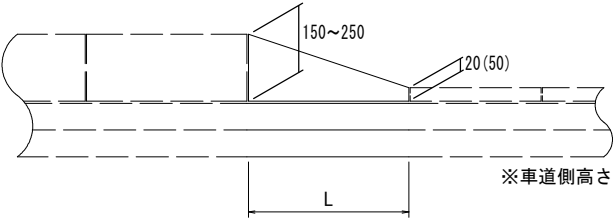
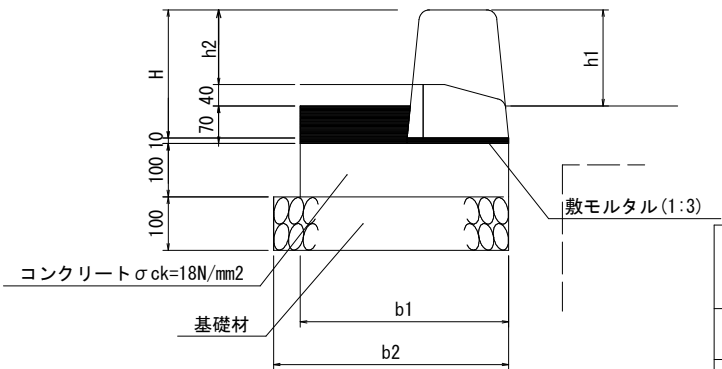
種 別	寸 法 表				材 料 表					摘 要
	H	h 1	b 1	b 2	境界ブロック (個)	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
H-150	200	150	340	390	16.5	0.019	0.45(0.34)	1.70(1.00)	0.39	( )はインターロッキング舗装時
H-200	250	200	380	430	16.5	0.023	0.49(0.38)	1.70(1.00)	0.43	
H-250	300	250	390	440	16.5	0.024	0.50(0.39)	1.70(1.00)	0.44	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>歩道部の舗装がインターロッキングの場合、部のコンクリートは計上しない。</li><li>伸縮目地(エラストイト)を10m程度に1箇所設ける。</li></ul>	備   考		縮 尺	1/20 1/10	名 称	歩車道境界ブロック 標準部
				作 成	H22.3	記 号	KB(A)-(H)


切下げ部



種 別	寸 法 表								摘 要
	a 1	b 1	h 1	a 2	b 2	h 2	h 3	L	
歩車道境界ブロック AS	150	190	200	205 (200)	205	80 (70)	80 (100)	600	( )は 車両乗入用
歩車道境界ブロック BS	180	230	250					600	
歩車道境界ブロック CS		240	300					600	

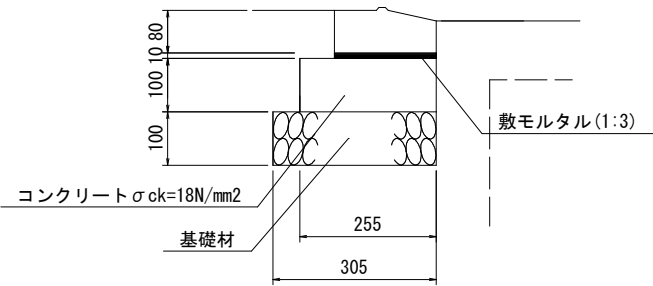


10箇所当り												
種 別		寸 法 表					材 料 表					摘 要
							境界ブロック (個)	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
		H	h 1	h 2	b 1	b 2						
H-150	自転車歩行者用	200	20(50)	120	340	390	10.0	0.011	0.27(0.20)	1.02(0.60)	0.23	( )はインターロッキング 舗装時
	車 両 乗 入 用		～150	100								
H-200	自転車歩行者用	250	20(50)	170	380	430	10.0	0.014	0.29(0.23)	1.02(0.60)	0.26	
	車 両 乗 入 用		～200	150								
H-250	自転車歩行者用	300	20(50)	220	390	440	10.0	0.014	0.30(0.23)	1.02(0.60)	0.26	
	車 両 乗 入 用		～250	200								

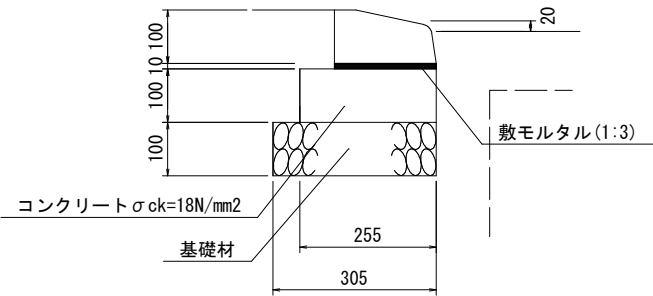
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>歩道部の舗装がインターロッキングの場合、部のコンクリートは計上しない。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/20 1/10	名 称	歩車道境界ブロック 切下げ部
				作 成	H22.3	記 号	KB(B)-(H)

乗入部

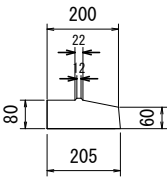
自転車歩行者用



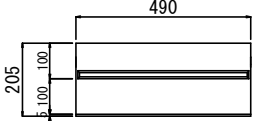
車両乗入



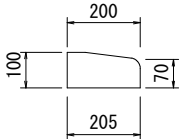
断面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



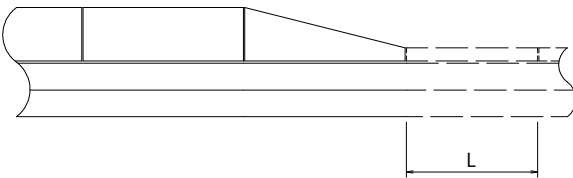
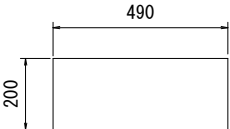
平面図  
(自転車歩行者用 歩車道境界段差解消ブロック)



断面図  
(車両乗入用)



平面図  
(車両乗入用)

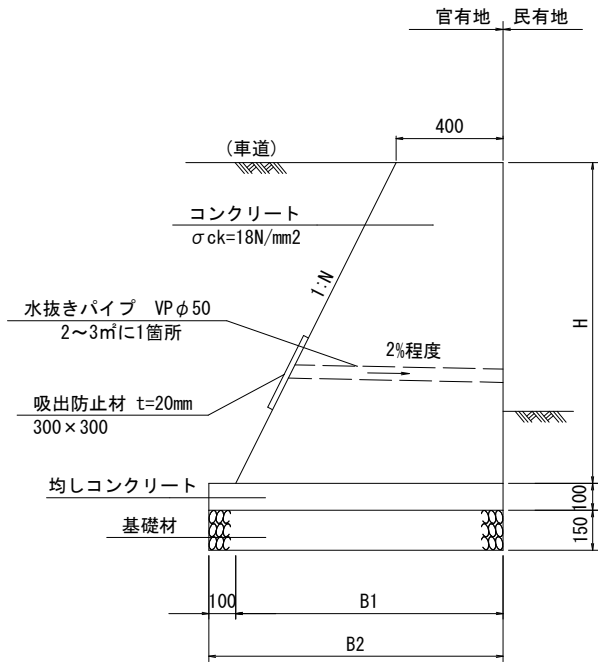


種 別	材 料 表					摘 要
	境界ブロック (個)	敷モルタル (m³)	基礎コンクリート (m³)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m³)	
自転車歩行者用	20.2	0.021	0.26	1.00	0.31	
車 両 乗 入 用						

10m当り

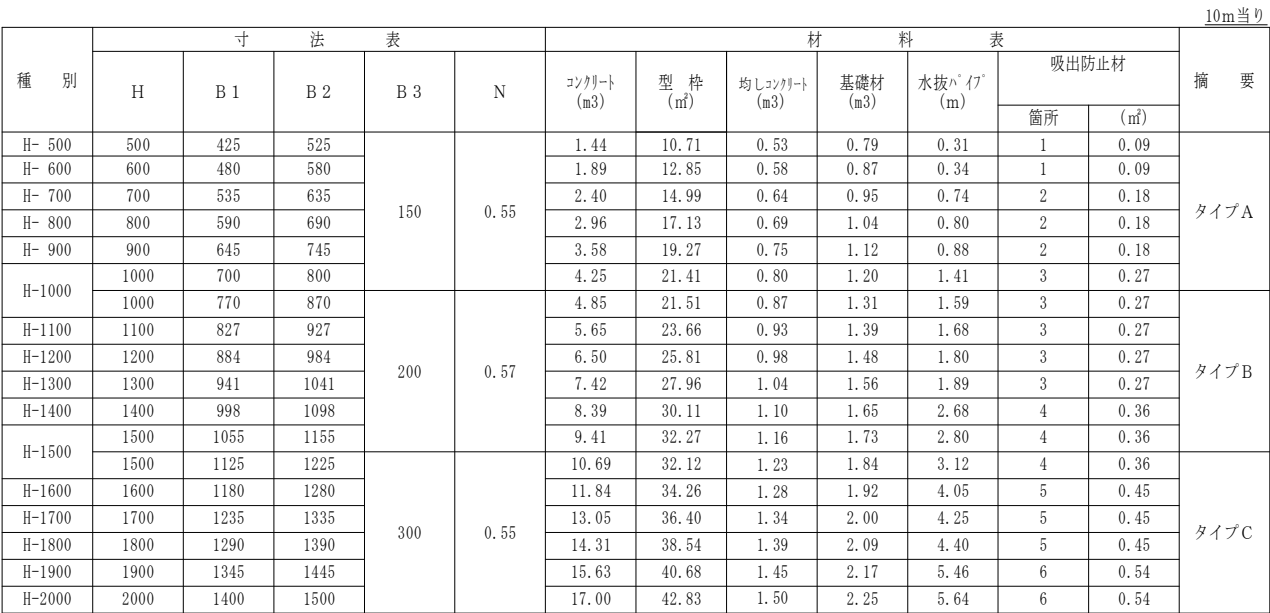
特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備 考		縮 尺	1/15 1/10	名 称	歩車道境界ブロック 乗入部
				作 成	R6.3	記 号	KB (C)

車道用



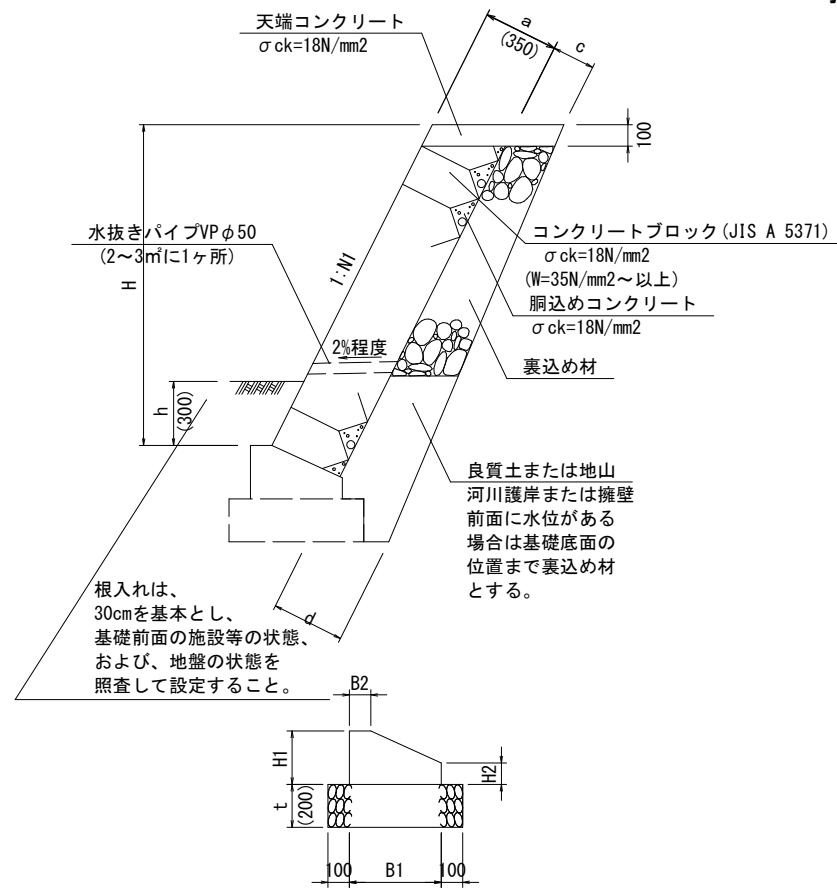
10m当り												
種 別	寸 法 表				材 料 表							摘 要
	H	B 1	B 2	N	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	均しコンクリート (m3)	基礎材 (m3)	水抜パイプ (m)	吸出防止材		
										箇所	(㎡)	
H- 500	500	550	650	0.3	2.38	10.22	0.65	0.98	0.48	1	0.09	タイプA
H- 600	600	580	680		2.94	12.26	0.68	1.02	0.50	1	0.09	
H- 700	700	610	710		3.54	14.31	0.71	1.07	1.04	2	0.18	
H- 800	800	640	740		4.16	16.35	0.74	1.11	1.08	2	0.18	
H- 900	900	670	770		4.82	18.40	0.77	1.16	1.10	2	0.18	
H-1000	1000	700	800	0.5	5.50	20.44	0.80	1.20	1.71	3	0.27	タイプB
	1000	900	1000		6.50	21.18	1.00	1.50	2.07	3	0.27	
H-1100	1100	950	1050		7.43	23.30	1.05	1.58	2.16	3	0.27	
H-1200	1200	1000	1100		8.40	25.42	1.10	1.65	2.25	3	0.27	
H-1300	1300	1050	1150		9.43	27.53	1.15	1.73	2.34	3	0.27	
H-1400	1400	1100	1200		10.50	29.65	1.20	1.80	3.24	4	0.36	
H-1500	1500	1150	1250		11.63	31.77	1.25	1.88	3.36	4	0.36	
H-1600	1600	1200	1300		12.80	33.89	1.30	1.95	4.35	5	0.45	
H-1700	1700	1250	1350		14.03	36.01	1.35	2.03	4.50	5	0.45	
H-1800	1800	1300	1400		15.30	38.13	1.40	2.10	4.65	5	0.45	
H-1900	1900	1350	1450		16.63	40.24	1.45	2.18	5.76	6	0.54	
H-2000	2000	1400	1500		18.00	42.36	1.50	2.25	5.94	6	0.54	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>・H=2000以上は国土交通省制定「土木構造物標準設計」を使用すること。</li><li>・伸縮目地(エラストイト)を10m程度に1箇所設ける。</li><li>・根入れの標準は擁壁全高1m未満についてはH/3以上とし、擁壁全高1m以上は0.35m以上とする。</li><li>・背面水位が高い場合等、水圧の影響を受ける場合は別途検討すること。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／20	名 称	重力式擁壁 車道用
				作 成	R6.10	記 号	GWA-(H)



特 記 仕 様	・基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。 ・H=2000以上は国土交通省制定「土木構造物標準設計」を使用すること。 ・伸縮目地(エラストイト)を10m程度に1箇所設ける。	備     考		縮尺	1／20	名称	重力式擁壁 歩道用
	・根入れの標準は擁壁全高1m未満についてはH/3以上とし、擁壁全高1m以上は0.35m以上とする。 ・背面水位が高い場合等、水圧の影響を受ける場合は別途検討すること。			作成	R6. 10	記号	GWB- (H)

控35cm 裏コンなし



H(直高) (m)	L(のり長)			裏込め材厚さ						摘 要
	N 1(前面こう配)			裏込め土が良い場合		裏込め土が普通な場合		裏込め土が良くない場合		
	1:0.3	1:0.4	1:0.5	c	d	c	d	c	d	
1.00	1044	1077	1118	200	300	300	450	400	600	
1.50	1566	1616	1677	200	340	300	450	400	600	
2.00	—	2154	2236	200	380	300	500	400	660	
2.50	—	2693	2795	200	420	300	550	400	720	
3.00	—	3231	3354	200	460	300	600	400	780	
3.50	—	—	3913	200	500	300	650	400	830	
4.00	—	—	4472	200	540	300	700	400	890	
4.50	—	—	5031	200	580	300	750	400	950	
5.00	—	—	5590	200	620	300	800	400	1000	

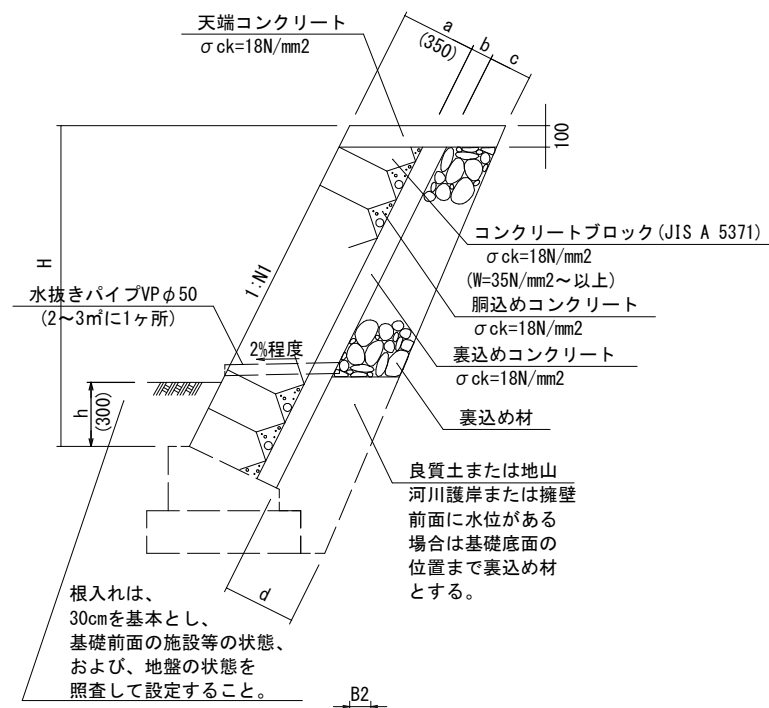
裏込め材材料計算式 (㎡)		天端コンクリート材料 計算一般式 (㎡)
① 擁壁前面に水位がない場合	② 河川護岸または擁壁前面に水位がある場合	
$A = \frac{\sqrt{1+N1^2}}{2} \left\{ \frac{(d-c)(H-h+0.1)}{H+H1+t} + 2C \right\} (H-h-0.1)$	$A = \frac{\sqrt{1+N1^2}}{2} \left\{ \frac{(d-c)0.1}{H+H1+t} + c + d \right\} (H+H1+t-0.1)$	$A = 0.1(a+c) \sqrt{1+N1^2}$

種 別	寸 法 表				材 料 表			摘 要
	B 1	B 2	H 1	H 2	コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
H 1-250	430	100	250	100	0.83	3.5	1.26	

10m当り										
H(直高) (m)	裏 込 め 材 (m3)									摘 要
	裏込め土が良好な場合(U1)			裏込め土が普通な場合(U2)			裏込め土が良くない場合(U3)			
	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	
1.00	1.43	1.47	1.53	2.14	2.21	2.29	2.85	2.94	3.05	
1.50	2.83	2.92	3.03	4.02	4.15	4.30	5.36	5.53	5.74	
2.00	—	4.59	4.76	—	6.44	6.68	—	8.54	8.86	
2.50	—	6.46	6.71	—	8.99	9.33	—	11.87	12.32	
3.00	—	8.55	8.88	—	11.81	12.26	—	15.52	16.11	
3.50	—	—	11.27	—	—	15.46	—	—	20.09	
4.00	—	—	13.89	—	—	18.95	—	—	24.52	
4.50	—	—	16.73	—	—	22.71	—	—	29.29	
5.00	—	—	19.80	—	—	26.75	—	—	34.16	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>水抜きパイプは、2.0~3.0㎡に1ヶ所φ50mmをLWL以上に施工すること。</li><li>裏込め材の寸法は、前面こう配に直角として表示してある。</li><li>材料表中の裏込め材の数量は、基礎材厚(t)を20cm、根入れ深さ(h)を30cmと仮定してある。したがって、基礎材厚および根入れ深さがこれと異なる場合は、別途計算すること。</li><li>また、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、図中の良質土または地山の部分も裏込め材とすること。なお、河川護岸については管理者と協議のうえ諸構造を決定すること。</li></ul>	備 考	<ul style="list-style-type: none"><li>比較的良好な地山の切土部に使用の場合は、裏込め材を上下等厚とし、材厚30~40cmとしてよい。</li><li>伸縮目地(エラストイト)を10m程度に1箇所設ける。</li><li>比較的良好な裏込め土で十分な締固めがされている盛土など土圧が小さい場合に適用するものとし、重要な場所への適用には十分に注意すること。</li></ul>	縮 尺	1/25	名 称	ブロック積擁壁(練積) 控35cm裏コンなし
				作 成	H22.3	記 号	CBA(3), (4), (5)-(H)

控35cm 裏コンあり



種 別		寸 法 表				材 料 表			摘 要	
コ	ン	B 1	B 2	H 1	H 2	コ	ン	B		
H 1-300	520	100	300	100	1.14	4.00	1.44			
H 1-350	550	100	350	100	1.36	4.50	1.50			

H (直高) (m)	L (のり長)			裏込めコン クリート厚さ	裏 込 め 材 厚 さ						摘 要
	N 1 (前面こう配)				裏込め土が良い場合		裏込め土が普通な場合		裏込め土が良くない場合		
	1:0.3	1:0.4	1:0.5		b	c	d	c	d	c	
1.00	1044	1077	1118	100	200	300	300	450	400	600	
1.50	1566	1616	1677	100	200	340	300	450	400	600	
2.00	—	2154	2236	100	200	380	300	500	400	660	
2.50	—	2693	2795	100	200	420	300	550	400	720	
3.00	—	3231	3354	100	200	460	300	600	400	780	
3.50	—	—	3913	150	200	500	300	650	400	830	
4.00	—	—	4472	150	200	540	300	700	400	890	
4.50	—	—	5031	150	200	580	300	750	400	950	
5.00	—	—	5590	150	200	620	300	800	400	1000	

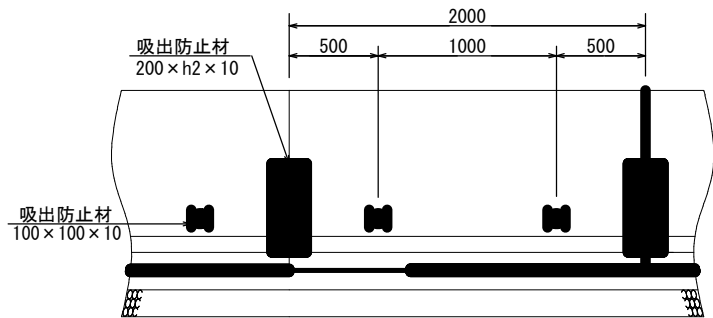
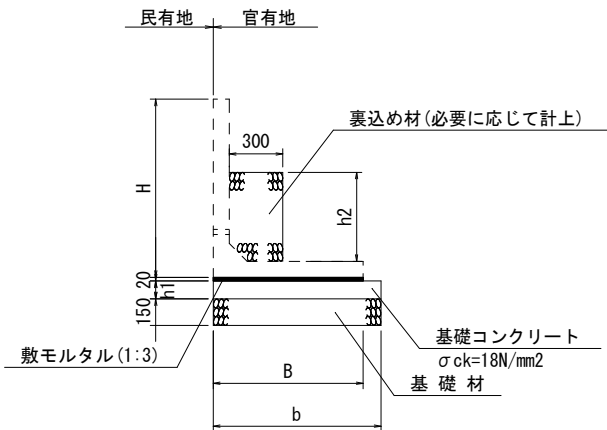
裏 込 め 材 料 計 算 式 (㎡)		天端コンクリート材料 計算一般式 (㎡)
① 擁壁前面に水位がない場合	② 河川護岸または擁壁前面に水位がある場合	
$A = \frac{\sqrt{1+N1^2}}{2} \left\{ \frac{(d-c)(H-h+0.1)}{H+H1+t} + 2C \right\} (H-h-0.1)$	$A = \frac{\sqrt{1+N1^2}}{2} \left\{ \frac{(d-c)0.1}{H+H1+t} + c+d \right\} (H+H1+t-0.1)$	$A = 0.1(a+b+c) \sqrt{1+N1^2}$

10m当り													
H(直高) (m)	裏込め材 (m3)									裏込めコンクリート (m3)			摘 要
	裏込め土が良好な場合(U1)			裏込め土が普通な場合(U2)			裏込め土が良くない場合(U3)						
	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	
1.00	1.42	1.46	1.52	2.13	2.20	2.28	2.84	2.93	3.04	1.06	1.13	1.21	
1.50	2.82	2.91	3.02	4.01	4.13	4.29	5.34	5.51	5.72	1.58	1.67	1.77	
2.00	—	4.56	4.74	—	6.41	6.65	—	8.51	8.83	—	2.21	2.32	
2.50	—	6.43	6.68	—	8.95	9.29	—	11.82	12.27	—	2.74	2.88	
3.00	—	8.51	8.84	—	11.76	12.21	—	15.46	16.05	—	3.28	3.44	
3.50	—	—	11.17	—	—	15.34	—	—	19.93	—	—	6.02	
4.00	—	—	13.76	—	—	18.80	—	—	24.33	—	—	6.86	
4.50	—	—	16.58	—	—	22.53	—	—	29.07	—	—	7.70	
5.00	—	—	19.63	—	—	26.55	—	—	33.91	—	—	8.54	

特 記 仕 様	備 考	縮 尺	1/25	名 称	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁 (練 積)  控35cm裏コンあり
・ 水抜きパイプは、2.0～3.0㎡に1ヶ所φ50mmをLWL以上に施工すること。 ・ 裏込め材の寸法は、前面こう配に直角として表示してある。 ・ 材料表中の裏込め材の数量は、基礎材厚(t)を20cm、根入れ深さ(h)を30cmと仮定してある。 したがって、基礎材厚および根入れ深さがこれと異なる場合は、別途計算すること。 また、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、図中の良質土または地山の部分も 裏込め材とすること。なお、河川護岸については管理者と協議のうえ諸構造を決定すること。		作成	H22. 3	記 号	CBB (3), (4), (5) - (H)



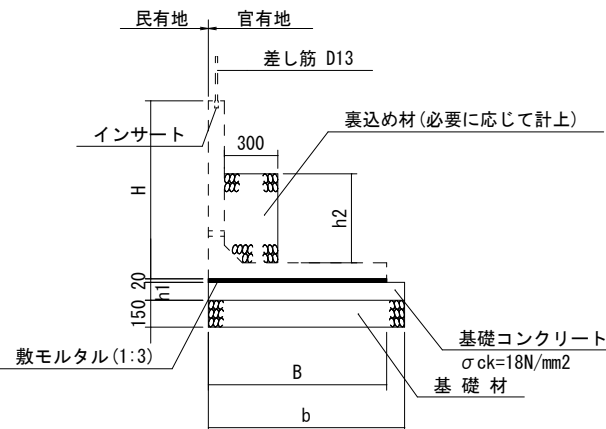
一般用



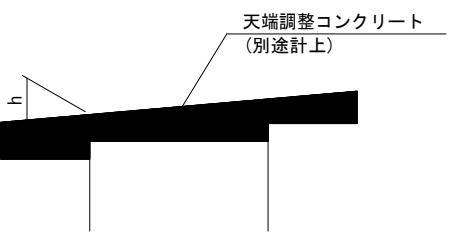
種 別	寸 法 表					材 料 表						摘 要
	H	B	b	h 1	h 2	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	裏 込 材 (m3)	吸出防止材 (㎡)	
H- 600	600	640	740	100	300	0.128	0.74	2.00	1.11	0.90	0.40	
H- 800	800	720	820		300	0.144	0.82		1.23	0.90	0.40	
H-1000	1000	840	940		500	0.168	0.94		1.41	1.50	0.60	
H-1250	1250	1000	1100		550	0.200	1.10		1.65	1.65	0.65	
H-1500	1500	1150	1250		800	0.230	1.25		1.88	2.40	0.90	
H-1750	1750	1300	1400		1050	0.260	1.40		2.10	3.15	1.15	
H-2000	2000	1450	1550		1300	0.290	1.55		2.33	3.90	1.40	
H-2250	2250	1600	1700		1550	0.320	1.70		2.55	4.65	1.65	
H-2500	2500	1750	1850		1800	0.350	1.85		2.78	5.40	1.90	
H-2750	2750	1900	2000		2050	0.380	2.00		3.00	6.15	2.15	
H-3000	3000	2050	2150		2300	0.410	2.15		3.23	6.90	2.40	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>裏込材については必要に応じて別途計上する。</li><li>基礎材及び、裏込材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/30	名 称	プレキャストL型擁壁 一 般 用
				作 成	H22. 3	記 号	PLA-(H)

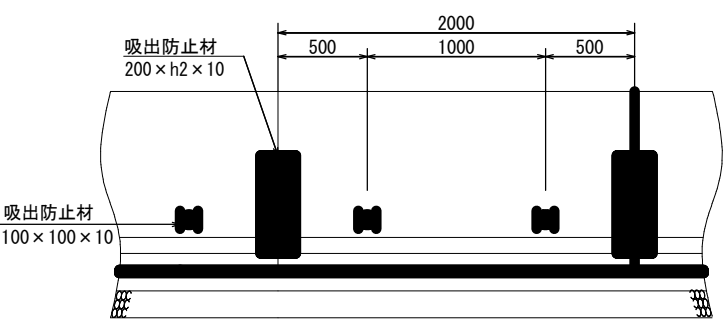
天端調整用



天端調整コンクリート高(h)



H1000以下 h=50~200  
H1250~3000 h=50~250



種 別	寸 法 表					材 料 表						摘 要
	H	B	b	h 1	h 2	敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	裏込め材 (m3)	吸出防止材 (㎡)	
H- 600	400	640	740	100	300	0.128	0.74	2.00	1.11	0.90	0.40	
H- 800	600	720	820		300	0.144	0.82		1.23	0.90	0.40	
H-1000	800	840	940		500	0.168	0.94		1.41	1.50	0.60	
H-1250	1000	1000	1100		550	0.200	1.10		1.65	1.65	0.65	
H-1500	1250	1150	1250		800	0.230	1.25		1.88	2.40	0.90	
H-1750	1500	1300	1400		1050	0.260	1.40		2.10	3.15	1.15	
H-2000	1750	1450	1550		1300	0.290	1.55		2.33	3.90	1.40	
H-2250	2000	1600	1700		1550	0.320	1.70		2.55	4.65	1.65	
H-2500	2250	1750	1850		1800	0.350	1.85		2.78	5.40	1.90	
H-2750	2500	1900	2000		2050	0.380	2.00		3.00	6.15	2.15	
H-3000	2750	2050	2150		2300	0.410	2.15		3.23	6.90	2.40	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>裏込め材については必要に応じて別途計上する。</li><li>基礎材及び、裏込め材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>天端勾配が4%を超える場合は、天端調整コンクリートを施工するものとする。なお、高さ調整基準を超える場合は次のサイズの擁壁にて対応。</li></ul>	備   考		縮 尺	1/30	名 称	プレキャストL型擁壁 天端調整用
				作 成	H22.3	記 号	PLB-(H)

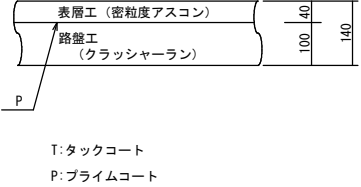
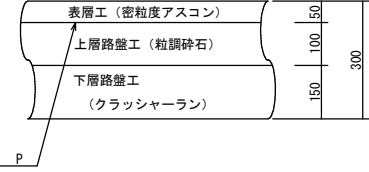
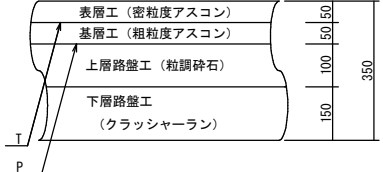
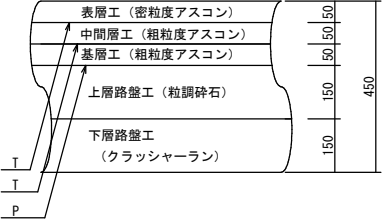

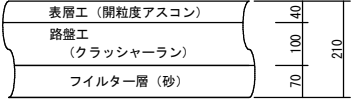
車道舗装  
舗装構成

区分	交通区分：N1～N3 設計交通量：40以上 100未満	交通区分：N4 設計交通量：100以上 250未満	交通区分：N5 設計交通量：250以上 1000未満
舗装構成	<p>T：タックコート P：プライムコート</p>	<p>T：タックコート P：プライムコート</p>	<p>T：タックコート P：プライムコート</p>
区分	交通区分：N6 設計交通量：1000以上 3000未満	交通区分：N7 設計交通量：3000以上	
舗装構成	<p>T：タックコート T：タックコート P：プライムコート</p>	<p>T：タックコート T：タックコート P：プライムコート</p>	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>上記舗装構成は参考であり、現地CBRに合わせて舗装構成を決定すること。</li><li>路盤材及びアスファルト混合物は、特に指示がない場合は再生材を標準とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	車道舗装 舗装構成
				作 成	H22. 3	記 号	—

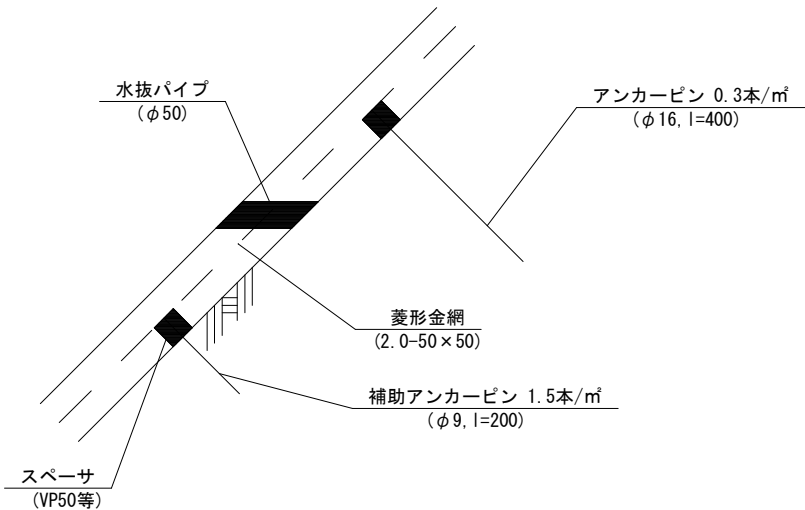
歩道舗装  
舗装構成

75

区分	一般部		車両乗入部		
	歩道（個人用車両乗入含）		I 型	II 型	III 型
			小型貨物自動車等（乗用車）	普通貨物自動車（6.5 t 以下）	大型及び中型貨物自動車（6.5 t を超えるもの）
アスファルト舗装	 <p>T: タックコート P: プライムコート</p>		 <p></p>	 <p></p>	 <p></p>
インターロッキング舗装	 <p></p>	<p>* 別途、現地状況に応じた構造を検討</p>			
透水性舗装	 <p></p>				

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターロッキングブロックの面取りは、3mm以下とする。</li><li>・路盤材及びアスファルト混合物は、特に指示がない場合は、再生材を標準とする。（透水性舗装の路盤材については注意すること）</li><li>・車両乗入部の構造については参考であり、現地状況に合わせ舗装構成を決定すること。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	歩道舗装 舗装構成
				作 成	H22. 3	記 号	—

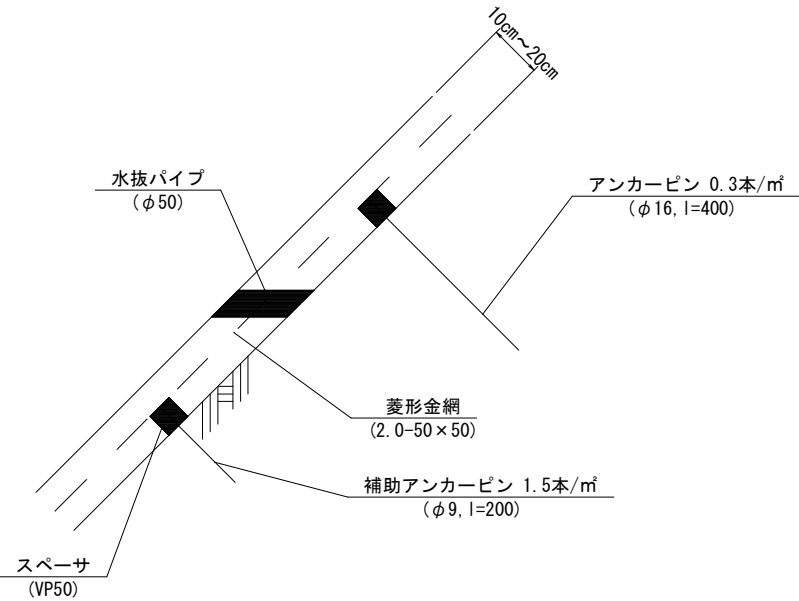
モルタル吹付工



種 別	材 料 表						摘 要
	モルタル (m3)	菱 形 金 網 (㎡)	アンカーピン(本) φ 16 (D16), L=400	補助アンカーピン(本) φ 9 (D10), L=200	水抜パイプ (箇所)	スペーサー (箇所)	
t= 5cm	5	100	30	150	50	180	
t= 6cm	6						
t= 7cm	7						
t= 8cm	8						
t= 9cm	9						
t=10cm	10						

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>モルタル吹付工の配合は、セメント1：砂4を標準とする。</li><li>溶接金網、補強鉄筋が必要な場合は、別途計上する。</li><li>モルタル吹付工は、仮設ロープ等による施工を標準とする。</li><li>オーバーハングの法面は、別途積算とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／10	名 称	法面工 モルタル吹付工
				作 成	H22. 3	記 号	MTS- (t)

コンクリート吹付工



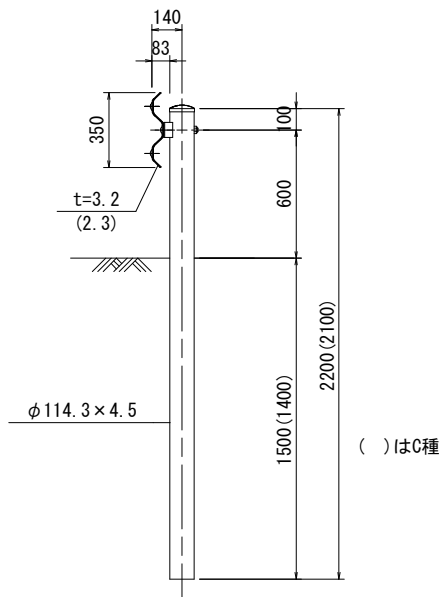
種 別	材 料 表						摘 要
	コンクリート (m3)	菱 形 金 網 (㎡)	アンカーピン(本) φ 16 (D16), L=400	補助アンカーピン(本) φ 9 (D10), L=200	水抜パイプ (箇所)	スペース (箇所)	
t=10cm	10	100	30	150	50	180	
t=15cm	15						
t=20cm	20						

100㎡当り

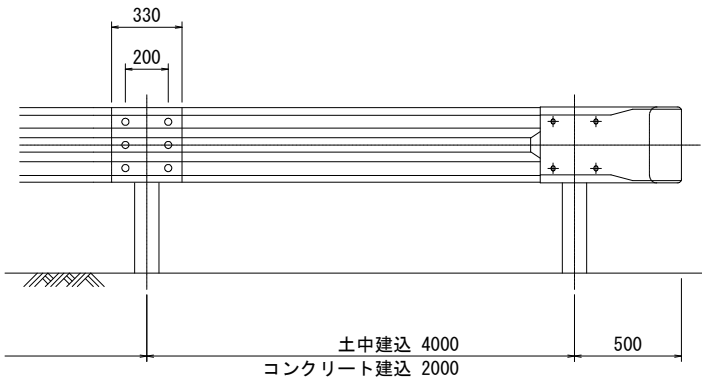
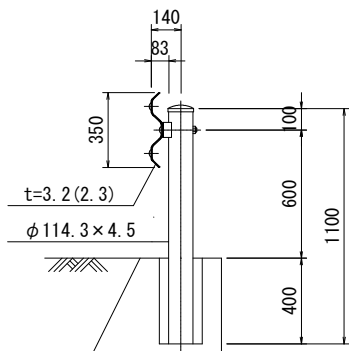
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コンクリート吹付工の配合は、セメント1：砂4：砕石1を標準とする。</li><li>・ 溶接金網、補強鉄筋が必要な場合は、別途計上する。</li><li>・ コンクリート吹付工は、仮設ロープ等による施工を標準とする。</li><li>・ オーバーハングの法面は、別途積算とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/10	名 称	法面工 コンクリート吹付工
				作 成	H22. 3	記 号	COS-(t)

ガードレールB種・C種

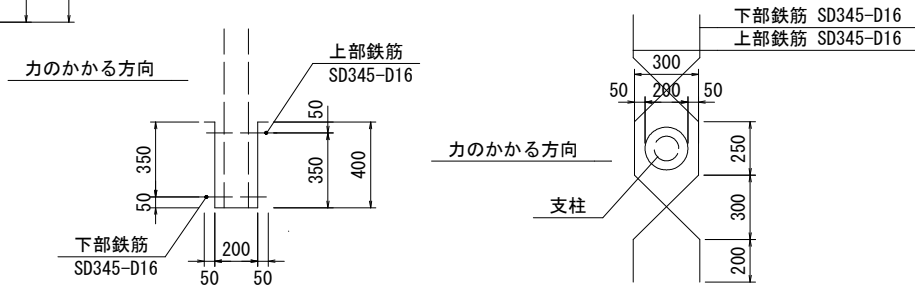
土中建込



コンクリート建込



コンクリート建込部補強鉄筋

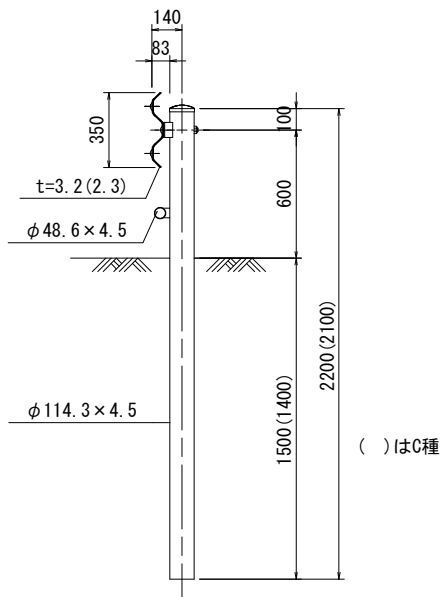


					10箇所当り
種 別	材 料 表				摘 要
	SD345 l=1490				
	径	本 数 (本)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	
補強鉄筋	D16	2×10=20	1.56	46.49	

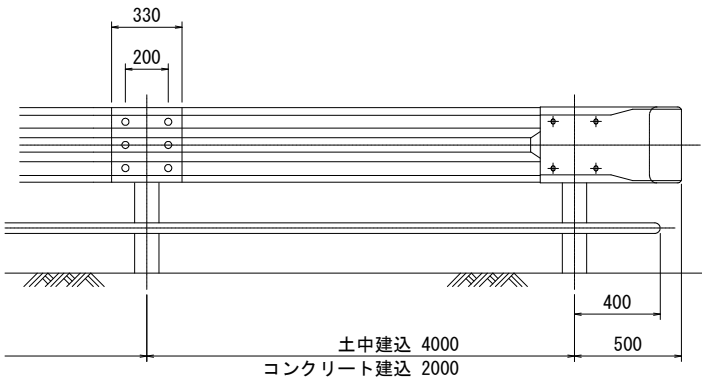
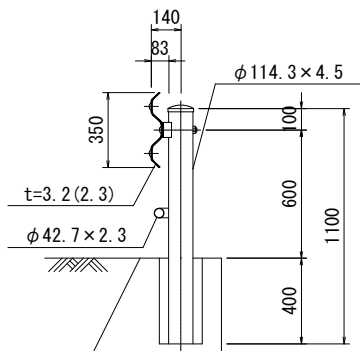
特 記 仕 様	・ B種を採用する場合は補強鉄筋を用いるものとし、 C種を採用する場合も必要に応じて補強鉄筋を用いる。 ・ 既設構造物への建て込みについては別途検討すること。	備 考	* 擁壁等に設置される車両用防護柵は衝突荷重を考慮して設計すること。	縮 尺	1/25	名 称	防護柵 ガードレールB種・C種
				作 成	H22. 3	記 号	Gr-B-4E, Gr-C-4E Gr-B-2B, Gr-C-2B

特殊ガードレール(パイプ付)B種・C種

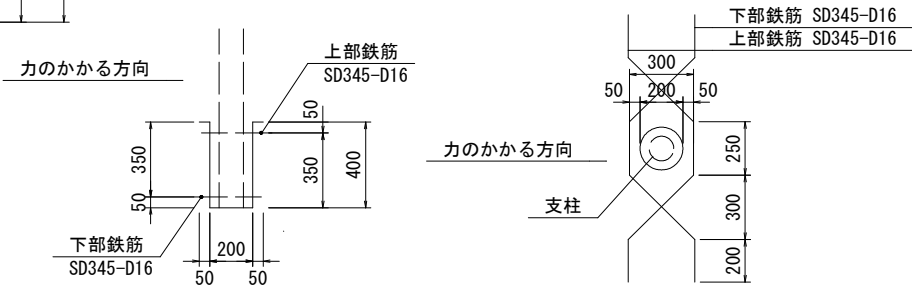
土中建込



コンクリート建込



コンクリート建込部補強鉄筋

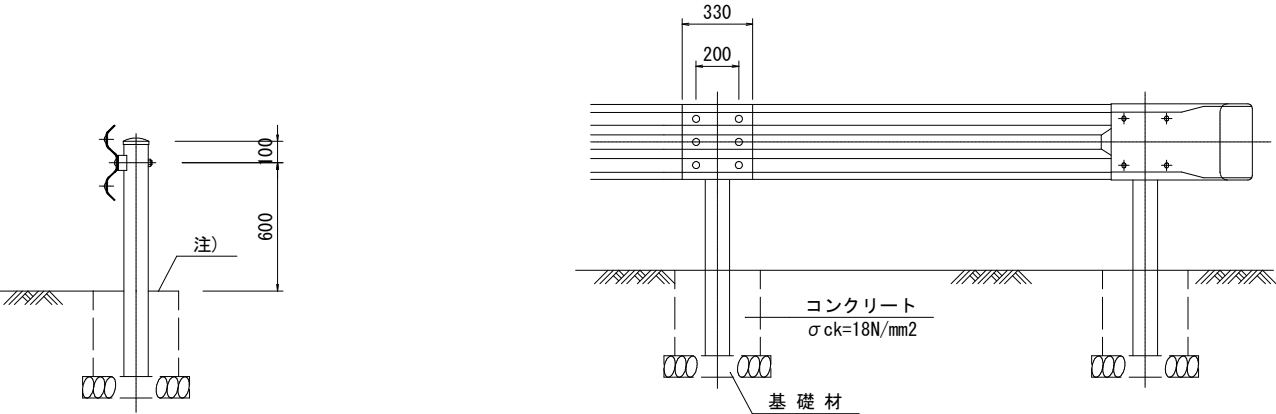


					10箇所当り
種 別	材 料 表				摘 要
	SD345 l=1490				
	径	本 数 (本)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	
補強鉄筋	D16	2×10=20	1.56	46.49	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>車両の路外逸脱を防止し、かつ、防護柵下からの歩行者等の転落を防ぐ必要のある箇所に設置する。</li><li>パイプの取付形式(フロントビーム・センタービーム)については、設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>B種を採用する場合は補強鉄筋を用いるものとし、C種を採用する場合も必要に応じて補強鉄筋を用いる。</li><li>既設構造物への建て込みについては別途検討すること。</li></ul>	備 考	* 擁壁等に設置される車両用防護柵は衝突荷重を考慮して設計すること。	縮 尺	1/25	名 称	防護柵 特殊ガードレール(パイプ付)B種・C種
				作 成	H22.3	記 号	Gr-B-4E(P), Gr-C-4E(P) Gr-B-2B(P), Gr-C-2B(P)



コンクリート基礎工  
(単独基礎方式)



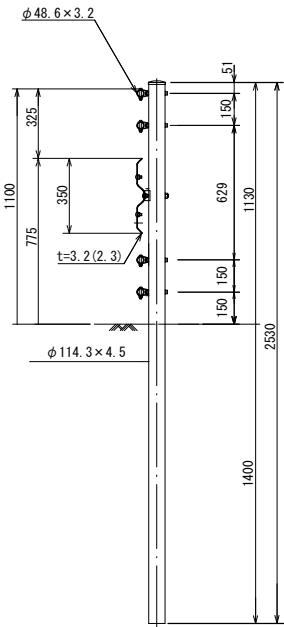
注) 基礎工の天端が路面に露出する場合は、  
中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。

注) 基礎形状は、構造計算によるものとする。

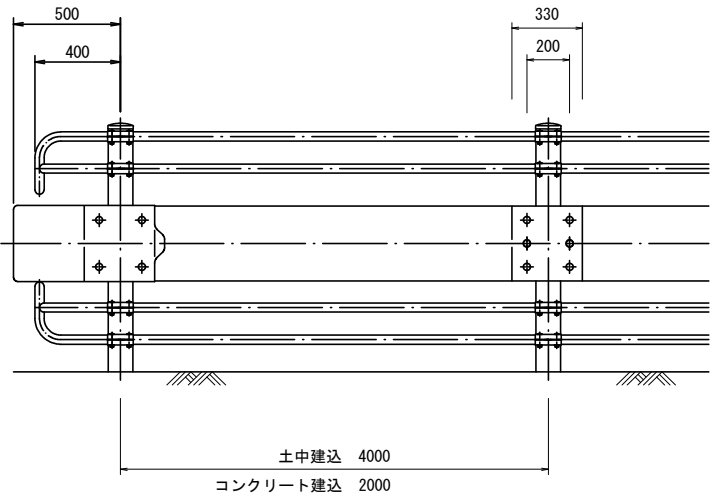
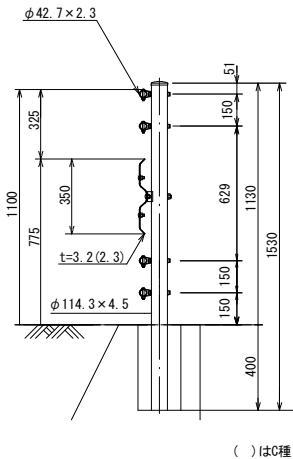
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 単独基礎の形状は、設置箇所の交通状態に応じ、適宜、構造計算を行い決定すること。</li><li>・ 単独基礎は軽車両を対象とし、重要路線には採用しないこと。</li><li>・ 既設構造物への建て込みについては別途検討すること。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／25	名 称	防護柵 コンクリート基礎工(参考図)
				作 成	H22. 3	記 号	GK

転落防止機能付車両対応柵（B種・C種）

土中建込



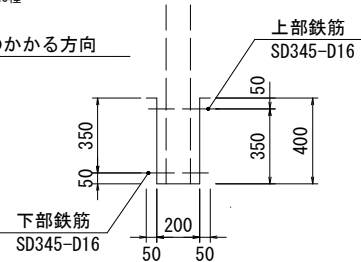
コンクリート建込



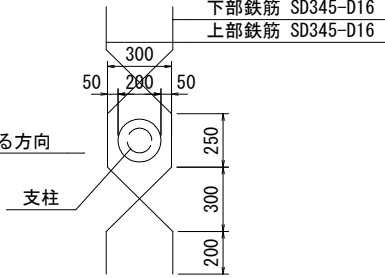
コンクリート建込部補強鉄筋

( )はC種

力のかかる方向



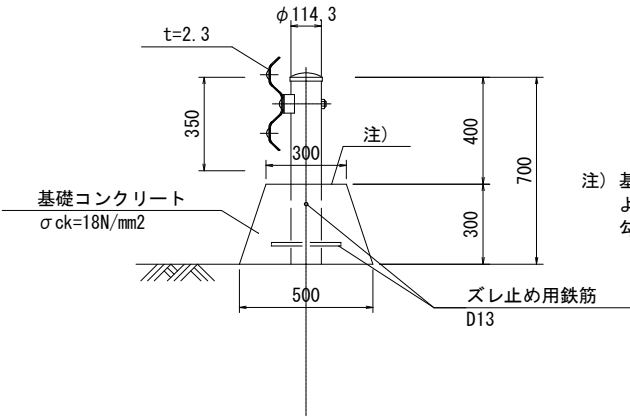
力のかかる方向



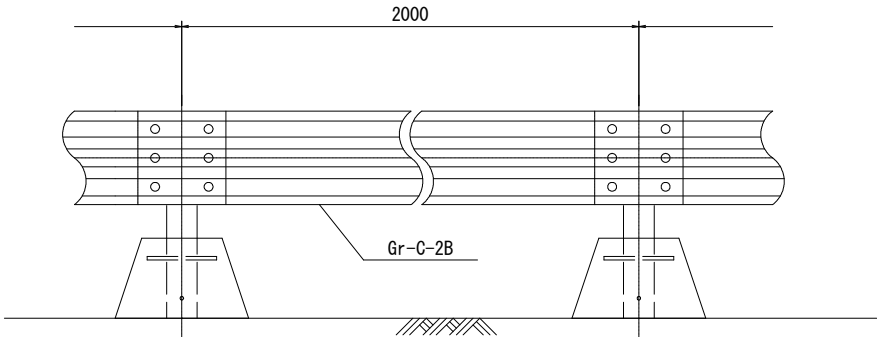
					10箇所当り
種 別	材 料 表				摘 要
	SD345 l=1490				
	径	本 数 (本)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	
補強鉄筋	D16	2×10=20	1.56	46.49	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>既設構造物への建て込みについては別途検討すること。</li></ul>	備 考	* 擁壁等に設置される車両用防護柵は衝突荷重を考慮して設計すること。	縮 尺	1/25	名 称	転落防止機能付車両対応柵 (B種・C種)
				作 成	H30. 3	記 号	—

移動式ガードレール



注) 基礎工の天端には、中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。



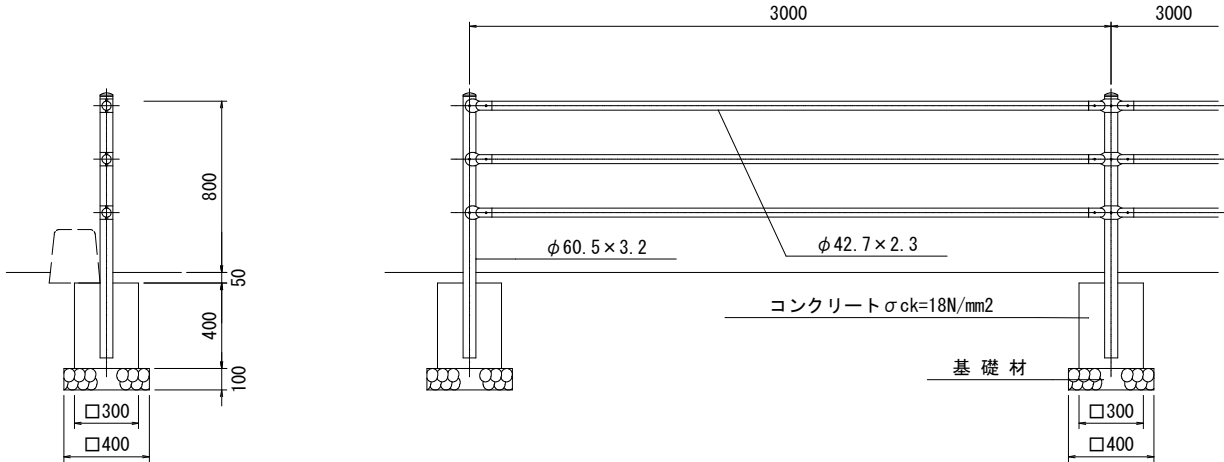
種 別	材 料 表			摘 要
	ガードレール (m)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m3)	
KE	100	2.30	25.28	

100m(50基)当り

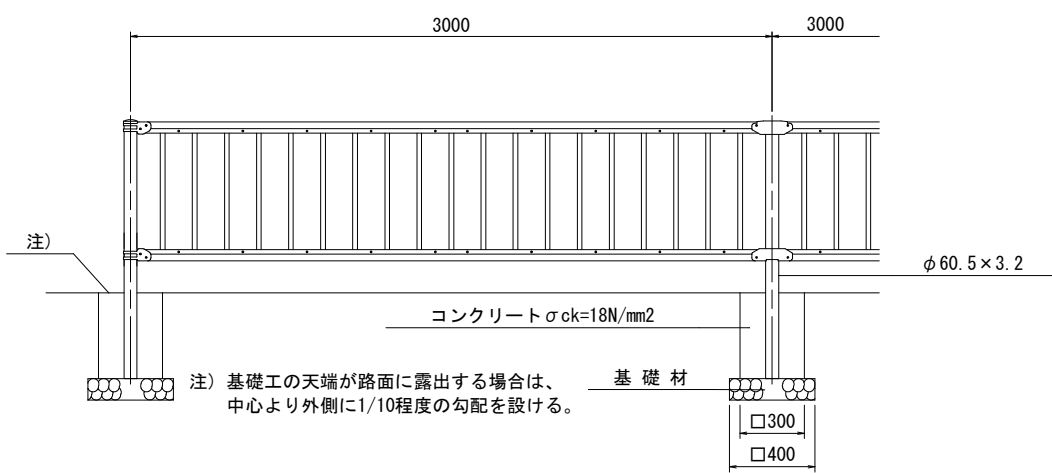
特 記 仕 様	・ 工事時の仮設防護柵として使用する。	備  考		縮 尺	1/20	名 称	防護柵 移動式ガードレール
				作 成	H22. 3	記 号	KE

歩道用横断防止柵

ビーム形式



パネル形式



種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	
300×300×400	0.35	4.8	0.16	10基当り

特  
記  
仕  
様

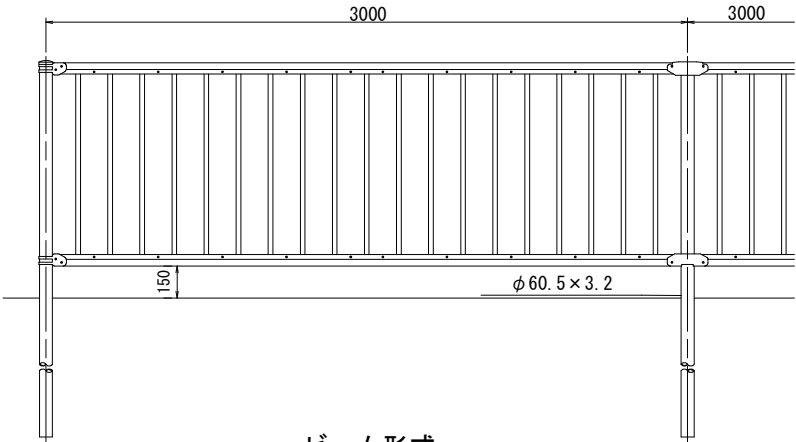
- 歩道用横断防止柵の製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。
- 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。
- 柵は垂鉛メッキ+粉体塗装を標準とする。
- パネル形式は歩車道の境界には設置しないこと。

備  
考

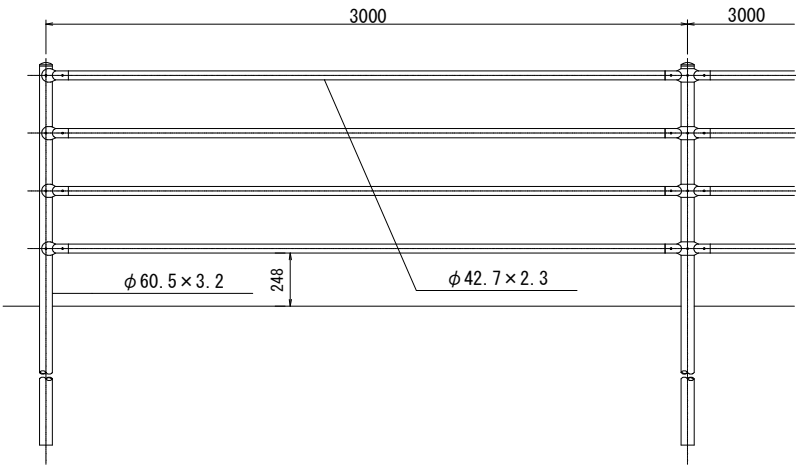
縮 尺	1/25	名 称	防護柵 歩道用横断防止柵
作 成	H22.3	記 号	PH-A, PH-B PHK

転落防止柵(土中建込タイプ)

パネル形式



ビーム形式



支柱諸元

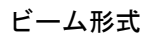
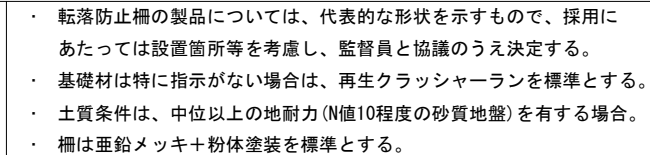
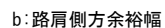
高 さ	支 柱			摘 要
	支 柱 間 隔	標 準 寸 法	埋 込 深 さ	
1100	3000	$\phi = 60.5$ $t = 3.2$	1200	

注) 転落対策を十分考慮する必要がある箇所については、棧間隔及び部材と路面との間隔を150mm以下とすることが望ましいため、パネル形式の採用について検討すること。

やむを得ず、ビーム形式を採用する場合は、間隔を150mm以下となるよう、ビーム本数を増やす等検討し、採用する場合には、特注となるため注意すること。

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 転落防止柵の製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>・ 土質条件は、中位以上の地耐力(N値10程度の砂質地盤)を有する場合。</li><li>・ 柵は垂鉛メッキ+粉体塗装を標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/25	名 称	防護柵 転落防止柵(土中建込タイプ)
				作 成	H30. 3	記 号	PTE-A, PTE-B

## パネル形式



高 さ	支 柱			摘 要
	支 柱 間 隔	標 準 寸 法	埋込み深さ	
1100	3000	$\phi = 60.5$ $t = 3.2$	450	$b \geq 500$
			800	$100 \leq b \leq 500$

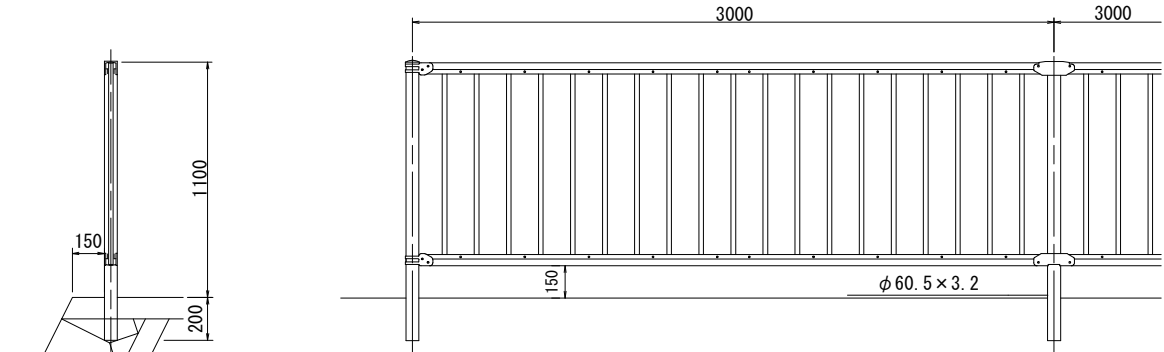
注) 転落対策を十分考慮する必要がある箇所については、棧間隔及び部材と路面との間隔を150mm以下とすることが望ましいため、パネル形式の採用について検討すること。

やむを得ず、ビーム形式を採用する場合は、間隔を150mm以下となるよう、ビーム本数を増やす等検討し、採用する場合には、特注となるため注意すること。

縮尺	1/25	名称	防護柵 転落防止柵(コンクリート基礎タイプ)
作成	H30. 3	記号	PTC-A, PTC-B PTK

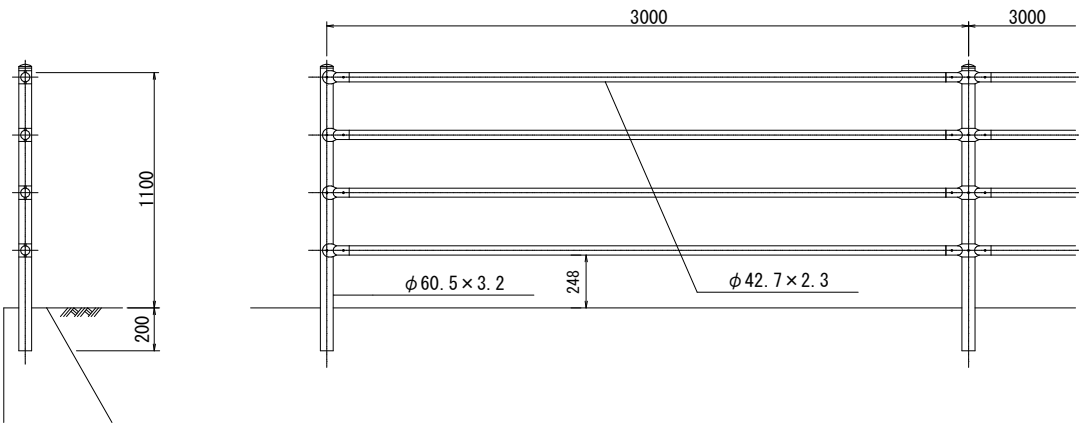
転落防止柵(擁壁天端設置タイプ)

パネル形式



高 寸	支 柱			摘 要
	支 柱 間 隔	標 準 寸 法	埋込み深さ	
1100	3000	φ=60.5 t=3.2	200	

ビーム形式

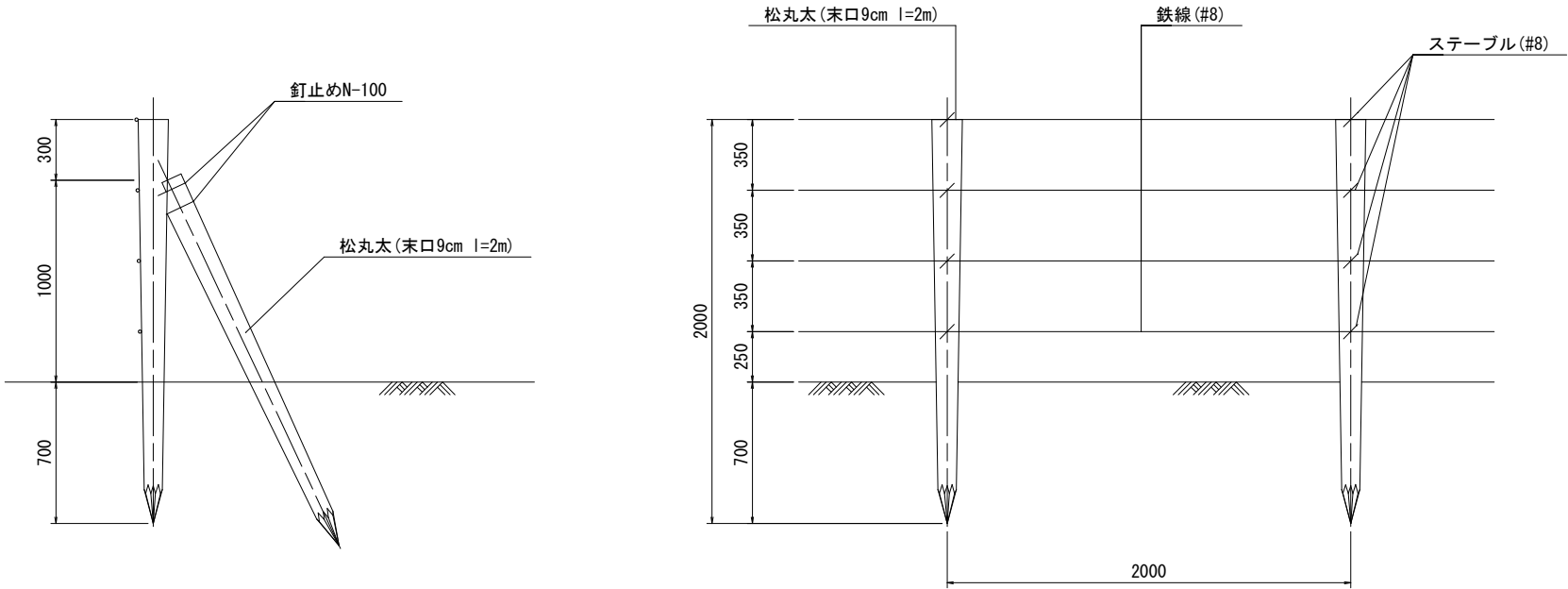


注) 転落対策を十分考慮する必要がある箇所については、棧間隔及び部材と路面との間隔を150mm以下とすることが望ましいため、パネル形式の採用について検討すること。

やむを得ず、ビーム形式を採用する場合は、間隔を150mm以下となるよう、ビーム本数を増やす等検討し、採用する場合には、特注となるため注意すること。

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>転落防止柵の製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>柵は垂鉛メッキ+粉体塗装を標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/25	名 称	防護柵 転落防止柵(擁壁天端設置タイプ)
				作 成	H30.3	記 号	PTW-A, PTW-B

丸太柵工



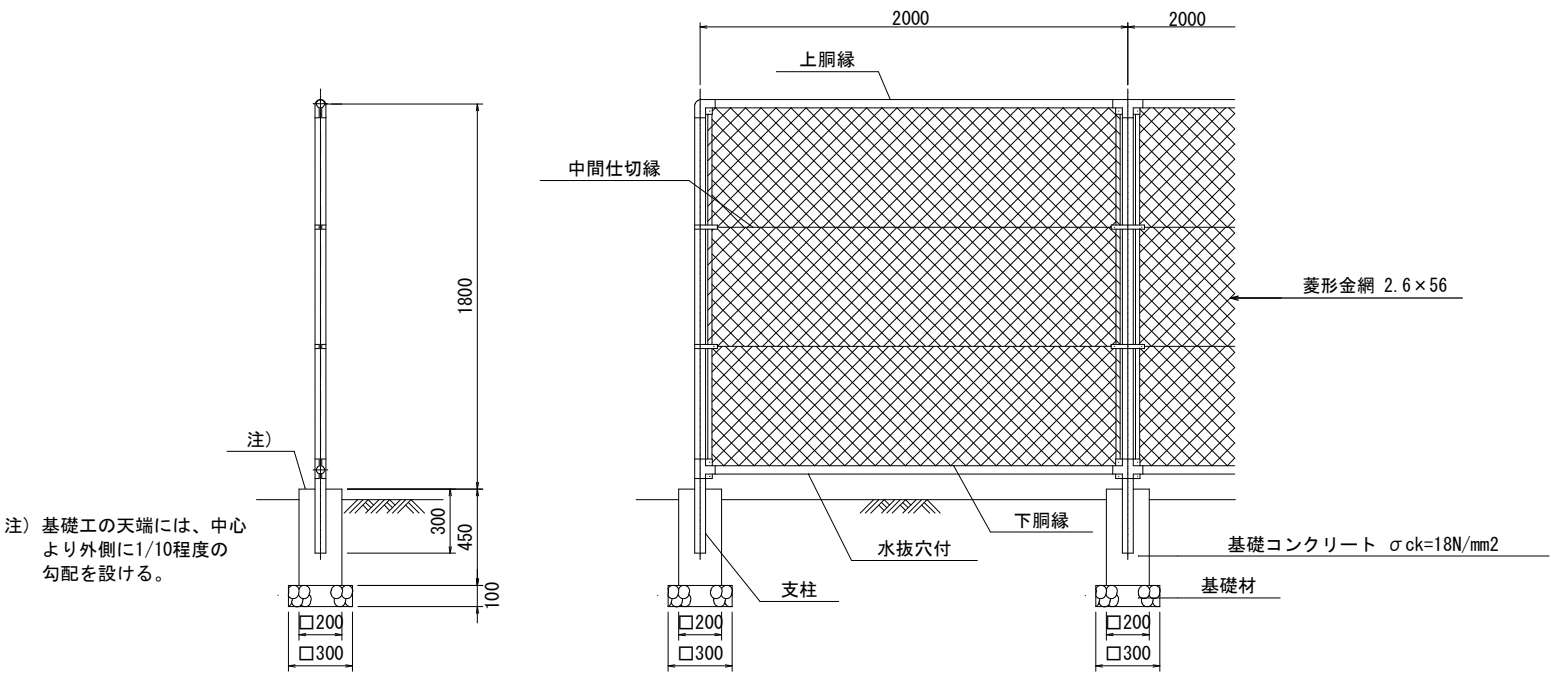
種 別	材 料 表			摘 要
	松 丸 太 (末口 9cm) (m3)	鉄線 ( # 8 ) (kg)	ステーブル ( # 8 ) (kg)	
K F	0.097	3.95	0.22	

10m当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 控柱は10mに1ヶ所とする。</li><li>・ 鉄線は垂鉛メッキ鉄線とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／25	名 称	立入防止柵 丸太柵工
				作 成	H22. 3	記 号	KF



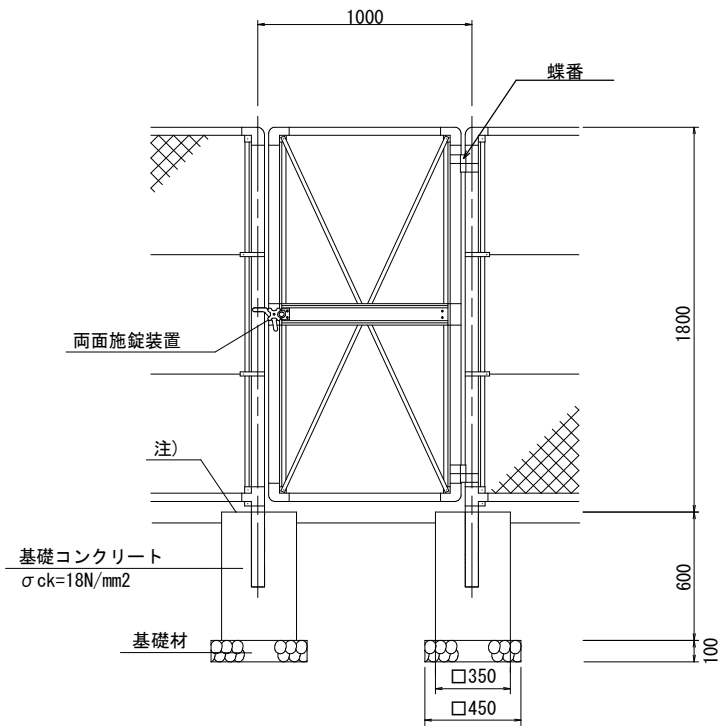
ネットフェンス工



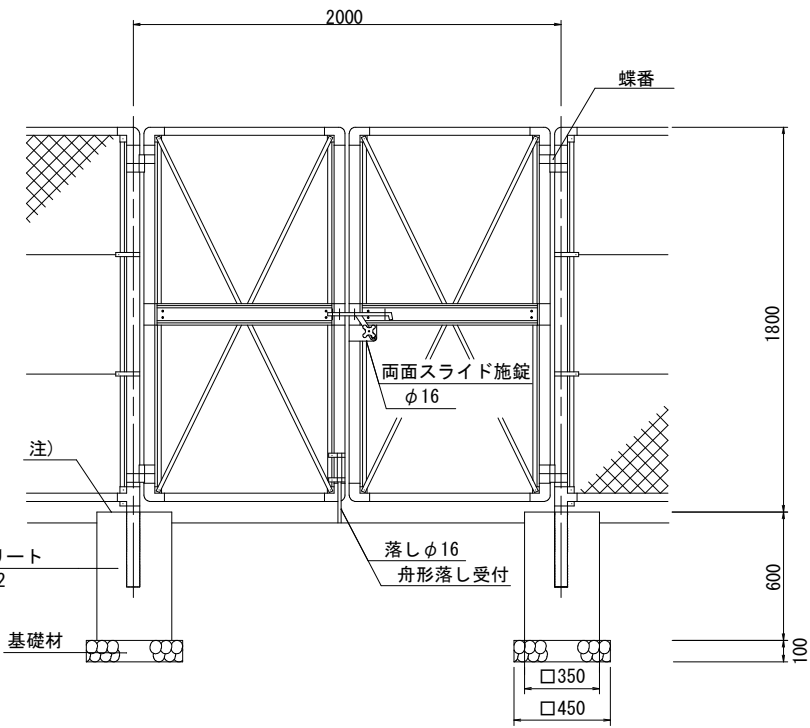
種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m3)	
200×200×450	0.17	3.60	0.09	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>ネットフェンス材は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。</li><li>製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては管理者と協議のうえ決定する。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／25	名 称	立入防止柵 ネットフェンス工
				作 成	H22. 3	記 号	NF NK1

ネットフェンス工(門扉)



注) 基礎工の天端には、中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。



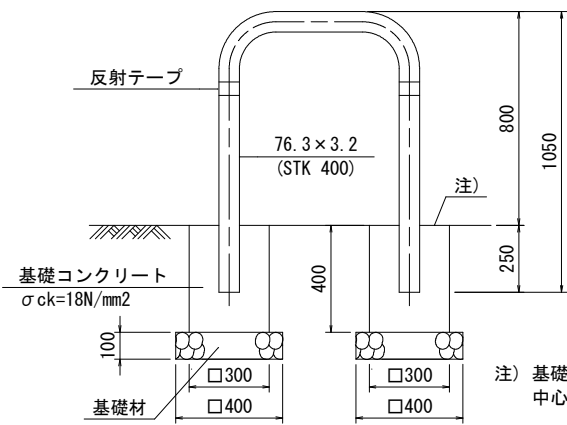
10箇所(20基)当り

種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
350×350×600	1.46	16.80	0.41	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>・ネットフェンス材は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。</li><li>・製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては管理者と協議のうえ決定する。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/25	名 称	立入防止柵 ネットフェンス工(門扉)
				作 成	H22.3	記 号	NF (G) NK2

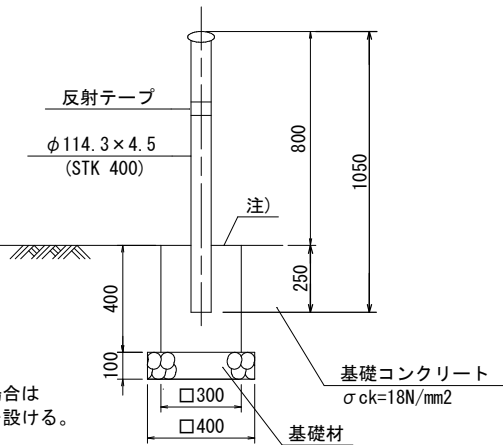
車止め（参考図）

門 型

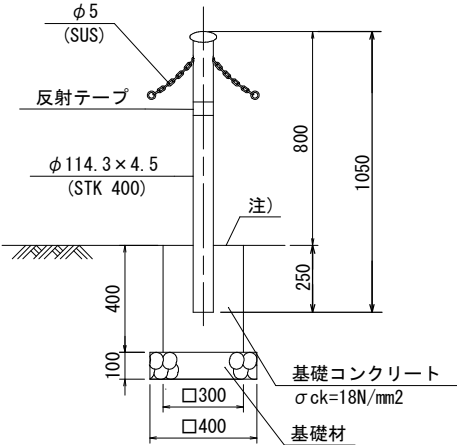


注) 基礎工の天端が路面に露出する場合は  
中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。

単柱型



単柱型(チェーン付)

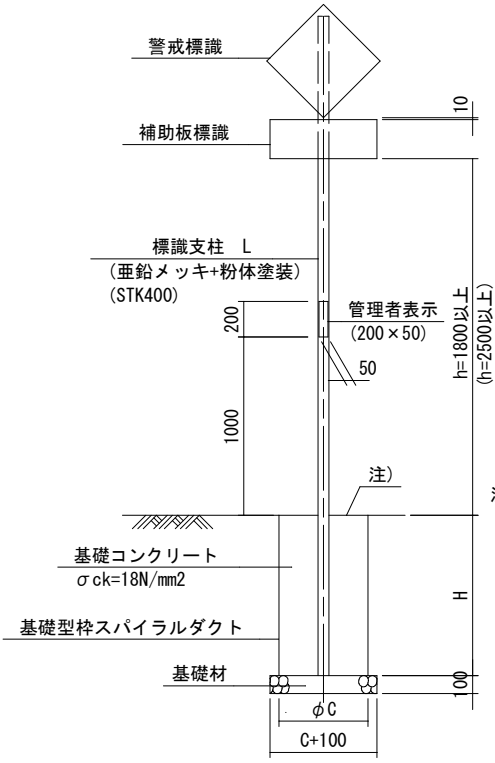


種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m3)	基礎型 枠 (㎡)	基礎 材 (m3)	
300×300×400	0.70	9.60	0.32	門 型

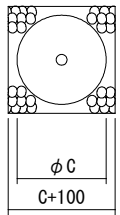
種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m3)	基礎型 枠 (㎡)	基礎 材 (m3)	
300×300×400	0.33	4.80	0.16	単柱型

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>本図は、代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>支柱は垂鉛メッキ＋粉体塗装を標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／20	名 称	車止め（参考図） 門型. 単柱型. 単柱型(チェーン付)
				作 成	H22. 3	記 号	CSG. CSS. CSC CK

一枚取付(円柱基礎)



注) 基礎工の天端が路面に露出する場合は、中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。

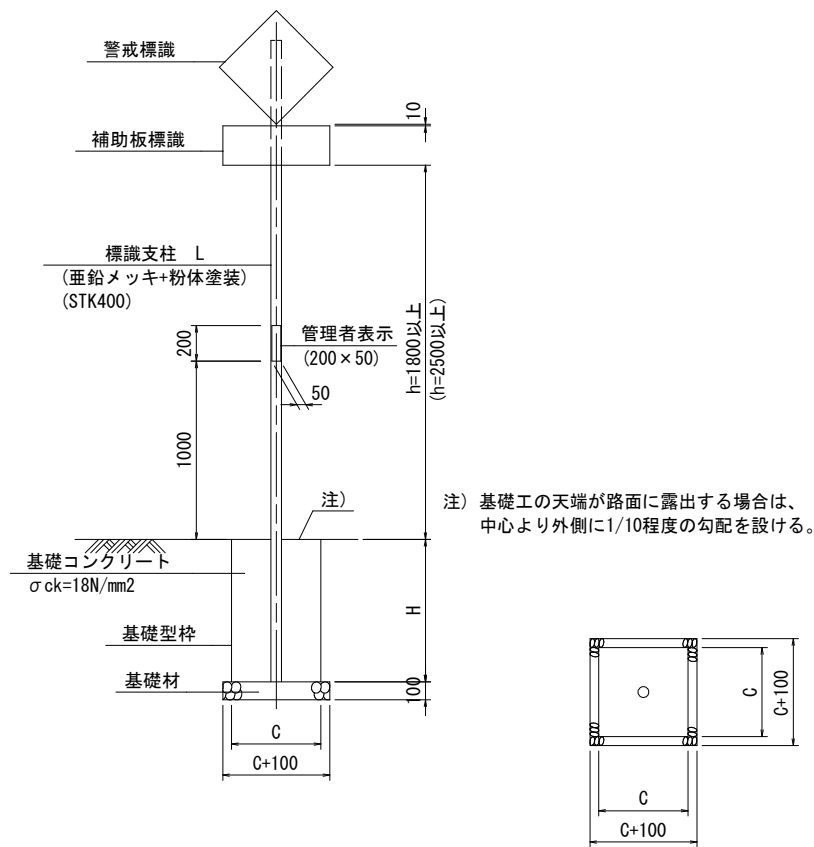


標 識 板 仕 様	
標識板材質	JIS H-4000 A5052P アルミ合金板 厚さt=2.0
補強材質	JIS H-4100 A6063S アルミ合金 (詳細図別紙参照)
反射シート	カブセルレンズ型反射シート
本板	下地—黄色 図柄—黒色
補助板	下地—白色 図柄—黒色

種 別	基 礎 寸 法 (φ C × H)	材 料 表			拡 大 率	支 柱 寸 法 (φ × t × L)	摘 要
		基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m)	基礎材 (m3)			
未 舗 装	φ 500 × 700 (φ 500 × 800)	1.35 (1.55)	7.00 (8.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5 × 2.3 × 3300 (φ 60.5 × 2.3 × 4100)	( )は設置高さ h = 2.5m
	φ 500 × 900 (φ 500 × 1000)	1.74 (1.92)	9.00 (10.00)	0.36	1.3倍	φ 60.5 × 3.2 × 3700 (φ 76.3 × 2.8 × 4500)	
	φ 600 × 900 (φ 600 × 1000)	2.50 (2.76)	9.00 (10.00)	0.49	1.6倍	φ 76.3 × 3.2 × 3900 (φ 89.1 × 3.2 × 4700)	
	φ 600 × 1100 (φ 600 × 1200)	3.04 (3.32)	11.00 (12.00)	0.49	2.0倍	φ 89.1 × 4.2 × 4400 (φ 89.1 × 4.2 × 5200)	
舗 装	φ 500 × 500 (φ 500 × 600)	0.97 (1.16)	5.00 (6.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5 × 2.3 × 3100 (φ 60.5 × 2.3 × 3900)	
	φ 500 × 700 (φ 500 × 700)	1.35 (1.34)	7.00 (7.00)	0.36	1.3倍	φ 60.5 × 3.2 × 3500 (φ 76.3 × 2.8 × 4200)	
	φ 600 × 700 (φ 600 × 700)	1.95 (1.93)	7.00 (7.00)	0.49	1.6倍	φ 76.3 × 3.2 × 3700 (φ 89.1 × 3.2 × 4400)	
	φ 600 × 800 (φ 600 × 900)	2.21 (2.49)	8.00 (9.00)	0.49	2.0倍	φ 89.1 × 4.2 × 4100 (φ 89.1 × 4.2 × 4900)	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>標示板の設置高さ(路面から標示板の下端までの高さ。ただし補助標示板がある場合にはその下端までの高さ)は、1.8mを標準とする。</li><li>但し、標識を歩道等に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合、標示板の設置高さを2.5m以上確保するものとする。</li><li>標識板の拡大率の選定については、道路標識設置基準によるものとする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/30	名 称	標識工 一枚取付(円柱基礎)
				作 成	H22. 3	記 号	KH1-(φ × H)

一枚取付(角柱基礎)

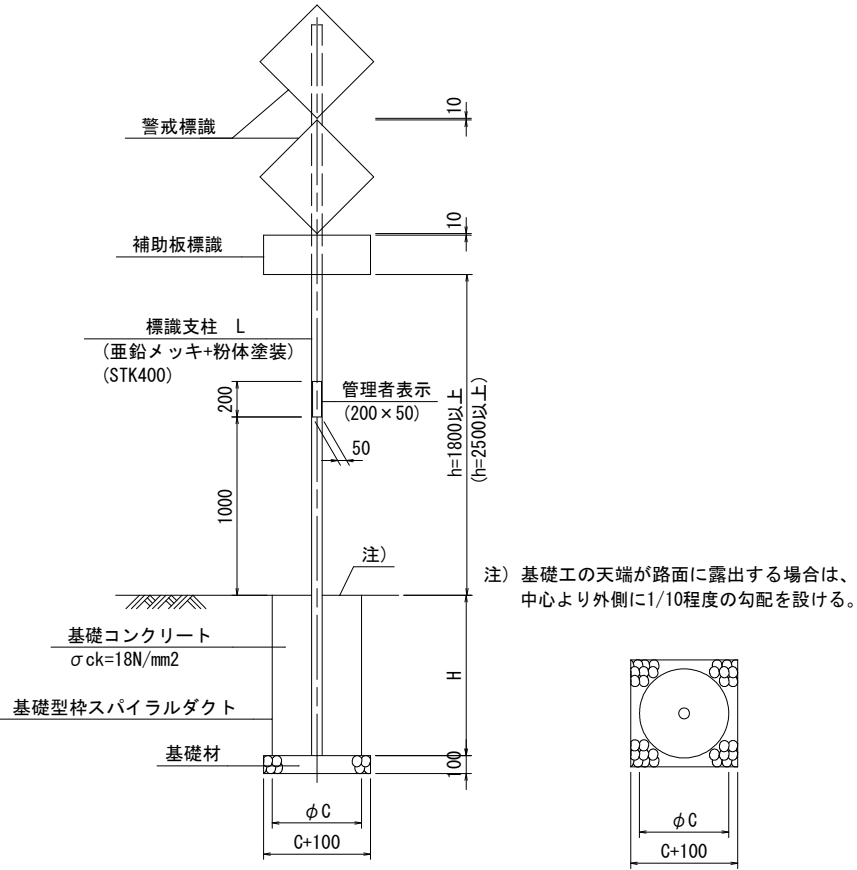


標 識 板 仕 様			
標識板材質			
JIS H-4000	A5052P	7075アルミニウム合金板 厚さt=2.0	
補強材質			
JIS H-4100	A6063S	7075アルミニウム合金 (詳細図別紙参照)	
反射シート			
カプセルレンズ型反射シート			
本板	下地—黄色	補助板	下地—白色
	図柄—黒色		図柄—黒色

種 別	基 礎 寸 法 (C×C×H)	材 料 表				支 柱 寸 法 (φ×t×L)	摘 要
		基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	拡 大 率		
未 舗 装	500×500× 600 (500×500× 700)	1.48 (1.73)	12.00 (14.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5×2.3×3200 (φ 60.5×2.3×4000)	( )は設置高 さ h=2.5m
	500×500× 800 (500×500× 900)	1.98 (2.21)	16.00 (18.00)	0.36	1.3倍	φ 60.5×3.2×3600 (φ 76.3×2.8×4400)	
	600×600× 900 (600×600×1000)	3.20 (3.54)	21.60 (24.00)	0.49	1.6倍	φ 76.3×3.2×3900 (φ 89.1×3.2×4700)	
	600×600×1100 (600×600×1200)	3.89 (4.25)	26.40 (28.80)	0.49	2.0倍	φ 89.1×4.2×4400 (φ 89.1×4.2×5200)	
舗 装	500×500× 500 (500×500× 500)	1.24 (1.24)	10.00 (10.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5×2.3×3100 (φ 60.5×2.3×3800)	
	500×500× 600 (500×500× 700)	1.48 (1.72)	12.00 (14.00)	0.36	1.3倍	φ 60.5×3.2×3400 (φ 76.3×2.8×4200)	
	600×600× 700 (600×600× 700)	2.49 (2.48)	16.80 (16.80)	0.49	1.6倍	φ 76.3×3.2×3700 (φ 89.1×3.2×4400)	
	600×600× 800 (600×600× 900)	2.83 (3.18)	19.20 (21.60)	0.49	2.0倍	φ 89.1×4.2×4100 (φ 89.1×4.2×4900)	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>標示板の設置高さ(路面から標示板の下端までの高さ。ただし補助標識板がある場合にはその下端までの高さ)は、1.8mを標準とする。但し、標識を歩道等に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合、標示板の設置高さを2.5m以上確保するものとする。</li><li>標識板の拡大率の選定については、道路標識設置基準によるものとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/30	名 称	標識工 一枚取付(角柱基礎)
				作 成	H22.3	記 号	KH1-(C×C×H)

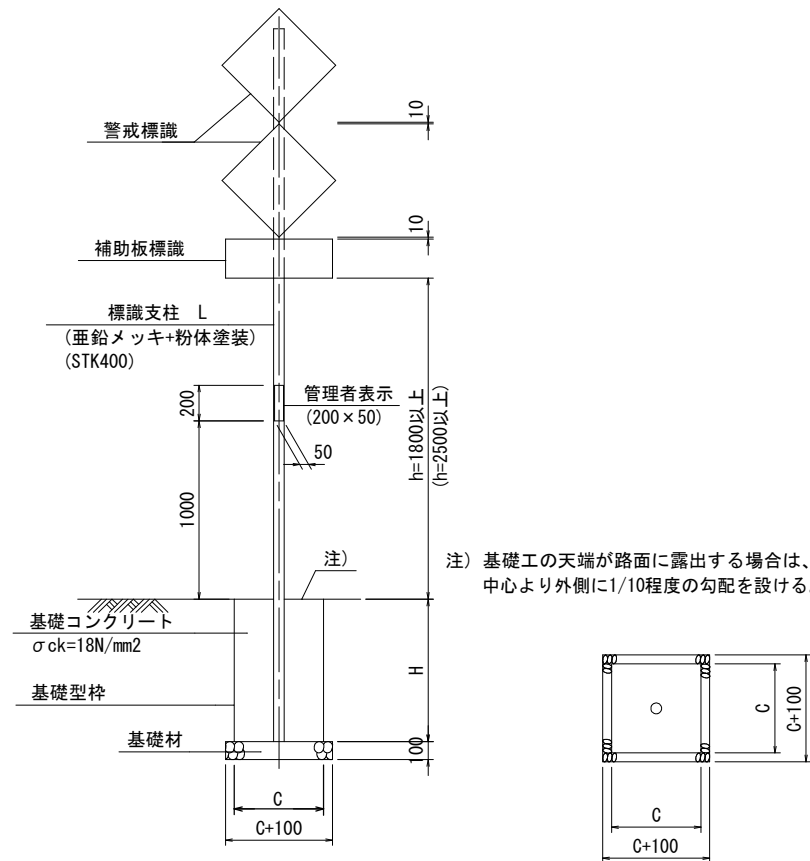
二枚取付(円柱基礎)



標 識 板 仕 様			
標識板材質			
JIS H-4000	A5052P	7075アルミニウム合金板 厚さt=2.0	
補強材質			
JIS H-4100	A6063S	7075アルミニウム合金 (詳細図別紙参照)	
反射シート			
カブセルレンズ型反射シート			
本板	下地—黄色	補助板	下地—白色
	図柄—黒色		図柄—黒色

種 別	基 礎 寸 法 (φ C × H)	材 料 表				支 柱 寸 法 (φ × t × L)	摘 要
		基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m)	基礎材 (m3)	拡大率		
未 舗 装	φ 500 × 900 (φ 500 × 1000)	1.74 (1.92)	9.00 (10.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5 × 3.2 × 4100 (φ 76.3 × 2.8 × 4900)	( )は設置高さ h = 2.5m
	φ 500 × 1100 (φ 500 × 1200)	2.11 (2.28)	11.00 (12.00)	0.36	1.3倍	φ 76.3 × 3.2 × 4700 (φ 89.1 × 3.2 × 5500)	
	φ 600 × 1200 (φ 600 × 1300)	3.32 (3.57)	12.00 (13.00)	0.49	1.6倍	φ 89.1 × 4.2 × 5200 (φ 101.6 × 4.2 × 6000)	
	φ 800 × 1200 (φ 800 × 1300)	5.91 (6.33)	12.00 (13.00)	0.81	2.0倍	φ 114.3 × 4.5 × 5800 (φ 139.8 × 4.5 × 6600)	
舗 装	φ 500 × 700 (φ 500 × 700)	1.35 (1.34)	7.00 (7.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5 × 3.2 × 3900 (φ 76.3 × 2.8 × 4600)	
	φ 500 × 800 (φ 500 × 900)	1.53 (1.71)	8.00 (9.00)	0.36	1.3倍	φ 76.3 × 3.2 × 4400 (φ 89.1 × 3.2 × 5200)	
	φ 600 × 900 (φ 600 × 1000)	2.49 (2.74)	9.00 (10.00)	0.49	1.6倍	φ 89.1 × 4.2 × 4900 (φ 101.6 × 4.2 × 5700)	
	φ 800 × 900 (φ 800 × 1000)	4.43 (4.87)	9.00 (10.00)	0.81	2.0倍	φ 114.3 × 4.5 × 5500 (φ 139.8 × 4.5 × 6300)	

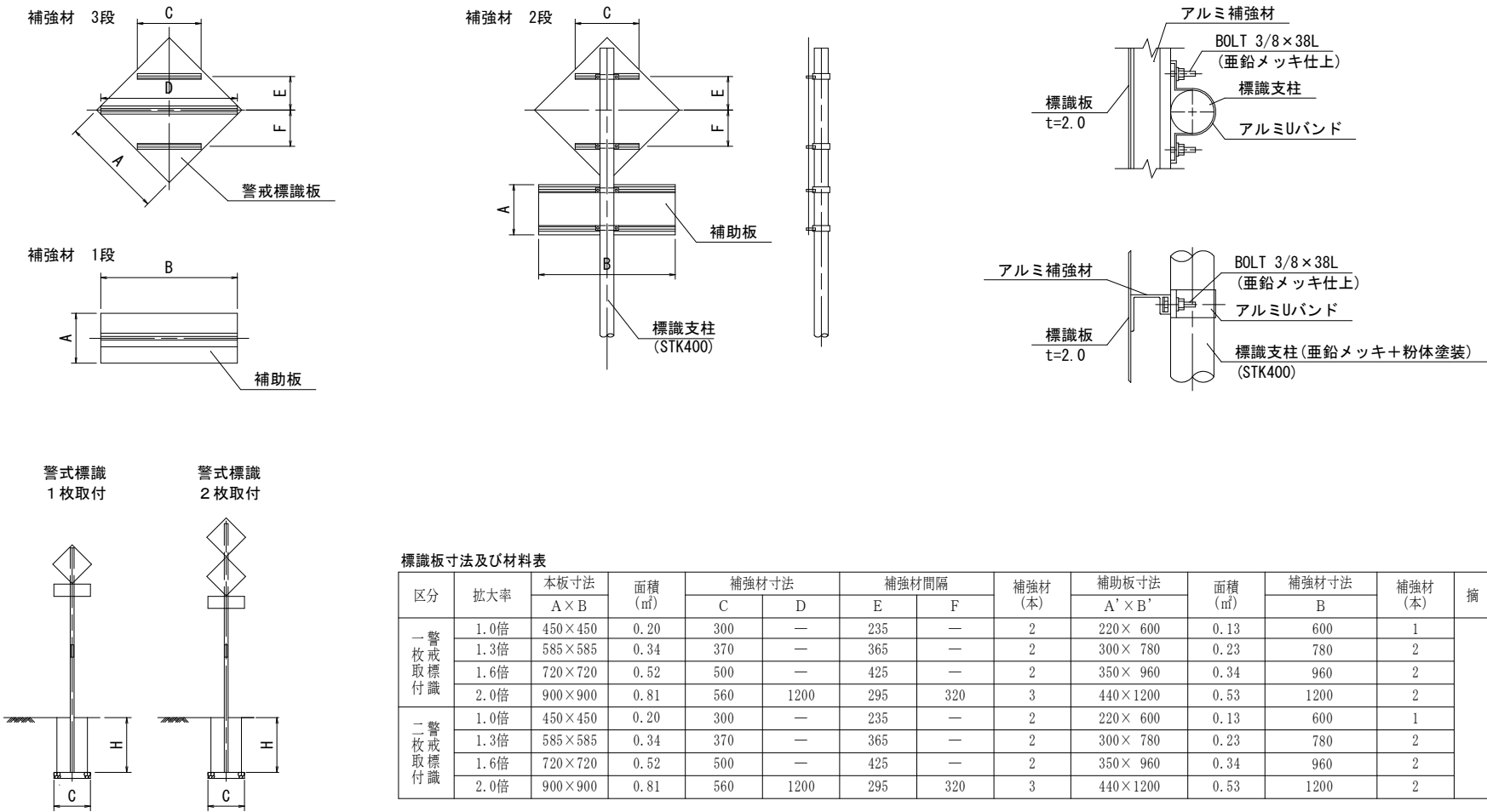
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>標示板の設置高さ(路面から標示板の下端までの高さ。ただし補助標識板がある場合にはその下端までの高さ)は、1.8mを標準とする。</li><li>但し、標識を歩道等に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合、標示板の設置高さを2.5m以上確保するものとする。</li><li>標識板の拡大率の選定については、道路標識設置基準によるものとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/30	名 称	標識工 二枚取付(円柱基礎)
				作 成	H22. 3	記 号	KH2-(φ × H)



種 別	基礎寸法 (C×C×H)	材 料 表				支柱寸法 (φ×t×L)	摘 要
		基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	拡大率		
未 舗 装	500×500× 800 (500×500× 900)	1.98 (2.21)	16.00 (18.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5×3.2×4000 (φ 76.3×2.8×4800)	( )は設置高さ h = 2.5m
	500×500×1100 (500×500×1200)	2.70 (2.93)	22.00 (24.00)	0.36	1.3倍	φ 76.3×3.2×4700 (φ 89.1×3.2×5500)	
	600×600×1100 (600×600×1200)	3.89 (4.22)	26.40 (28.80)	0.49	1.6倍	φ 89.1×4.2×5100 (φ 101.6×4.2×5900)	
	800×800×1100 (800×800×1300)	6.93 (8.12)	35.20 (41.60)	0.81	2.0倍	φ 114.3×4.5×5700 (φ 139.8×4.5×6600)	
舗 装	500×500× 600 (500×500× 700)	1.48 (1.72)	12.00 (14.00)	0.36	1.0倍	φ 60.5×3.2×3800 (φ 76.3×2.8×4600)	
	500×500× 800 (500×500× 900)	1.96 (2.19)	16.00 (18.00)	0.36	1.3倍	φ 76.3×3.2×4400 (φ 89.1×3.2×5200)	
	600×600× 800 (600×600× 900)	2.83 (3.17)	19.20 (21.60)	0.49	1.6倍	φ 89.1×4.2×4800 (φ 101.6×4.2×5600)	
	800×800× 800 (800×800×1000)	5.04 (6.25)	25.60 (32.00)	0.81	2.0倍	φ 114.3×4.5×5400 (φ 139.8×4.5×6300)	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li> <li>・ 標示板の設置高さ（路面から標示板の下端までの高さ。ただし補助標識板がある場合にはその下端までの高さ）は、1.8mを標準とする。但し、標識を歩道等に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合、標示板の設置高さを2.5m以上確保するものとする。</li> <li>・ 標識板の拡大率の選定については、道路標識設置基準によるものとする。</li> </ul>	備       考	縮尺	1/30	名称	標識工 二枚取付(角柱基礎)
			作成	H22.3	記号	KH2-(C×C×H)

標識板詳細図



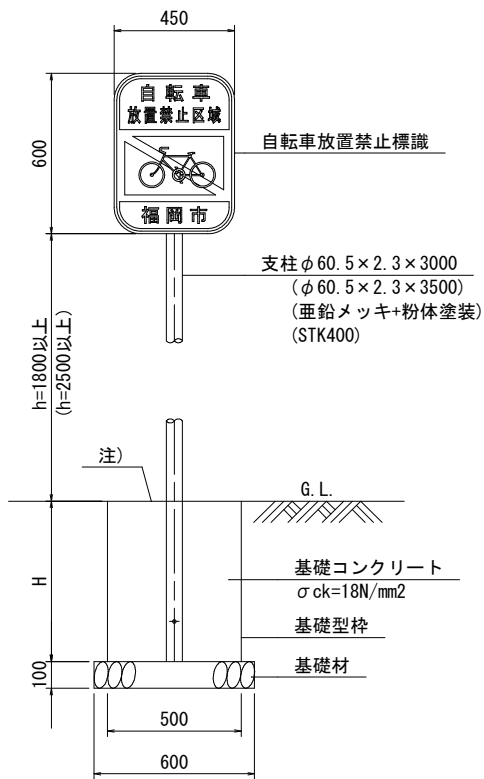
標識板寸法及び材料表

区分	拡大率	本板寸法	面積 (㎡)	補強材寸法		補強材間隔		補強材 (本)	補助板寸法	面積 (㎡)	補強材寸法	補強材 (本)	摘 要
		A×B		C	D	E	F		A'×B'		B		
一 警戒標識 一枚取付	1.0倍	450×450	0.20	300	—	235	—	2	220×600	0.13	600	1	
	1.3倍	585×585	0.34	370	—	365	—	2	300×780	0.23	780	2	
	1.6倍	720×720	0.52	500	—	425	—	2	350×960	0.34	960	2	
	2.0倍	900×900	0.81	560	1200	295	320	3	440×1200	0.53	1200	2	
二 警戒標識 二枚取付	1.0倍	450×450	0.20	300	—	235	—	2	220×600	0.13	600	1	
	1.3倍	585×585	0.34	370	—	365	—	2	300×780	0.23	780	2	
	1.6倍	720×720	0.52	500	—	425	—	2	350×960	0.34	960	2	
	2.0倍	900×900	0.81	560	1200	295	320	3	440×1200	0.53	1200	2	

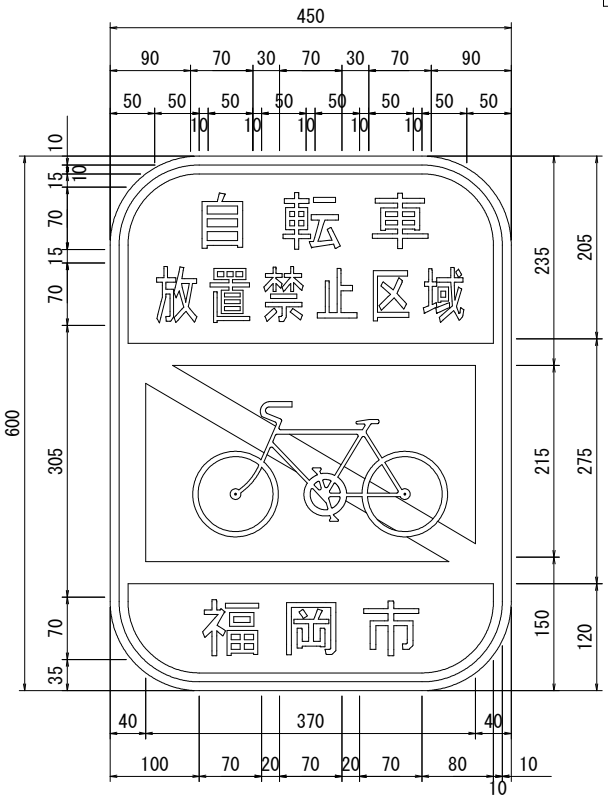
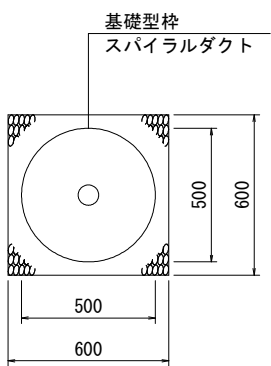
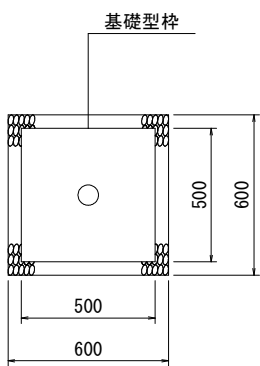
特 記 仕 様		備 考		縮 尺	—	名 称	標識工 標識板詳細図
				作 成	H22. 3	記 号	—



自転車放置禁止標識



標識板仕様
標識板材質
JIS H-4000 A5052P
アルミニウム合金板 厚さt=2.0
補強材質
JIS H-4100 A6063S
アルミニウム合金
反射シート
カプセルレンズ型反射シート
文字、わく内の地—青色
斜めの帯、わく、緑線—赤色
記号、緑、地—白色



種 別		材 料 表			摘 要
基礎寸法	(C×C×H) (φ C × H)	基礎コンクリート (m³)	基礎型枠 ㎡・(m)	基礎材 (m³)	
角柱基礎	500×500×600	1.48	12.00	0.36	未舗装 h=1.8m以上
	500×500×700	1.73	14.00		未舗装 h=2.5m以上
	500×500×500	1.24	10.00		舗 装 h=1.8, 2.5m以上
円柱基礎	φ 500×600	1.16	(6.00)	0.36	未舗装 h=1.8m以上
	φ 500×700	1.35	(7.00)		未舗装 h=2.5m以上
	φ 500×500	0.97	(5.00)		舗 装 h=1.8, 2.5m以上

注) 基礎工の天端が路面に露出する場合は、中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>標示板の設置高さ(路面から標示板の下端までの高さ。ただし補助標示板がある場合にはその下端までの高さ)は、1.8mを標準とする。但し、標識を歩道等に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合、標示板の設置高さを2.5m以上確保するものとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/6 1/20	名 称	標識工 自転車放置禁止標識
				作 成	H22. 3	記 号	KHB-(φ×H) KHB-(C×C×H)

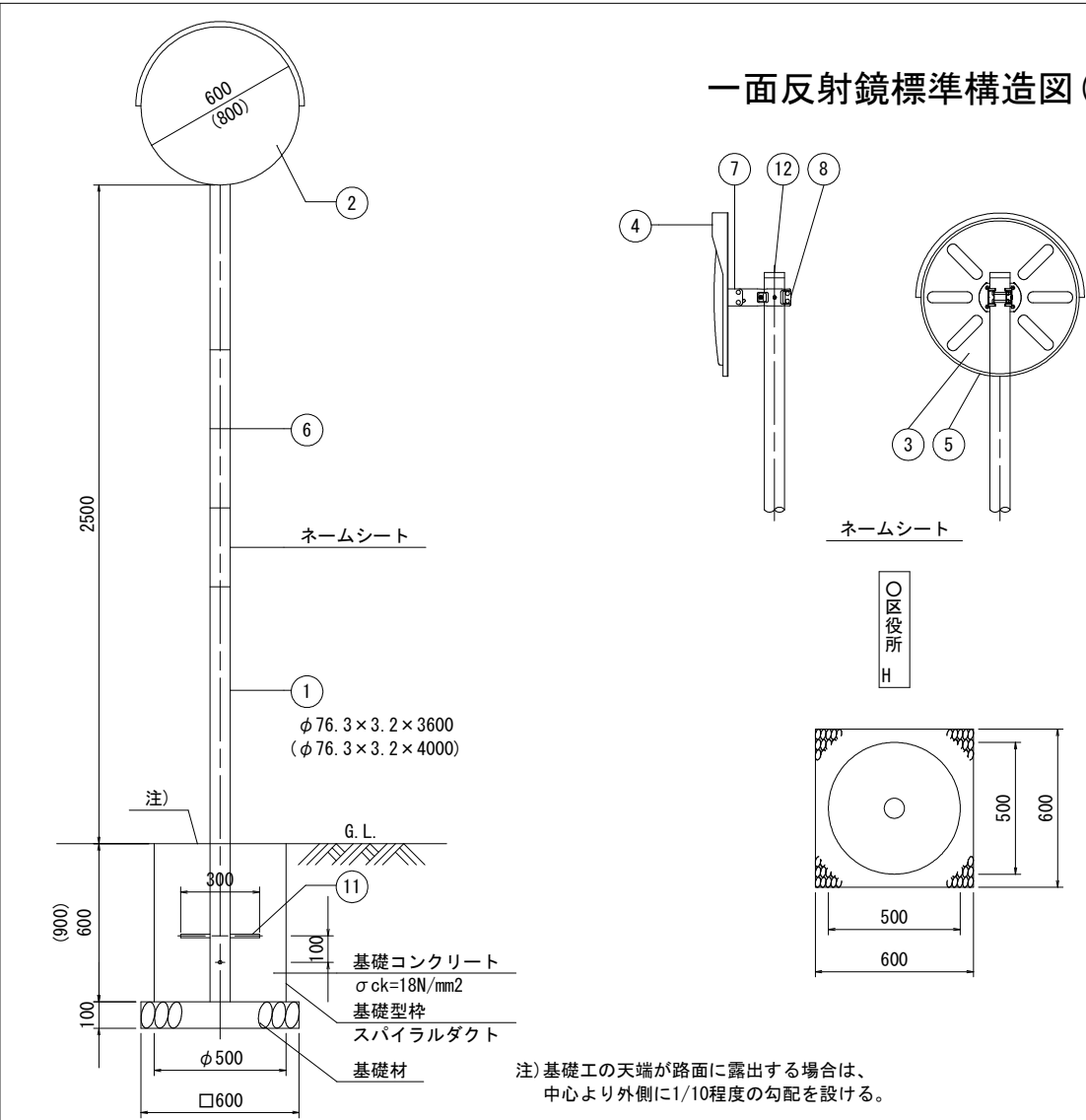
一面反射鏡標準構造図(円柱基礎)

仕 様 書			
番号	品 名	材 質	摘 要
1	支柱	鋼管(STK400)	亜鉛メッキ+粉体塗装
2	鏡面	ステンレス	厚さ0.8(0.9)mm
3	バックプレート	SGCC	SMC法
4	フード	FRP	
5	防水リング	塩化ビニール	
6	注意確認シール	全面反射	
7	取付金具A	SS400	溶融亜鉛メッキ
8	取付金具B	SS400	溶融亜鉛メッキ
11	補強鉄筋	SR235	φ13×300-2本
12	キャップ	合成樹脂	

色彩は橙色とする。

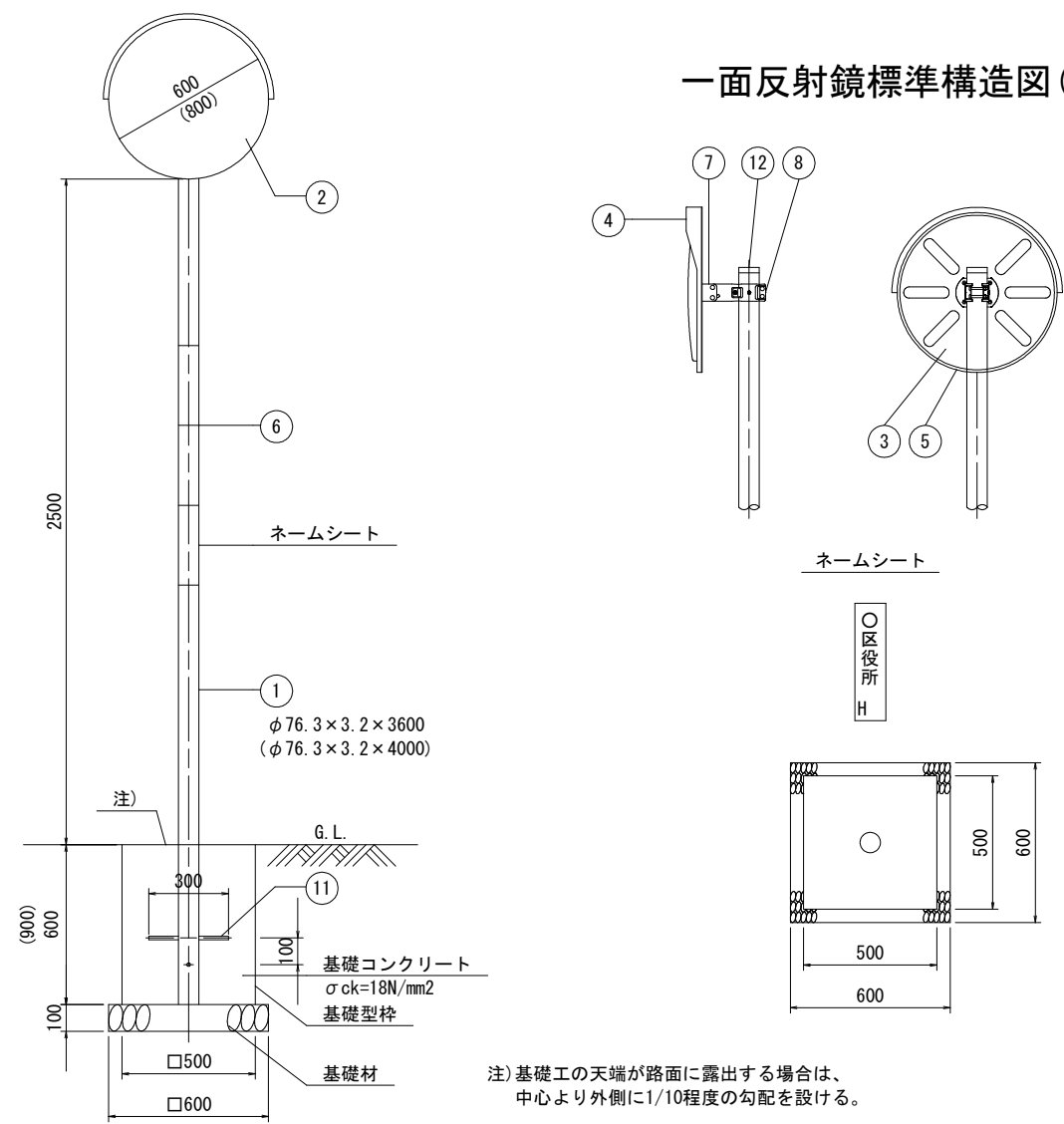
未舗道部基礎工					10基当り
種 別 (鏡 面)	寸 法 表	材 料 表			摘 要
	基礎寸法 (φC×H)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m)	基礎材 (m3)	
φ600	φ500×600	1.15	6.00	0.36	
φ800	φ500×900	1.73	9.00	0.36	

舗道部基礎工					10基当り
種 別 (鏡 面)	寸法表	材 料 表			摘 要
	基礎寸法 (φC×H)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m)	基礎材 (m3)	
φ600	φ500×500	0.96	5.00	0.36	
φ800	φ500×700	1.34	7.00	0.36	



特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>狭い幅員の道路において、道路端に側溝等がある場合は曲支柱を用いたり、路端側の余堀をなくし、鏡面が路端にくる様に考慮すること。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/20	名 称	道路反射鏡 一面反射鏡標準構造図(円柱基礎)
				作 成	H22. 3	記 号	KM1-(Φ×H)

一面反射鏡標準構造図(角柱基礎)



番号	仕様書		
	品名	材質	摘要
1	支柱	鋼管(STK400)	亜鉛メッキ+粉体塗装
2	鏡面	ステンレス	厚さ0.8(0.9)mm
3	バックプレート	SGCC	SMC法
4	フード	FRP	
5	防水リング	塩化ビニール	
6	注意確認シール	全面反射	
7	取付金具A	SS400	溶融亜鉛メッキ
8	取付金具B	SS400	溶融亜鉛メッキ
11	補強鉄筋	SR235	φ13×300-2本
12	キャップ	合成樹脂	

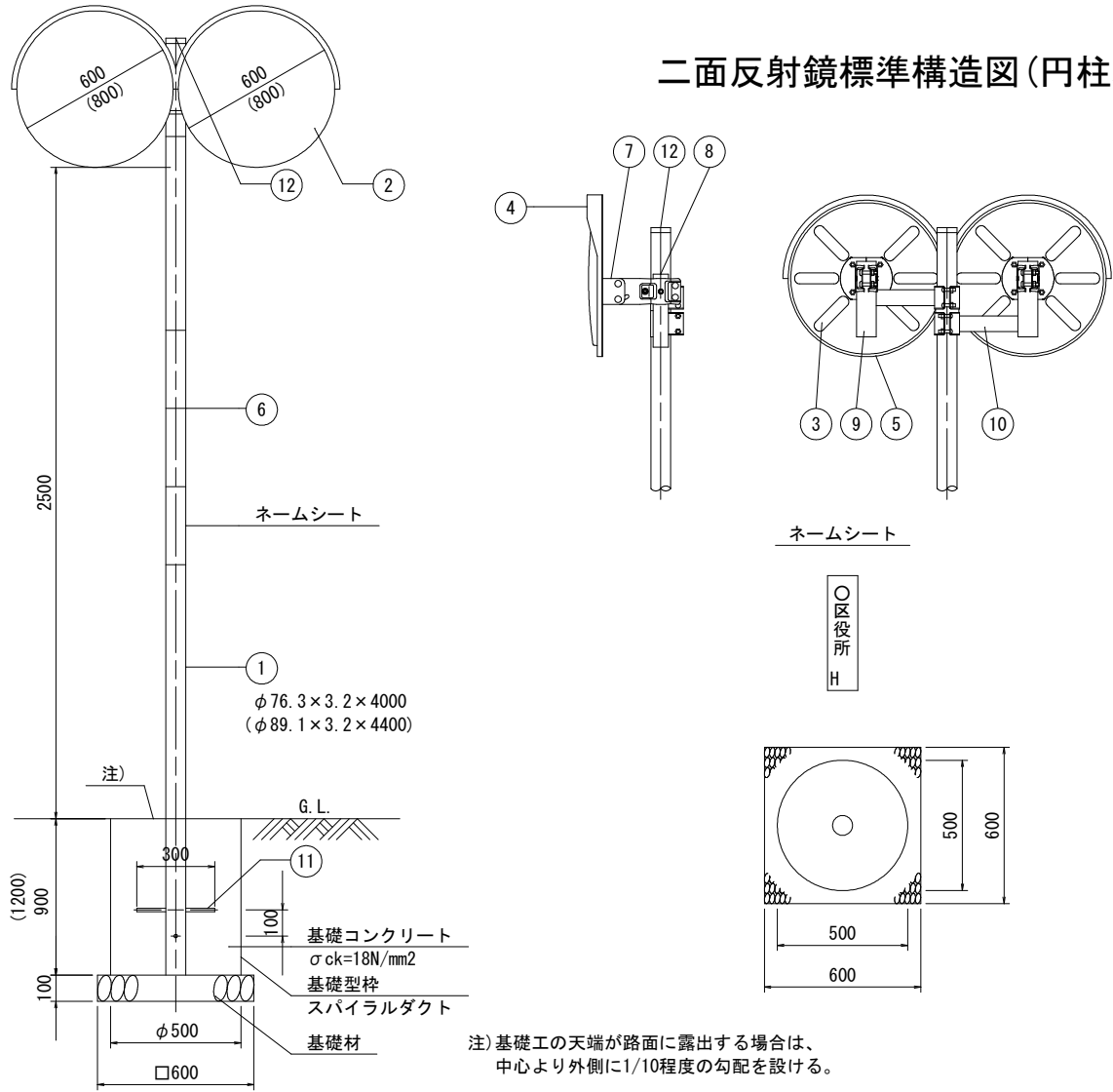
色彩は橙色とする。

未舗道部基礎工					10基当り
種別 (鏡面)	寸法表 規格寸法 (C×C×H)	材料表 基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	摘要
φ 600	500×500×600	1.47	12.00	0.36	
φ 800	500×500×900	2.21	18.00	0.36	

舗道部基礎工					10基当り
種別 (鏡面)	寸法表 規格寸法 (C×C×H)	材料表 基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	摘要
φ 600	500×500×500	1.23	10.00	0.36	
φ 800	500×500×700	1.72	14.00	0.36	

特記仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>狭い幅員の道路において、道路端に側溝等がある場合は曲支柱を用いたり、路端側の余堀をなくし、鏡面が路端になる様に考慮すること。</li></ul>	備考		縮尺	1/20	名称	道路反射鏡 一面反射鏡標準構造図(角柱基礎)
				作成	H22.3	記号	KM1-(C×C×H)

二面反射鏡標準構造図(円柱基礎)



番号	仕 様 書		
	品 名	材 質	摘 要
1	支柱	鋼管(STK400)	亜鉛メッキ+粉体塗装
2	鏡面	ステンレス	厚さ0.8(0.9)mm
3	バックプレート	SGCC	SMC法
4	フード	FRP	
5	防水リング	塩化ビニール	
6	注意確認シール	全面反射	
7	取付金具A	SS400	溶融亜鉛メッキ
8	取付金具B	SS400	溶融亜鉛メッキ
9	取付金具C	SS400	溶融亜鉛メッキ
10	二面用フレーム	STKR400	溶融亜鉛メッキ
11	補強鉄筋	SR235	φ13×300-2本
12	キャップ	合成樹脂	

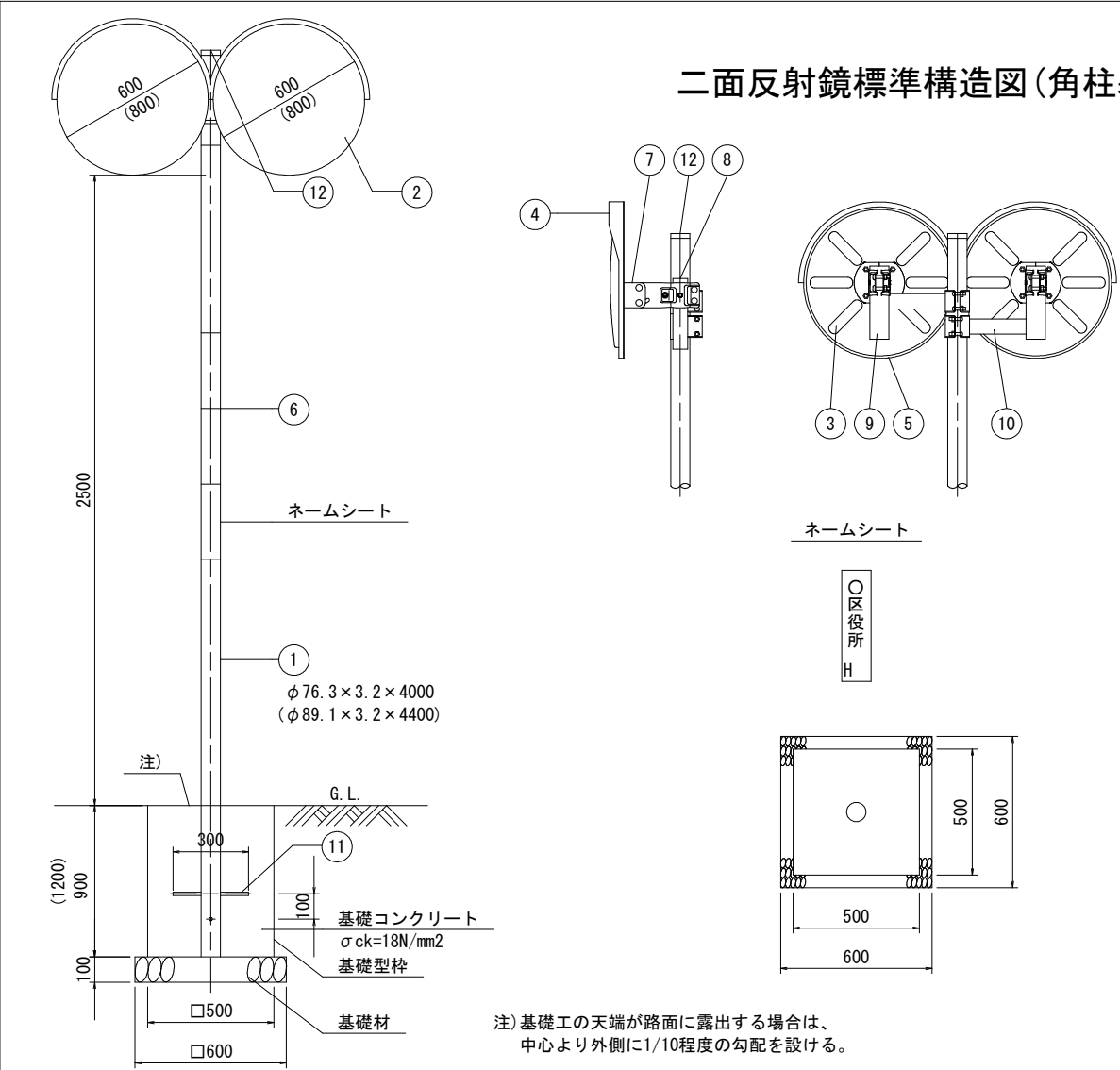
色彩は橙色とする。

種 別 (鏡 面)	寸 法 表	材 料 表			摘 要
	基礎寸法 (φC×H)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m)	基礎材 (m3)	
φ600	φ500×900	1.73	9.00	0.36	
φ800	φ500×1200	2.28	12.00	0.36	

種 別 (鏡 面)	寸 法 表	材 料 表			摘 要
	基礎寸法 (φC×H)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (m)	基礎材 (m3)	
φ600	φ500×700	1.34	7.00	0.36	
φ800	φ500×900	1.71	9.00	0.36	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>狭い幅員の道路において、道路端に側溝等がある場合は曲支柱を用いたり、路端側の余堀をなくし、鏡面が路端になる様に考慮すること。</li></ul>	備 考	縮 尺	1/20	名 称	道路反射鏡 二面反射鏡標準構造図(円柱基礎)
				H22.3		KM2-(Φ×H)

二面反射鏡標準構造図(角柱基礎)



番号	仕様書		
	品名	材質	摘要
1	支柱	鋼管(STK400)	亜鉛メッキ+粉体塗装
2	鏡面	ステンレス	厚さ0.8(0.9)mm
3	バックプレート	SGCC	SMC法
4	フード	FRP	
5	防水リング	塩化ビニール	
6	注意確認シール	全面反射	
7	取付金具A	SS400	溶融亜鉛メッキ
8	取付金具B	SS400	溶融亜鉛メッキ
9	取付金具C	SS400	溶融亜鉛メッキ
10	二面用フレーム	STKR400	溶融亜鉛メッキ
11	補強鉄筋	SR235	φ13×300-2本
12	キャップ	合成樹脂	

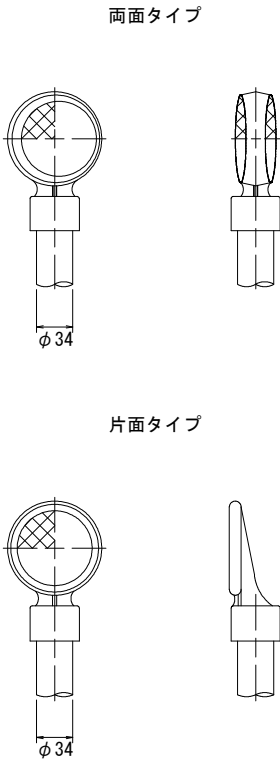
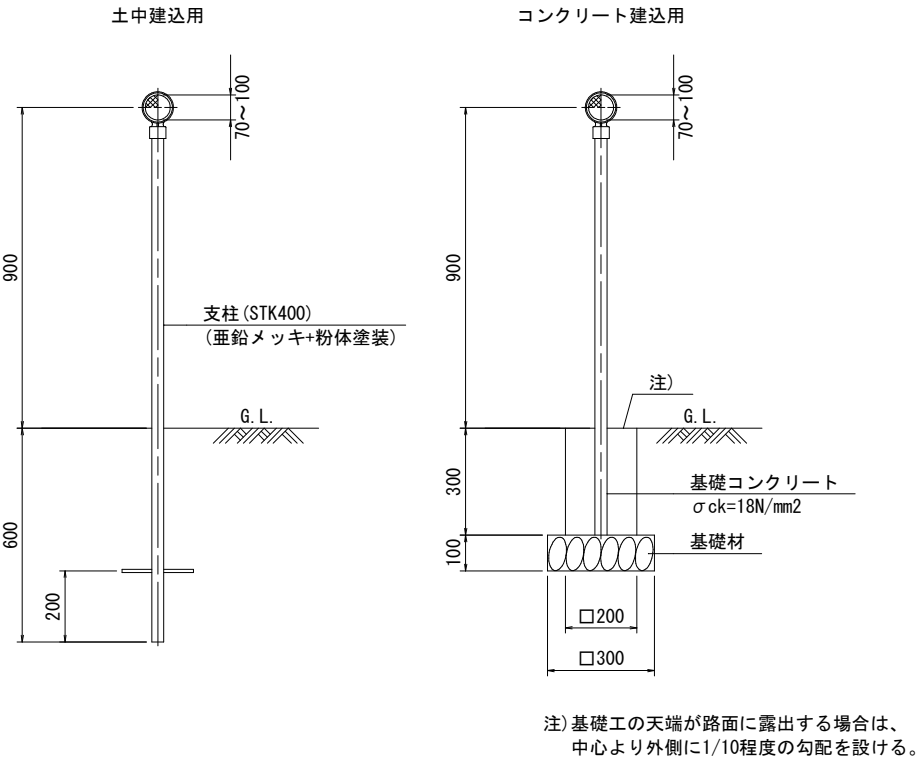
色彩は橙色とする。

種別 (鏡面)	寸法表	材料表			摘要
	規格寸法 (C×C×H)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
φ600	500×500×900	2.21	18.00	0.36	
φ800	500×500×1200	2.93	24.00	0.36	

種別 (鏡面)	寸法表	材料表			摘要
	規格寸法 (C×C×H)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基礎材 (m3)	
φ600	500×500×700	1.72	14.00	0.36	
φ800	500×500×900	2.19	18.00	0.36	

特記仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>狭い幅員の道路において、道路端に側溝等がある場合は曲支柱を用いたり、路端側の余堀をなくし、鏡面が路端になる様に考慮すること。</li></ul>	備考		縮尺	1/20	名称	道路反射鏡 二面反射鏡標準構造図(角柱基礎)
				作成	H22.3	記号	KM2-(C×C×H)

単独柱

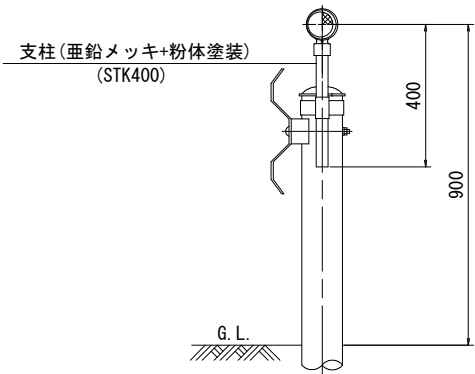


種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	
200×200×300	0.12	2.40	0.09	

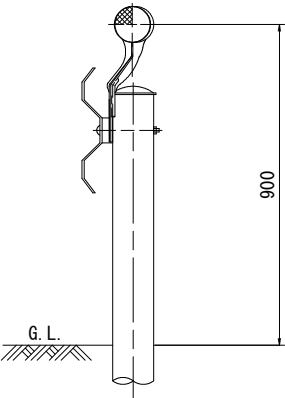
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導標の製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/15 1/5	名 称	視線誘導標 単独柱
				作 成	H22. 3	記 号	DC DK

防護柵取付

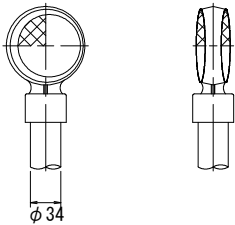
バンド式



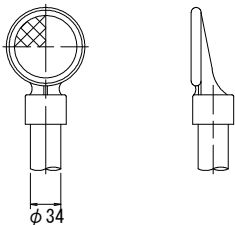
添架式



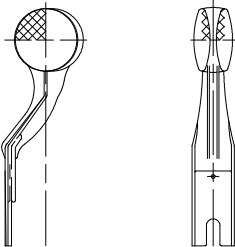
両面タイプ



片面タイプ

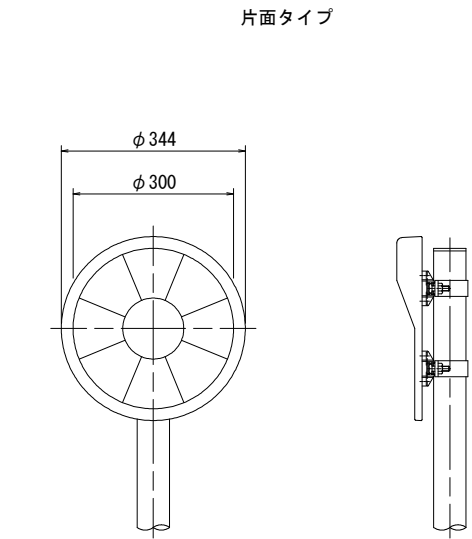
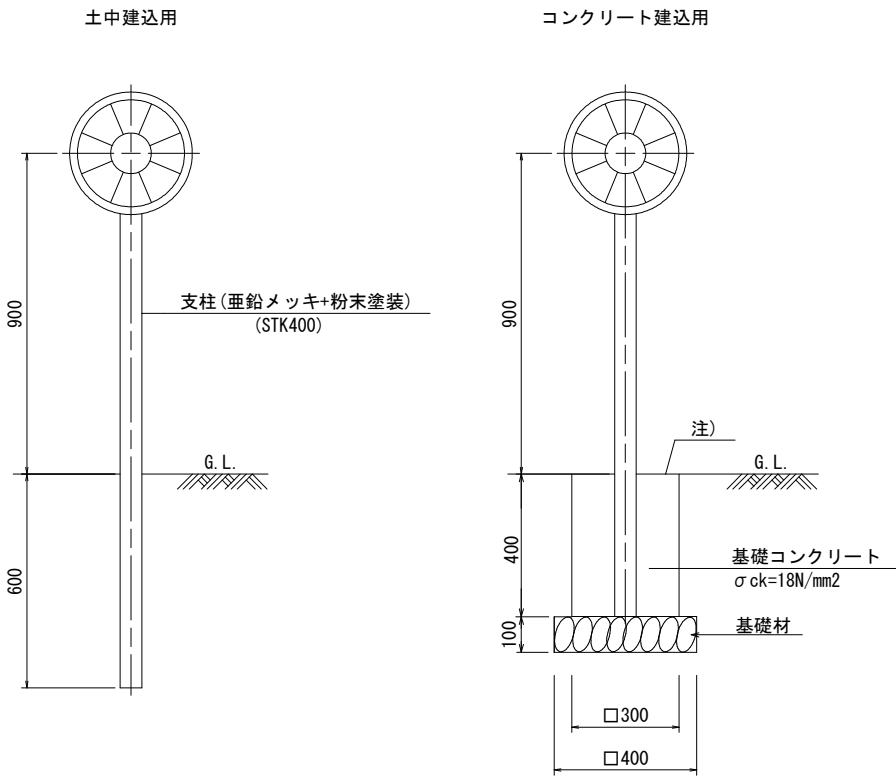


両面タイプ



特 記 仕 様	・ 視線誘導標の製品については代表的な形状を示すもので、 採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。	備          考		縮 尺	1／15 1／6	名 称	視線誘導標 防護柵取付
				作 成	H22. 3	記 号	DCT

大型視線誘導標



種 別 (C×C×H)	材 料 表			摘 要
	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	基礎型枠 (m <sup>2</sup> )	基礎材 (m <sup>3</sup> )	
300×300×400	0.35	4.80	0.16	

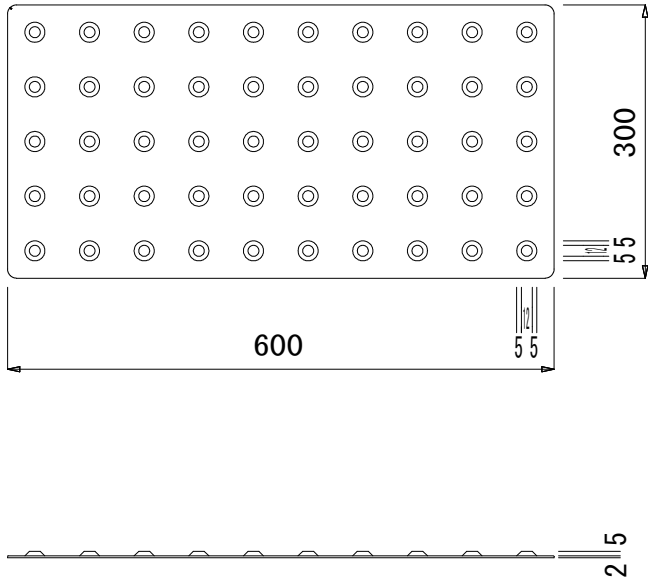
注) 基礎工の天端が路面に露出する場合は、  
中心より外側に1/10程度の勾配を設ける。

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>視線誘導標の製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>障害物のある箇所、急カーブ等で特に危険と判断される箇所に使用する。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/15 1/10	名 称	視線誘導標 大型視線誘導標
				作 成	H22. 3	記 号	DBC DBK

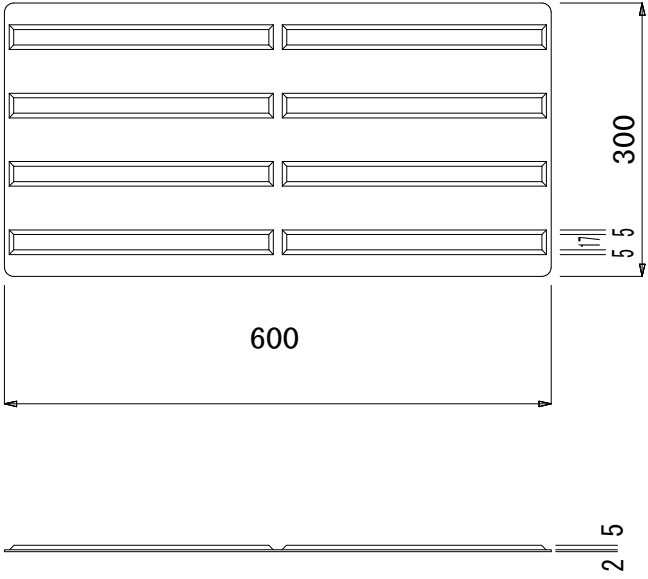


視覚障がい者誘導用ブロック（MMA樹脂製点字タイル）

点状タイル 〈JIS規格適合製品〉

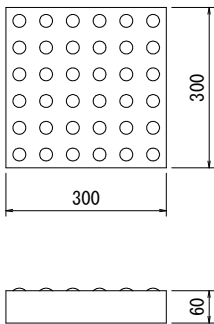


線状タイル 〈JIS規格適合製品〉



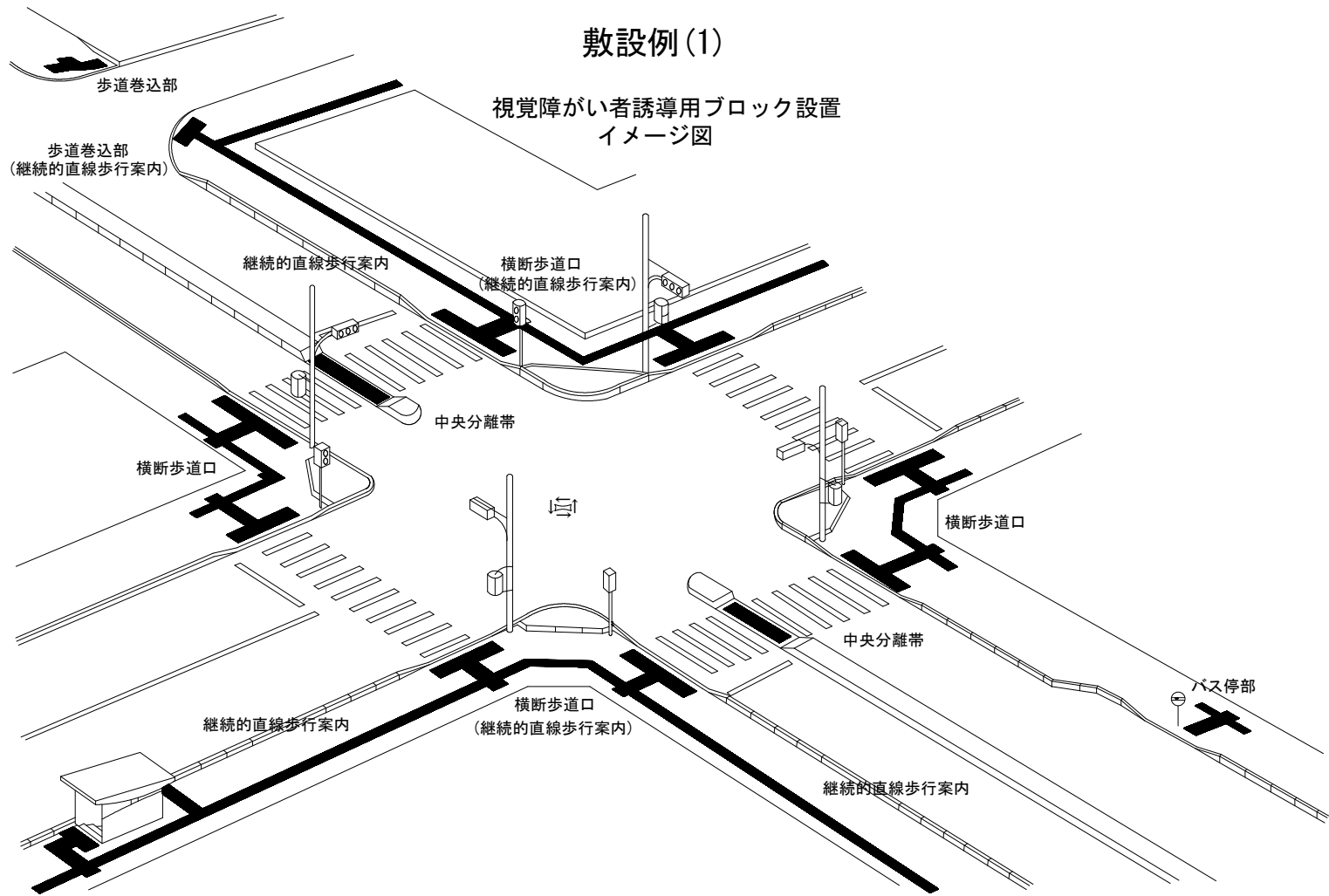
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 視覚障がい者誘導ブロックは、黄色を原則とする。</li><li>・ MMA樹脂製専用接着剤を使用し、タイルと接着剤が一体化する溶融接着方式とすること。</li><li>・ 車両が通行する乗入部においては、補強繊維を設置し点字突起部の舗装へのめり込み・破損を抑制すること。</li><li>・ 大型車両や一般車両が頻繁に乗入する特殊な乗入箇所は別途考慮とすること。</li><li>・ 整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	視覚障がい者誘導用ブロック （MMA樹脂製点字タイル）
				作 成	R6.3	記 号	

## 敷設標準断面図



種 別 (B×B×t)	材 料 表					摘 要
	誘導用アロック (枚)	目地モルタル (m <sup>3</sup> )	敷モルタル (m <sup>3</sup> )	基礎コンクリート (m <sup>3</sup> )	クラッシュアース (m <sup>3</sup> )	
GB-300×300×60	327	0.02	0.75	1.50	3.0	

特記仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者誘導ブロックは、黄色を原則とする。</li> <li>・基礎型枠は施工状況に合わせ別途計上する。</li> <li>・整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li> </ul>	備考	縮尺	1/10	名称	視覚障がい者誘導ブロック 敷設標準断面図
			作成	H30.3	記号	GB

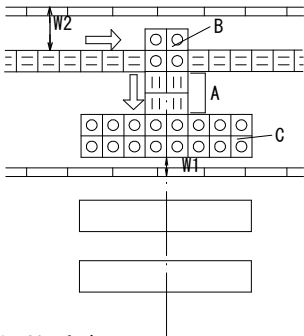


特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	敷設例(1) 視覚障がい者誘導用ブロック設置
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

敷設例(2)

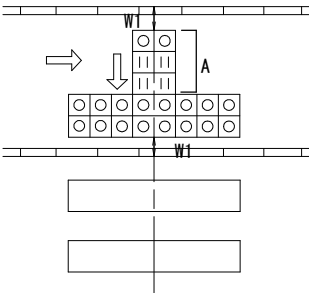
横断歩道口敷設図(1/2)

(継続的直線歩行を案内している場合)



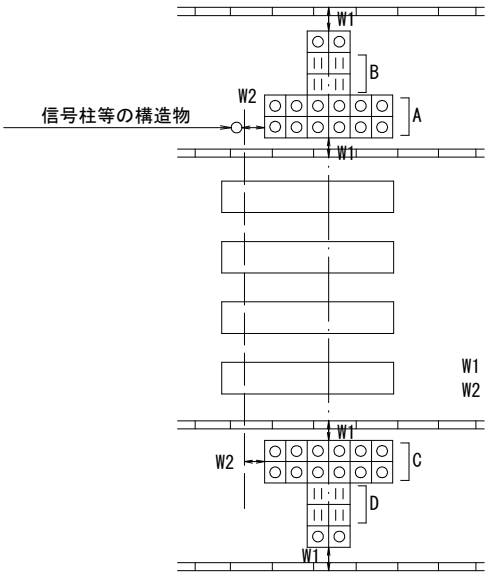
- W1 : 30cm程度  
W2 : 60cm程度以上 (ただし、路上施設や占用物件の設置状況などによって、この値とすることが適切ではない場合は、この限りではない。)
- A : さらに歩道幅員が広い場合は、Aの部分の設置する範囲が広くなることになる。
- B : この部分を点状ブロックとし、ここが分岐点であることを案内することとする。
- C : ブロックは横断歩道の幅員に応じて決定する。また、横断歩道の中心とAのブロックの中心を合わせる。
- ⇒: 矢印方向に歩行している時に点状ブロック、線状ブロックを踏み越えないよう2列敷設とする。

(継続的に案内していない場合)



- W1 : 30cm程度
- A : さらに歩道幅員が広い場合は、Aの部分の設置する範囲が広くなることになる。
- ⇒: 矢印方向に歩行している時に点状ブロック、線状ブロックを踏み越えないよう2列敷設とする。

(信号柱等の構造物がある場合)

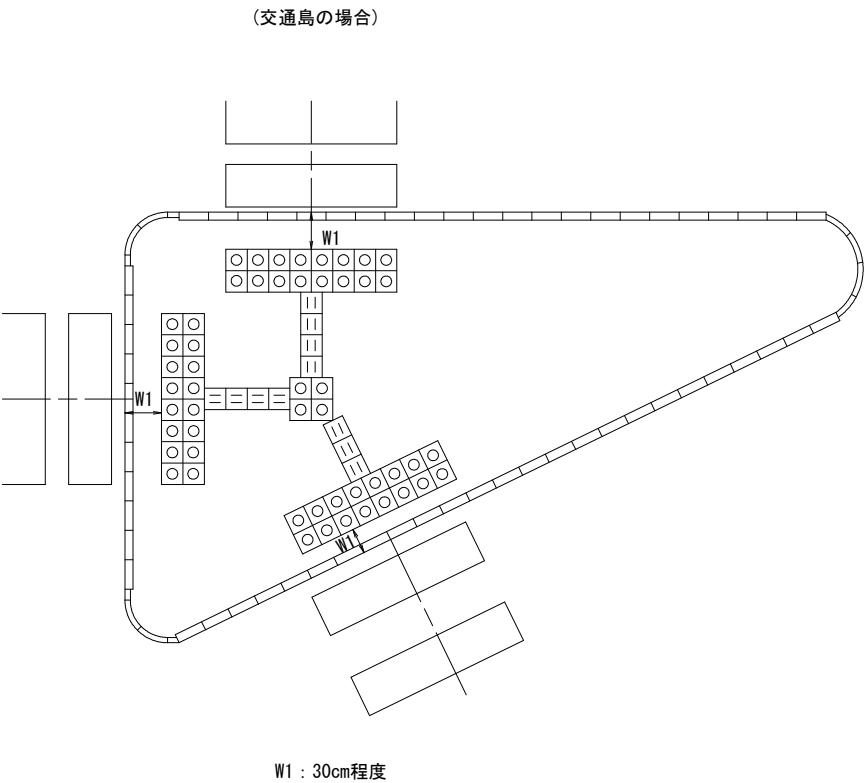
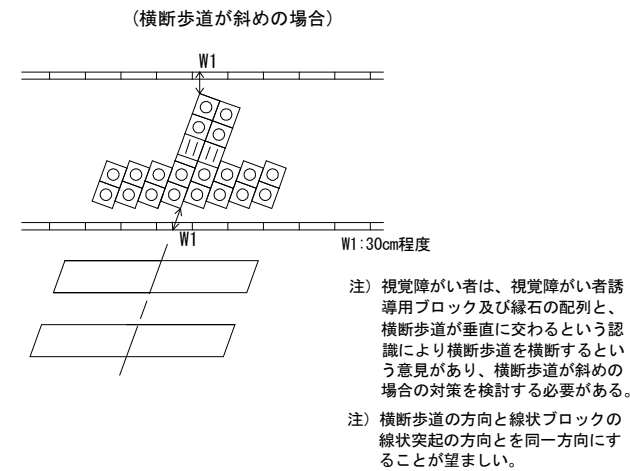
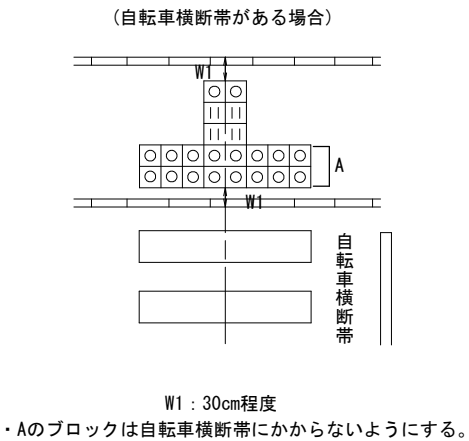


- W1 : 30cm程度  
W2 : 30~60cm程度
- ・ BのブロックはAのブロックの中心部に設置する。
  - ・ Aのブロックは信号柱等接近しない方が、好ましい構造物からW2離して設置する。
  - ・ C及びDのブロックについても同様の措置を取る。

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわれないような設置をすること。</li><li>・ 整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	敷設例(2) 横断歩道口敷設図(1/2)
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

敷設例(3)

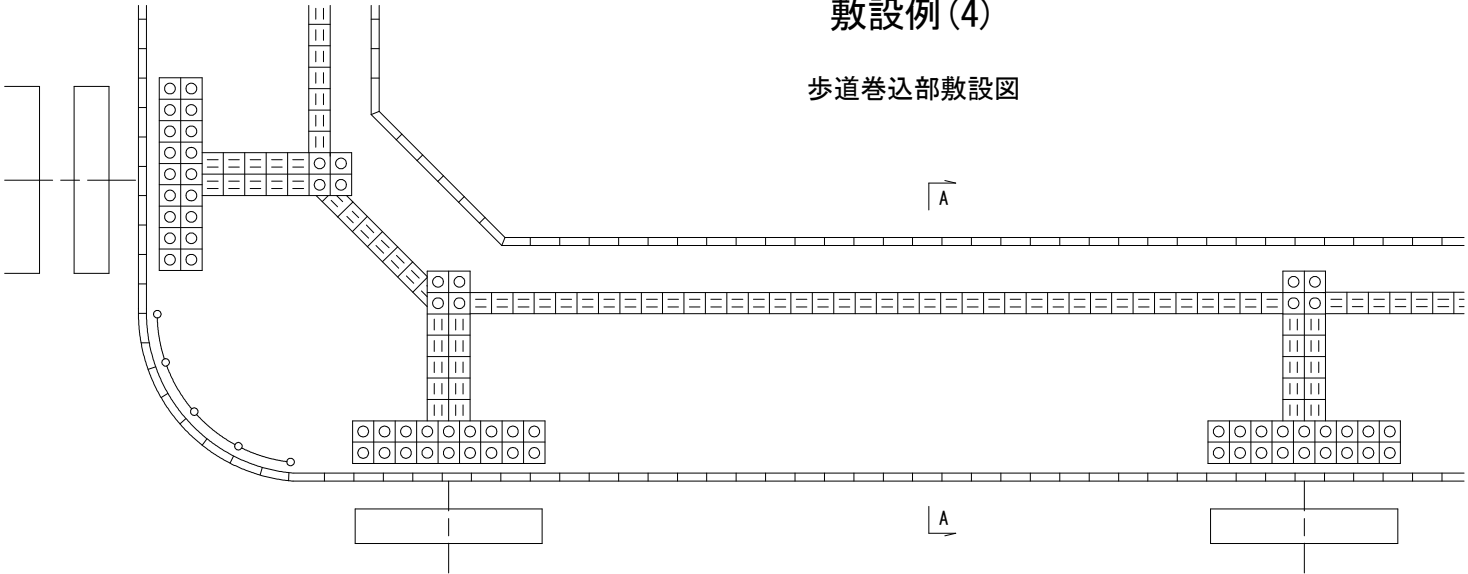
横断歩道口敷設図(2/2)



特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備          考		縮 尺	—	名 称	敷設例(3) 横断歩道口敷設図(2/2)
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

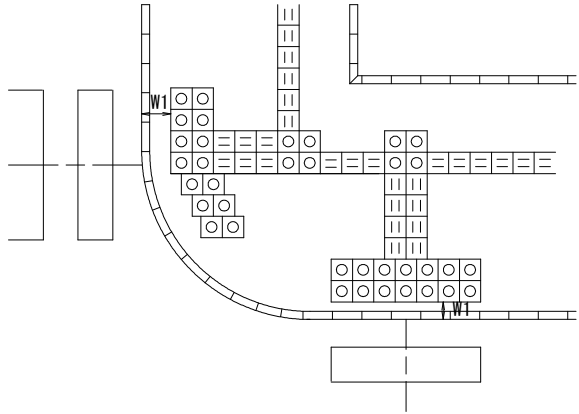
敷設例(4)

歩道巻込部敷設図

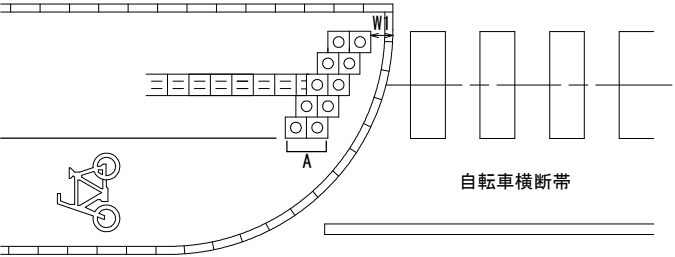


視覚障がい者誘導ブロックを使用する歩行者の通行空間

(歩道幅員が広い場合及び自転車の通行すべき部分が指定されている場合)



W1 : 30cm程度



W1:30cm程度  
・Aのブロックは自転車横断帯・通行部にかからないようにする。

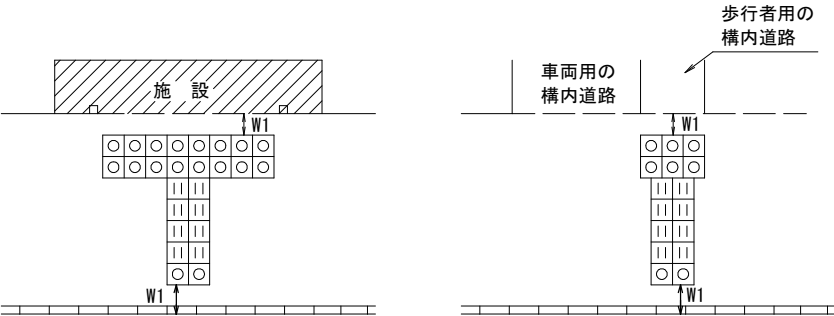
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	敷設例(4) 歩道巻込部敷設図
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

敷設例(5)

施設等入口部及び中央分離帯敷設図

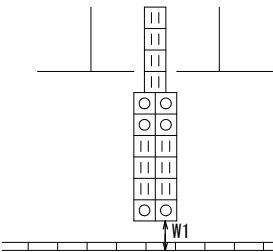
施設等入口部敷設図

(公共施設等の入口部に設置する場合)



W1 : 30cm程度

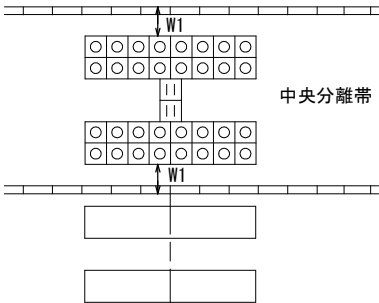
(施設側に設置してあるブロックと連絡するように設置する場合)



W1 : 30cm程度

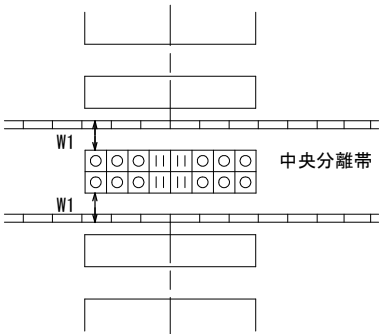
中央分離帯敷設図

(広い中央分離帯の場合)



W1 : 30cm程度

(狭い中央分離帯の場合)



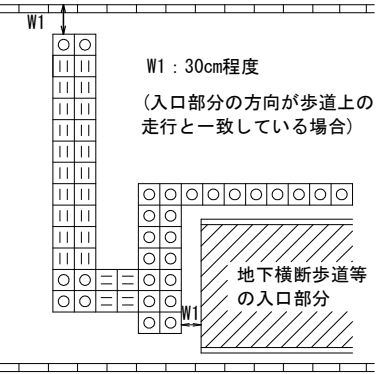
W1 : 30cm程度

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	敷設例(5) 施設等入口部及び中央分離帯敷設図
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

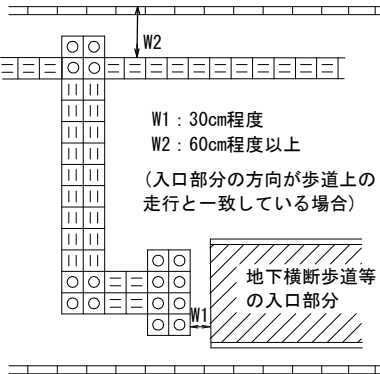
敷設例(6)

地下横断歩道等の昇降口敷設図

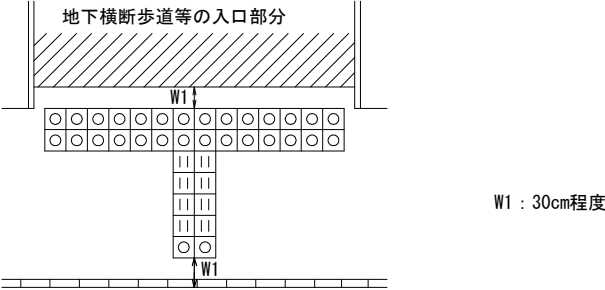
(継続的に案内していない場合)



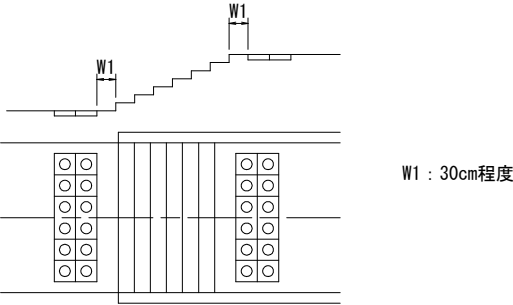
(継続的に案内している場合)



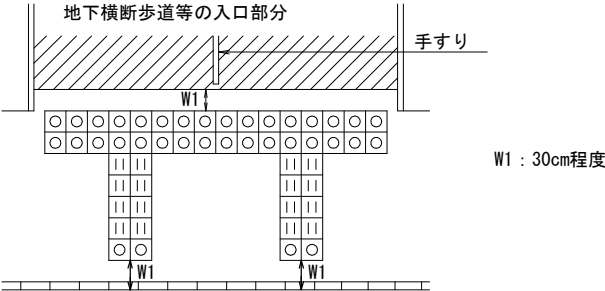
(入口部分の方向が歩道上の  
走行方向に対して直角の場合)



(階段部の設置例)



(階段中央に手すりがある場合)



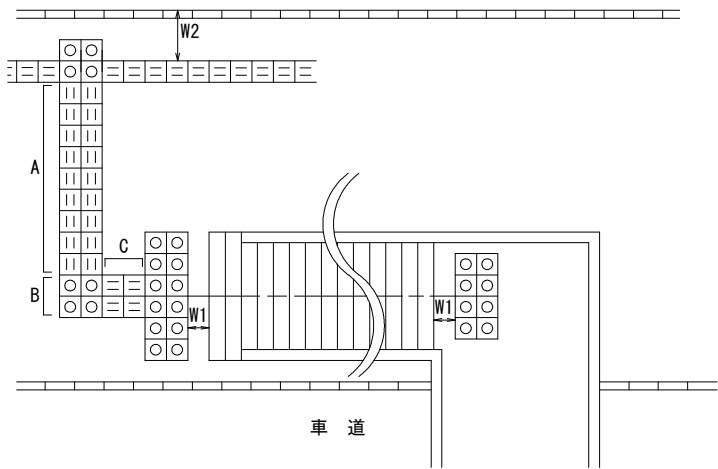
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	敷設例(6) 地下横断歩道等の昇降口敷設図
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図



敷設例(7)

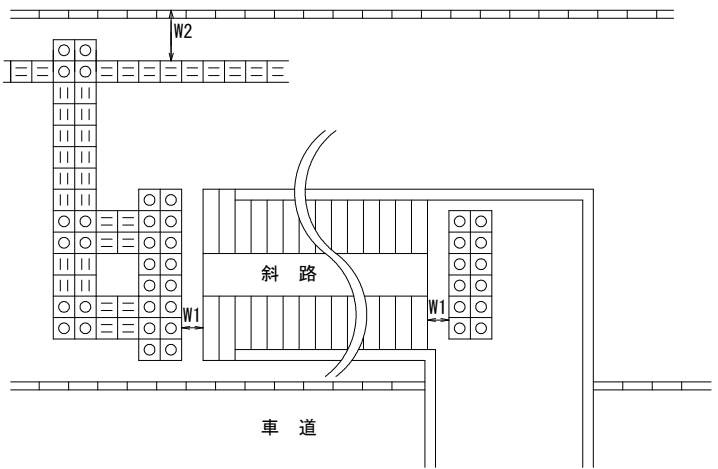
横断歩道橋の昇降口敷設図

(通常歩道橋の場合)



W1 : 30cm程度  
W2 : 60cm程度以上

(斜路付階段のある歩道橋の場合)



W1 : 30cm程度  
W2 : 60cm程度以上

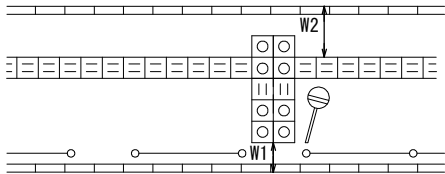
Aの線状ブロックによって誘導された視覚障がい者は、Bの点状ブロックによって分岐点であることがわかり、Cの線状ブロックによって横断歩道橋の昇降口に導かれることとなる。

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	敷設例(7) 横断歩道橋の昇降口敷設図
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

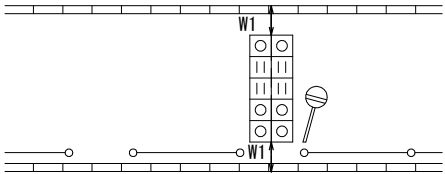
敷設例(8)

バス停部敷設図

(継続的に案内している場合)



(継続的に案内していない場合)



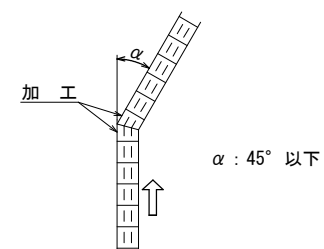
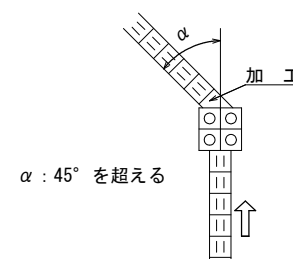
W1 : 30cm程度

W2 : 60cm程度以上

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。</li><li>整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	敷設例(8) バス停部及び分岐点敷設図
				作 成	H30. 3	記 号	参 考 図

### 屈折・屈曲部敷設図

(屈折・屈曲部詳細図)



(45° を超えて方向変更する場合)

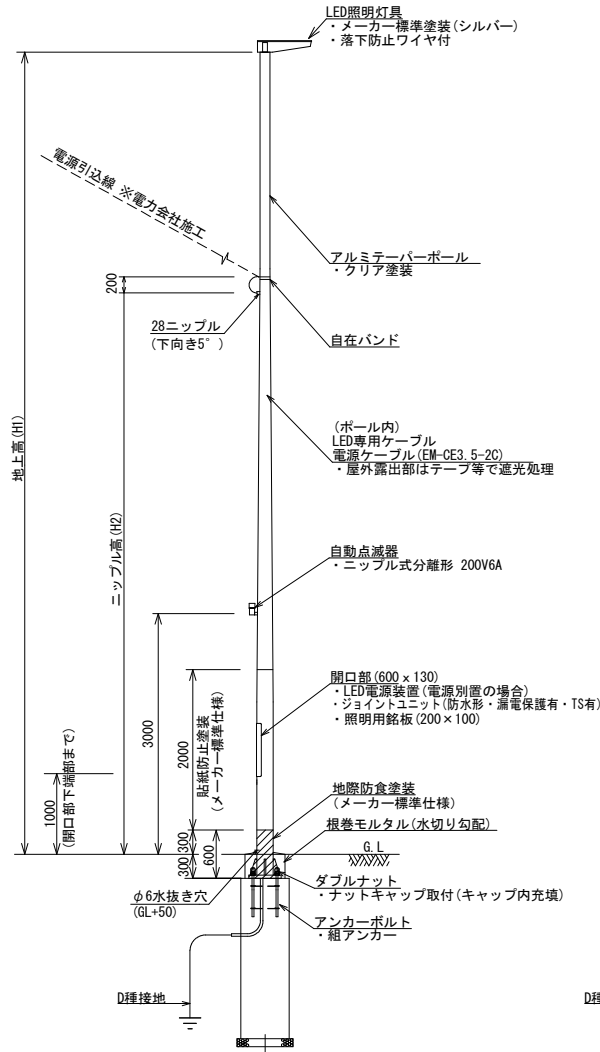
(45° 以内に方向変更する場合)

\*ただし、路上施設や占用物件の設置状況などによってこの値とすることが適切でない場合は、この限りではない。

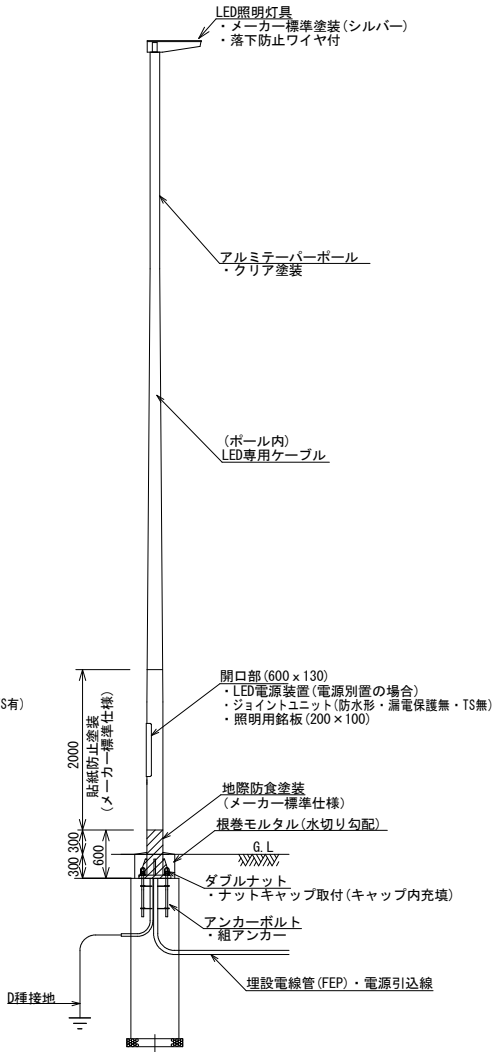
屈折・屈曲部の誘導は形状が許す範囲でなるべく緩やかにすりつけることとし、やむを得ず線状ブロックを加工して誘導する場合でも45°以下とすることが望ましい。これ以上となる屈曲部においては点状ブロックを設置するものとする。

特 記 仕 様	・ 代表的な設置例を示すものであり、現地状況に応じ視覚障がい者がまどわないような設置をすること。	備  考	縮尺	—	名称	敷設例(9) 屈折・屈曲部敷設図
	・ 整備にあたっては、道路の移動円滑化整備ガイドラインや福岡市福祉のまちづくり条例の施設整備マニュアルを参考にすること。		作成	H30. 3	記号	参 考 図

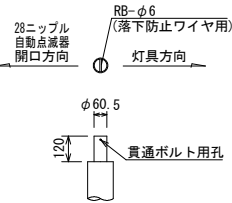
1 灯式ポール姿図(架空引込)



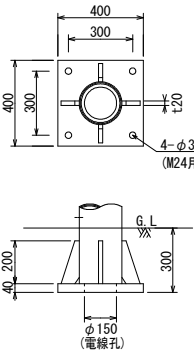
1 灯式ポール姿図(埋設引込)  
分電盤等による制御の場合



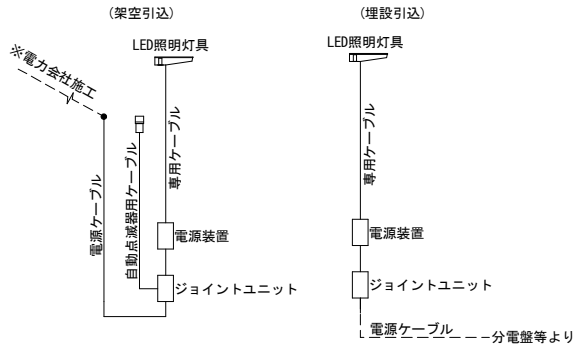
照明灯具取付部詳細図



ベースプレート詳細図



系統図

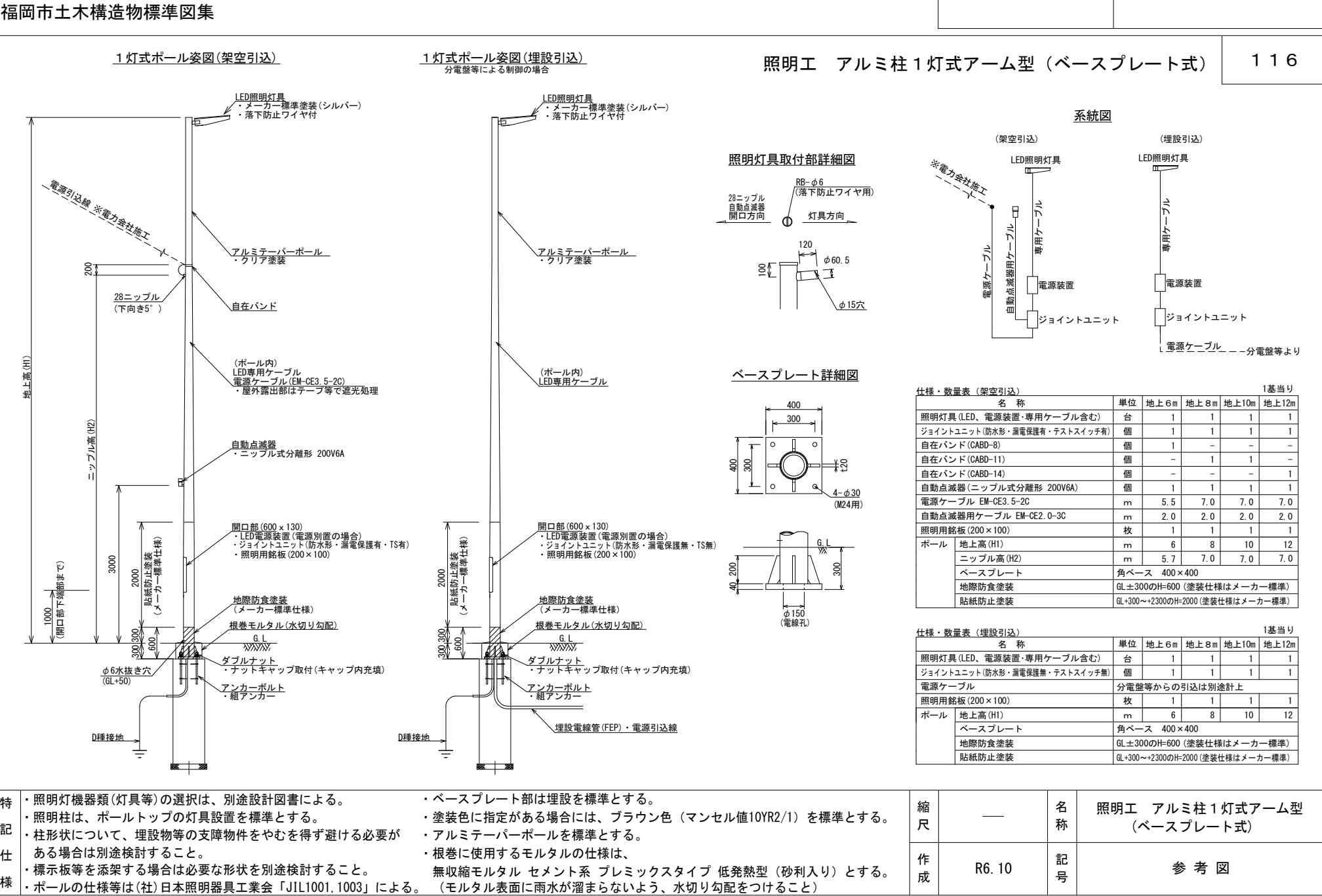


仕様・数量表 (架空引込)		1基当たり			
名 称	単位	地上 6m	地上 8m	地上 10m	地上 12m
照明灯具 (LED、電源装置・専用ケーブル含む)	台	1	1	1	1
ジョイントユニット (防水形・漏電保護有・テストスイッチ有)	個	1	1	1	1
自在バンド (CABD-8)	個	1	-	-	-
自在バンド (CABD-11)	個	-	1	1	-
自在バンド (CABD-14)	個	-	-	-	1
自動点滅器 (ニップル式分離形 200V6A)	個	1	1	1	1
電源ケーブル EM-CE3, 5-2C	m	5.5	7.0	7.0	7.0
自動点滅器用ケーブル EM-CE2, 0-3C	m	2.0	2.0	2.0	2.0
照明用銘板 (200×100)	枚	1	1	1	1
ポール 地上高 (H1)	m	6	8	10	12
ニップル高 (H2)	m	5.7	7.0	7.0	7.0
ベースプレート	角ベース 400×400				
地際防食塗装	GL±300のH=600 (塗装仕様はメーカー標準)				
貼紙防止塗装	GL+300～+2300のH=2000 (塗装仕様はメーカー標準)				

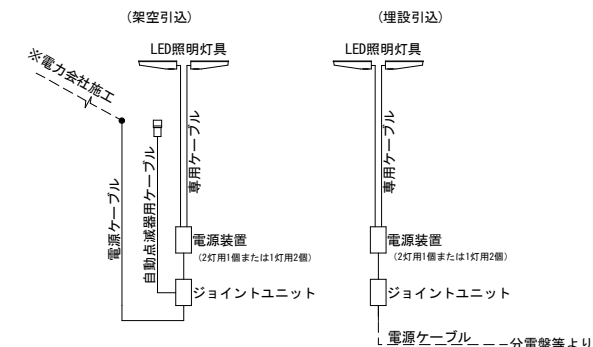
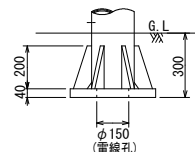
仕様・数量表 (埋設引込)		1基当たり			
名 称	単位	地上 6m	地上 8m	地上 10m	地上 12m
照明灯具 (LED、電源装置・専用ケーブル含む)	台	1	1	1	1
ジョイントユニット (防水形・漏電保護有・テストスイッチ有)	個	1	1	1	1
電源ケーブル	分電盤等からの引込は別途計上				
照明用銘板 (200×100)	枚	1	1	1	1
ポール 地上高 (H1)	m	6	8	10	12
ベースプレート	角ベース 400×400				
地際防食塗装	GL±300のH=600 (塗装仕様はメーカー標準)				
貼紙防止塗装	GL+300～+2300のH=2000 (塗装仕様はメーカー標準)				

- 特記仕様
- ・照明灯機器類 (灯具等) の選択は、別途設計図書による。
  - ・照明柱は、ポールトップの灯具設置を標準とする。
  - ・柱形状について、埋設物等の支障物件をやむを得ず避ける必要がある場合は別途検討すること。
  - ・標示板等を添架する場合は必要な形状を別途検討すること。
  - ・ポールの仕様等は (社) 日本照明器具工業会「JIL1001, 1003」による。
  - ・ベースプレート部は埋設を標準とする。
  - ・塗装色に指定がある場合には、ブラウン色 (マンセル値10YR2/1) を標準とする。
  - ・アルミテーパーポールを標準とする。
  - ・根巻に使用するモルタルの仕様は、無収縮モルタル セメント系 プレミックスタイプ 低発熱型 (砂利入り) とする。(モルタル表面に雨水が溜まらないよう、水切り勾配をつけること)

縮尺	—	名称	照明工 アルミ柱 1 灯式直線型 (ベースプレート式)
作成	R6. 10	記号	参 考 図



系統図

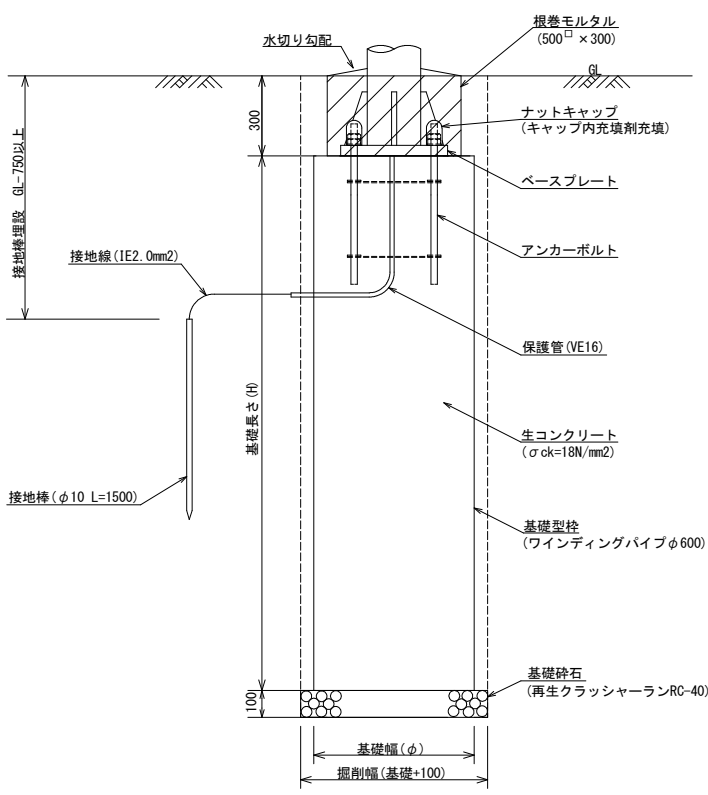


仕 様・数量表（埋設引込）		1基当り			
名 称		単位	地上 8m	地上10m	地上12m
照明灯具(LED、電源装置・専用ケーブル含む)		台	1	1	1
ジョイントユニット(防水形・漏電保護兼・テストスイッチ無)		個	1	1	1
電源ケーブル		分電盤等からの引込は別途計上			
照明用銘板(200×100)		枚	1	1	1
ポール	地上高(H1)	m	8	10	12
	ベースプレート	角ベース 400×400			
	地層防食塗装	Rt±300のH=600（塗装仕様はメーカー標準）			
	貼紙防止塗装	Rt±300～±2300のH=2000（塗装仕様はメーカー標準）			

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明灯機器類(灯具等)の選択は、別途設計図書による。</li> <li>・照明柱は、ポールトップの灯具設置を標準とする。</li> <li>・柱形状について、埋設物等の支障物件をやむを得ず避ける必要がある場合は別途検討すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベースプレート部は埋設を標準とする。</li> <li>・塗装色に指定がある場合には、ブラウン色（マンセル値10YR2/1）を標準とする。</li> <li>・アルミテーパーポールを標準とする。</li> </ul>	縮 尺	—	名 称	照明工 アルミ柱2灯式 (ベースプレート式)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標示板等を添架する場合は必要な形状を別途検討すること。</li> <li>・ポール仕様等は(社)日本照明器具工業会「JIL1001.1003」による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根巻に使用するモルタルの仕様は、無収縮モルタル セメント系 プレミックスタイプ 低発熱型(砂利入り)とする。 (モルタル表面に雨水が溜まらないよう、水切り勾配をつけること)</li> </ul>	作 成	R6.10	記 号	参 考 図

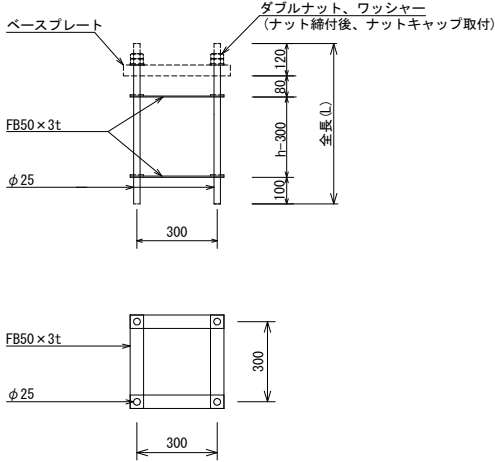
照明工 アルミ柱 基礎詳細図

基礎工断面図



アンカーボルト外形図

ねじ部は溶融亜鉛めっき (HDZT-77)



基礎・アンカーボルト寸法

アルミ柱 1 灯式

引込径間	項目	地上 6m	地上 8m	地上 10m	地上 12m
20m まで	基礎 (φ×H)	φ 600×1500	φ 600×1800	φ 600×2000	φ 600×2200
	アンカー (L)	4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600
25m まで	基礎 (φ×H)		φ 600×1900	φ 600×2000	φ 600×2300
	アンカー (L)		4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600
30m まで	基礎 (φ×H)		φ 600×1900	φ 600×2100	φ 600×2300
	アンカー (L)		4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600
35m まで	基礎 (φ×H)		φ 600×2000	φ 600×2100	φ 600×2300
	アンカー (L)		4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600
40m まで	基礎 (φ×H)		φ 600×2000	φ 600×2100	φ 600×2300
	アンカー (L)		4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600

基礎・アンカーボルト寸法

アルミ柱 2 灯式

引込径間	項目	地上 8m	地上 10m	地上 12m
20m まで	基礎 (φ×H)	φ 600×1900	φ 600×2000	φ 600×2200
	アンカー (L)	4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600
25m まで	基礎 (φ×H)	φ 600×2000	φ 600×2200	φ 600×2300
	アンカー (L)	4-M24 L=600	4-M24 L=600	4-M24 L=600
30m まで	基礎 (φ×H)	φ 600×2000	φ 600×2200	
	アンカー (L)	4-M24 L=600	4-M24 L=600	
35m まで	基礎 (φ×H)	φ 600×2000	φ 600×2200	
	アンカー (L)	4-M24 L=600	4-M24 L=600	
40m まで	基礎 (φ×H)	φ 600×2100	φ 600×2200	
	アンカー (L)	4-M24 L=600	4-M24 L=600	

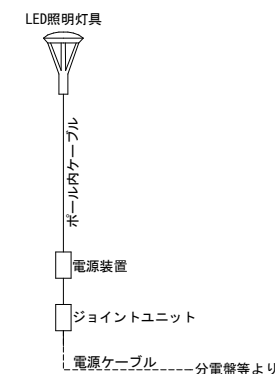
数量表

		1基当り							
名 称	規格等	単位	L=1500	L=1800	L=1900	L=2000	L=2100	L=2200	L=2300
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	0.385	0.385	0.385	0.385	0.385	0.385	0.385
ワインディングパイプ	φ 600	m	1.5	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3
アンカーボルト	4-M24 L=600	組	1	1	1	1	1	1	1
生コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.424	0.509	0.537	0.565	0.593	0.622	0.650
ナットキャップ	M24用 4個1組	組	1	1	1	1	1	1	1
接地工	接地設置工	極	1	1	1	1	1	1	1
	接地棒	φ 10 L=1500	本	1	1	1	1	1	1
	接地線	EM-IE2.0	m	3	3	3	3	3	3
	保護管	VE16	m	1	1	1	1	1	1
型枠	500□×300	m <sup>2</sup>	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
根巻モルタル	特記参照	m <sup>3</sup>	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085	0.085

- 特記仕様
- ・標示板等を添架する場合は必要な形状を別途検討すること。
  - ・埋設物等の支障物件をやむを得ずよける必要がある場合は、基礎形状や基礎寸法の変更について別途検討すること。
  - ・接地棒の埋設位置はGL-750以上であること。
  - ・ナット、ワッシャー類は、溶融亜鉛めッキ仕上げ (HDZT-77) とする。
  - ・根巻に使用するモルタルの仕様は、無収縮モルタル セメント系 プレミックスタイプ 低発熱型 (砂利入り) とする。
- ・モルタル表面に雨水が溜まらないよう、水切り勾配をつけること。

縮尺	—	名称	照明工 アルミ柱 基礎詳細図 (ベースプレート式)
作成	R6.10	記号	参 考 図

## 分電盤等による制御の場合



数量表		1基当り
名 称	単位	数量
照明灯具(LED・電源装置含む)	台	1
ジョイントユニット(防水形・漏電保護無・テストスイッチ無)	個	1
ボール用ケーブル EM-CE2.0-3C(1Cアース) ※	m	4.0
照明用銘板(200×100)	枚	1
ボール 丸段付アルミ 地上高4.5m 埋込式	基	1
接地工 地際防食塗装(GL±300のH-600、塗装仕様はメーカー標準)		
接地設置工	極	1
接地棒(φ10 L=1500)	本	1
接地線(EM-EI2.0)	m	3
保護管(VE16)	m	1
基礎工 基礎砕石(RC-40)	m <sup>2</sup>	0.385
ワインディングパイプ(φ600)	組	0.9
生コンクリート(18N/mm2)	m <sup>3</sup>	0.254

※詳細な規格は別途設計図書による。  
※ボール内ケーブルについては、LED照明灯具に付属している場合があるため、  
カタログや見積書等で確認すること。

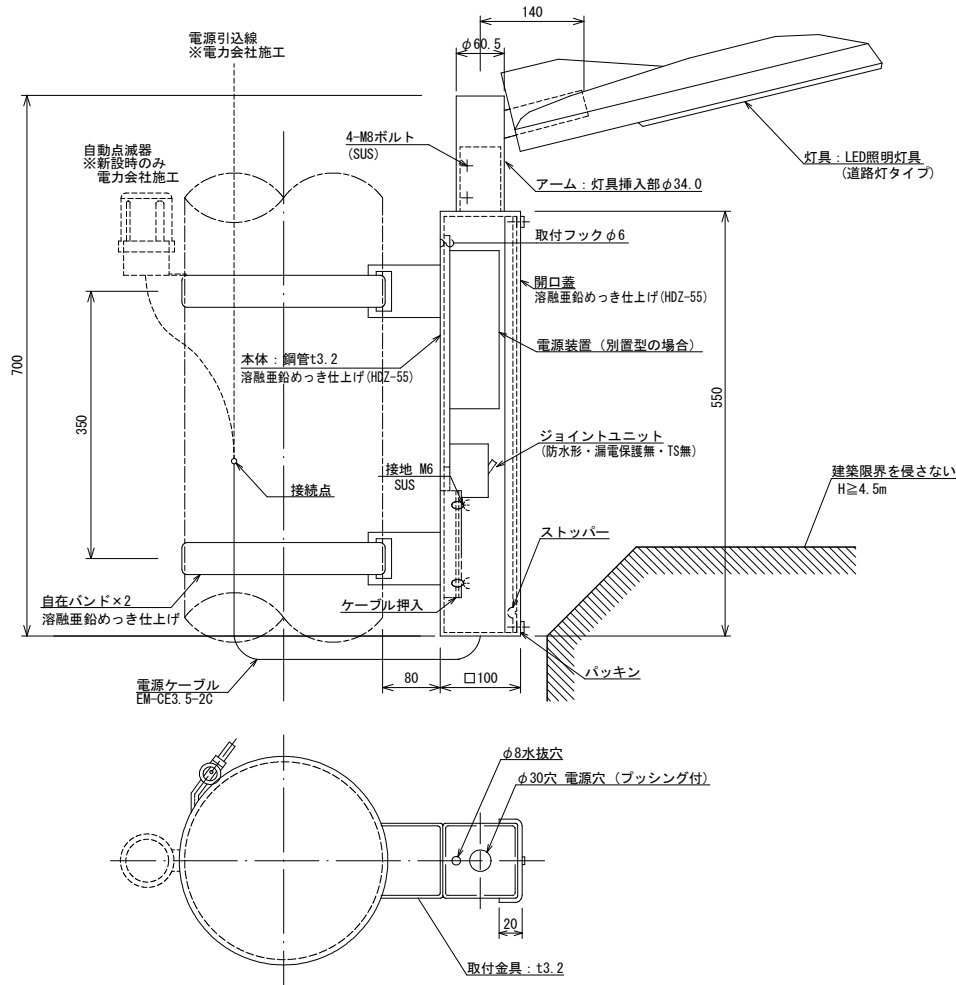
特 記 仕 様	・照明灯機器類(灯具等)の選択は別途設計図書による。 ・柱形状について、埋設物等の支障物件をやむを得ず避ける必要がある場合は別途検討すること。 ・標示板等は添架しない。 ・接地棒の埋設位置はGL-750以上であること。 ・ポールの仕様等は(社)日本照明器具工業会「JIL1001, 1003」による。	・架空線引込の場合、ポール、基礎サイズは別途検討すること。 ・塗装色に指定がある場合には、ブラウン色（マンセル値10YR2/1）を標準とする。 ・アルミポール(丸段付型)を標準とする。 ・基礎表面に雨水が溜まらないよう、水切り勾配をつけること。	縮 尺	—	名 称	照明工 歩道照明 埋込式(地中引込)
			作 成	R6. 10	記 号	参 考 図



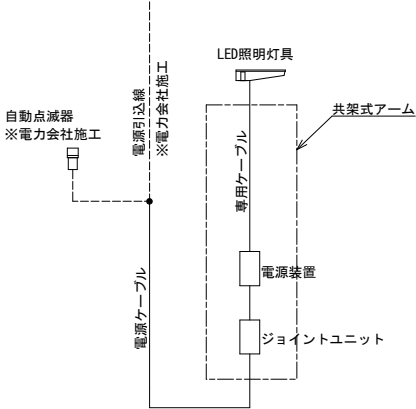
照明工 共架アーム式照明灯（幹線道路）

120

共架アーム式姿図



内部結線図



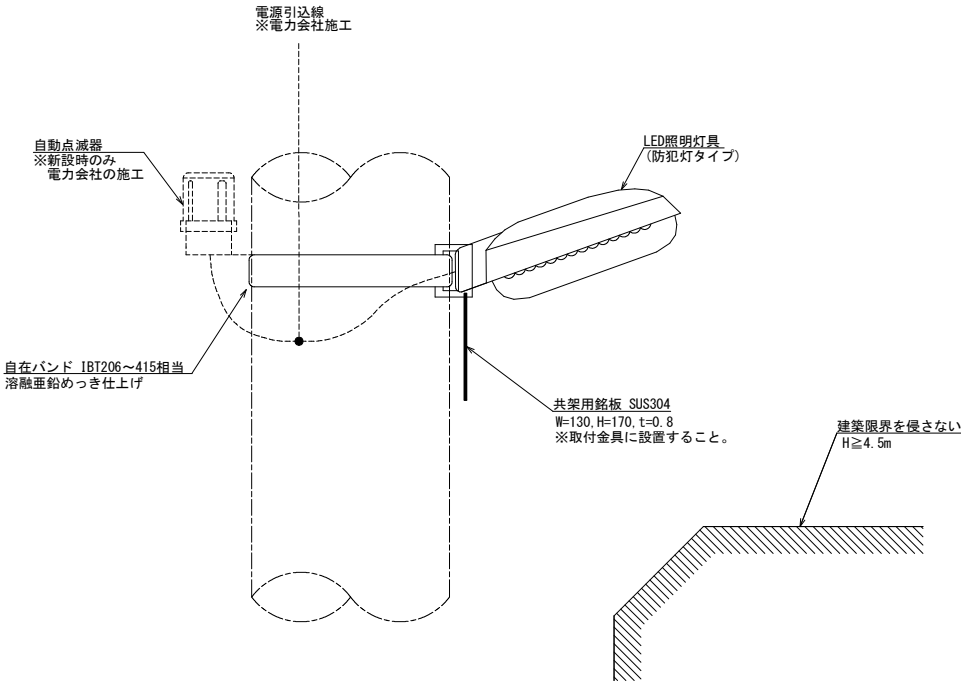
数量表		1基当たり	
名 称	規格等	単位	数量
LED照明灯具（道路灯タイプ）	専用ケーブル、電源装置含む	台	1
共架式アーム	溶融亜鉛めっき仕上げ	台	1
自在バンド	IBT408～415相当品	個	2
ジョイントユニット	防水形・漏電保護無・テストスイッチ無	個	1
電源ケーブル	EM-CE3.5-2C	m	1.0
自動点滅器	新設時のみ電力会社施工	個	—

・ 引込線等は必要に応じ混触防止のため、ビニル電線管にて保護を行うこと。  
灯具等の選択は別途設計図書による。  
点検蓋はステンレスワイヤーにて落下防止を行うこと。

縮尺	—	名称	照明工 共架アーム式照明灯（幹線道路）
作成	R4.3	記号	参考図

照明工 共架式

共架式姿図



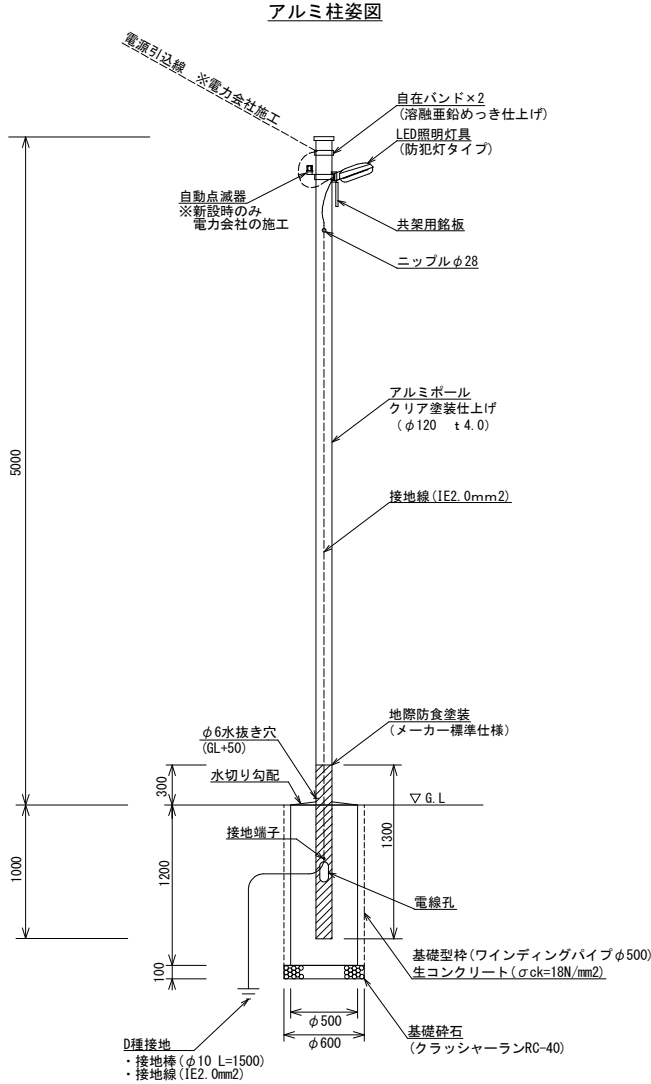
数量表		1基当り	
名 称	規格等	単位	数量
LED照明灯具（防犯灯タイプ）	電源装置内蔵	台	1
自在バンド	IBT308～415相当品	個	1
共架用銘板	SUS, 管理番号添付用, 取付金具含む	枚	1
自動点滅器	新設時のみ電力会社施工	個	—

※LED照明灯具が自動点滅器内蔵形の場合は、自動点滅器不要。

・引込線等は必要に応じ混触防止のため、ビニル電線管にて保護を行うこと。  
灯具等の選択は別途設計図書による。

縮尺	—	名称	照明工 共架式
作成	R4.3	記号	参 考 図

照明工 生活道路用アルミ柱



数量表		1基当り	
名 称	規格等	単位	数量
LED照明灯具 (防犯灯タイプ)	電源装置内蔵	台	1
自在バンド (引込用)	CABD-11相当品	個	1
自在バンド (灯具用)	1BT308相当品	個	1
共架用銘板	SUS、管理番号添付用、取付金具含む	枚	1
自動点滅器	新設時のみ電力会社施工	個	—
ポール	アルミポール 全長6m 地際防食塗装 (GL+300~1000のH=1300、塗装仕様はメーカー標準)	基	1
接地工	接地設置工	極	1
	接地棒 (φ10 L=1500)	本	1
	接地線 (EM-IE2.0)	m	7
基礎工	基礎砕石 (RC-40)	m <sup>2</sup>	0.385
	ワイヤーメッシュ (φ500)	m	1.2
	生コンクリート (18N/mm <sup>2</sup> )	m <sup>3</sup>	0.236

※詳細な規格は別途設計図書による。  
※LED照明灯具が自動点滅器内蔵形の場合は、自動点滅器不要。

特  
記  
仕  
様

- ・照明灯機器類 (灯具等) の選択は別途設計図書による。
- ・柱形状について、埋設物等の支障物件をやむを得ず避ける必要がある場合は別途検討すること。
- ・標示板等は添架しない。
- ・接地棒の埋設位置はGL-750以上であること。
- ・灯具からの接地線は、ポール下部の接地端子に接続すること。

・基礎表面に雨水が溜まらないよう、水切り勾配をつけること。

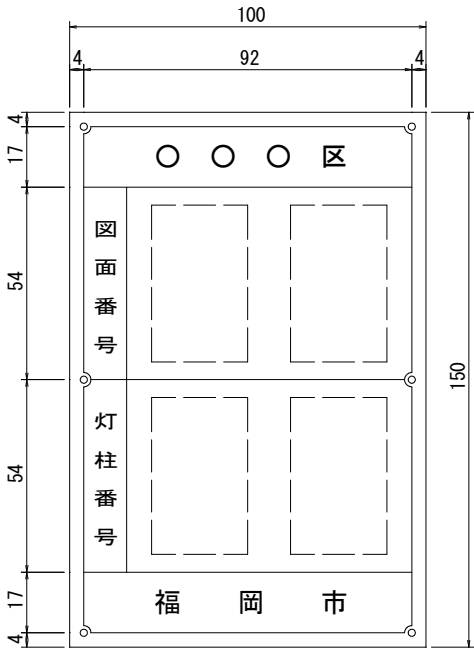
縮 尺	—	名 称	照明工 生活道路用アルミ柱
作 成	R6. 10	記 号	参 考 図

照明工 銘板詳細図

1 2 3

照明灯管理番号標(シール)

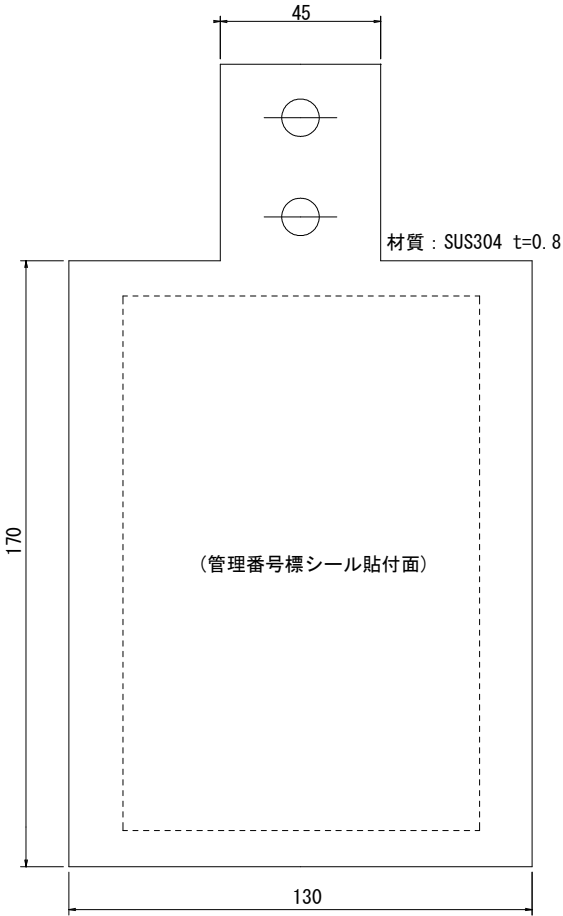
ポールの場合：車道側H=2000付近に貼付  
共架アームの場合：点検蓋に貼付  
鋼管柱等への共架：共架用銘板(SUS304)に貼付



管理番号標シールは各区役所より支給

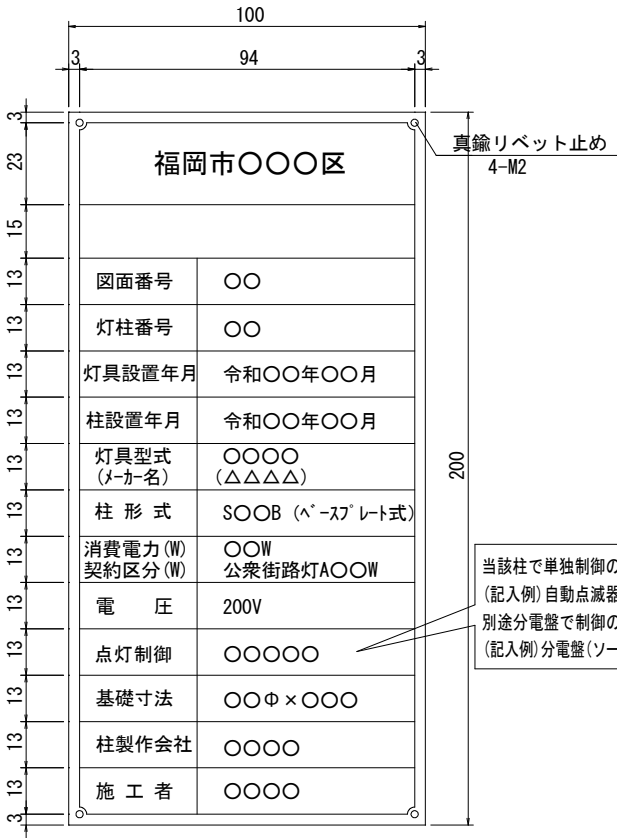
共架用銘板

共架式灯具の直下に取付



照明用銘板(記入例)

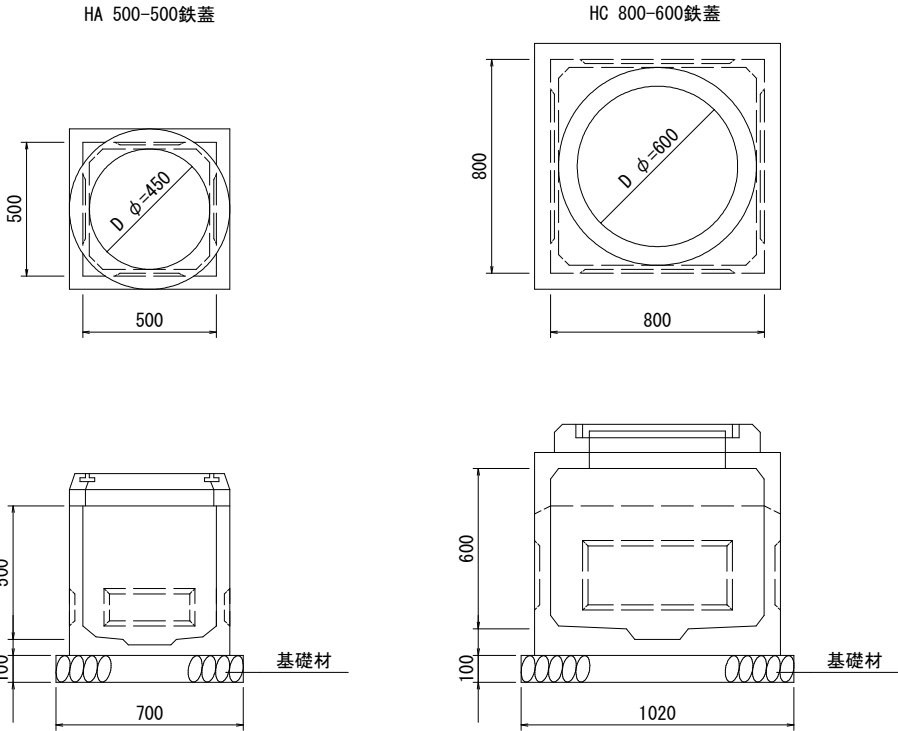
照明柱開口部点検蓋に取付



当該柱で単独制御の場合  
(記入例) 自動点滅器 200V6A  
別途分電盤で制御の場合  
(記入例) 分電盤(ソーラータイムスイッチ)

特 記 仕 様		備 考	・灯具設置年月及び柱年月は、工期末の年月とする。	縮 尺	—	名 称	照明工 銘板詳細図
				作 成	R4. 3	記 号	—

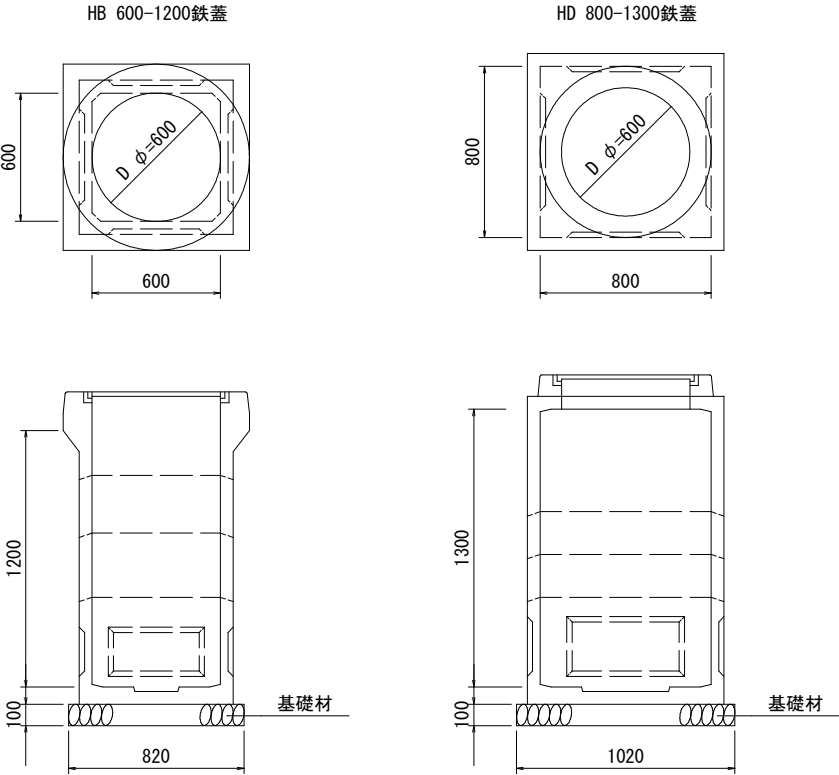
ハンドホール(1)



種 別 (B×B-H)	材 料 表				摘 要
	軀 体 (セット)	防水シート (kg)	基 礎 材 (m3)	蓋 (枚)	
HA 500-500	10	10	0.49	10	10箇所当り
HC 800-600	10	10	1.04	10	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>ハンドホールの製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li><li>躯体は簡易防水型とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/20	名 称	照 明 工 ハンドホール(1)
				作 成	H24. 3	記 号	HH- (B×H)

ハンドホール(2)

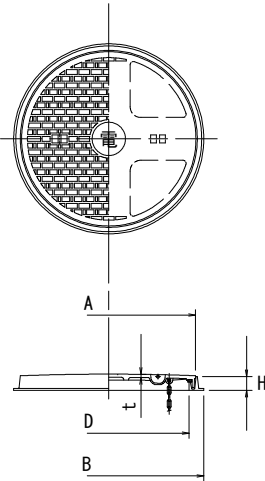


種 別 (B×B-H)	材 料 表				10箇所当り	
	軀 体 (個)	防水ポット (kg)	基 礎 材 (m3)	蓋 (枚)	摘 要	
HB 600-1200	10	10	0.67	10		
HD 800-1300	10	10	1.04	10		

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>ハンドホールの製品については代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li><li>基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/25	名 称	照 明 工 ハンドホール(2)
				作 成	H22. 3	記 号	HH- (B×H)

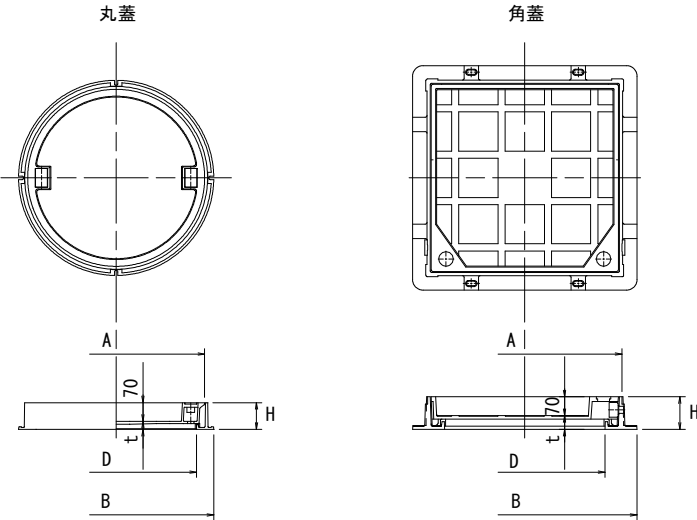
ハンドホール鉄蓋

ハンドホール鉄蓋



種 別	寸法表					材 料 表		摘 要
	D	A	B	H	t	蓋・受枠	材 質	
D450用	450	500	570	50	11	R2K-45	FC	中荷重・簡易防水型
D600用	600	650	710	50	12	R2K-60		

インターロッキングブロック用鉄蓋



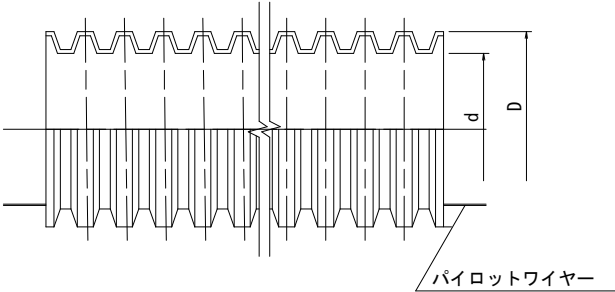
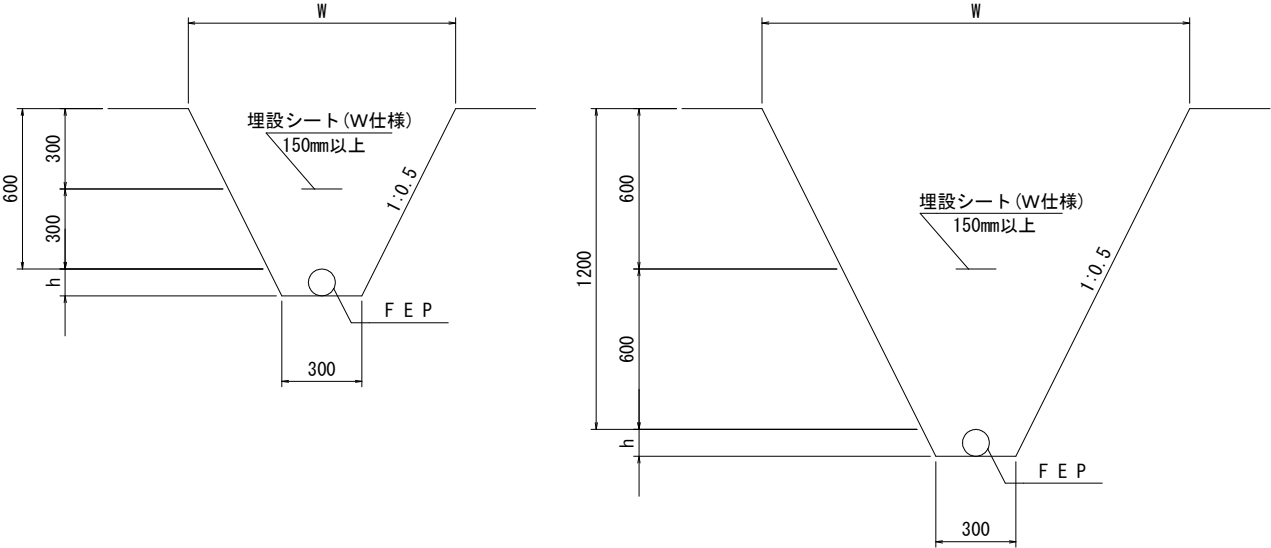
種 別		寸法表					材 料 表		摘 要
		D	A	B	H	t	蓋・受枠	材 質	
丸蓋	D450用	450	536	630	110	9	RB2K-45	FC	中荷重・簡易防水型 インターロッキングブロック t=60 モデル(1:3) t=10
	D600用	600	688	820	110	9	RB2K-60		
角蓋	D450用	450	545	632	110	6	SB2K-45	FC	
	D600用	600	695	782	110	7	SB2K-60		

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・車両通行箇所を設置する場合は、現地状況に応じて別途検討すること。</li><li>・本図は代表的な形状を示すもので、採用にあたっては設置箇所等を考慮し、監督員と協議のうえ決定する。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/20	名 称	照 明 工 ハンドホール鉄蓋
				作 成	H24. 3	記 号	HHC-(D)

ケーブル埋設図及び構造図

ケーブル埋設図

構 造 図

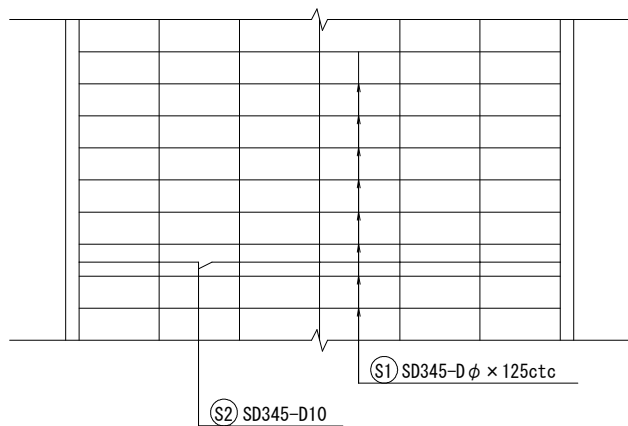


種 別 (内径 d)	寸 法 表			摘 要
	h	W		
		H= 600	H=1200	
50	100	1000	1600	
65				
80	150	1050	1650	
100				

種 別 (内径 d)	寸 法 表		摘 要
	D	L (m)	
50	65	100, 50, 10	
65	85	50, 10	
80	103		
100	130		

特 記 仕 様	埋設深さについては、道路管理者と協議のうえ決定すること。	備 考		縮 尺	1/20	名 称	照 明 エ ケーブル埋設図及び構造図
				作 成	H24. 3	記 号	FEP-(Φ)





10m当り

種 別 (水路幅)	寸 法 表		材 料 表										摘 要	
	L	t	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	アンカー D16 (本)	主 鉄 筋 S1 SD345				配 力 筋 S2 SD345				
						径	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	径	本数 (本)	単位重量 (kg/m)		重 量 (kg)
W=1000	1300	120	1.56	12.71	20	D13	80	0.995	95.52	D10	5	0.56	28.0	
W=1500	1800	140	2.52	18.30	20	D13	80	0.995	135.32	D10	7	0.56	39.2	
W=2000	2300	150	3.45	23.69	20	D13	80	0.995	175.12	D10	9	0.56	50.4	

10m当り

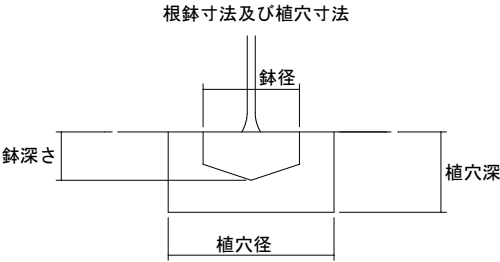
種 別 (水路幅)	寸 法 表		材 料 表											摘 要
	L	t	コンクリート (m3)	型 枠 (㎡)	アンカー D16 (本)	主 鉄 筋 S1 SD345				配 力 筋 S2 SD345				
						径	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	径	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	重 量 (kg)	
W=1000	1300	160	2.08	13.62	20	D13	80	0.995	95.52	D10	5	0.56	28.0	
W=1500	1800	170	3.06	19.01	20	D16	80	1.560	212.16	D10	7	0.56	39.2	
W=2000	2300	200	4.60	24.92	20	D16	80	1.560	274.56	D10	9	0.56	50.4	

SA- (W)  
SB- (W)

根鉢・植穴寸法及び支柱選定表

種 別 幹周(高木)	寸 法 表				材 料 表		摘 要
	鉢 径	鉢 深 さ	植 穴 径	植 穴 深	鉢 容 量 (㎡)	植穴容量 (㎡)	
100未満	330	250	690	370	0.017	0.138	
100以上150未満	380	280	750	400	0.028	0.177	
150以上180未満	470	330	870	460	0.061	0.273	
180以上200未満	470	330	870	460	0.061	0.273	
200以上250未満	570	390	990	530	0.110	0.408	
250以上300未満	660	450	1110	590	0.170	0.571	
300以上350未満	710	480	1170	620	0.210	0.666	
350以上450未満	900	590	1410	750	0.400	1.170	
450以上600未満	1130	740	1710	900	0.740	2.066	
600以上750未満	1410	910	2070	1090	1.320	3.666	
750以上900未満	1700	1080	2430	1280	2.080	5.933	

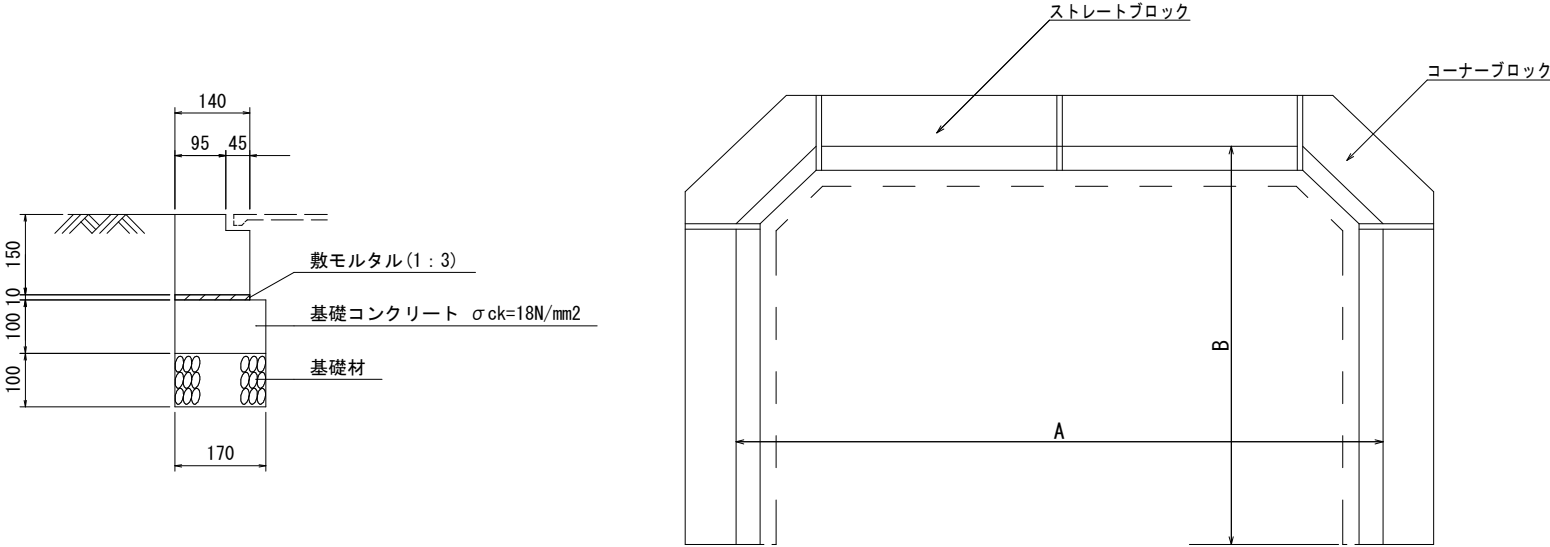
種 別 樹高(中低木)	寸 法 表				材 料 表		摘 要
	鉢 径	鉢 深 さ	植 穴 径	植 穴 深	鉢 容 量 (㎡)	植穴容量 (㎡)	
300未満	150	80	290	230	0.001	0.015	
300以上 500未満	170	100	330	260	0.002	0.022	
500以上 800未満	200	120	370	280	0.004	0.030	
800以上1000未満	220	130	410	310	0.005	0.041	
1000以上1500未満	260	160	460	350	0.008	0.058	
1500以上2000未満	300	190	540	400	0.013	0.092	
2000以上2500未満	350	230	610	460	0.022	0.134	
2500以上3000未満	400	260	690	510	0.032	0.191	



種 別		支 柱 型 式	摘 要
中低木 (樹高)	高 木 (幹周)		
2500以上	300未満	二脚鳥居(添木付)	
	200以上400未満	二脚鳥居(添木無)	
	300以上600未満	三脚鳥居	
	300以上	十字鳥居	
	500以上	二脚鳥居組合せ	
1000以上		ハッ掛(1型)	中低木
	400未満	ハッ掛(2型)	高木(400未満)
	400以上	ハッ掛(3型)	高木(400以上)
1000以上		布掛(竹)	
1000以上		添柱型(1本型)	
1000以上		生垣型	

特 記 仕 様		備  考		縮 尺	—	名 称	植 栽 工 根鉢・植穴寸法及び支柱選定表
				作 成	H24. 3	記 号	—

植樹柵用縁石

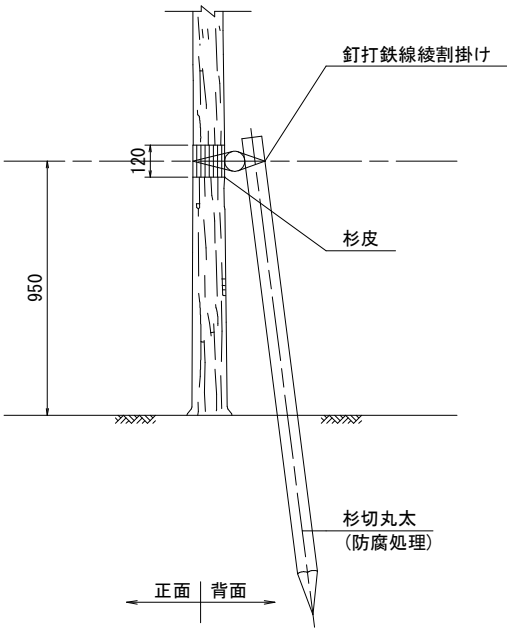
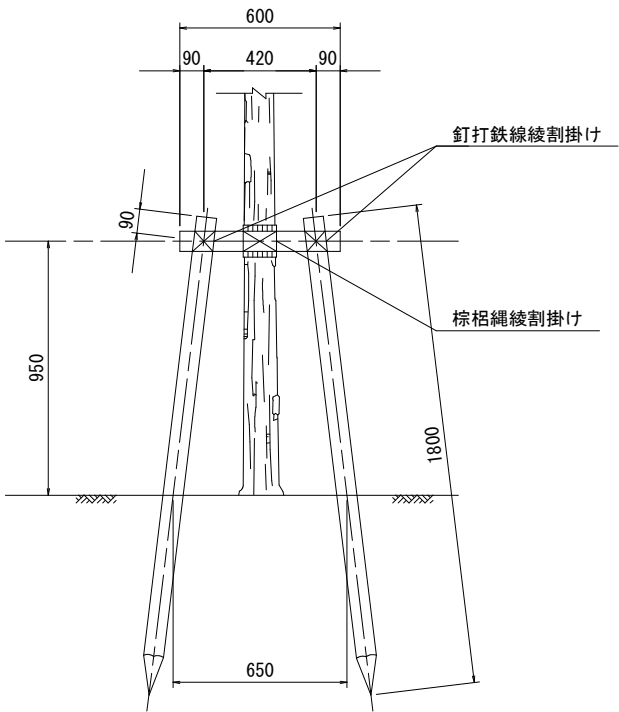


10箇所当り

種 別 (A×B)	材 料 表						摘 要
	境界ブロック		敷モルタル (m3)	基礎コンクリート (m3)	基礎型枠 (㎡)	基 礎 材 (m3)	
	ストレートブロック (個)	コーナーブロック (個)					
1200× 745	40	20	0.037	0.439	5.505	0.439	
1200×1000	60	20	0.044	0.524	6.505	0.524	
1500× 750	40	20	0.041	0.491	6.118	0.491	
1500×1000	60	20	0.048	0.576	7.118	0.576	

特 記 仕 様	・ 基礎材は特に指示がない場合は、再生クラッシャーランを標準とする。	備  考		縮 尺	1／10	名 称	植 栽 工 植樹柵用縁石
				作 成	H24. 3	記 号	SMF- (A×B)

二脚鳥居支柱(添木無)

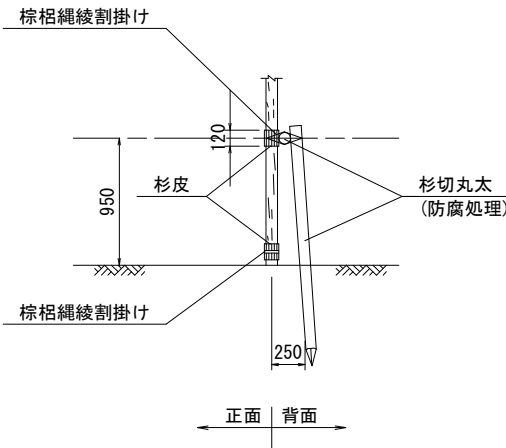
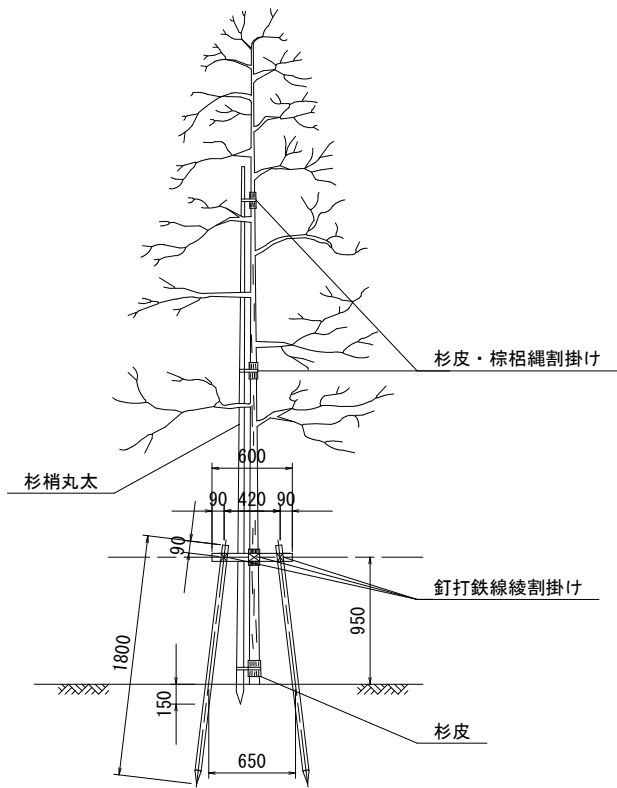


種 別	材 料 表		摘 要
	杉丸太(本) 長 1.8m 末口径 6cm	杉丸太(本) 長 0.6m 末口径 6cm	
二脚鳥居支柱 (添木無)	200	100	

100本当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>・ 棕梠縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>・ 釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／20	名 称	植 栽 工 二脚鳥居支柱(添木無)
				作 成	H22. 3	記 号	TS-1

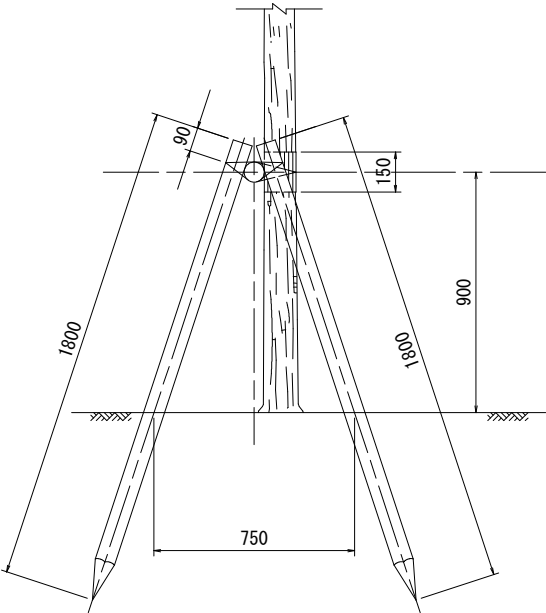
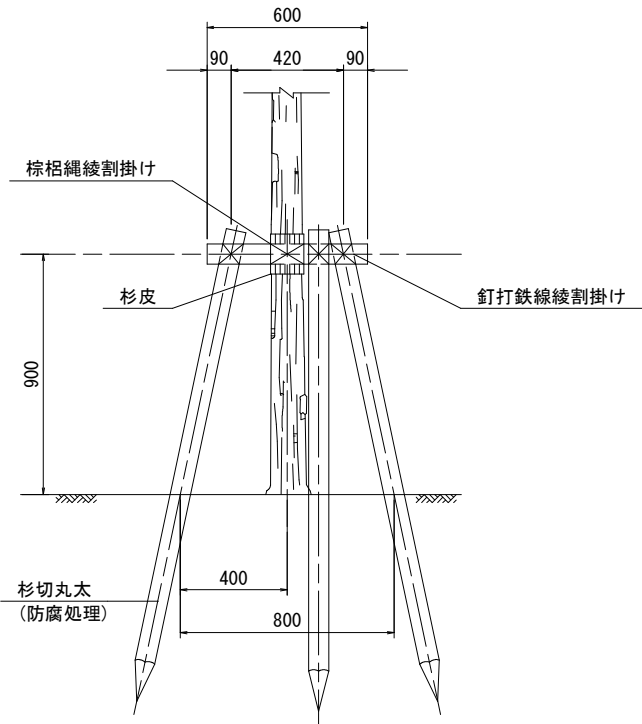
二脚鳥居支柱(添木付)



種 別	材 料 表			摘 要
	杉丸太(本) 長 1.8m 末口径 6cm	杉丸太(本) 長 0.6m 末口径 6cm	控梢丸太(本) 長 4.0m 元口径 6cm	
二脚鳥居支柱 (添木付)	200	100	100	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>棕櫚縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1／40	名 称	植 栽 工 二脚鳥居支柱(添木付)
				作 成	H22. 3	記 号	TS-2

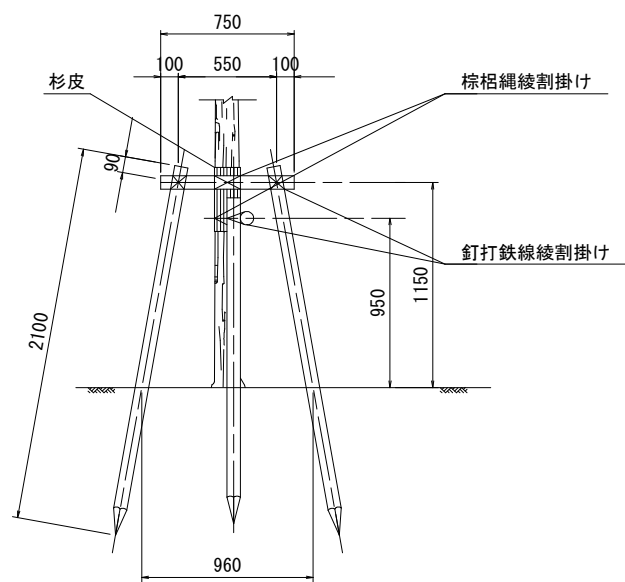
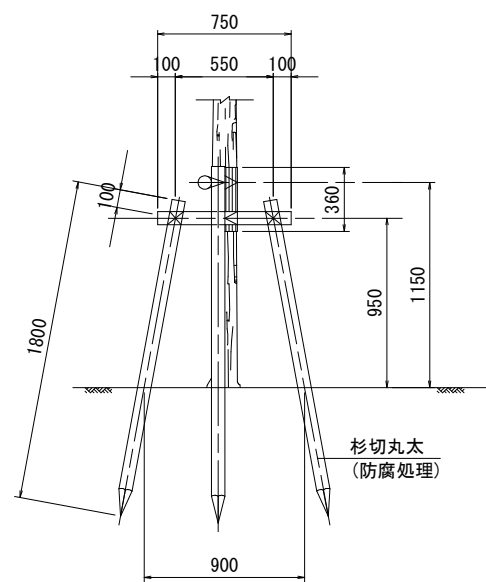
三脚鳥居支柱



種 別	材 料 表		摘 要
	杉丸太(本) 長 1.8m 末口径 7.5cm	杉丸太(本) 長 1.8m 末口径 7.5cm	
三脚鳥居支柱	300	100	100本当り

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>棕梠縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1/20	名 称	植 栽 工 三脚鳥居支柱
				作 成	H22. 3	記 号	TS-3

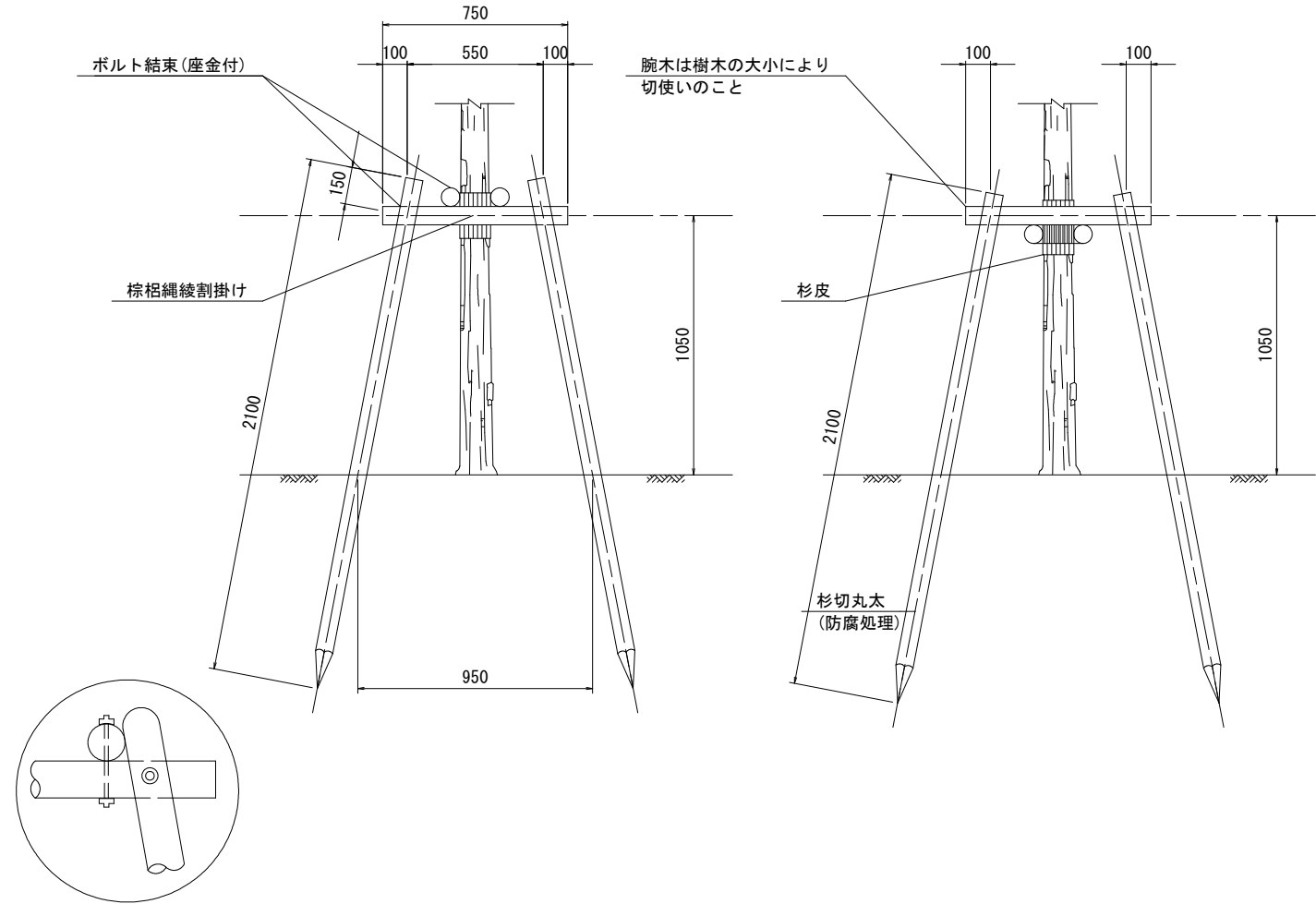
十字鳥居支柱



種 別	材 料 表			摘 要
	杉丸太(本) 長 2.1m 末口径 7.5cm	杉丸太(本) 長 1.8m 末口径 7.5cm	杉丸太(本) 長 0.75m 末口径 7.5cm	
十字鳥居支柱	200	200	200	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>棕櫚縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1/30	名 称	植 栽 工 十字鳥居支柱
				作 成	H22. 3	記 号	TS-4

二脚鳥居組合わせ支柱



ボルト結束詳細図

種 別	材 料 表		摘 要
	杉丸太(本) 長 2.1m 末口径 7.5cm	杉丸太(本) 長 0.75m 末口径 7.5cm	
二脚鳥居組合せ支柱	400	400	100本当り

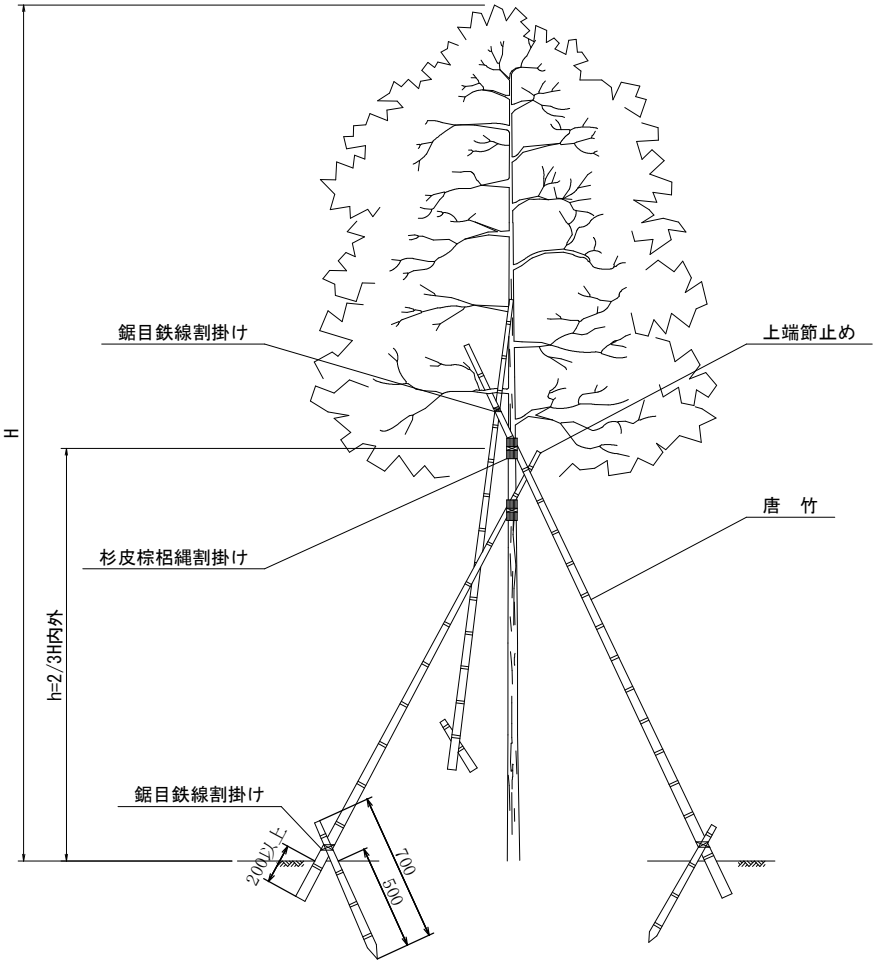
- 特記仕様
- ・ 杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。
  - ・ 棕梠縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。
  - ・ 釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。

備考

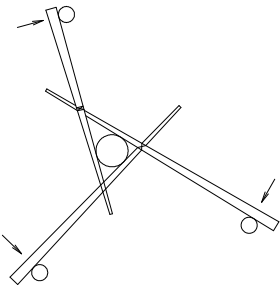
縮尺	1/20	名称	植 栽 工 二脚鳥居組合わせ支柱
作成	H22. 3	記号	TSS



ハッ掛支柱(1型)

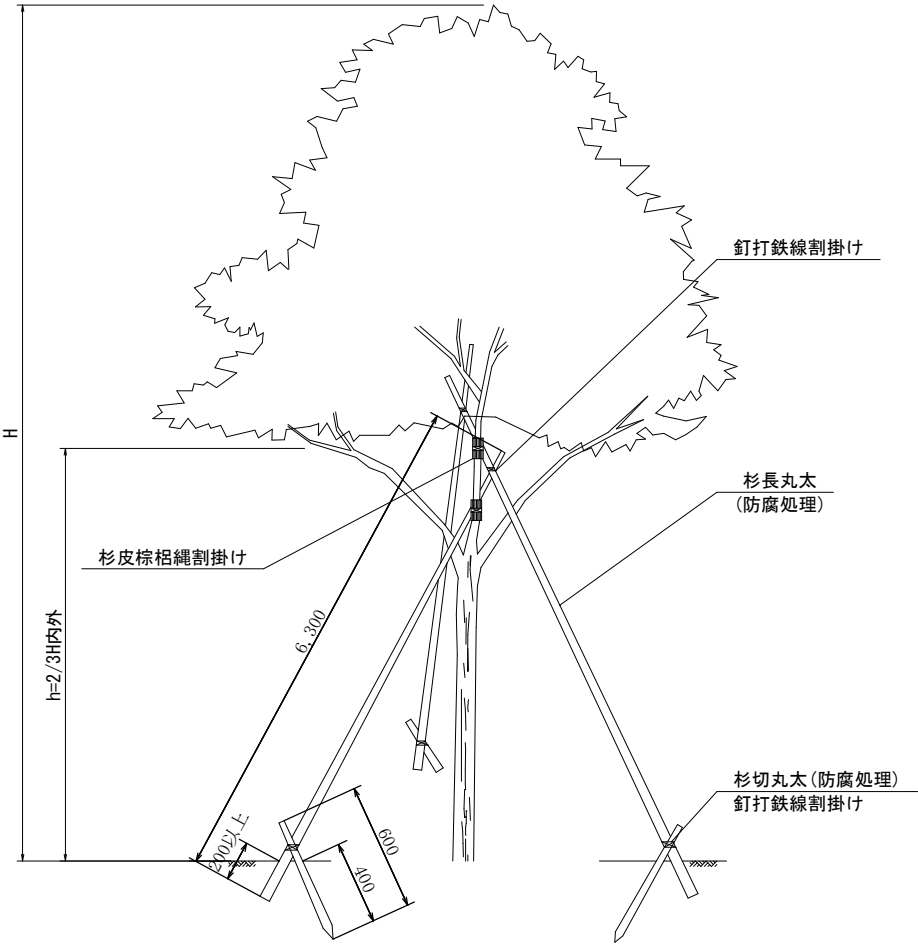


種 別	材 料 表	摘 要
	竹(本) 12本束	
ハッ掛支柱(1型)	100	100本当り

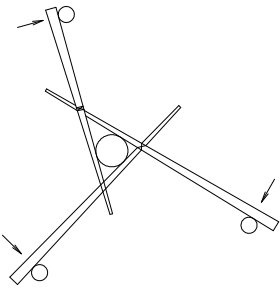


特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>竹は、すべて節止めとする。</li><li>棕杓縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	植 栽 工 ハッ掛支柱(1型)
				作 成	H22. 3	記 号	YS-1

ハッ掛支柱(2型)

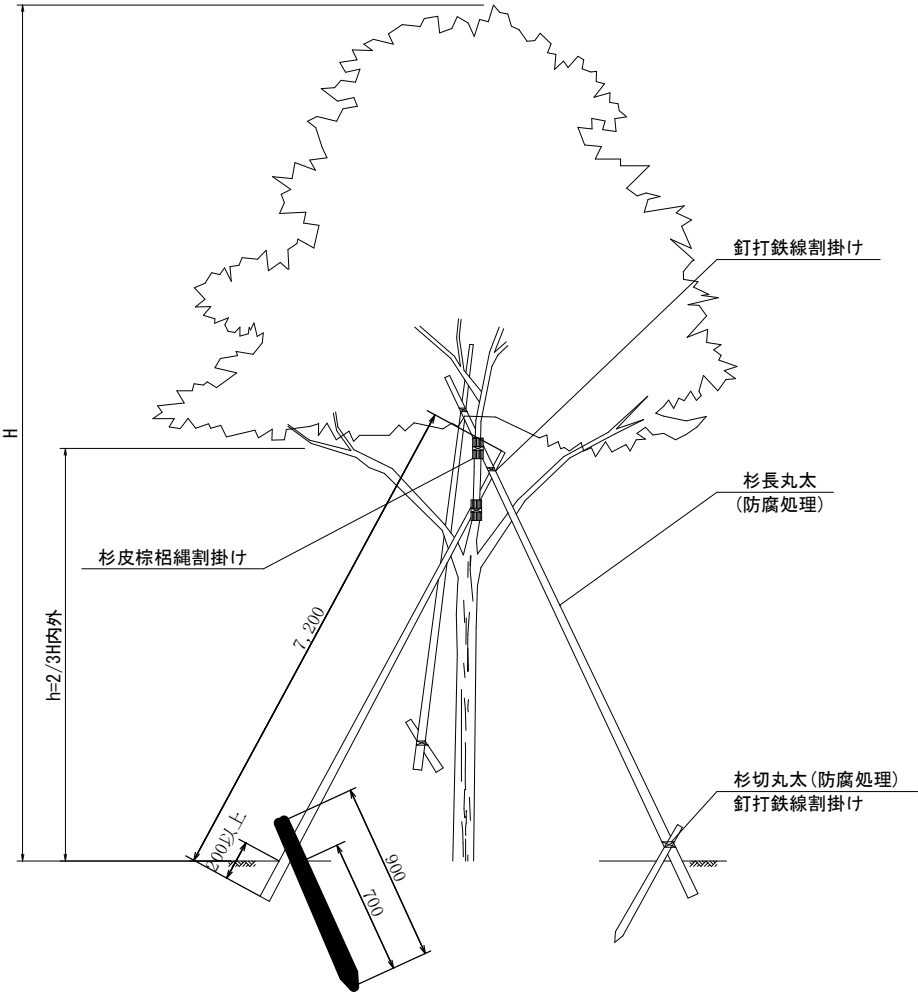


種 別	材 料 表		100本当り
	杉丸太(本) 長 6.3m 中央径 6cm	杉丸太(本) 長 0.6m 末口径 6cm	摘 要
ハッ掛支柱(2型)	300	300	



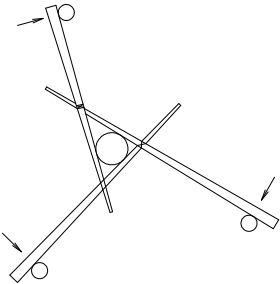
特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>棕梲縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備  考		縮 尺	—	名 称	植 栽 工 ハッ掛支柱(2型)
				作 成	H22. 3	記 号	YS-2

ハッ掛支柱(3型)



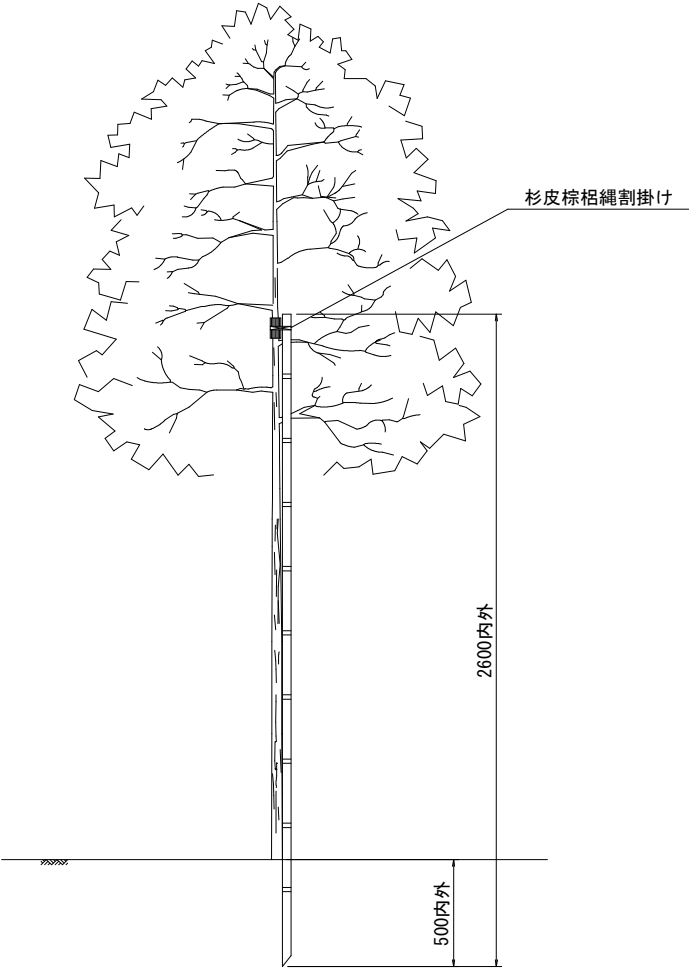
種 別	材 料 表		摘 要
	杉丸太(本) 長 7.2m 中央径 7.5cm	杉丸太(本) 長 0.9m 末口径 6cm	
ハッ掛支柱(3型)	300	300	

100本当り



特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>・ 棕梲縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>・ 釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	植 栽 工 ハッ掛支柱(3型)
				作 成	H22. 3	記 号	YS-3

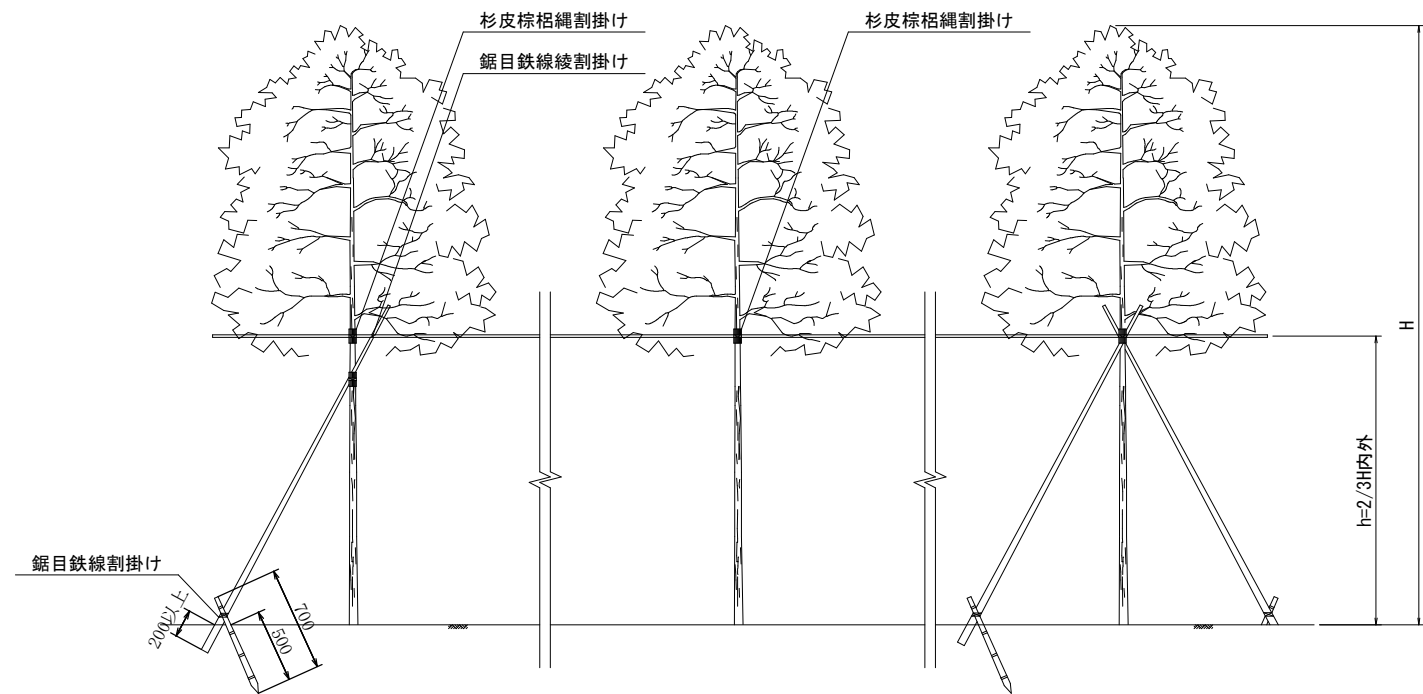
添え柱支柱



100本当り		
種 別	材 料 表	摘 要
	竹(本) 12本束	
添え柱支柱	100	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>竹は、すべて節止めとする。</li><li>棕櫚縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備  考		縮 尺	1／20	名 称	植 栽 工 添え柱支柱
				作 成	H22. 3	記 号	SS

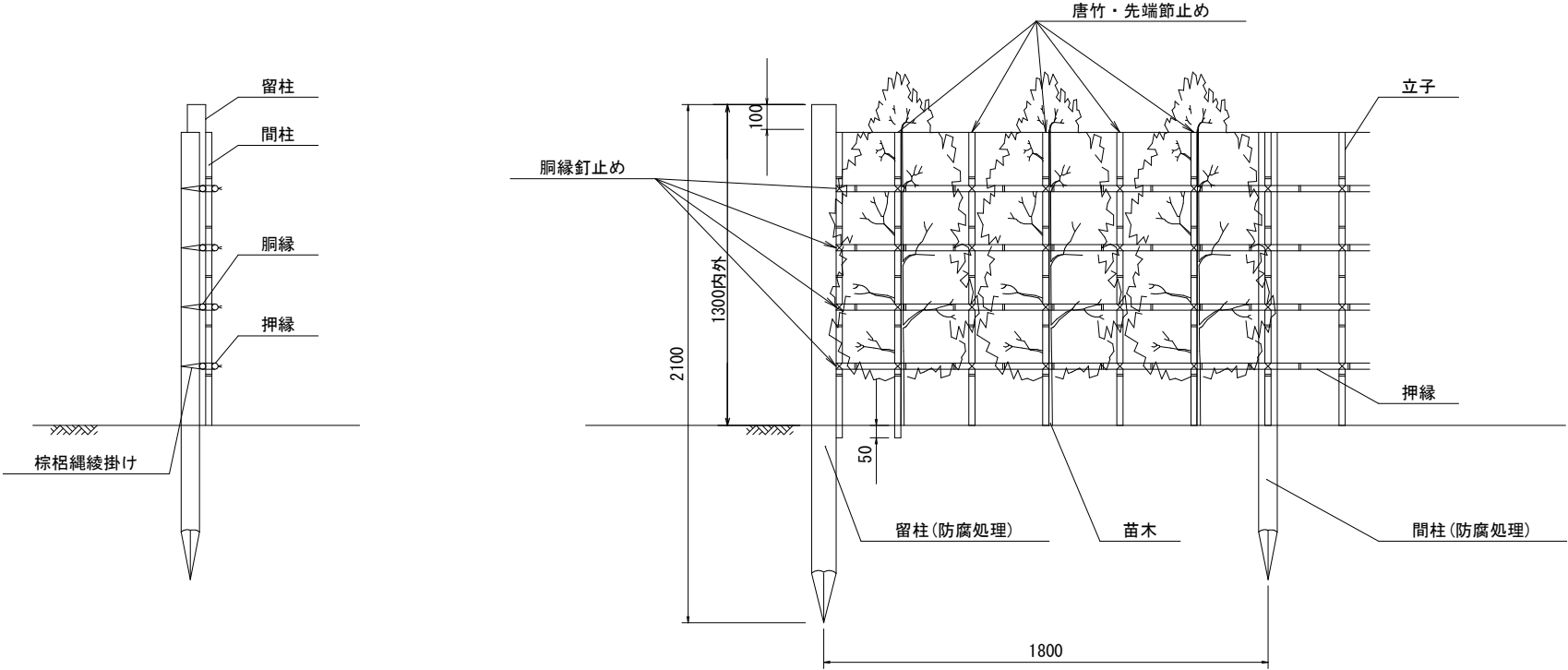
布掛支柱



100本当り		
種 別	材 料 表	摘 要
	竹(本) 12本束	
布 掛 支 柱	100	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>竹は、すべて節止めとする。</li><li>棕櫚縄は水につけ、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li><li>鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	—	名 称	植 裁 工 布 掛 支 柱
				作 成	H22. 3	記 号	NS

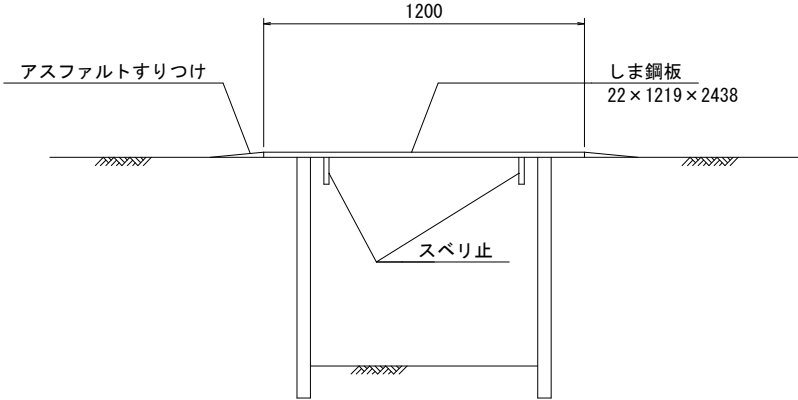
生垣支柱



種 別	材 料 表					摘 要
	生 垣 高 1.2m (m)	苗 木 (本)	杉丸太(本) 長 1.8m 末口径 9cm	杉丸太(本) 長 1.6m 末口径 7.5cm	唐 竹 (12本束)	
生垣支柱	18	30	2	9	60	

特 記 仕 様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 竹は、すべて節止めとする。</li><li>・ 杉丸太は、クレオソート加圧注入処理をおこなったものとする。</li><li>・ 棕梠縄は水につけ、下部は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛け上部は監督員との協議とする。</li><li>・ 釘打ちは1ヶ所2本、鉄線(亜鉛メッキ鉄線#18)は、2本合わせて3回巻以上の綾割掛けとする。</li></ul>	備 考		縮 尺	1／20	名 称	植 栽 工 生垣支柱
				作 成	H22. 3	記 号	IS

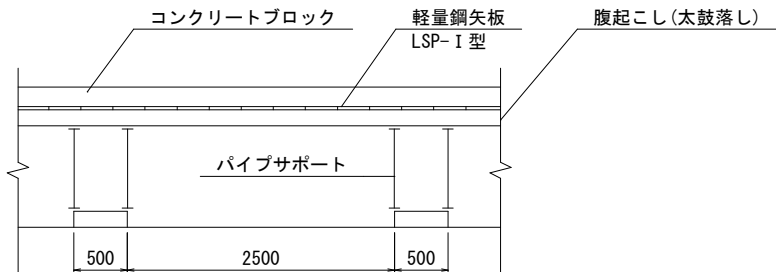
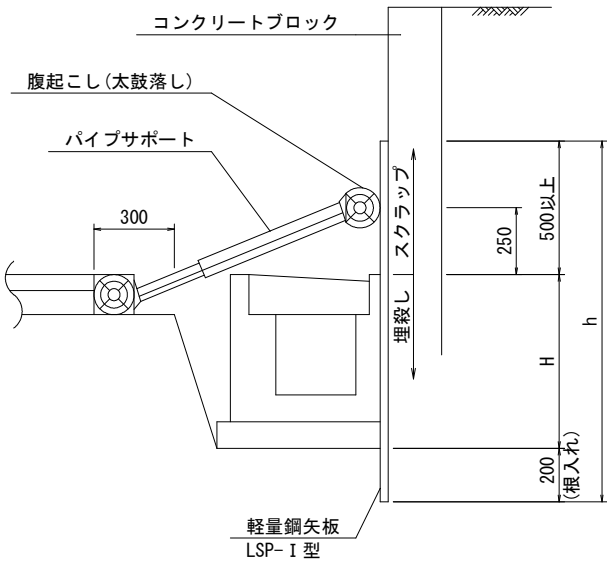
路面覆工



種 別	材 料 表	10m当り
	しま鋼板(22×1219×2438) (枚)	摘 要
路面覆工	4.1	

特 記 仕 様		備 考		縮 尺	1／20	名 称	路面覆工
				作 成	H22. 3	記 号	LC

埋設矢板(側溝布設用)



種 別	寸 法 表		材 料 表				摘 要
	H	h	軽量鋼矢板 (kg)	腹 起 し (本)	パイプサポ-ト (本)	スクラップ (kg)	
	H- 650	650	1350	556. 2	3. 33	6. 67	206
H-1000	1000	1700	700. 4	3. 33	6. 67	206	

特 記 仕 様		備 考		縮 尺	1／20 1／50	名 称	土 留 工 埋設矢板(側溝布設用)
				作 成	H22. 3	記 号	KSP- (H)